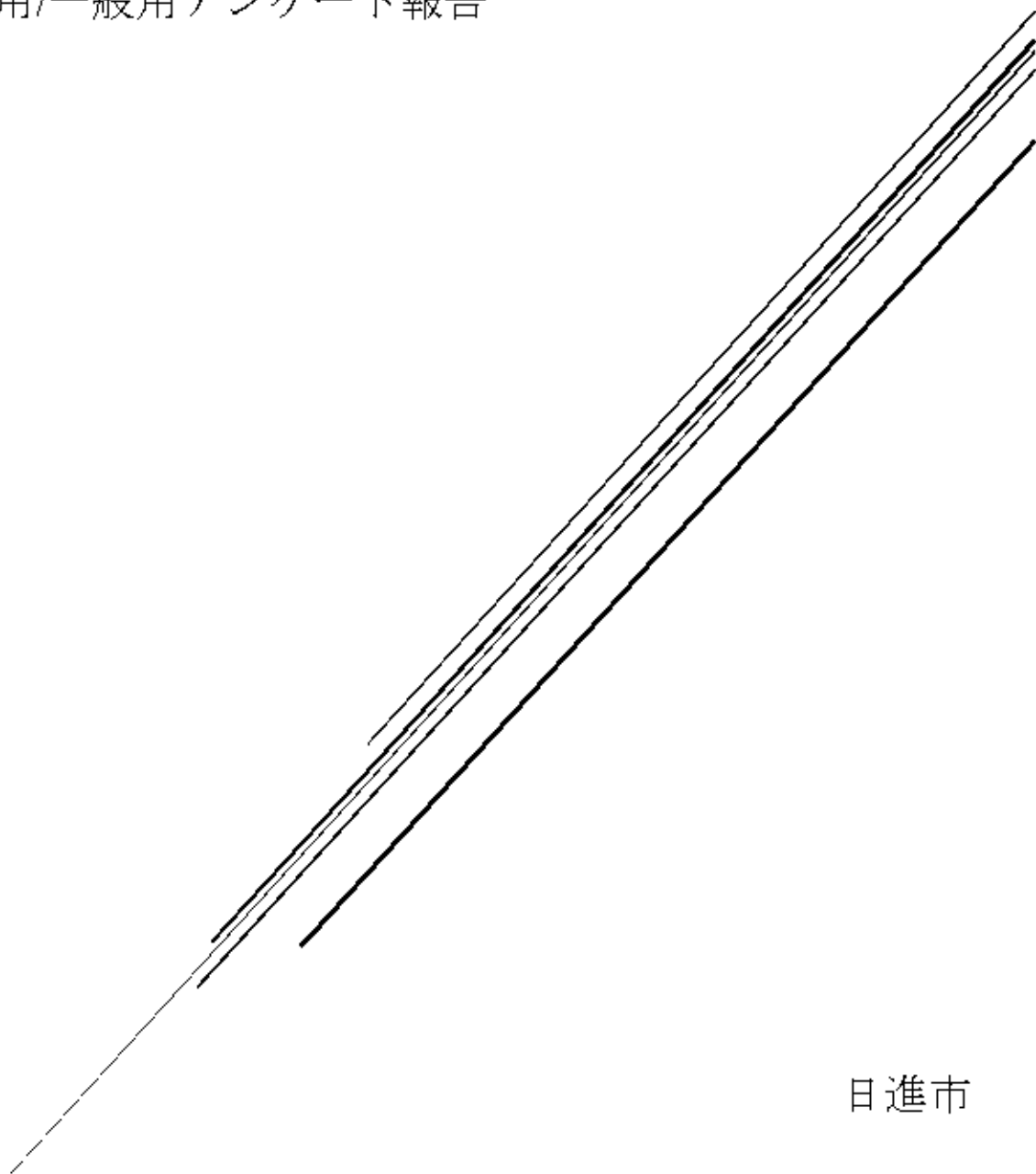


第4期日進市障害福祉計画

アンケート調査報告

利用者用/一般用アンケート報告



日進市

2014

目 次

本報告書をご覧になる前に	6
1. 掲載している情報について	6
2. アンケートの実施期間	6
3. アンケートの回収率	6
4. 用語の定義	7
5. 現在の制度	9
報告 1 性別・年齢・ご家族などについて	10
問 1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)	10
問 2 あなたの年齢をお答えください。(平成26年4月1日現在)	12
問 3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)	13
問 4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)	13
問 5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)	15
問 6 あなたは、日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩の項目にそれぞれに○を1つ)	17
問 7 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)	27
問 8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。	28
報告 2 あなたの障害の状況について	31
問 9 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)	31
問 10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(○は1つだけ)	31
問 11 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)	32
問 12 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)	32
問 13 手帳を持っていない場合、その理由は次のどれですか。(○は1つだけ)	33
問 14 あなたは、難病等の診断を受けていますか。(○は1つだけ)	34
問 15 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)	34
問 16 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(○は1つ	

だけ)	35
問 17 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)	35
【一般用アンケート単独設問】	36
問 21 親族やご近所の人など、あなたの近くに障害のある人がいますか。(○は1つだけ)	36
問 22 あなたは、近くにいる障害のある人に対して、次の中でどの様な配慮を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)	36
問 18 あなたは、介護保険の要介護・要支援の認定を受けていますか。(○は1つだけ)	38
報告 3 住まいや暮らしについて	39
問 19 あなたは、現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)	39
問 20 【問19で「5. 又は6.」を選択された方にお聞きします。】あなたは、将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)	41
問 21 【問19で「5. 又は6.」を選択された方にお聞きします。】(一般用問19/事業所用問4/支援団体用問6) 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。(○は3つまで)	42
問 22 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)	44
問 23 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)	45
問 24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)	46
問 25 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	48
問 26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)	50
問 27 仕事をしている場合、どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)	53
問 28 あなたは、今後、収入を得る仕事(一般就労)をしたいと思いますか。(○は1つだけ)	54
問 29 あなたは、収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)	55
問 30 (一般用問20/事業所用問5/支援団体用問7) あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思えますか。(○は3つまで)	56

問 31	発達が気になる子どもや障害のある子どもの支援として、幼稚園、保育所、学校などにおいて、どの様な支援が必要だと思いますか。(○は2つまで) ..	57
報告 4	福祉サービス等の利用について	58
問 32	あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)	60
問 33	あなたは次の訪問系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑤のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)	61
問 34	あなたは、訪問系サービスを利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)	71
問 35	あなたは、次の日中活動系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑤のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)	76
問 36	あなたは、日中活動系サービスを利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)	85
問 37	あなたは、次の居住(宿泊)系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から③のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)	90
問 38	あなたは、居住(宿泊)系サービス利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)	96
問 39	あなたは、次の相談系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)	101
問 40	あなたは、次の児童系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑥のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)	103
問 41	あなたは、児童系サービスを利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)	109
問 42	あなたは次の地域生活支援事業を利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から③のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)	113
問 43	あなたは、地域生活支援事業を利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)	119

報告 5	相談相手について	126
問 44	あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)	126
問 45	あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)	129
報告 6	権利擁護について	130
問 46	あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つだけ)	130
問 47	どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)	133
問 48	あなたは、成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)	137
報告 7	災害時の避難等について.....	140
問 49	あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)	140
問 50	家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)	141
問 51	火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	142
報告 8	【一般用アンケート単独設問】ボランティア活動について.....	144
問 29	あなたは、ボランティア活動やNPO活動に参加していますか。(○は1つだけ)	144
問 30	あなたは、障害のある人を支援するボランティア活動等について、知っている活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)	145
問 31	あなたは、障害のある人を支援するボランティア活動に興味がありますか。(○は1つだけ)	147
問 32	あなたは、仮にボランティア活動に参加を希望する場合、どの様な活動に興味がありますか。(○は2つまで)	147
問 33	仮にあなたがボランティア活動に参加する場合、どの時間帯が参加しやすいですか。(○は1つだけ)	148
報告 9	その他障害者福祉センターなどについて	149
問 52 (一般問 34)	あなたは、障害者福祉センター(地域生活支援センターたけのやま、子ども発達支援センターすくすく園)をご存知ですか。(○は1つだけ)	

.....	149
問 53 (一般問 35 ○は 3 つまで) あなたは、障害者福祉センターでどの様な取り組みをするとよいと思いますか。(○は 2 つまで)	151
問 54 あなたは、障害者福祉センターの勉強会や講座などにおいて、どの様な内容を開催するとよいと思いますか。(○は 2 つまで)	152
問 55 あなたは、今後、既存事業を見直しする場合、障害のある人に対して、次に掲げる中でどの様な支援を充実した方がよいと思いますか。(○は 3 つまで) .	153
報告 10 自由記述	154
利用者用アンケート (回答者：本人)	154
利用者用アンケート (回答者：家族)	157
利用者用アンケート (回答者：家族以外の介護者)	169
一般用アンケート	170

本報告書をご覧になる前に

1. 掲載している情報について

- 1) サービス利用者用（日進市にお住まいの障害福祉サービス利用者）
- 2) 一般用（日進市にお住まいの18歳以上のサービス利用者を除く障害者手帳所持者無作為800人と障害者手帳交付者・サービス利用者を除く18歳以上の人无作為1000人）
- 3) 事業所用（市民利用がある障害福祉サービス事業所、市内および隣接する自治体に所在する障害福祉サービス事業所）
- 4) 支援団体用（市内で活動する当事者団体および障害福祉ボランティア団体、障害に関する市民活動団体）

以上4種類のアンケートを用意し2,736名を対象に、郵送調査法を用いて回答をお願いする方法でのアンケート結果です。調査対象と回収率の詳細は以下のとおりです。

2. アンケートの実施期間

平成26年4月4日から発送し、平成26年4月30日までの回収としました。

3. アンケートの回収率

調査対象		発送件数	回収数	回収率
サービス利用者用	障害福祉サービス利用者	499件	236件	47.29%
一般用	18歳以上の障害者手帳所持者（サービス利用者除く）無作為800人 18歳以上の市内に住所を有する人（障害者手帳交付者・サービス利用者除く）無作為1000人	1800件	868件	48.22%
事業所用	障害福祉サービス事業所（市民利用あり、市内および隣接する自治体に所在）	413件	204件	49.39%
支援団体用	市内で活動する当事者団体および障害福祉ボランティア団体、障害に関する市民活動団体	24件	18件	75.00%
総数		2736件	1326件	48.46%

数値の見方は以下の点を参考にしてください。

- 1) 比率はすべて%で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
ただし利用意向率、利用必要率など、今後の計画において見込み量等を算出するためのものは小数点以下第三位以下を四捨五入しています。そのため%の合計が100%にならないこともあります。また、障害者手帳を2種類取得している市民もいるため、すべてが手帳ごとの回収数と割合が一致しないものもあります。
- 2) 表に使われている用語については、回答人数は「度数」として表示してあります。また、「システム欠損値」または「欠損値」は、回答が無記入または不明な回答の件数のことです。「割合」は、欠損値を含めた全体割合を示し、「有効割合」は、欠損値を除いた全体割合となります。「累積割合」は、有効割合を積み上げた数値となります。
- 3) 「総和の%」とは、全体の合計数値の中で、対象となる値の割合を示しています。
- 4) 回答率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しています。
- 5) 集計上の実数は、度数において有効または欠損値として掲載してあります。割合の比率はこの件数を100%として算出しているものとグラフにおいてわかりやすくするため除いてあるものもあります。
- 6) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。
また、自由記述は個人や施設等が特定される内容を除き、回答いただいたままを表記してあります。

4. 用語の定義

- 1) **居宅介護**…ヘルパーが自宅において、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
- 2) **重度訪問介護**…重い障害があり常に介護を必要とする人に、入浴、排せつ、食事の介護、外出の支援を行います。
- 3) **同行援護**…視覚障害により、移動に著しい困難のある人に、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む)、移動の援護等の外出支援を行います。
- 4) **行動援護**…重い障害があり自己判断能力が制限されている人が行動するとき、危険を回避するための必要な支援や外出時の支援を行います。
- 5) **重度障害者等包括支援**…重い障害があり介護の必要性が高い人に、居宅介護等の複数の必要なサービスを組み合わせて支援を行います。
- 6) **短期入所(ショートステイ)**…介護する人の病気のときなどに、短期間、夜間も含め施設において、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
- 7) **療養介護**…医療と常に介護を必要とする人に、医療機関において機能訓練、療養上の管理、看護、介護や日常生活の支援を行います。
- 8) **生活介護**…常に介護を必要とする人に、入浴、排せつ、食事の介護等を行い、

創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

- 9) **施設入所支援**…施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
- 10) **共同生活介護（ケアホーム）**…障害のある人たちが、夜間や休日、共同生活を行う住居において、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
- 11) **自立訓練（機能訓練・生活訓練）**…自立した日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
- 12) **就労移行支援**…一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力向上のために訓練を行います。
- 13) **就労継続支援（A型・B型）**…一般企業等への就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。
- 14) **共同生活援助（グループホーム）**…障害のある人たちが、夜間や休日、共同生活を行う住居において、相談や日常生活上の支援を行います。
- 15) **児童発達支援**…障害のある子どもが施設に通い、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与または集団生活への適応のための訓練を行います。
- 16) **放課後等デイサービス**…学校就学中の障害のある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供します。
- 17) **保育所等訪問支援**…保育所等に通う障害のある子どもに対して、保育所等における集団生活の適応のための専門的な支援を行う者が、保育所等の施設に訪問にして支援を提供します。
- 18) **意思疎通支援事業**…聴覚、言語機能、音声機能、視覚等の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介するために、手話通訳や要約筆記、点訳等を行う者の派遣等を行います。
- 19) **日常生活用具給付等事業**…重い障害のある人等に対し、自立生活支援用具等日常生活用具の給付又は貸与を行います。
- 20) **移動支援**…屋外での移動が困難な障害のある人に、外出支援を行います。
- 21) **地域活動支援センター**…障害のある人に、創作的活動、生産活動の機会を提供します。
- 23) **訪問入浴サービス事業**…重い身体障害のある人に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供します。
- 24) **日中一時支援事業**…障害のある人の家族の就労支援や日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に障害のある人の日中活動の場を提供します。

5. 現在の制度

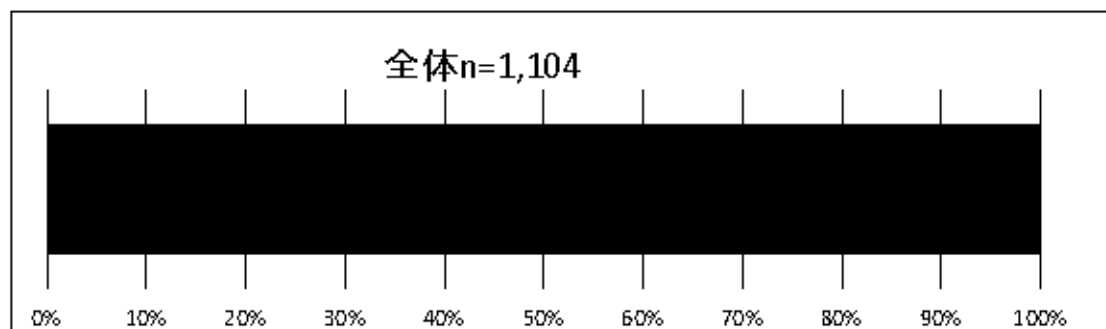
【現在の主な障害福祉サービス等】

区分	サービス名等
訪問系	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護など
日中活動系	生活介護、短期入所、療養介護、自立訓練（機能訓練・生活訓練）
居住系	共同生活援助（※）、施設入所支援
就労系	就労移行支援、就労継続支援A型（雇用型）、就労継続支援B型（非雇用型）
障害児系	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援
相談支援系	特定相談支援・障害児相談支援、地域移行支援、地域定着支援
地域生活支援	理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業、基幹相談支援センター事業、成年後見制度利用支援事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援、訪問入浴サービス、社会参加支援事業、点字・声の広報等発行事業、自動車運転免許取得・自動車改造助成事業など

※制度改正により、平成26年度より共同生活介護（ケアホーム）は共同生活援助（グループホーム）に一元化されました。

報告 1 性別・年齢・ご家族などについて

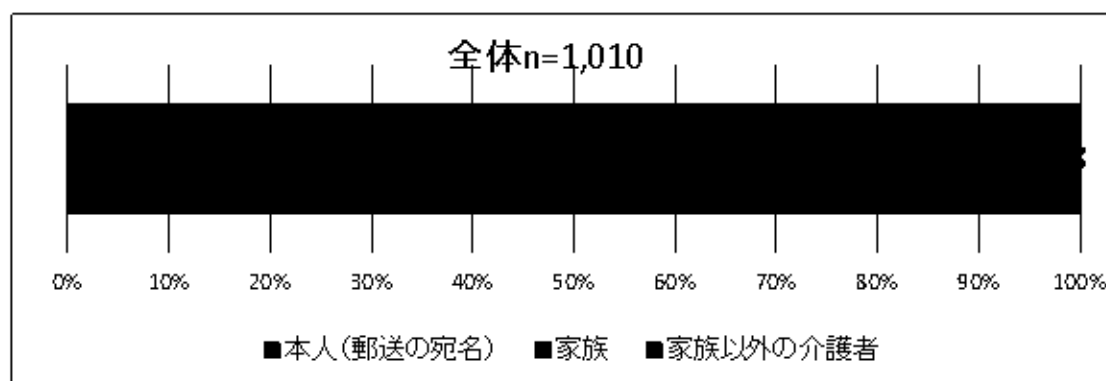
回答者



障害福祉サービスを利用している利用者用アンケート 236 件、18 歳以上の障害者手帳をお持ちの方、また 18 歳以上の無作為でお願いした 888 件のあわせて 1104 件の回答をいただきました。利用者用回収率は 47.3%、一般用回収率は 48.2%でした。

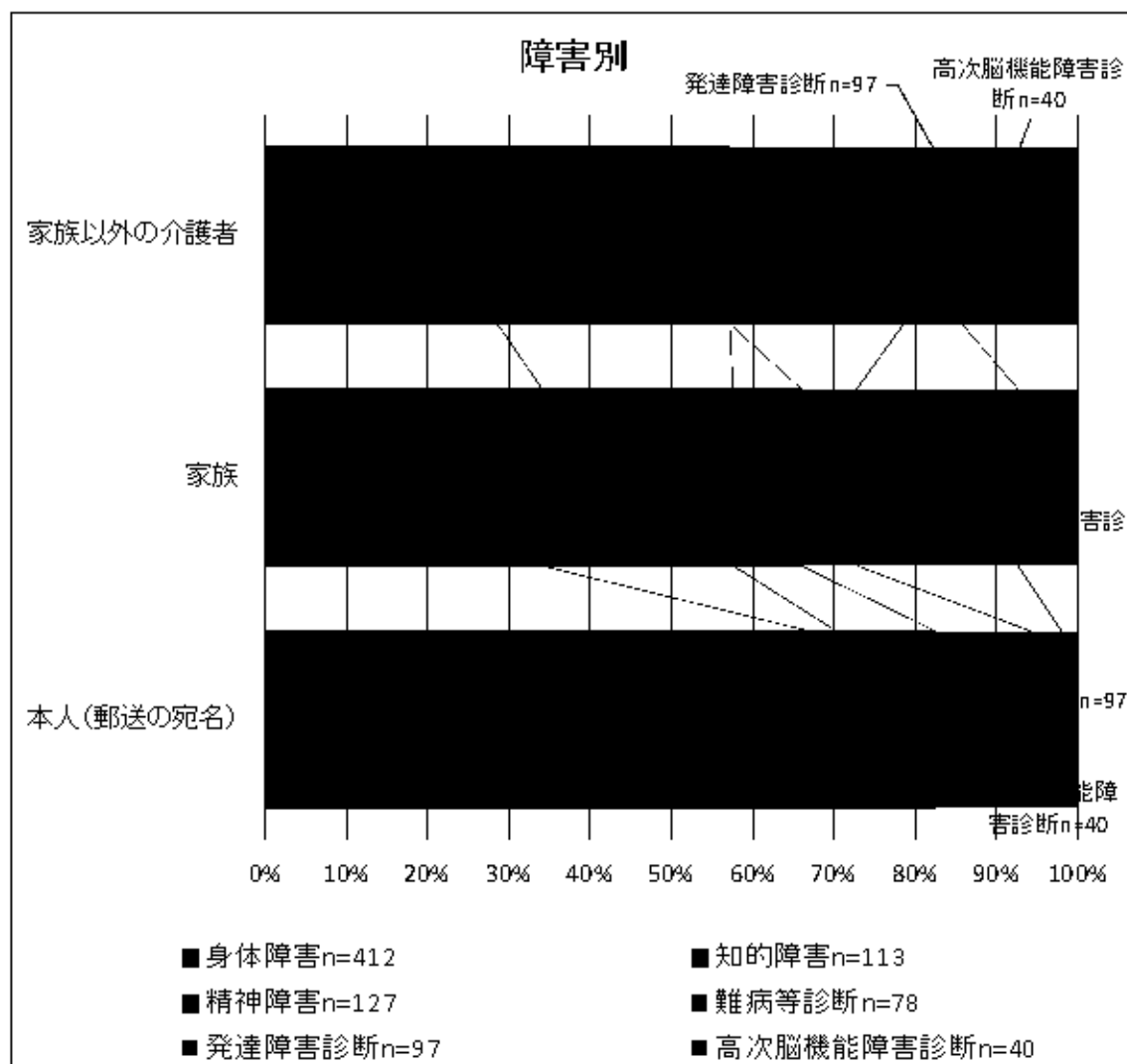
問 1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は 1 つだけ)

問1回答者			
		度数	パーセント
有効	本人(郵送の宛名)	645	63.9
	家族	357	35.3
	家族以外の介護者	8	0.8
	合計	1010	100.0



アンケートの記入者は本人が最も多く、次いで家族の順になっています。

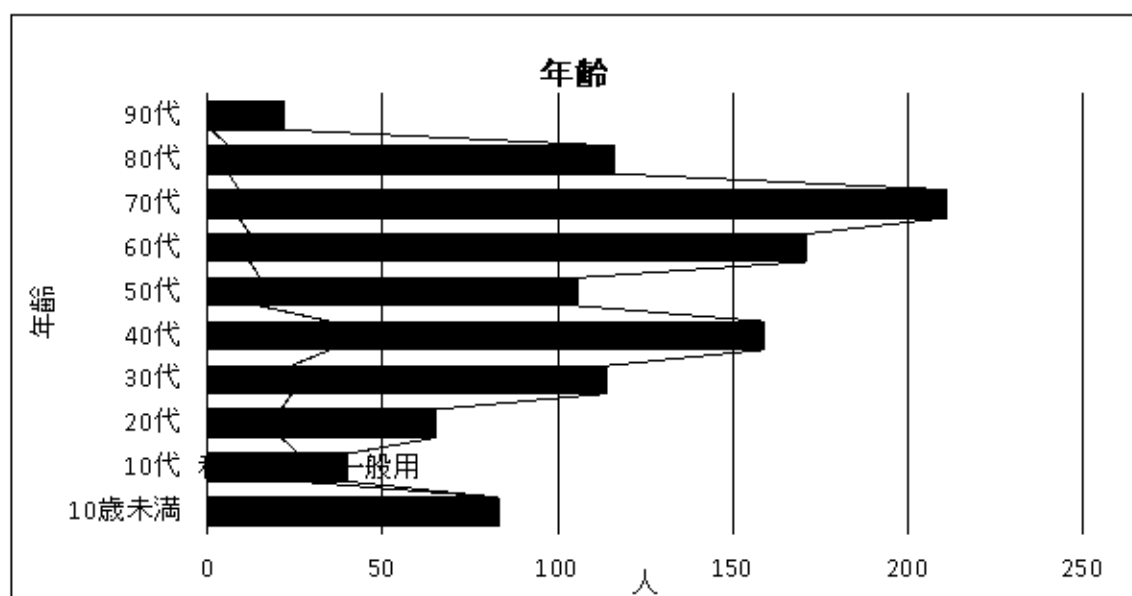
障害別では、身体障害と精神障害の方では本人が最も多い一方、知的障害と難病等、高次脳機能障害の方では家族以外の介護者の回答が最も多くなっています。また発達障害の方は家族の回答が最も多くなっています。



問2 あなたの年齢をお答えください。(平成26年4月1日現在)

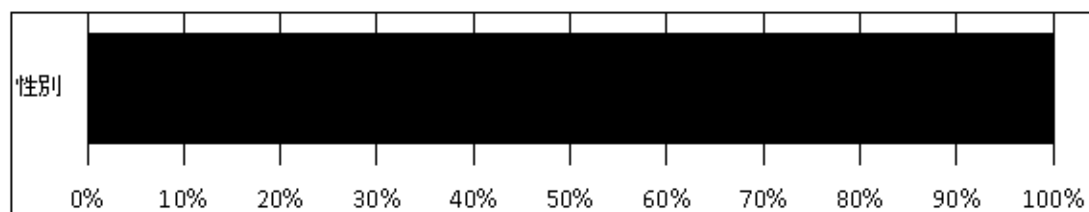
年齢とアンケート類型のクロス表

		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
年齢	10歳未満	83	0	83
	10代	26	14	40
	20代	21	44	65
	30代	24	90	114
	40代	35	124	159
	50代	15	91	106
	60代	12	160	172
	70代	9	202	211
	80代	6	110	116
	90代	1	21	22
合計	232	856	1088	



利用者用のアンケートでは10歳未満と40代の回答が多く、一般のアンケートでは70代の回答が最も多くなっています。

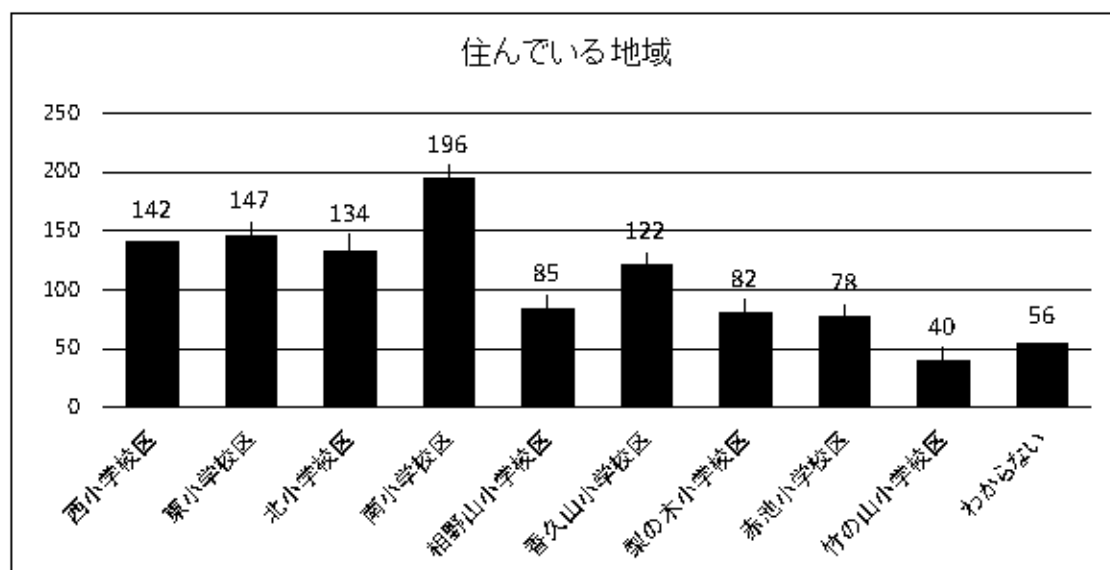
問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)



性別による回答の偏りはありませんでした。

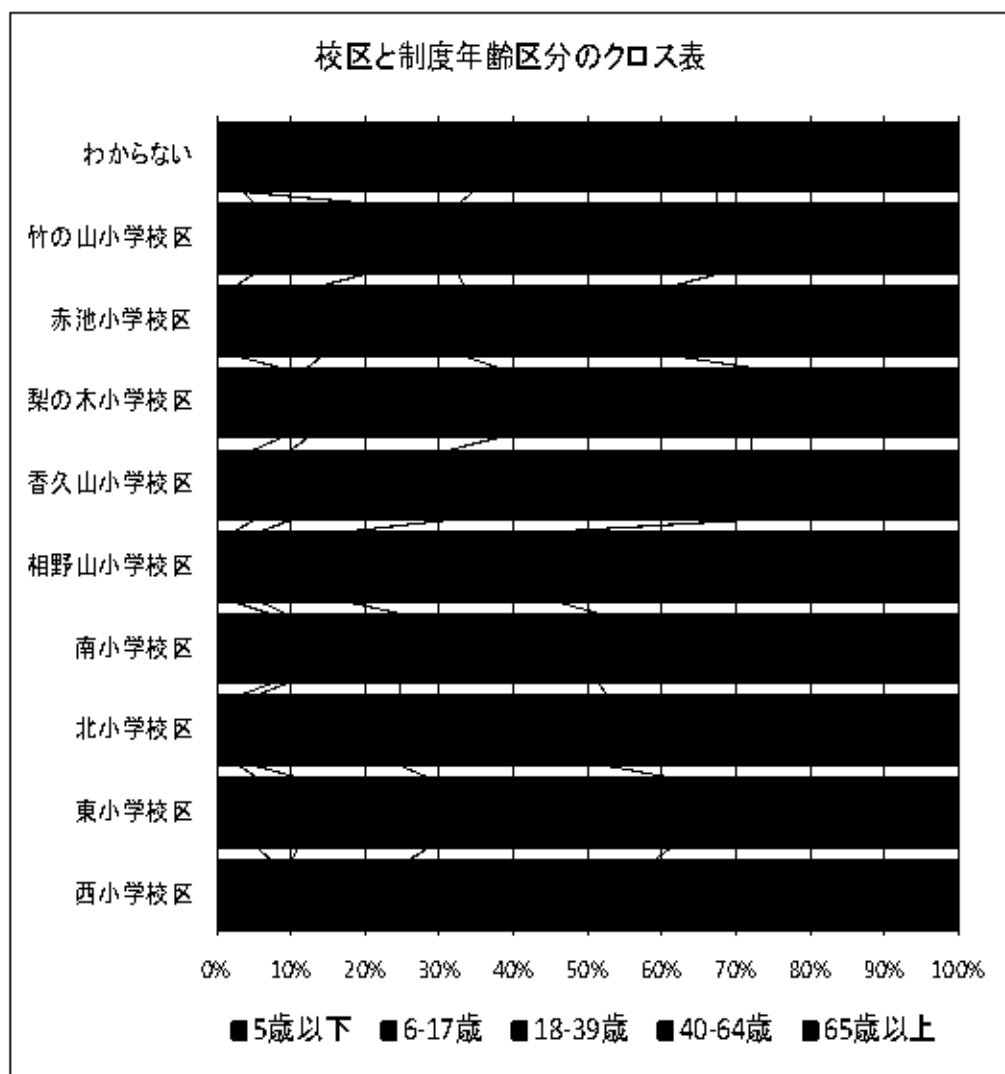
問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)

問4地域		度数	有効パーセント
有効	西小学校区	142	13.1
	東小学校区	147	13.6
	北小学校区	134	12.4
	南小学校区	196	18.1
	相野山小学校区	85	7.9
	香久山小学校区	122	11.3
	梨の木小学校区	82	7.6
	赤池小学校区	78	7.2
	竹の山小学校区	40	3.7
	わからない	56	5.2
	合計	1082	100.0



全ての校区から回答をいただきました。

校区によって年齢比【注】の差が大きいことが伺えます。
特に相野山小学校区での高齢化が高くなっています。

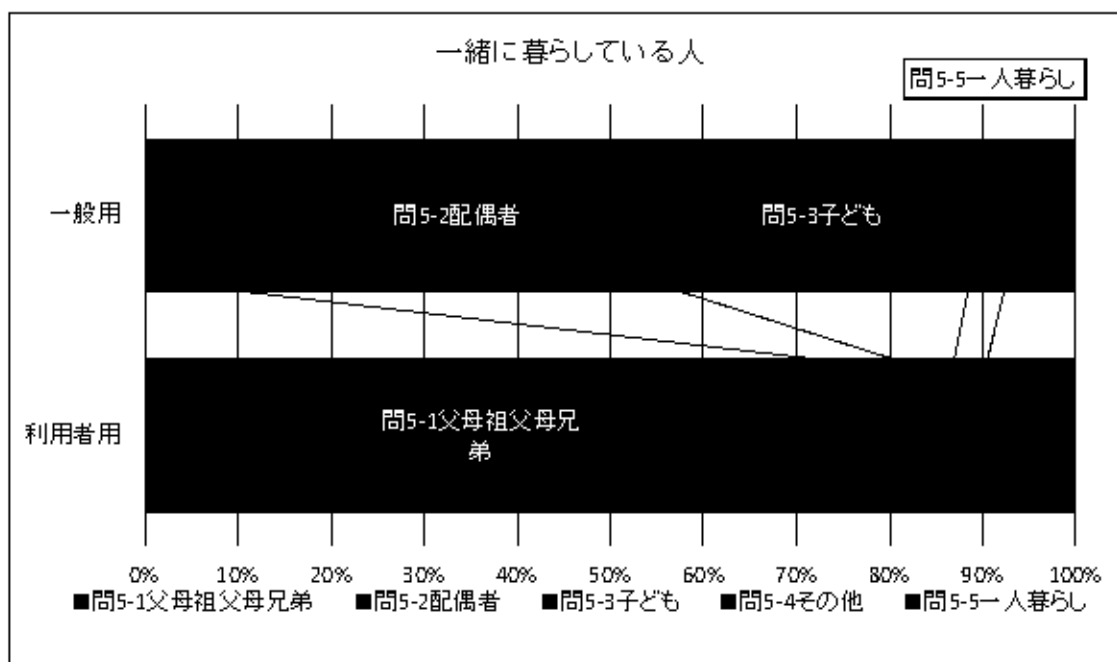


【注】 この報告書では年齢比による集計をする際、5区分に分ける制度別年齢区分を採用しています。①「5歳以下」…就学前、②「6～17歳」…小中高校の児童福祉法対象児童、③「18～39歳」…介護保険年齢前、④「40～64歳」介護保険2号被保険者、⑤「65歳以上」介護保険1号被保険者。以後：制度別年齢区分と表記していません。

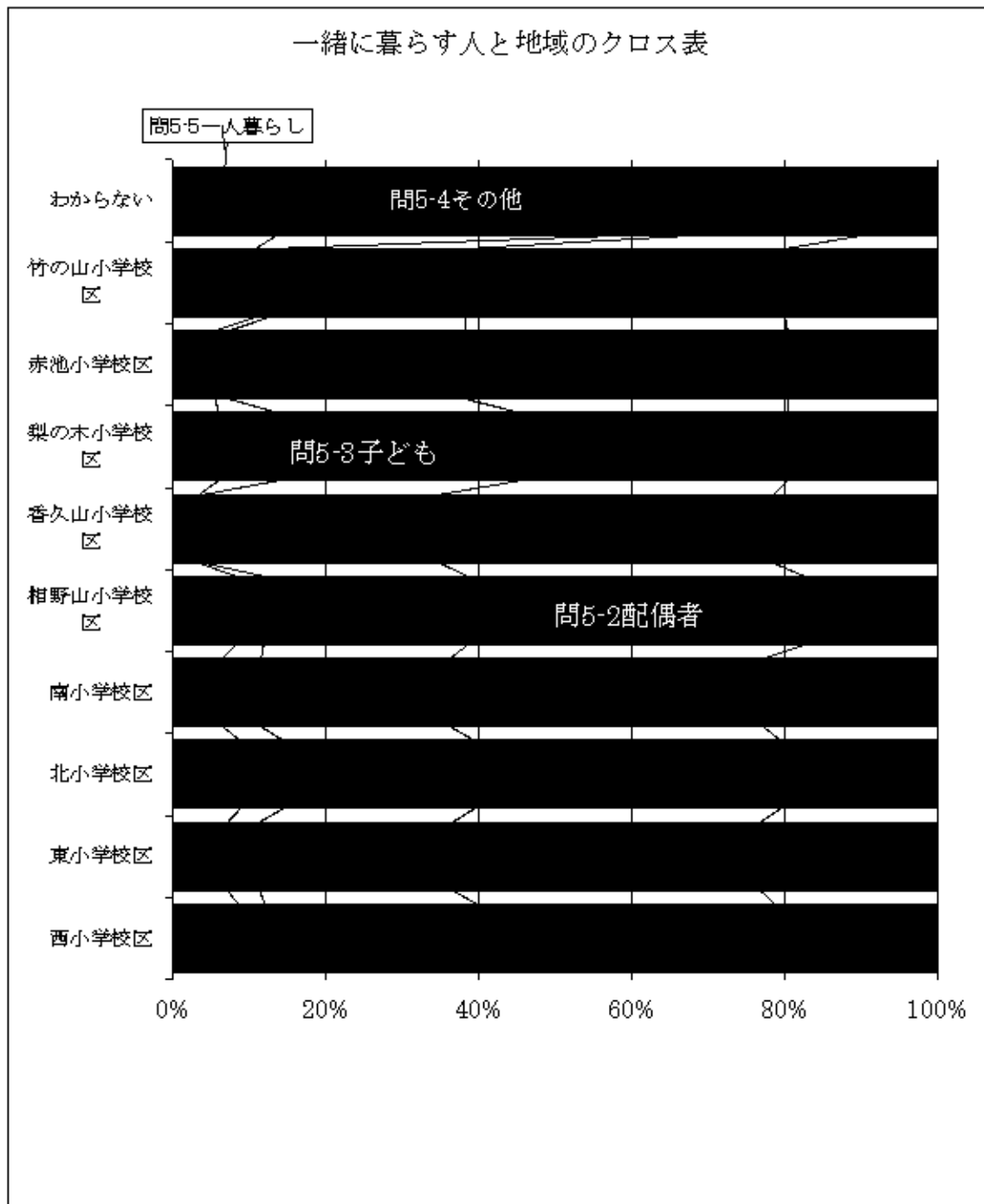
問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に暮らしている人とアンケート類型アンケート対象類型 クロス表

		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
一緒に暮らしている人と アンケート類型	問5-1 父母祖父母兄弟	183	125	308
	問5-2 配偶者	20	577	597
	問5-3 子ども	16	379	395
	問5-4 その他	9	48	57
	問5-5 一人暮らし	24	94	118
合計	度数	233	864	1097



利用者用では父母祖父母兄弟と一人暮らしの回答が多くなっています。一方、一般用アンケートでは配偶者、子どもの回答が多く、利用者用アンケート回答との違いがはっきりと伺えます。



お住まいの地域がよくわからないとの回答では一人暮らしの割合が高い傾向があります。またその他の回答の多くは施設や病院の利用者と推察されます。

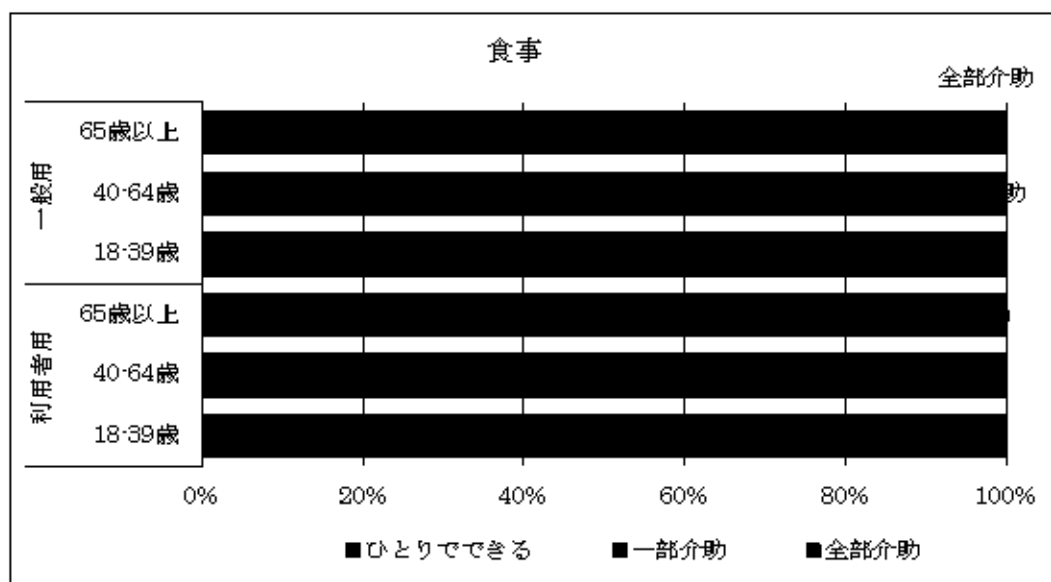
問6 あなたは、日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩の項目にそれぞれに○を1つ)

ここではアンケート類型(利用者用・一般用)と制度別年齢区分と主たる障害と各日常生活の様子クロス表にします。一部介助と全部介助をあわせると⑩薬の管理を除き、65歳以上が最も高くなっています。

① 食事

制度類型×分年齢と問6-1食事でアンケート類型のクロス表

アンケート類型			問6-1食事			合計
			ひとりできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	25	28	4	57
		6-17歳	30	13	2	45
		18-39歳	29	14	8	51
		40-64歳	40	14	3	57
		65歳以上	8	9	2	19
合計			132	78	19	229
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	147	1	0	148
		40-64歳	269	9	5	283
		65歳以上	347	39	20	406
合計			763	49	25	837
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	25	28	4	57
		6-17歳	30	13	2	45
		18-39歳	176	15	8	199
		40-64歳	309	23	8	340
		65歳以上	355	48	22	425
合計			895	127	44	1066

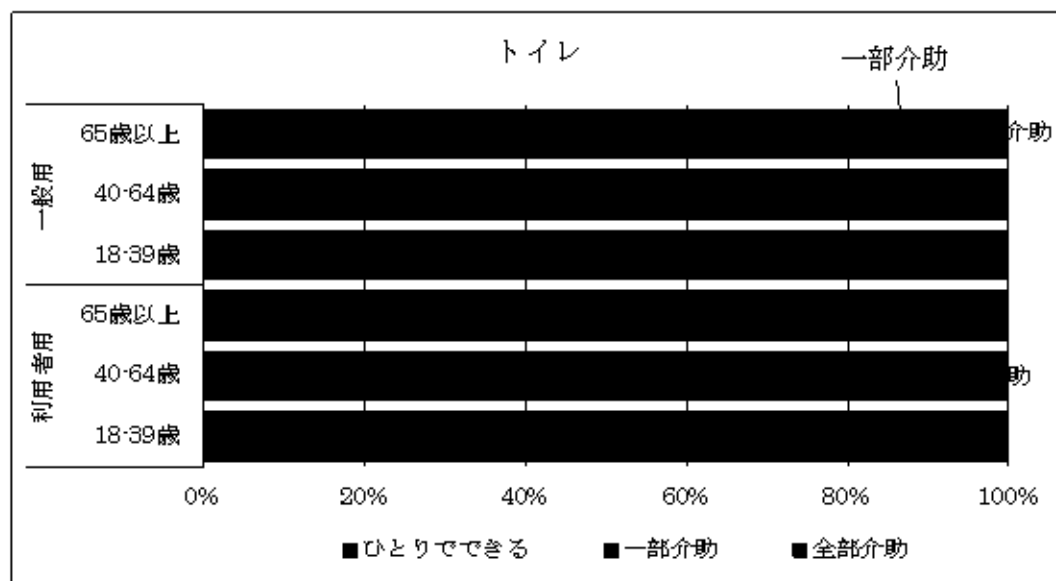


② トイレ

制度類型別分年齢と問6-2トイレとアンケート類型のクロス表

度数

アンケート類型			問6-2トイレ			合計
			ひとりでできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	15	24	18	57
		6-17歳	24	16	5	45
		18-39歳	32	10	9	51
		40-64歳	40	11	6	57
		65歳以上	12	3	5	20
	合計		123	64	43	230
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	148	0	0	148
		40-64歳	270	7	6	283
		65歳以上	342	25	43	410
合計		760	32	49	841	
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	15	24	18	57
		6-17歳	24	16	5	45
		18-39歳	180	10	9	199
		40-64歳	310	18	12	340
		65歳以上	354	28	48	430
	合計		883	96	92	1071

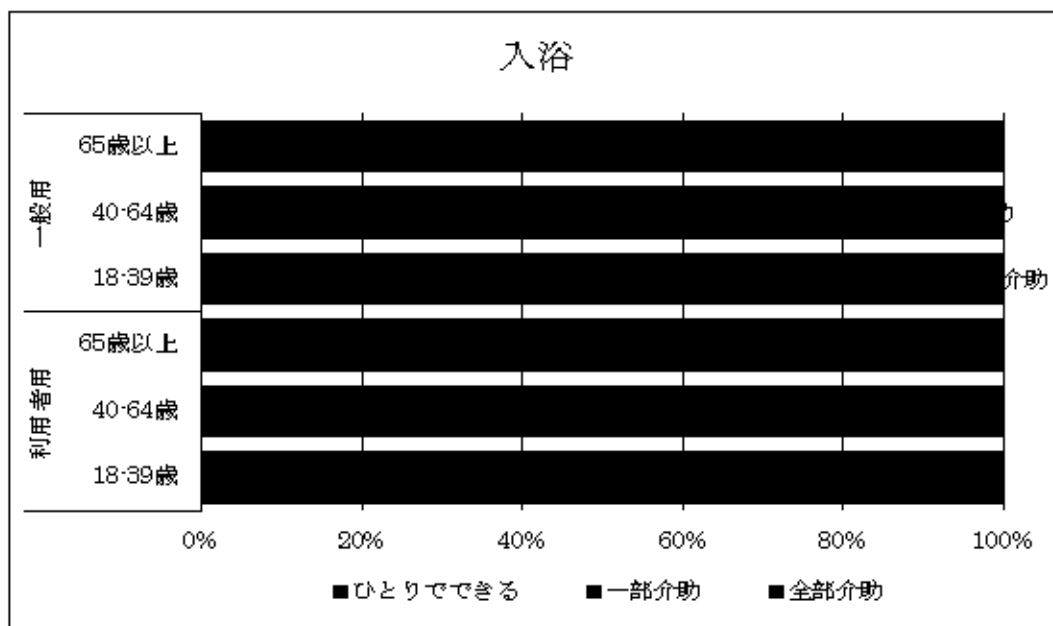


③ 入浴

制度類型区分年齢と問6-3入浴とアンケート類型のクロス表

度数

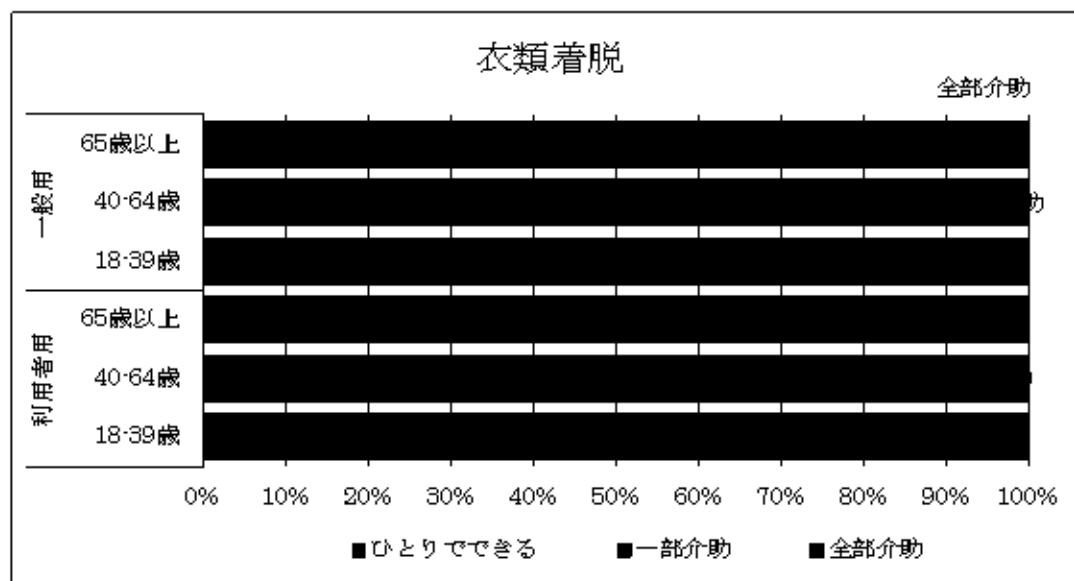
アンケート類型			問6-3入浴			合計
			ひとりでできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	4	33	20	57
		6-17歳	16	23	6	45
		18-39歳	28	13	10	51
		40-64歳	32	15	9	56
		65歳以上	7	5	8	20
	合計		87	89	53	229
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	147	1	0	148
		40-64歳	265	10	8	283
		65歳以上	309	45	57	411
	合計		721	56	65	842
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	4	33	20	57
		6-17歳	16	23	6	45
		18-39歳	175	14	10	199
		40-64歳	297	25	17	339
		65歳以上	316	50	65	431
	合計		808	145	118	1071



④ 衣類の着脱

制度類型区分年齢と問6-4衣類着脱とアンケート類型のクロス表

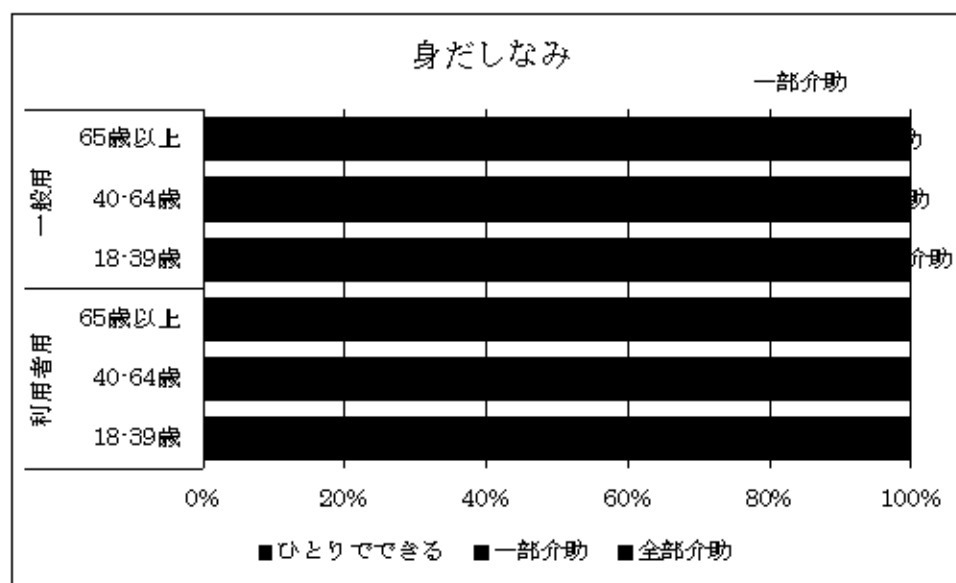
アンケート類型			問6-4衣類着脱			合計
			ひとりできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	17	26	14	57
		6-17歳	24	17	4	45
		18-39歳	32	10	9	51
		40-64歳	38	13	6	57
		65歳以上	9	5	6	20
合計			120	71	39	230
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	148	0	0	148
		40-64歳	268	9	6	283
		65歳以上	327	36	47	410
合計			743	45	53	841
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	17	26	14	57
		6-17歳	24	17	4	45
		18-39歳	180	10	9	199
		40-64歳	306	22	12	340
		65歳以上	336	41	53	430
合計			863	116	92	1071



⑤ 身だしなみ

制度類型区分年齢と問6-5身だしなみとアンケート類型のクロス表

アンケート類型			問6-5身だしなみ			合計
			ひとりでできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	6	31	19	56
		6-17歳	15	26	4	45
		18-39歳	21	21	9	51
		40-64歳	29	16	9	54
		65歳以上	5	9	8	20
	合計		76	103	47	226
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	146	2	0	148
		40-64歳	266	11	6	283
		65歳以上	322	44	42	408
	合計		734	57	48	839
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	6	31	19	56
		6-17歳	15	26	4	45
		18-39歳	167	23	9	199
		40-64歳	295	27	15	337
		65歳以上	327	53	49	429
	合計		810	160	95	1065

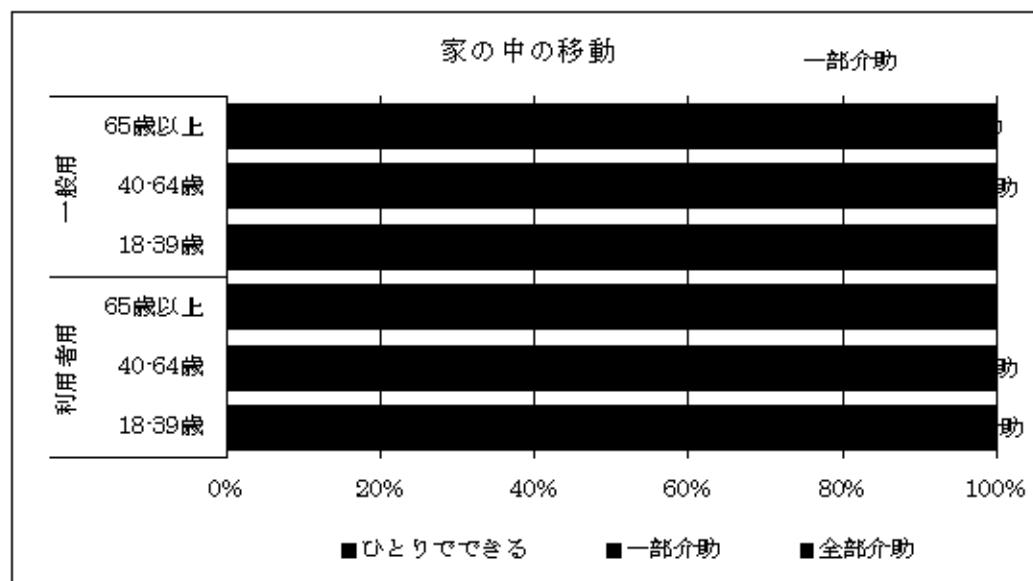


⑥ 家の中の移動

制度類型区分年齢と問6-6家の中の移動とアンケート類型のクロス表

度数

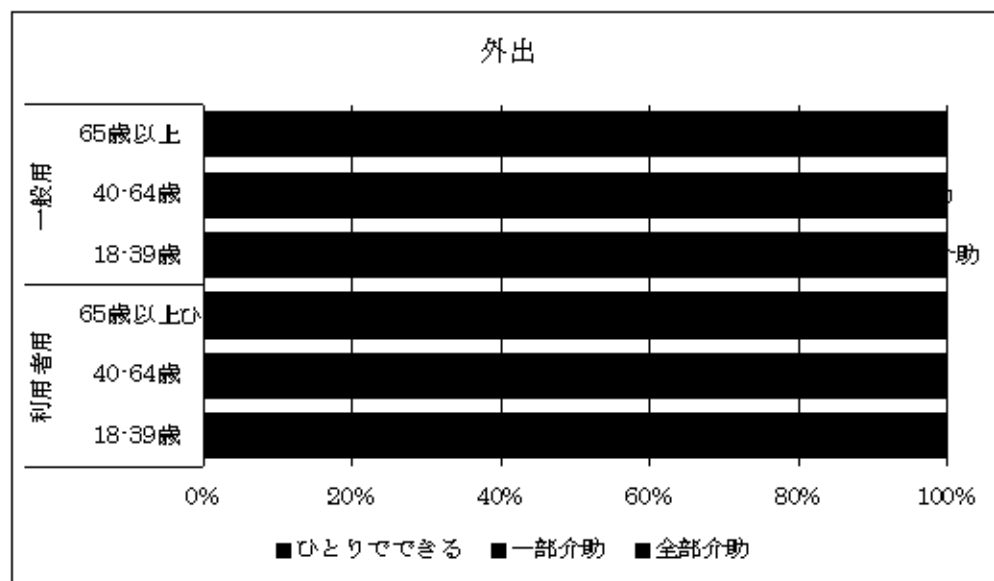
アンケート類型			問6-6家の中の移動			合計
			ひとりでき る	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	48	7	2	57
		6-17歳	38	3	4	45
		18-39歳	38	7	6	51
		40-64歳	42	7	6	55
		65歳以上	12	4	4	20
	合計	178	28	22	228	
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	148	0	0	148
		40-64歳	270	7	6	283
		65歳以上	330	37	44	411
	合計	748	44	50	842	
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	48	7	2	57
		6-17歳	38	3	4	45
		18-39歳	186	7	6	199
		40-64歳	312	14	12	338
		65歳以上	342	41	48	431
	合計	926	72	72	1070	



⑦ 外出

制度類型区分年齢と問6-7外出とアンケート類型のクロス表

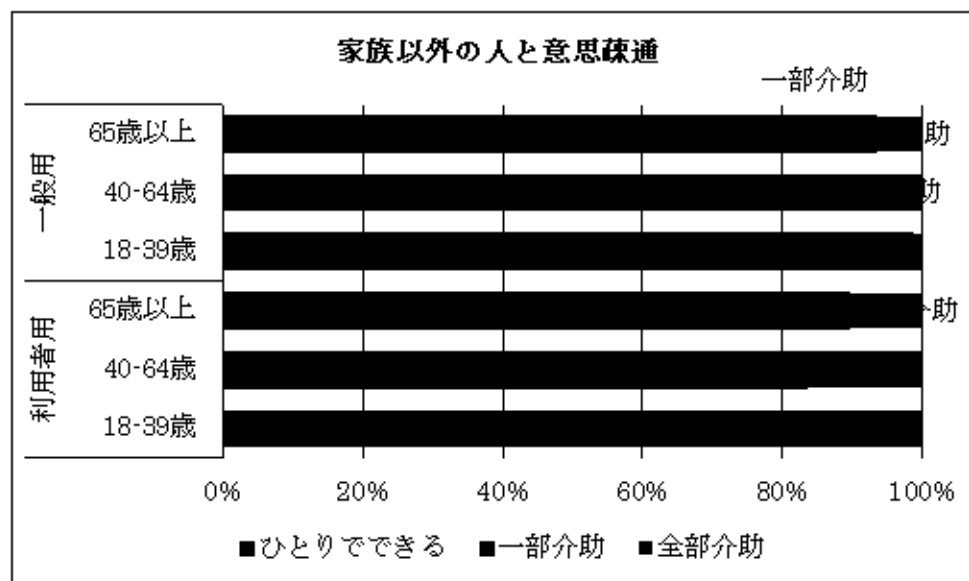
アンケート類型			問6-7外出			合計
			ひとりでき る	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	1	28	26	55
		6-17歳	8	23	14	45
		18-39歳	15	18	18	51
		40-64歳	24	16	16	56
		65歳以上	3	6	10	19
	合計	51	91	84	226	
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	142	6	0	148
		40-64歳	259	13	9	281
		65歳以上	287	64	79	410
	合計	668	83	88	839	
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	1	28	26	55
		6-17歳	8	23	14	45
		18-39歳	157	24	18	199
		40-64歳	283	29	25	337
		65歳以上	270	70	89	429
	合計	719	174	172	1065	



⑧ 家族以外の人との意思疎通

制度類型区分年齢と 問6-8家族以外との意思疎通とアンケート類型のクロス表

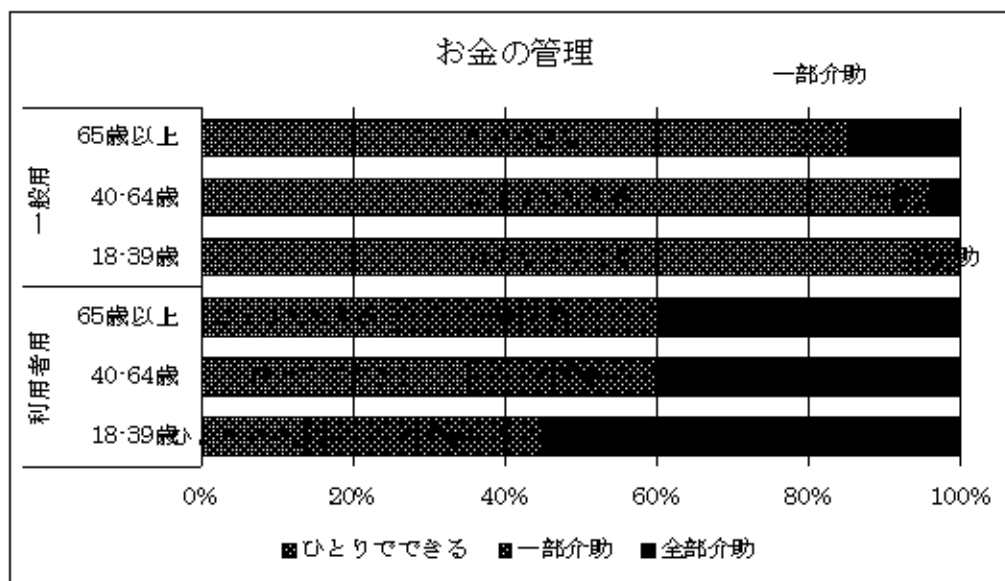
アンケート類型			問6-8家族以外との意思疎通			合計
			ひとりできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	15	29	13	57
		6-17歳	18	22	5	45
		18-39歳	18	22	11	51
		40-64歳	21	25	9	55
		65歳以上	14	3	2	19
合計			86	101	40	227
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	143	3	2	148
		40-64歳	261	15	6	282
		65歳以上	330	47	27	404
合計			734	65	35	834
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	15	29	13	57
		6-17歳	18	22	5	45
		18-39歳	161	25	13	199
		40-64歳	282	40	15	337
		65歳以上	344	50	29	423
合計			820	166	75	1061



⑨ お金の管理

制度類型区分年齢と 問6-9お金の管理と アンケート類型のクロス表

アンケート類型			問6-9お金の管理			合計
			ひとりできる	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	0	2	52	54
		8-17歳	3	8	32	43
		18-39歳	7	16	28	51
		40-64歳	20	14	23	57
		65歳以上	5	7	6	20
	合計	35	47	143	225	
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	137	11	0	148
		40-64歳	257	13	11	281
		65歳以上	316	28	61	406
	合計	710	53	72	835	
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	0	2	52	54
		8-17歳	3	8	32	43
		18-39歳	144	27	28	199
		40-64歳	277	27	34	338
		65歳以上	321	36	69	426
	合計	745	100	215	1060	

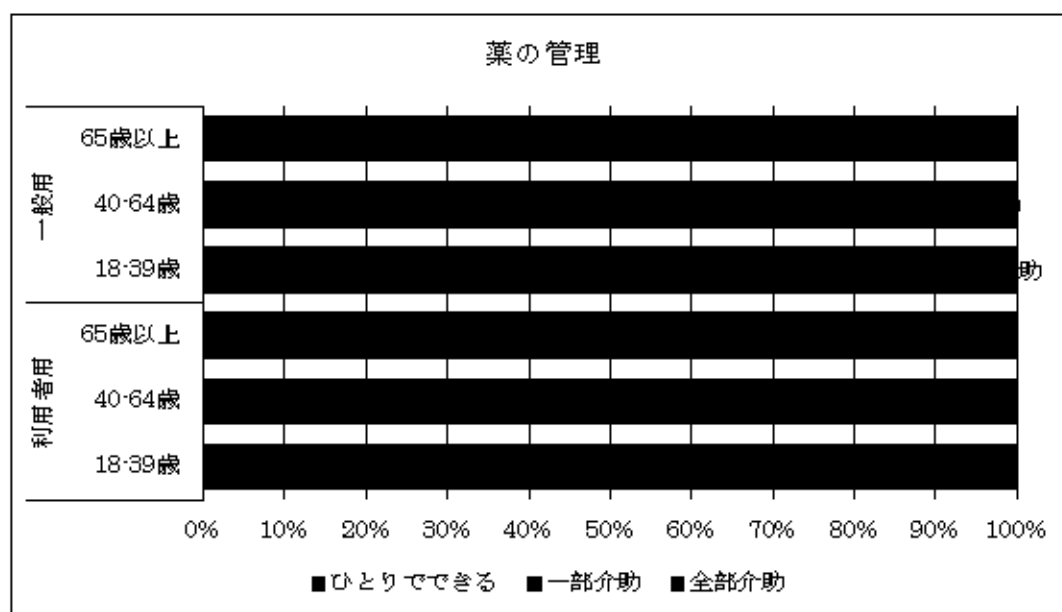


⑩ 薬の管理

制度類型区分年齢と問6-10薬の管理とアンケート類型のクロス表

度数

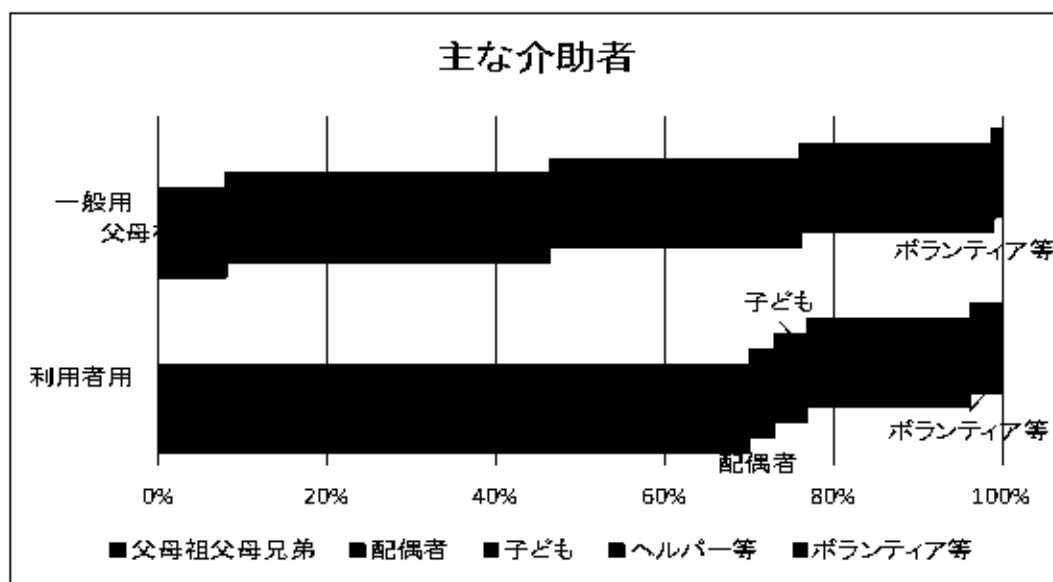
アンケート類型			問6-10薬の管理			合計
			ひとりでき る	一部介助	全部介助	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	0	2	52	54
		6-17歳	5	7	31	43
		18-39歳	11	13	27	51
		40-64歳	25	11	21	57
		65歳以上	7	7	6	20
	合計		48	40	137	225
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	141	6	1	148
		40-64歳	280	14	8	282
		65歳以上	326	19	65	410
	合計		727	39	74	840
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	0	2	52	54
		6-17歳	5	7	31	43
		18-39歳	152	19	28	199
		40-64歳	285	25	29	339
		65歳以上	333	26	71	430
	合計		775	79	211	1065



問7 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

介助者アンケート対象類型 クロス表

			アンケート類型		合計
			利用者用	一般用	
介助者	問7-1介助者父母祖父母兄弟	度数	163	21	184
	問7-2介助者配偶者	度数	7	101	108
	問7-3介助者子ども	度数	9	78	87
	問7-5介助者ヘルパーや施設職員	度数	45	60	105
	問7-6介助者その他ボランティア等	度数	9	3	12
合計	度数	189	200	389	



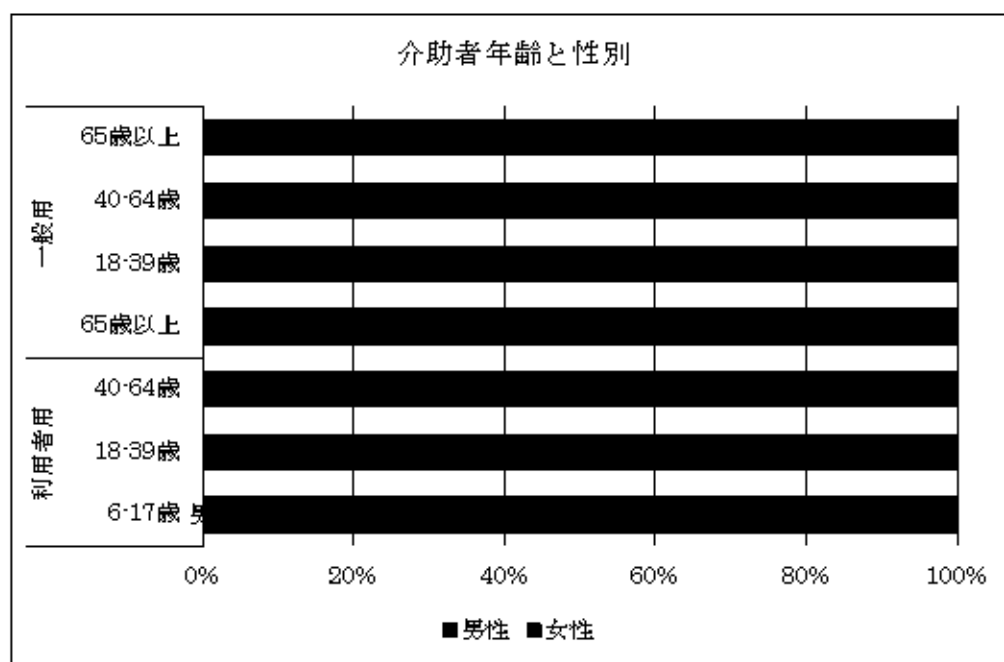
利用者用アンケート回答と一般用アンケート回答では「ヘルパーや施設職員」「その他ボランティア」以外で違いが出ました。ここで問5「現在一緒に暮らしている人はどなたですか」の各回答結果と比較してみると、当該設問で違いの見られた「ヘルパーや施設職員」「その他ボランティア」以外は同様な回答割合となっています。特に介助者が「ヘルパーや施設職員」と回答した人は利用者アンケートと一般用アンケートとの差は見られません。また福祉サービス利用者の主な介助者の多くが「父母祖父母兄弟」であることから、多くの人が将来の介助に何らかの不安を感じられているのではないかと考えられます。

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

制度類型区分年齢と問8介助者性別とアンケート類型のクロス表

度数

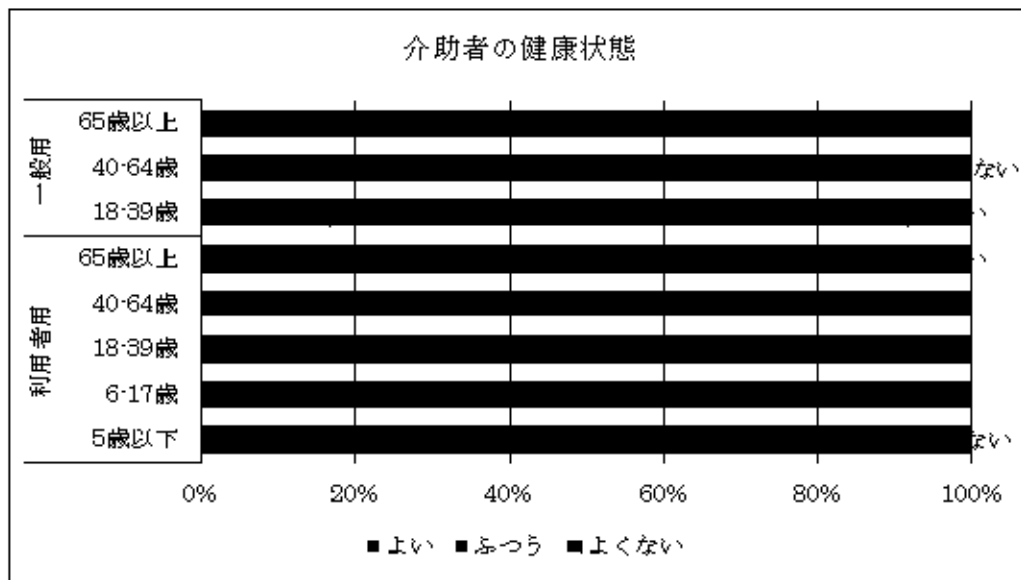
アンケート類型			問8介助者性別		合計
			男性	女性	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	3	44	47
		6-17歳	1	37	38
		18-39歳	3	37	40
		40-64歳	11	29	40
		65歳以上	3	9	12
	合計		21	156	177
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	1	11	12
		40-64歳	12	14	26
		65歳以上	49	73	122
合計		62	98	160	
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	3	44	47
		6-17歳	1	37	38
		18-39歳	4	48	52
		40-64歳	23	43	66
		65歳以上	52	82	134
	合計		83	254	337



制度類型区分年齢と問8介助者健康状態とアンケート類型のクロス表

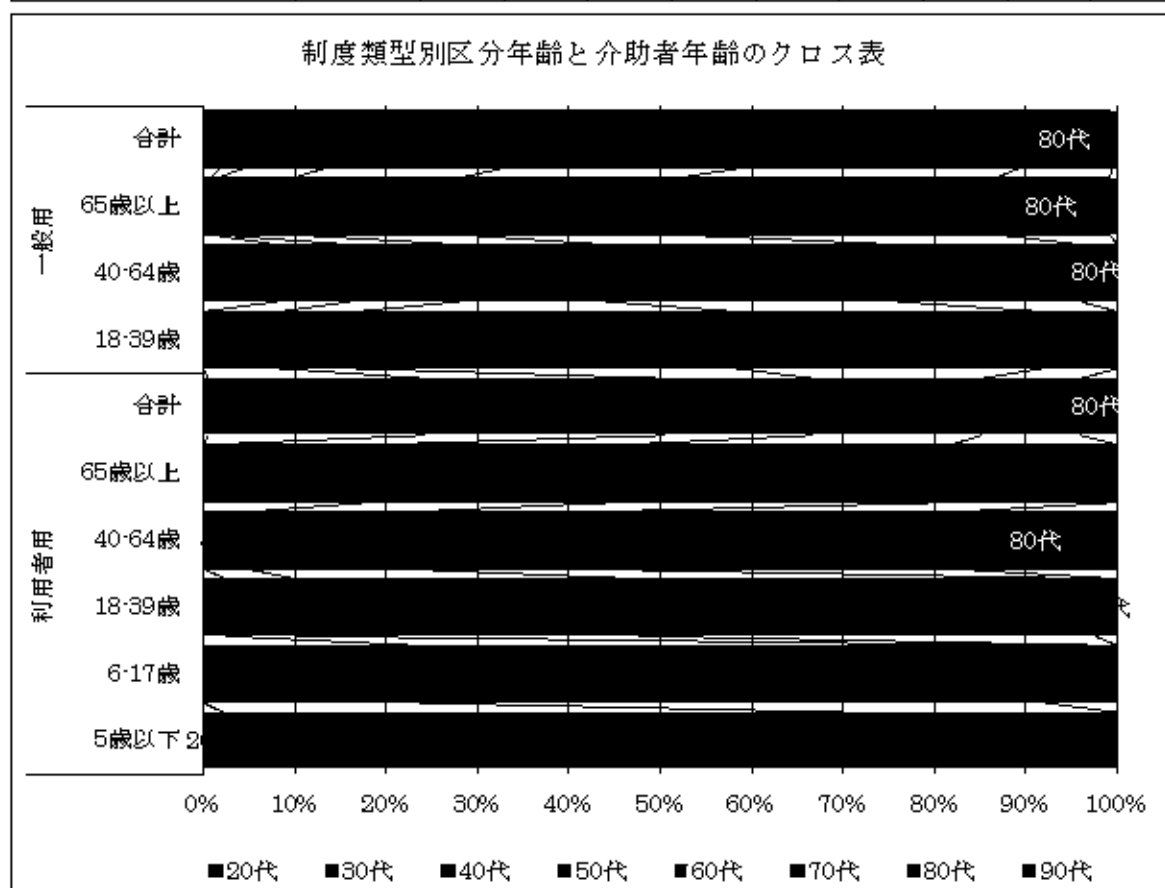
度数

アンケート類型			問8介助者健康状態			合計
			よい	ふつう	よくない	
利用者用	制度類型区分年齢	5歳以下	27	19	1	47
		6-17歳	17	15	6	38
		18-39歳	7	26	7	40
		40-64歳	6	25	9	40
		65歳以上	2	9	1	12
	合計	59	94	24	177	
一般用	制度類型区分年齢	18-39歳	2	9	1	12
		40-64歳	13	13	0	26
		65歳以上	32	64	26	122
	合計	47	86	27	160	
合計	制度類型区分年齢	5歳以下	27	19	1	47
		6-17歳	17	15	6	38
		18-39歳	9	35	8	52
		40-64歳	19	38	9	66
		65歳以上	34	73	27	134
	合計	106	180	51	337	



利用者アンケート「18-39歳」「40-64歳」の介助者約2割の方が「健康状態がよくない」と回答しています。一般用アンケートの「18-39歳」「40-64歳」の「健康状態がよくない」との回答割合に比べ利用者アンケートの回答割合が高くなっています。

アンケート類型	制度類型区分年齢	問8 介助者年齢区分								合計
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	
利用者用	5歳以下	1	31	13	0	0	0	0	0	45
	6-17歳	0	9	26	3	0	0	0	0	38
	18-39歳	0	1	3	15	20	1	0	0	40
	40-64歳	0	0	2	7	8	16	7	0	40
	65歳以上	0	0	2	3	4	2	0	0	11
	合計	1	41	46	28	32	19	7	0	174
一般用	18-39歳	0	1	1	5	4	1	0	0	12
	40-64歳	2	2	3	4	8	5	1	0	25
	65歳以上	1	1	10	22	29	42	15	1	121
	合計	3	4	14	31	41	48	16	1	158
合計	5歳以下	1	31	13	0	0	0	0	0	45
	6-17歳	0	9	26	3	0	0	0	0	38
	18-39歳	0	2	4	20	24	2	0	0	52
	40-64歳	2	2	5	11	16	21	8	0	65
	65歳以上	1	1	12	25	33	44	15	1	132
	合計	4	45	60	59	73	67	23	1	332



制度類型別区分年齢と介助者年齢のクロス集計からは、「5歳以下」や「6-17歳」の子育ての親子関係から一般用アンケートと利用者用アンケートに大きな違いはありません。しかし利用者アンケート「18-39歳」の介助者年齢一般用アンケートのそれと比べ60代が際立って高くなっています。

報告2 あなたの障害の状況について

問9 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

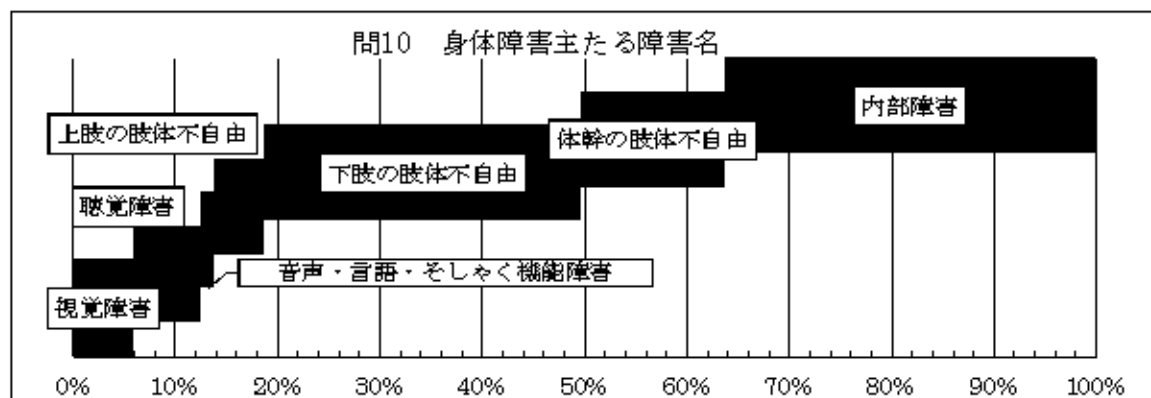
問9身体手帳等級とアンケート類型のクロス表

度数		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
問9身体手帳等級	身体1級	26	106	132
	身体2級	24	55	79
	身体3級	14	88	102
	身体4級	4	92	96
	身体5級	3	22	25
	身体6級	2	19	21
	持っていない	149	459	608
合計		222	841	1063

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(○は1つだけ)

問10身体主たる障害とアンケート類型のクロス表

度数		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
問10身体主たる障害	視覚障害	7	16	23
	聴覚障害	4	21	25
	音声・言語・そしゃく機能障害	0	5	5
	上肢の肢体不自由	4	15	19
	下肢の肢体不自由	15	103	118
	体幹の肢体不自由	18	36	54
	内部障害	6	133	139
	合計	54	329	383



一般用アンケートでは主たる身体障害は「内部障害」が最も多く、ついで下肢障害という結果でした。

問 11 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

11療育手帳等級とアンケート類型のクロス表

度数

		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
11療育手帳等級	A判定	57	8	65
	B判定	23	5	28
	C判定	22	8	30
	持っていない	111	765	876
合計		213	786	999

一般用アンケートから障害福祉サービスを利用されていない「知的障害 A.B.C 判定」の人が約 2.7%の割合でいることが分かりました。

問 12 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

12精神手帳等級とアンケート類型のクロス表

度数

		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
12精神手帳等級	1級	7	12	19
	2級	23	22	45
	3級	12	14	26
	持っていない	157	656	813
合計		199	704	903

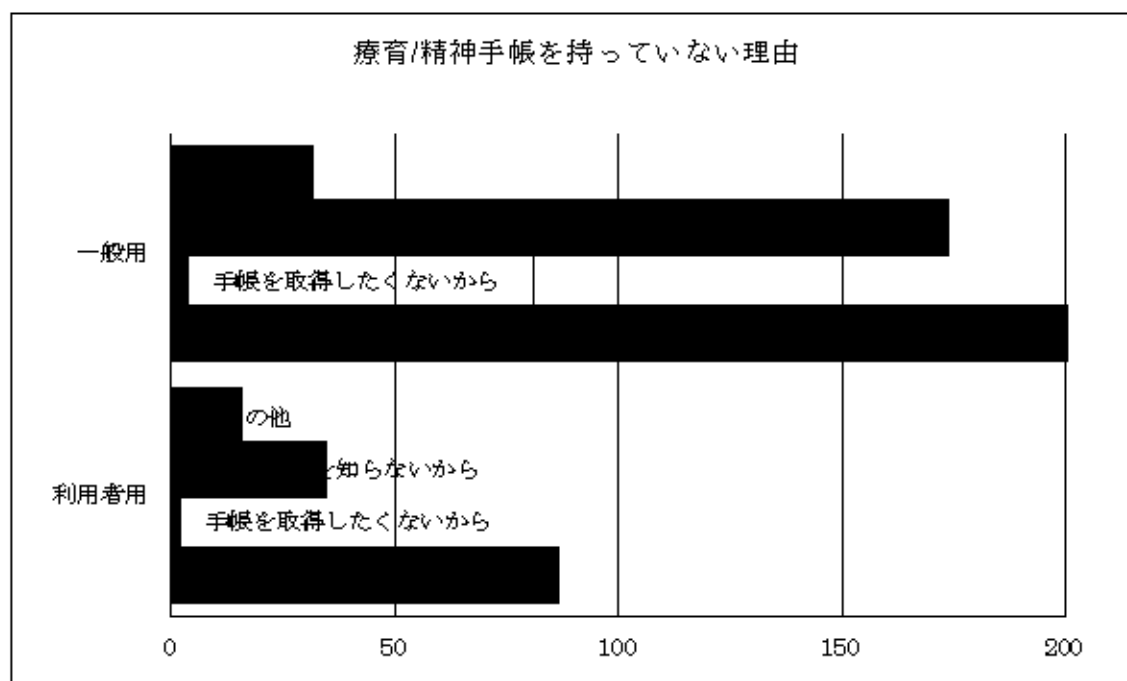
一般用アンケートから障害福祉サービスを利用されていない「精神障害 1.2.3 級」の人が約 6.8%の割合でいることが分かりました。

問 13 手帳を持っていない場合、その理由は次のどれですか。(○は1つだけ)

13療育精神手帳持っていない理由とアンケート類型のクロス表

度数		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
13療育精神手帳持っていない理由	取得要件に該当しない	87	489	576
	手帳を取得したくないから	2	4	6
	制度を知らないから	35	174	209
	その他	16	32	48
合計		140	699	839

手帳の「制度を知らないから」と回答した人は利用者アンケートと一般用アンケート共に約25%に上ることが明らかとなりました。



【注意】 グラフ：一般用アンケート「取得要件に該当しない」の数値が紙面上の都合上200で切れていますが、実数は489ケースです。

問 14 あなたは、難病等の診断を受けていますか。(○は1つだけ)

14難病等診断とアンケート類型のクロス表

度数

	アンケート類型		合計
	利用者用	一般用	
14難病等診断 受けている	23	61	84
受けていない	207	770	977
合計	230	831	1061

一般用アンケートから障害福祉サービスを利用されていない「難病等診断を受けている」人が約7.3%の割合でいることが分かりました。

問 15 あなたは、発達障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

15発達障害診断とアンケート類型のクロス表

度数

	アンケート類型		合計
	利用者用	一般用	
15発達障害診断 受けている	97	9	106
受けていない	127	821	948
合計	224	830	1054

一般用アンケートから障害福祉サービスを利用されていない「発達障害の診断を受けている」人が約1.1%の割合でいることが分かりました。

問 16 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

16高次脳機能障害診断とアンケート類型のクロス表

		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
16高次脳機能障害診断	受けている	8	35	43
	受けていない	220	793	1013
合計		228	828	1056

一般用アンケートから障害福祉サービスを利用されていない「高次脳機能障害の診断を受けている」人が約4.2%の割合でいることが分かりました。

問 17 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

S問17医療的ケアアンケート対象類型クロス表

			アンケート類型		合計
			利用者用	一般用	
問17医療的ケア	17-2気管切開	度数	1	1	2
	17-3人工呼吸器レスビレーター	度数	0	2	2
	17-4吸入	度数	1	6	7
	17-5吸引	度数	4	9	13
	17-6胃ろう腸ろう	度数	3	9	12
	17-7鼻腔経管栄養	度数	2	5	7
	17-8中心静脈栄養 I V H	度数	0	5	5
	17-9透析	度数	0	28	28
	17-10カテーテル留置	度数	2	12	14
	17-11ストマ人工肛門人工膀胱	度数	3	17	20
	17-12服薬管理	度数	45	109	154
	17-13その他	度数	21	68	89
	合計		度数	70	232

パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。

【一般用アンケート単独設問】

問 21 親族やご近所の人など、あなたの近くに障害のある人がいますか。(○は1つだけ)

障害のある人の有無

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いる	240	18.1	29.7	29.7
	いない	569	42.9	70.3	100.0
	合計	809	61.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	517	39.0		
合計		1326	100.0		

【問 21 で「1 いる」を選択された方にお聞きします。】

問 22 あなたは、近くにいる障害のある人に対して、次の中でどの様な配慮を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

一般問22近くにいる障害者への配慮一般問21近くに障害のある人の有無 クロス表

		障害のある人の有無		合計
		いる		
一般問22近くにいる障害者への配慮	1一緒に外出	度数	28	28
	2代読	度数	17	17
	3手話や筆記	度数	9	9
	4食事の手伝	度数	26	26
	5話を聞く	度数	82	82
	6バリアフリー	度数	34	34
	7車の送迎	度数	43	43
	8移動の際に手を差し伸べる	度数	54	54
	9障害のある人が働く事業所や会社の製品等を購入	度数	20	20
	10金銭などの管理	度数	24	24
	11その他	度数	24	24
	12していない	度数	88	88
合計	度数	228	228	

【表：障害のある人と年齢区分回答者】

年齢区分	身体障害のある人の回答者				区分	知的障害のある人の回答者				区分	精神障害のある人の回答者				難病種のある人の回答者				発達障害のある人の回答者				高齢者健忘のある人の回答者				
	本人	家族	介護者	合計		本人	家族	介護者	合計		本人	家族	介護者	合計	本人	家族	介護者	合計	本人	家族	介護者	合計	本人	家族	介護者	合計	
身体1級				0	A判定				0	1級				0				0				0				0	
身体2級		5		5	B判定		7		7	2級				0				0				0				0	
身体3級		2		2	C判定		9		9	3級		1	3	4				0				0				0	
身体4級				0	合 計	0	25	1	26	合 計		1	3	4				0				0				0	
身体5級				0																							
身体6級				0																							
合 計	0	7	0	7																							
身体1級		4		4	A判定		9		9	1級				0		1	0	1	3	14	0	17	0	0	0	0	
身体2級				0	B判定		4		4	2級		1		1													
身体3級		1		1	C判定		3	2	5	3級				0													
身体4級		1		1	合 計	3	15	0	18	合 計		1	0	1													
身体5級				0																							
身体6級		0	6	6																							
合 計	0	6	0	6																							
身体1級		4		4	A判定		1	5	6	1級		1	1	2				0	3	10	0	13	1	0	0	1	
身体2級		1		1	B判定			4	4	2級		1	3	4													
身体3級		2		2	C判定		3	4	7	3級		3	1	4													
身体4級		1		1	合 計	4	13	0	17	合 計		5	5	10													
身体5級				0																							
身体6級				0																							
合 計	1	7	0	8																							
身体1級	1	4		5	A判定			9	9	1級				3		3	2	5	4	6	0	10	0	1	0	1	
身体2級		1		1	B判定		1	3	4	2級		4	3	7													
身体3級		2		2	C判定			3	3	3級		4	1	5													
身体4級		1		1	合 計	1	15	0	16	合 計		10	5	15													
身体5級		1		1																							
身体6級		2		2																							
合 計	7	7	0	14																							
身体1級	8	3		11	A判定		1	11	12	1級			1	1	6	4	1	11	4	6	1	11	4	3	0	7	
身体2級	8	3	1	12	B判定		1	6	7	2級		10	3	13													
身体3級	8	1		9	C判定				0	3級		0		0													
身体4級	3	1		4	合 計	2	17	1	20	合 計		10	4	14													
身体5級	1	1		2																							
身体6級	1	1		2																							
合 計	29	10	1	40																							
身体1級	6	2		8	A判定			5	5	1級				0	2	5	0	7	0	1	0	1	0	2	0	2	
身体2級	4	4		8	B判定					2級		10	2	12													
身体3級	9	2		11	C判定		1		1	3級		3		3													
身体4級	6			6	合 計	1	5	0	6	合 計		13	2	15													
身体5級	2			2																							
身体6級	2			2																							
合 計	29	8	0	37																							
身体1級	16	7		23	A判定		1	1	2	1級		1	4	5	12	3	1	16	0	0	0	0	1	8	1	10	
身体2級	7	2		9	B判定				1	1	2級		1	2	3												
身体3級	13	4		17	C判定				0	3級		2		2													
身体4級	17	2		19	合 計	1	1	1	3	合 計		4	6	10													
身体5級	3	1		4																							
身体6級	4			4																							
合 計	60	16	0	76																							
身体1級	24	9		33	A判定		1	2	3	1級		2	2	4	17	6	0	23	0	0	0	0	1	10	0	11	
身体2級	9	10		19	B判定				0	2級			1	1													
身体3級	17	5		22	C判定			1	1	3級			2	2													
身体4級	30	3	1	34	合 計	1	3	0	4	合 計		2	5	7													
身体5級	6	1		7																							
身体6級	3	1		4																							
合 計	89	29	1	119																							
身体1級	12	13	1	26	A判定			2	2	1級			3	3	7	4	1	12	0	0	0	0	1	6	1	8	
身体2級	4	6	1	11	B判定					2級				0													
身体3級	17	6		23	C判定					3級		2	1	3													
身体4級	12	5		17	合 計	0	2	0	2	合 計		2	4	6													
身体5級	3	1		4																							
身体6級	2	1		3																							
合 計	50	32	2	84																							
身体1級	2	2		4	A判定					1級					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
身体2級		6		6	B判定					2級																	
身体3級	1	3		4	C判定					3級																	
身体4級	1	1		2	合 計	0	0	0	0	合 計	0	0	0	0													
身体5級		2		2																							
身体6級		2		2																							
合 計	3	16	0	19																							
身体1級	89	48	1	138	A判定		4	53	57	1級		6	12	18	47	28	3	78	15	81	1	97	8	30	2	40	
身体2級	33	37	2	72	B判定		2	24	26	2級		27	14	41													
身体3級	67	28	0	95	C判定		7	19	26	3級		15	8	23													
身体4級	89	14	1	104	合 計	13	96	3	112	合 計		48	34	82													
身体5級	16	6	0	22																							
身体6級	14	5	0	19																							
合 計	268	138	4	410																							

問 18 あなたは、介護保険の要介護・要支援の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

18介護保険認定とアンケート類型のクロス表

度数

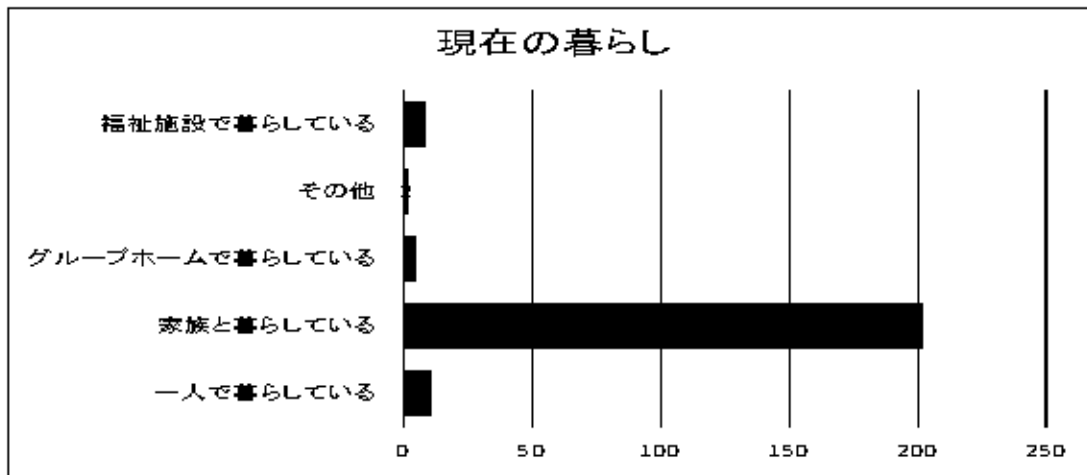
		アンケート類型		合計
		利用者用	一般用	
18介護保険認定	受けている	32	147	179
	受けていない	194	691	885
合計		226	838	1064

障害福祉サービスを利用している人で、あわせて介護保険認定を受けている人は利用者アンケート回答者の約 14%いることが分かりました。そのうち高次脳機能障害の診断を受けている人で70%と最も高く、つぎに身体障害者手帳2級の56%という結果でした。

		介護認定取得率			
		介護保険認定		合計	認定率
		受けている	受けていない		
身体手帳等級	身体1級	53	75	128	41%
	身体2級	44	35	79	56%
	身体3級	29	72	101	29%
	身体4級	18	72	90	20%
	身体5級	9	16	25	36%
	身体6級	3	17	20	15%
	計	156	287	443	35%
療育手帳等級	A判定	10	51	61	16%
	B判定	1	25	26	4%
	C判定	1	27	28	4%
	計	12	103	115	10%
精神手帳等級	1級	7	12	19	37%
	2級	5	40	45	11%
	3級	4	22	26	15%
	計	16	74	90	18%
難病等診断	受けてい	35	49	84	42%
発達障害診断	受けている	6	97	103	6%
高次脳機能障害診断	受けている	30	13	43	70%

報告3 住まいや暮らしについて

問19 あなたは、現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

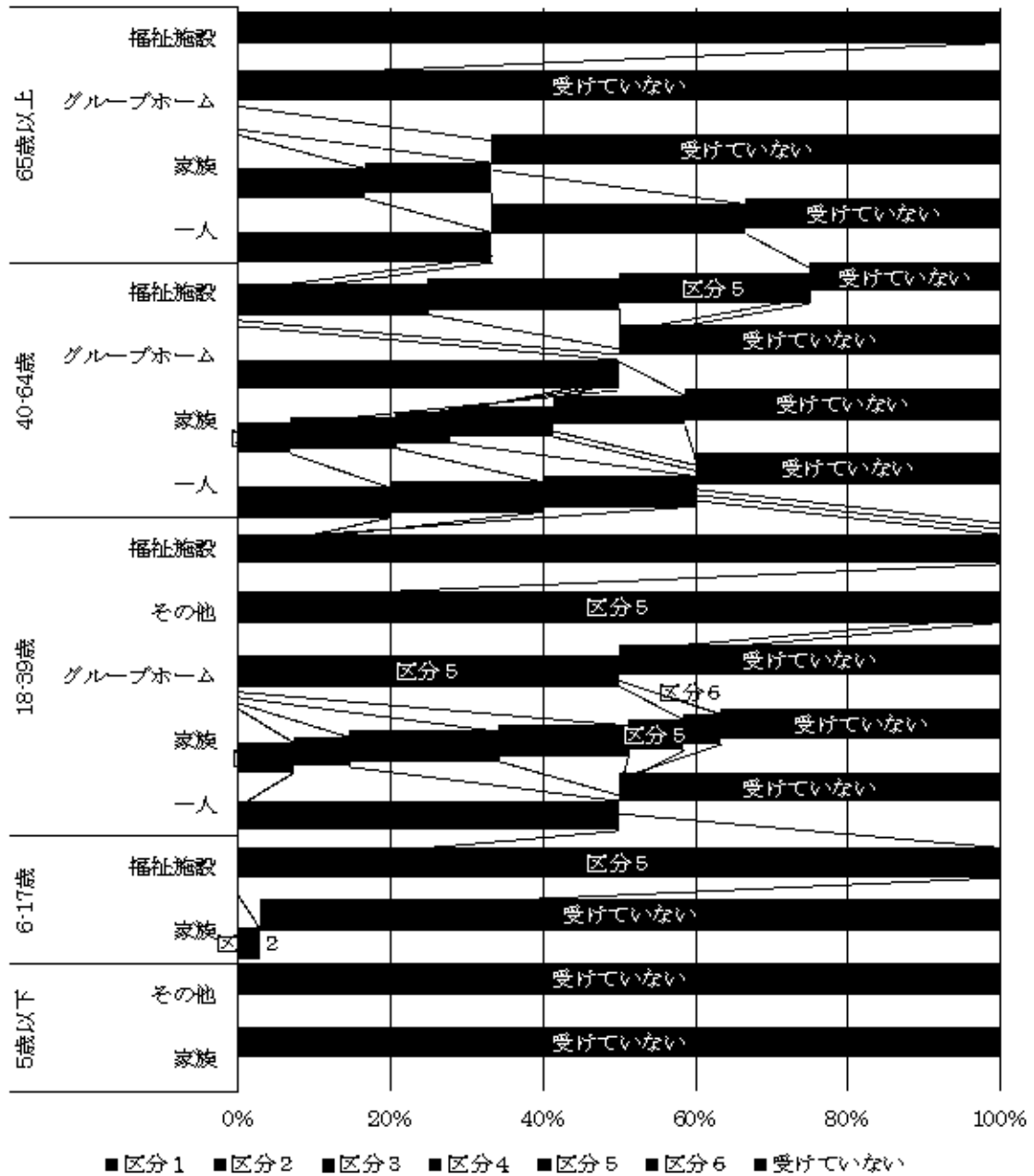


家族と暮らしていると回答された人が圧倒的に高くなっています。

19現在の暮らしと32障害支援区分の関連と制度類型区分年齢のクロス表

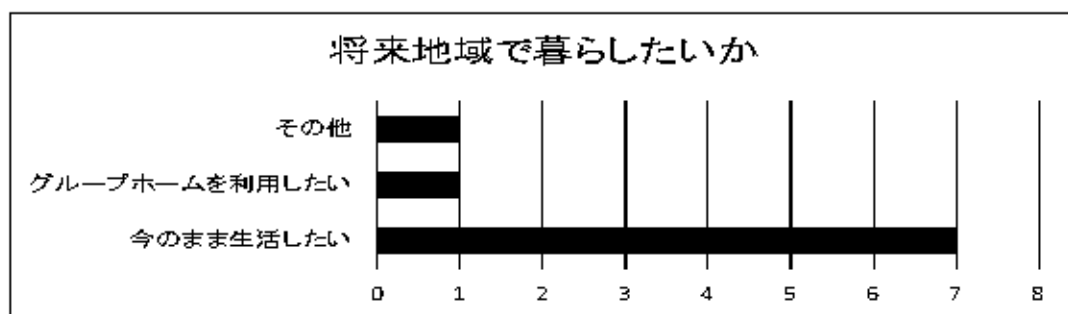
性別		32障害支援区分の状況							合計	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない		
5歳以下	19現在の暮らし								47	47
	家族と暮らしている								47	47
	その他								1	1
合計									48	48
6-7歳	19現在の暮らし		1				0		34	35
	家族と暮らしている								0	1
	福祉施設で暮らしている		0				1		0	1
合計			1				1		34	36
14-19歳	19現在の暮らし									2
	一人で暮らしている	0	1	0	1	0	3		1	2
	家族と暮らしている	3	1	8	7	8	7		16	41
	グループホームで暮らしている	0	0	0	0	1	3		1	2
	その他	0	0	0	0	1	3		0	1
	福祉施設で暮らしている	0	0	0	1	0	0		0	1
	合計	3	2	8	8	2	2		17	47
20-24歳	19現在の暮らし									5
	一人で暮らしている	1	1	1	1	0	3		2	5
	家族と暮らしている	2	1	2	1	0	5		12	23
	グループホームで暮らしている	1	0	0	0	0	0		1	2
	福祉施設で暮らしている	0	0	1	1	1	0		1	4
合計	4	2	4	3	1	5		11	40	
25歳以上	19現在の暮らし									3
	一人で暮らしている	1	0						1	3
	家族と暮らしている	1	1				3		4	5
	グループホームで暮らしている	0	0				3		1	1
	福祉施設で暮らしている	0	0				1		0	1
合計	2	1				2		6	11	
合計	19現在の暮らし									73
	一人で暮らしている	2	2	1	3	0	1		4	13
	家族と暮らしている	8	3	10	11	8	7		112	159
	グループホームで暮らしている	1	0	0	0	1	3		5	5
	その他	0	0	0	0	1	3		1	2
	福祉施設で暮らしている	0	0	1	2	2	1		1	7
	合計	11	5	12	13	12	11		124	187

現在の暮らしと障害支援区分と制度類型別区分年齢のクロス表



障害支援区分と制度類型別区分年齢のクロス表から、「18-39歳」福祉施設利用が障害支援区分4で、一方グループホーム利用の約5割が障害支援区分5となっています。この結果は一見、「福祉施設」よりグループホームを利用している人の障害支援区分認定が高くなっているように見えますが、これは「福祉施設利用」の回答が9名と母数が少なく、さらに「18-39歳」の回答が1名(100%)と限定されている結果です。

問 20 【問 19 で「5. 又は 6.」を選択された方にお聞きします。】あなたは、将来、地域で生活したいと思いますか。(○は 1 つだけ)



20 将来生活 と 32 障害支援区分の認定 と 制度類型区分年齢のクロス表

制度類型区分年齢			32 障害支援区分の認定					合計
			区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	受けていない	
6-7 歳	20 将来生活	今のまま生活したい			1			1
	合計			1				1
18-39 歳	20 将来生活	今のまま生活したい		1				1
	合計		1					1
40-64 歳	20 将来生活	今のまま生活したい	0	0	1		1	2
		グループホームを利用したい	1	0	0		0	1
		その他	0	1	0		0	1
	合計		1	1	1		1	4
65 歳以上	20 将来生活	今のまま生活したい				1		1
	合計				1			1
合計	20 将来生活	今のまま生活したい	0	1	2	1	1	5
		グループホームを利用したい	1	0	0	0	0	1
		その他	0	1	0	0	0	1
	合計		1	2	2	1	1	7

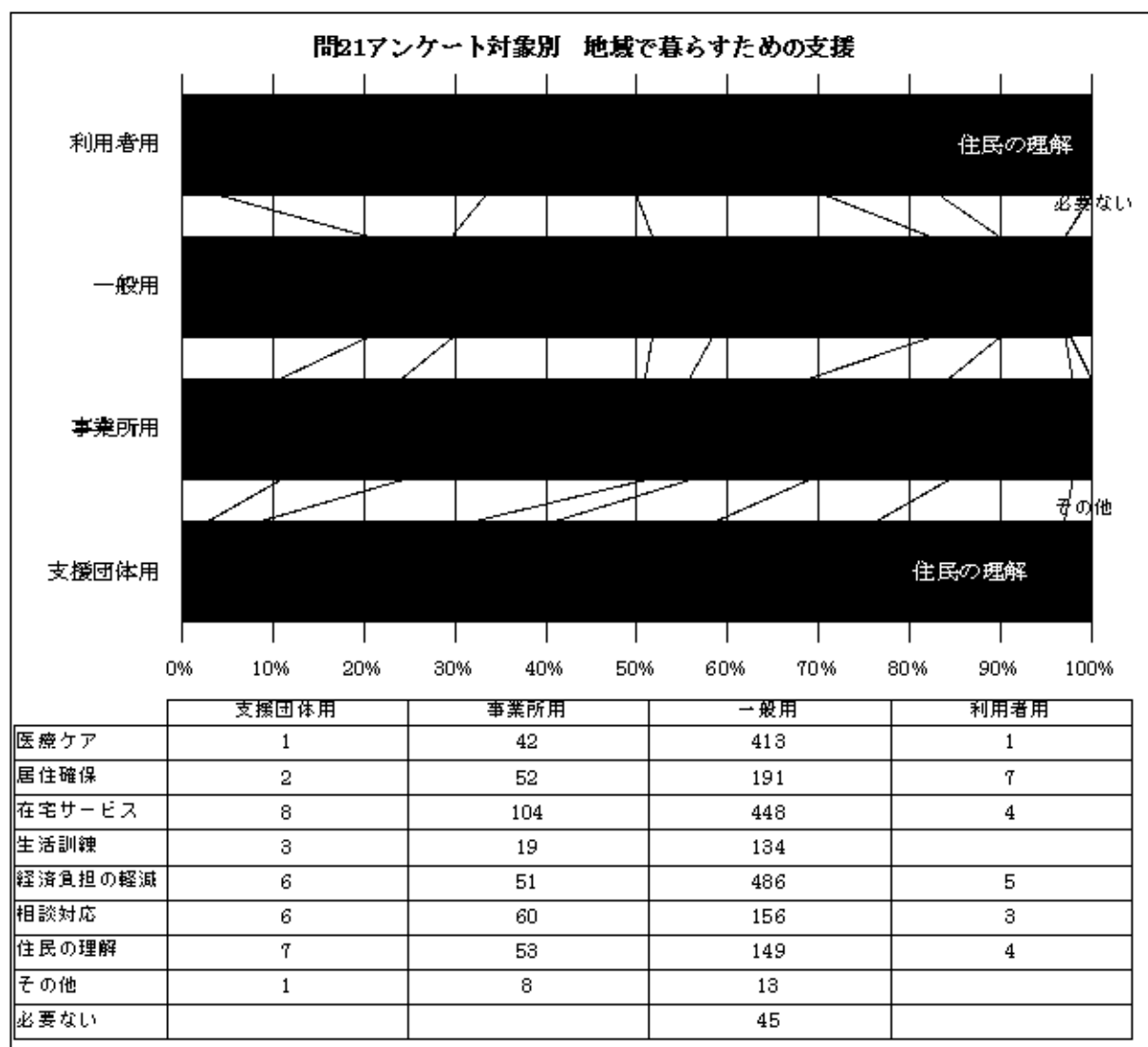
福祉施設で暮らしている人の多くが「今のまま生活したい」という結果でした。年齢による差はありません。しかしながら、回答者を見ると本人の回答はありませんでした。

問 1 回答者と 20 将来生活 のクロス表

		20 将来生活			合計
		今のまま生活したい	グループホームを利用したい	その他	
問 1 回答者	ご家族	4	1	1	6
	家族以外の介護者	2	0	0	2
合計		6	1	1	8

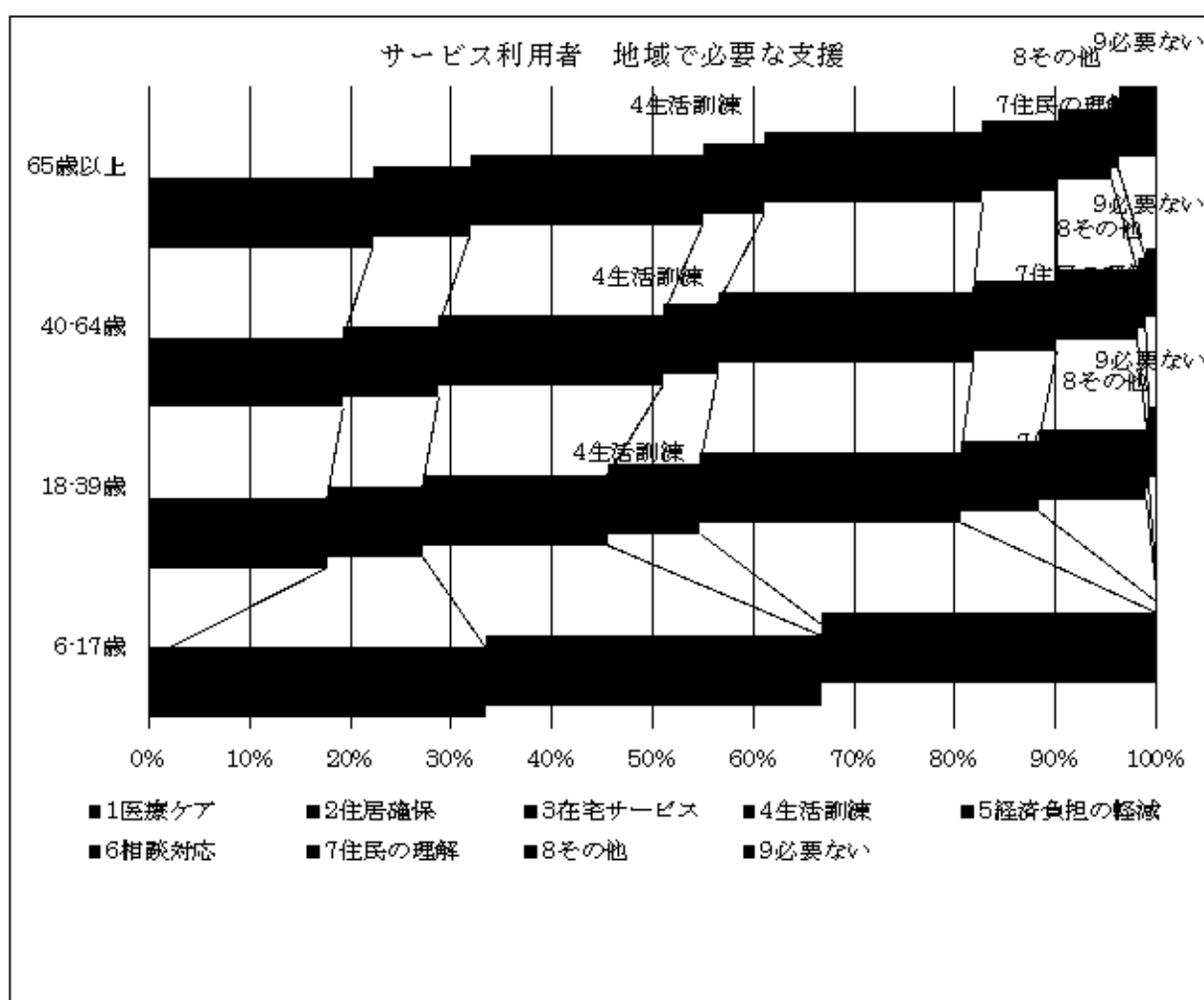
問 21 【問 19 で「5. 又は6.」を選択された方にお聞きします。】（一般用問 19/事業所用問 4/支援団体用問 6）地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。（○は3つまで）

（利用者用・一般用・事業所用・支援団体用アンケート結果をあわせて表記します）



利用者用・一般用・事業所用・支援団体用アンケート結果をあわせてみると、アンケートの対象別によって地域で暮らすための必要な支援の回答に違いのある事が伺えます。

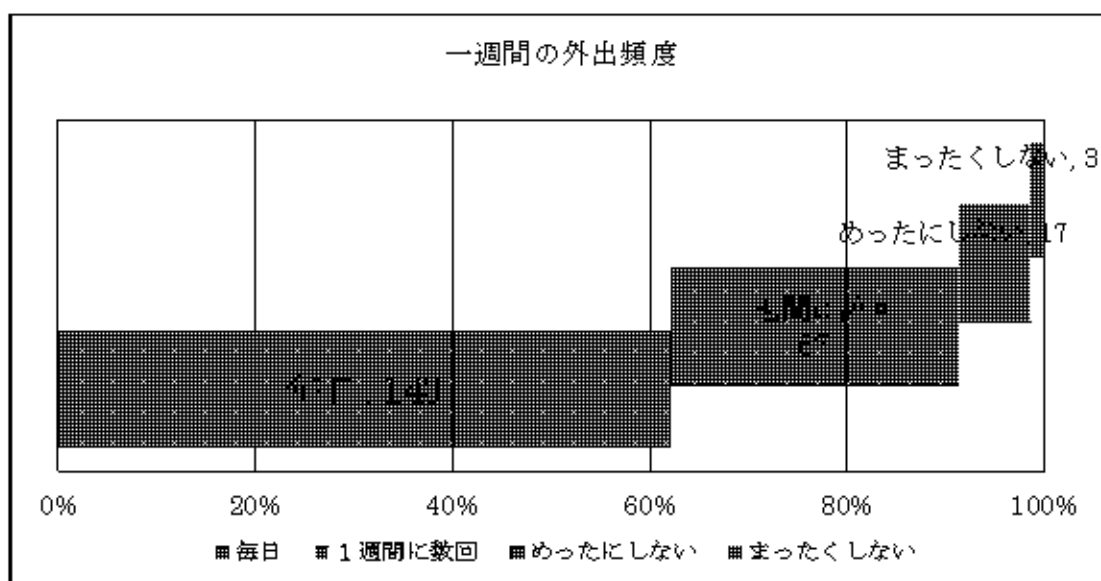
同21地域で必要な支援制度類型区分年齢 クロス表						
		制度類型区分年齢				合計
		6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上	
同21地域で必要な支援	1医療ケア	0	71	142	198	411
	2住居確保	1	38	70	86	195
	3在宅サービス	1	74	164	206	445
	4生活訓練	0	37	40	55	132
	5経済負担の軽減	1	104	187	193	485
	6相談対応	0	31	61	66	158
	7住民の理解	0	43	59	48	150
	8その他	0	1	6	6	13
	9必要ない	0	3	8	34	45
合計		1	149	279	382	811



次に制度類型別区分年齢で見ると、「6-17歳」で他の区分と際立った別の特徴がありますが、これは回答者数が1名である事からの結果です。

問 22 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

		度数	有効パーセント
有効	毎日	143	62.2
	1週間に数回	67	29.1
	めったにしない	17	7.4
	まったくしない	3	1.3
	合計	230	100.0



6割を超える人が「毎日外出している」と回答しています。一方、「めったにしない」「まったくしない」と約1割の人が回答しています。

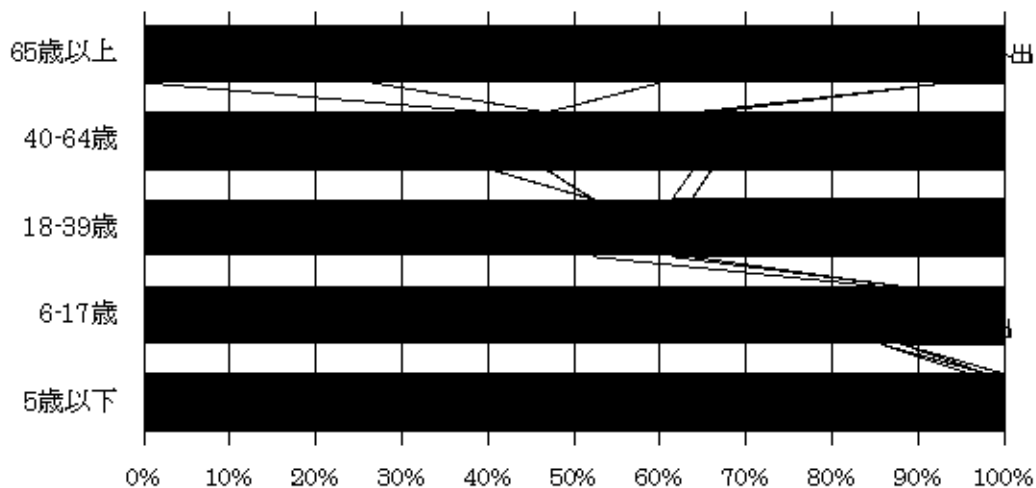
【問 22 で、4. 以外 を選択された方にお聞きします。】

問 23 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

23 外出する際の主な同伴者

		度数	有効パーセント
有効	父母祖父母兄弟	127	63.5
	配偶者	7	3.5
	子ども	6	3.0
	ホームヘルパーや施設の職員	19	9.5
	その他の人	3	1.5
	一人で外出	38	19.0
	合計	200	100.0

外出同伴者



	5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上
■父母祖父母兄弟	48	36	23	19	0
■配偶者	0	0	0	3	4
■子ども	1	0	0	0	5
■ヘルパーや職員	0	1	4	8	5
■その他の人	1	0	1	1	0
■一人で外出	0	5	16	16	1

制度類型別区分年齢が高くなるにつれ、外出同伴者が「父母祖父母兄弟」から「配偶者」「子ども」「ヘルパーや職員」の割合が高くなっています。

問 24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

問24多重回答外出目的 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント	
	N	パーセント		
問24多重回答外出目的	24-1通勤通学通所	163	23.5%	73.8%
	24-2訓練やリハビリ	67	9.6%	30.3%
	24-3医療機関への受診	121	17.4%	54.8%
	24-4買い物	129	18.6%	58.4%
	24-5友人知人に会う	43	6.2%	19.5%
	24-6趣味やスポーツ	45	6.5%	20.4%
	24-7グループ活動	26	3.7%	11.8%
	24-8散歩	86	12.4%	38.9%
	24-9その他	15	2.2%	6.8%
合計		695	100.0%	314.5%

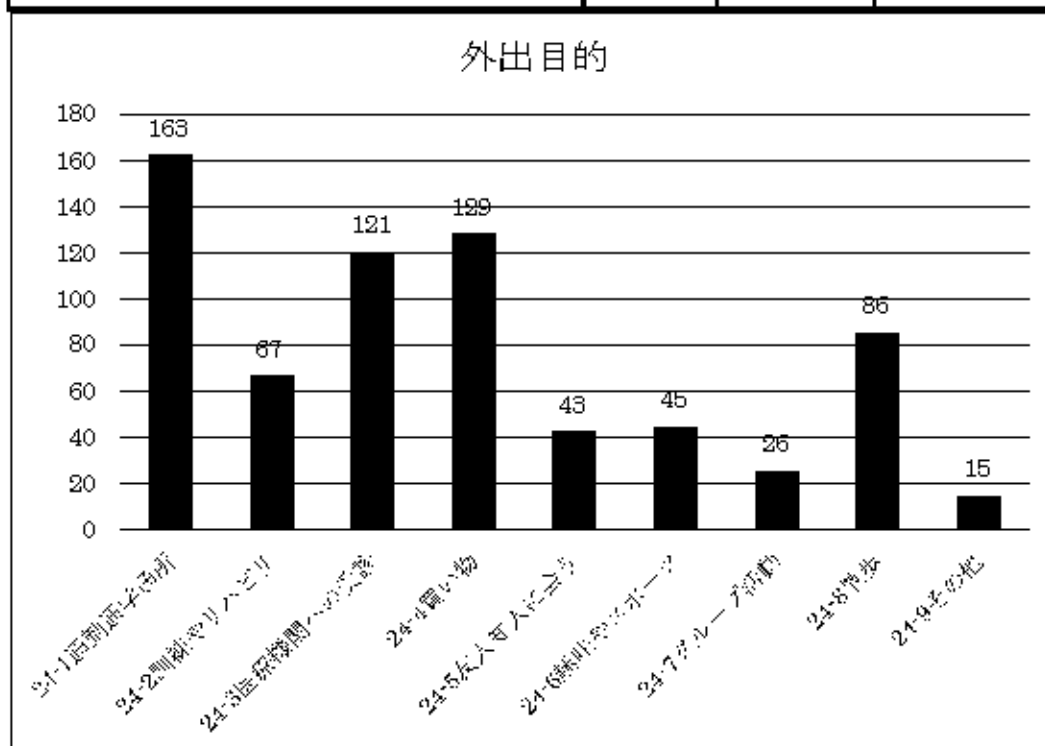
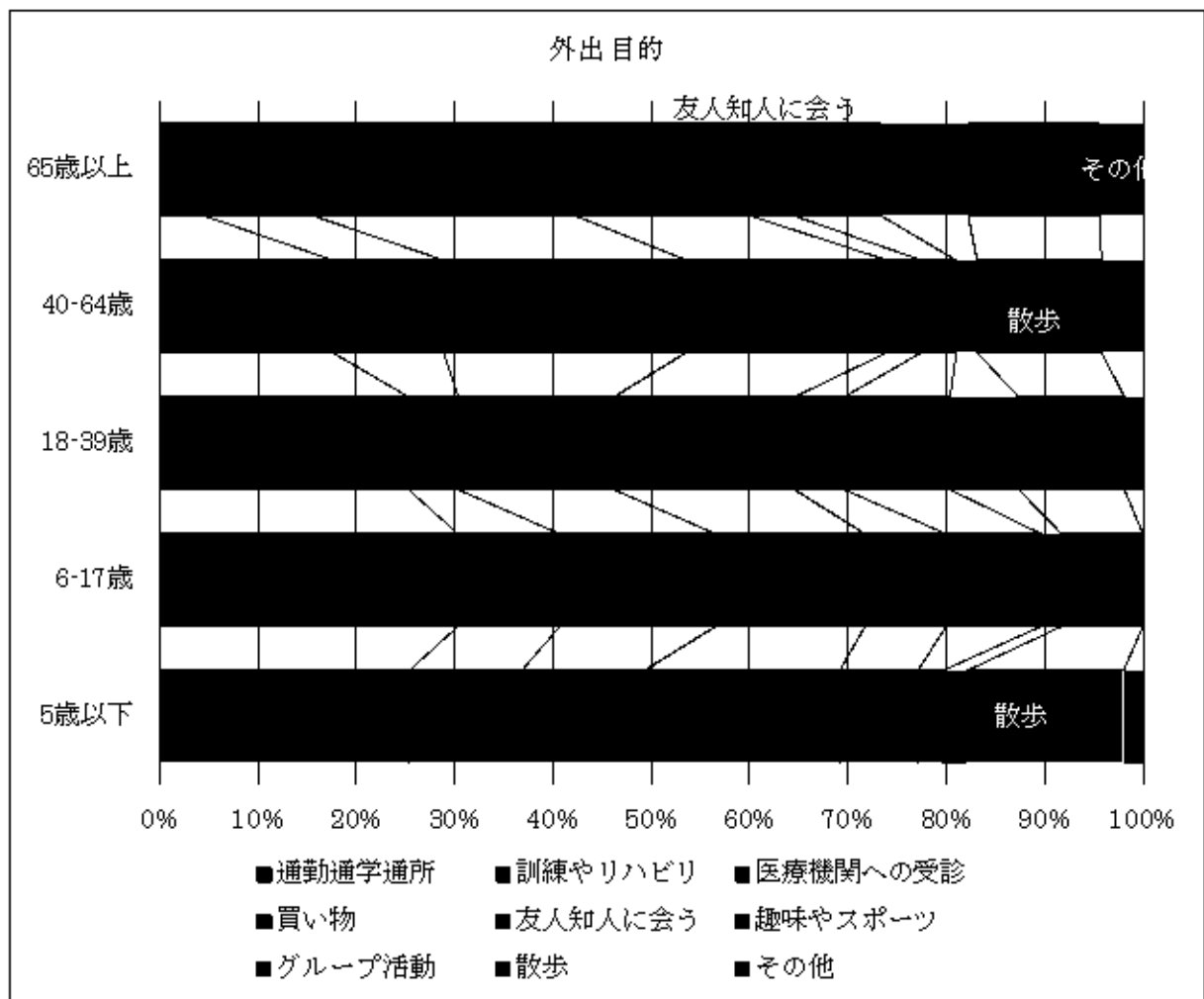


図24*制度類型区分年齢クロス表

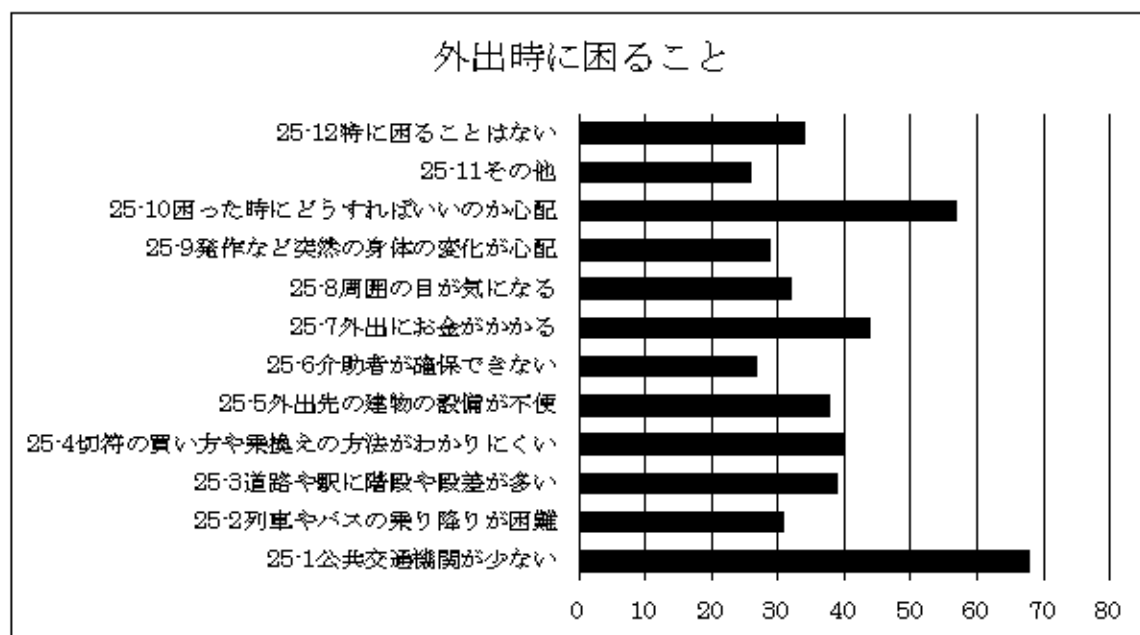
			制度類型区分年齢					合計
			5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上	
24問	24-1通勤通学通所	度数	51	44	40	25	2	162
	24-2訓練やりハビリ	度数	23	15	8	6	5	67
	24-3医療機関への受診	度数	25	23	25	35	12	120
	24-4買い物	度数	40	22	29	29	8	128
	24-5友人知人に会う	度数	15	12	6	5	2	43
	24-6趣味やスポーツ	度数	5	14	17	5	4	45
	24-7グループ活動	度数	5	3	11	3	4	26
	24-8散歩	度数	32	12	17	18	6	85
	24-9その他	度数	4	0	3	6	2	15
	合計	度数	56	45	48	53	17	219

パーセンテージと合計は回答者数を基に計算されます。



制度類型別区分年齢と外出目的のクロス集計ではライフサイクル以外による大きな差はみられません。

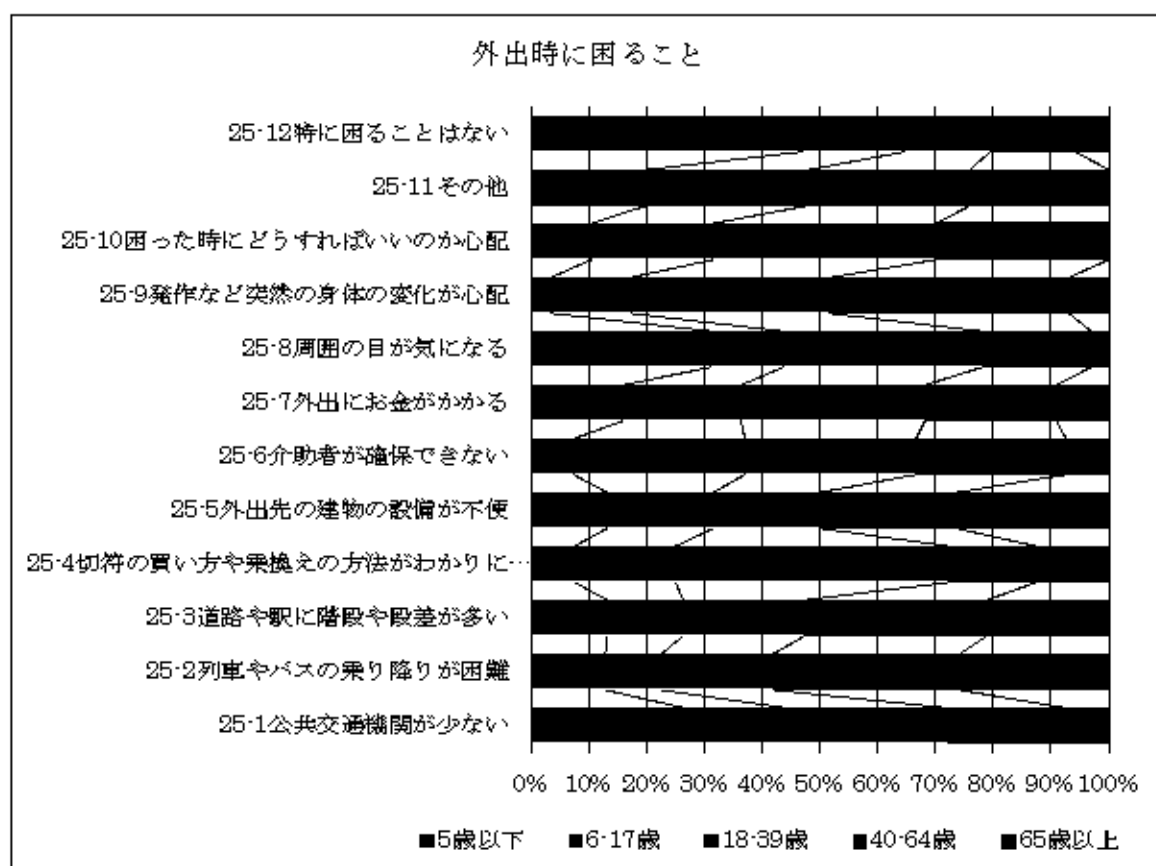
問 25 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



問25多重回答外出時に困ること 度数分布表

	応答数		ケースの%
	N	%	
25-1公共交通機関が少ない	68	14.6%	32.4%
25-2列車やバスの乗り降りが困難	31	6.7%	14.8%
25-3道路や駅に階段や段差が多い	39	8.4%	18.6%
25-4切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	40	8.6%	19.0%
25-5外出先の建物の設備が不便	38	8.2%	18.1%
25-6介助者が確保できない	27	5.8%	12.9%
25-7外出にお金がかかる	44	9.5%	21.0%
25-8周囲の目が気になる	32	6.9%	15.2%
25-9発作など突然の身体の変化が心配	29	6.2%	13.8%
25-10困った時にどうすればいいのかが心配	57	12.3%	27.1%
25-11その他	26	5.6%	12.4%
25-12特に困ることはない	34	7.3%	16.2%
合計	465	100.0%	221.4%

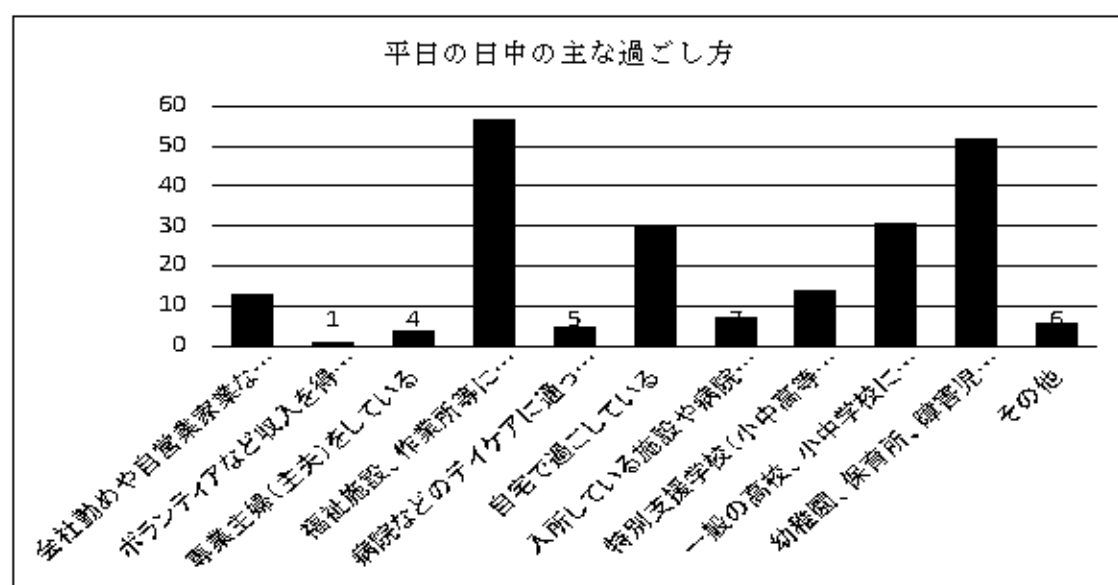
問25外出で困ること 制度類型区分年齢 クロス表								
		制度類型区分年齢					合計	
		5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上		
外出で困ること	25-1公共交通機関が少ない	展数	18	12	19	14	5	68
	25-2列車やバスの乗り降りが困難	展数	4	3	6	10	8	31
	25-3道路や駅に階段や段差が多い	展数	5	5	8	12	8	38
	25-4切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	展数	3	7	19	6	5	40
	25-5外出先の建物の設備が不便	展数	5	7	7	9	10	38
	25-6介助者が確保できない	展数	2	8	8	7	2	27
	25-7外出にお金がかかる	展数	7	9	14	10	4	44
	25-8周囲の目が気になる	展数	10	4	11	6	1	32
	25-9発作など突然の身体の変化が心配	展数	1	4	10	12	2	29
	25-10困った時にどうすればいいのかが心配	展数	6	12	22	17	0	57
	25-11その他	展数	5	7	7	6	0	25
	25-12特に困ることはない	展数	16	6	5	5	2	34
合計	展数	53	41	48	52	15	209	

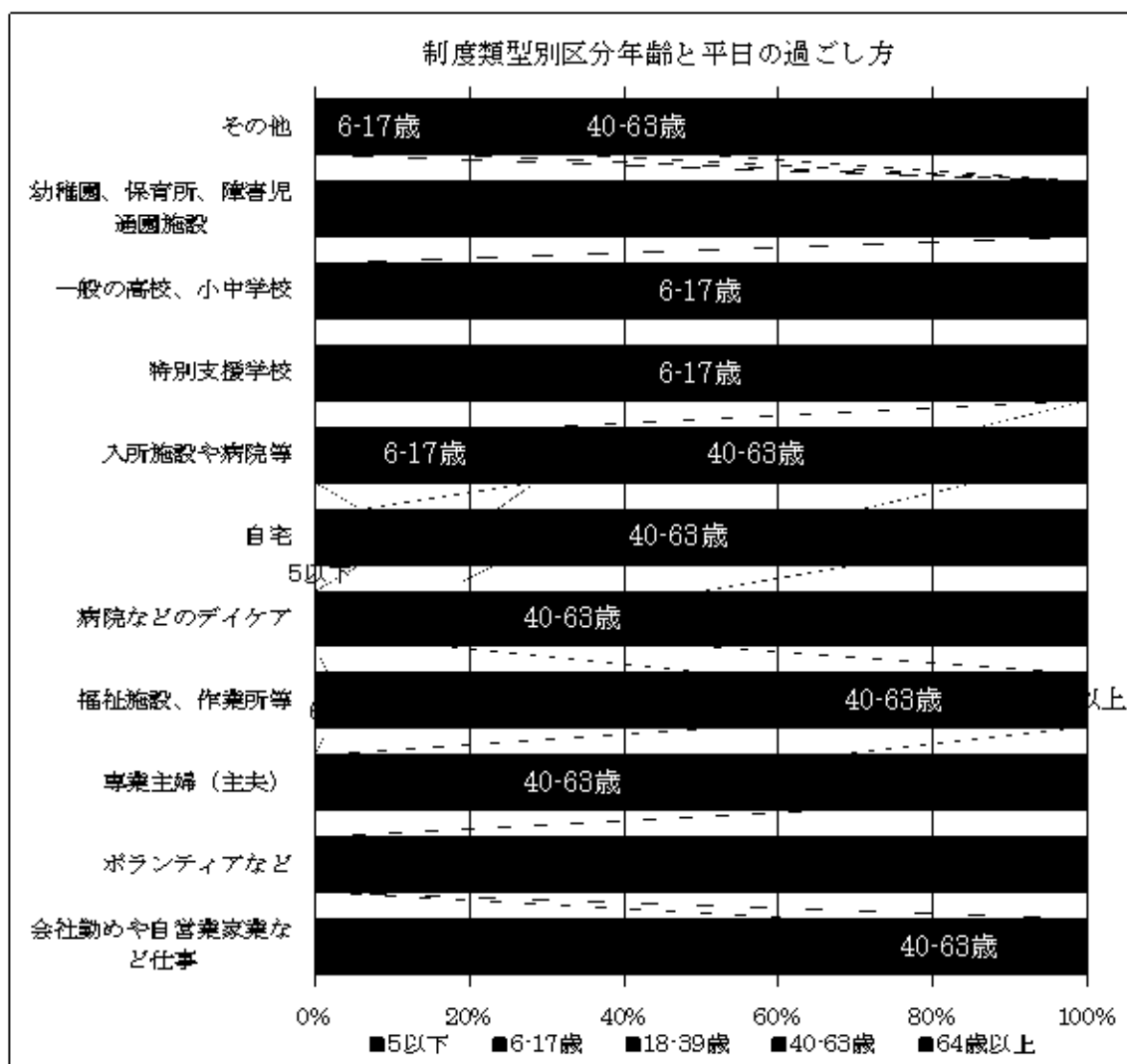


5歳以下で「周囲の目が気になる」との回答が高くなっています。障害への理解に対する何らかの不安が存在しているといえます。一方65歳以上の人では建物や設備のバリアフリーに関する回答が多く寄せられています。

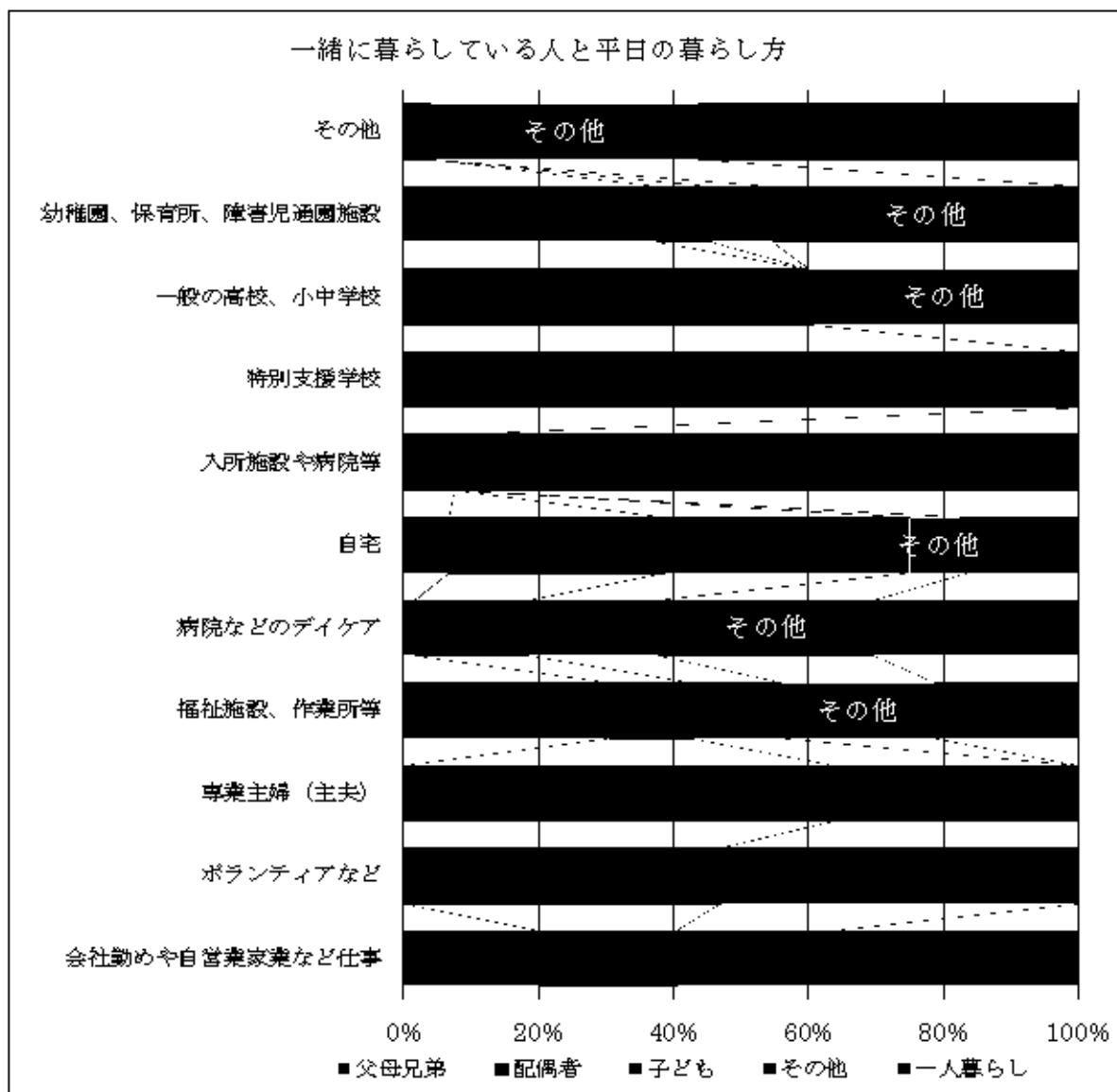
問 26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

26平日日中の過ごし方				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
会社勤めや自営業家業などで収入を得て仕事をしている	13	1.0	5.9	5.9
ボランティアなど収入を得ない活動をしている	1	0.1	0.5	6.4
専業主婦(主夫)をしている	4	0.3	1.8	8.2
福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	57	4.3	25.9	34.1
病院などのデイケアに通っている	5	0.4	2.3	36.4
自宅で過ごしている	30	2.3	13.6	50.0
入所している施設や病院等で過ごしている	7	0.5	3.2	53.2
特別支援学校(小中高等部)に通っている	14	1.1	6.4	59.5
一般の高校、小中学校に通っている	31	2.3	14.1	73.6
幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	52	3.9	23.6	97.3
その他	6	0.5	2.7	100.0
合計	220	16.6	100.0	





平日、「主に自宅で過ごしている」と回答した人は「18-39歳」「40-64歳」の人で6割を占めています。



	26平日中の過ごし方											合計
	会社勤めや自営業家業など仕事	ボランティアなど	専業主婦（主夫）	福祉施設、作業所等	病院などのデイケア	自宅	入所施設や病院等	特別支援学校	一般の高校、小中学校	幼稚園、保育所、障害児通園施設	その他	
父母兄弟	6%	0%	0%	30%	1%	9%	2%	8%	17%	28%	1%	100%
配偶者	6%	6%	24%	12%	6%	41%	0%	0%	0%	6%	0%	100%
子ども	7%	7%	13%	13%	7%	47%	0%	0%	0%	7%	0%	100%
その他	0%	0%	0%	22%	11%	11%	0%	0%	11%	33%	11%	100%
一人暮らし	11%	0%	0%	21%	11%	21%	21%	0%	0%	0%	16%	100%

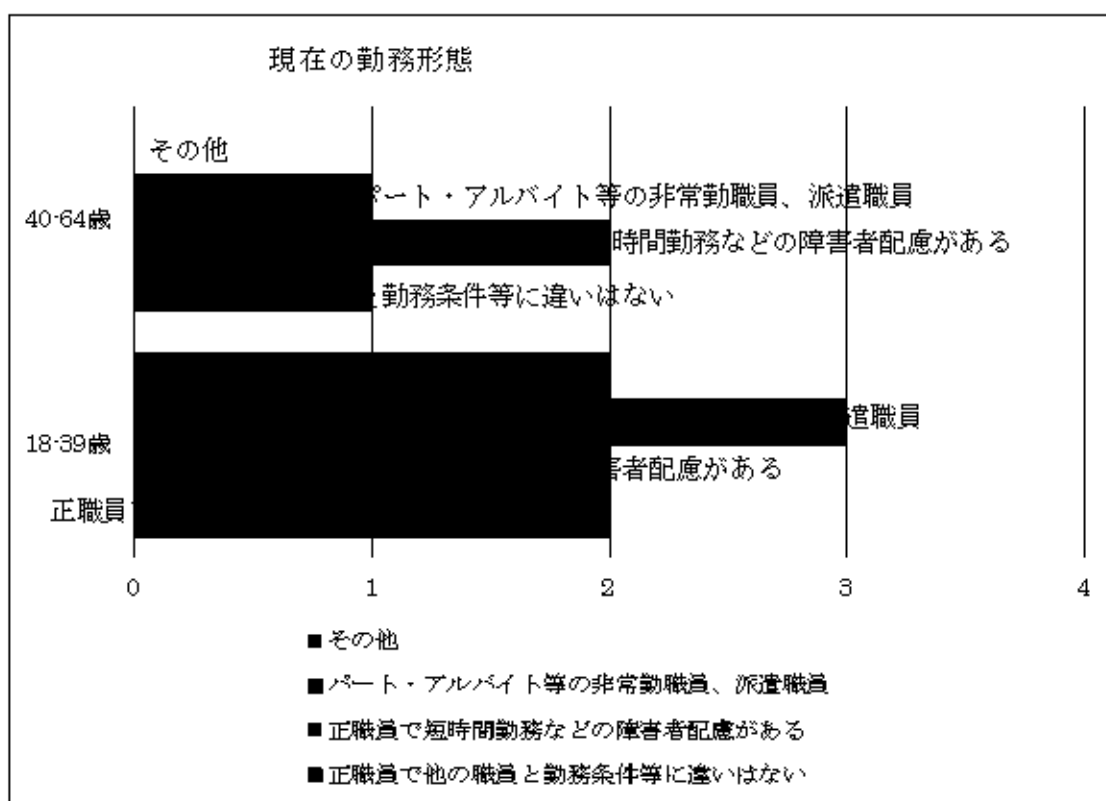
配偶者と一緒に暮らしている人の約4割、また子どもと一緒に暮らしている人の約5割が平日は主に自宅で過ごしているという結果でした。

【問 26 で、「1 .」を選択された方にお聞きします。】

問 27 仕事をしている場合、どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

勤務形態

		度数	有効パーセント
有効	正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	3	23.1
	正職員で短時間勤務などの障害者配慮がある	4	30.8
	パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	4	30.8
	その他	2	15.4
	合計	13	100.0



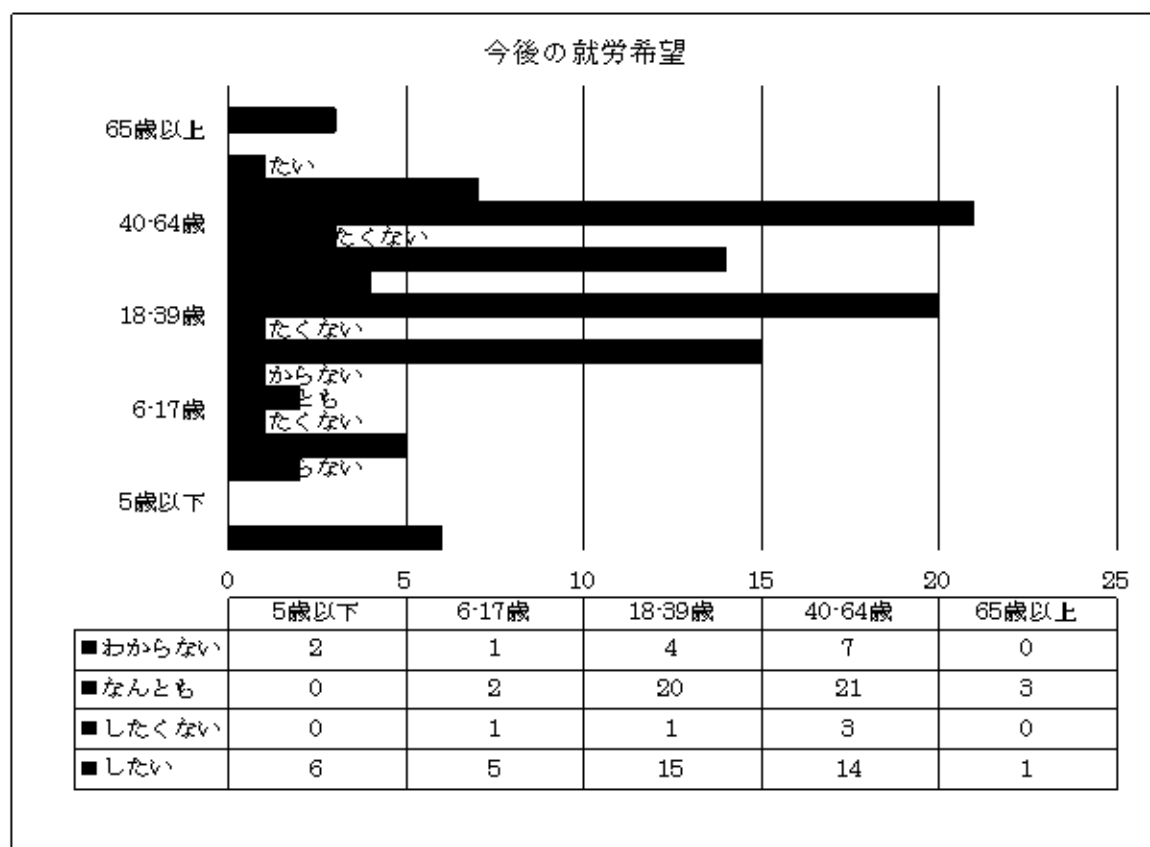
制度類型別区分年齢「40-64 歳」での回答数 13 件の母数では明らかとはいえませんが、何らかの配慮のもと正職員で短時間勤務についている回答が高い結果となりました。

【問 26 で、「1 .」以外 を選択した1 8～6 4歳の方にお聞きします。】

問 28 あなたは、今後、収入を得る仕事（一般就労）をしたいと思いませんか。（○は1つだけ）

28 今後の一般就労等希望

		度数	有効パーセント
有効	仕事をしたい	41	38.7
	仕事はしたくない	5	4.7
	なんともいえない	46	43.4
	わからない	14	13.2
	合計	106	100.0



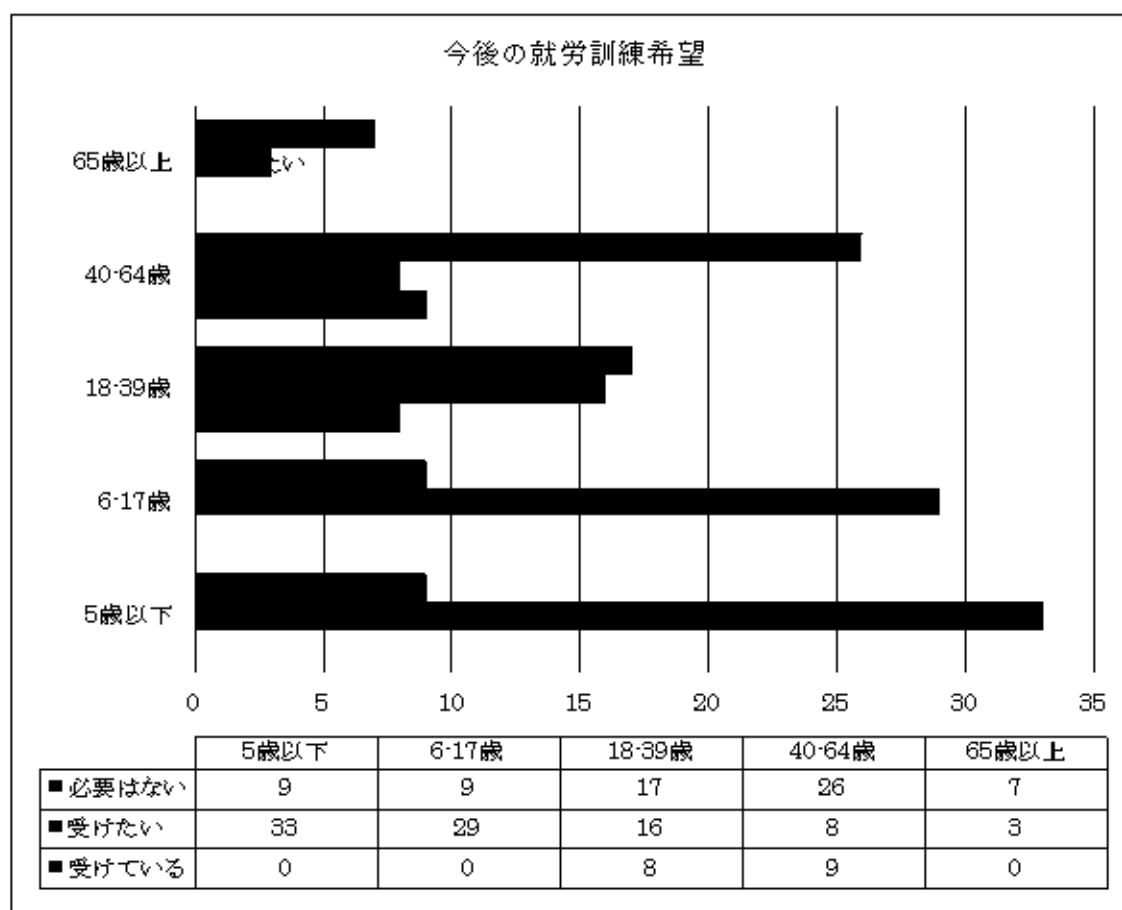
制度類型別区分年齢「18-39歳」と「40-64歳」では「なんともいえない」が最も多くなります。全体でも「なんともいえない」と「わからない」を合わせると6割近くの人が回答していることは今後の就労支援の課題を示唆しているものと伺えます。

問 29 あなたは、収入を得る仕事に就くために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

29 今後の就労訓練希望

	度数	有効パーセント
有 すでに職業訓練を受けている	17	9.6
効 職業訓練を受けたい	91	51.4
職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	69	39.0
合計	177	100.0

制度年齢と今後の就労訓練希望のクロス集計

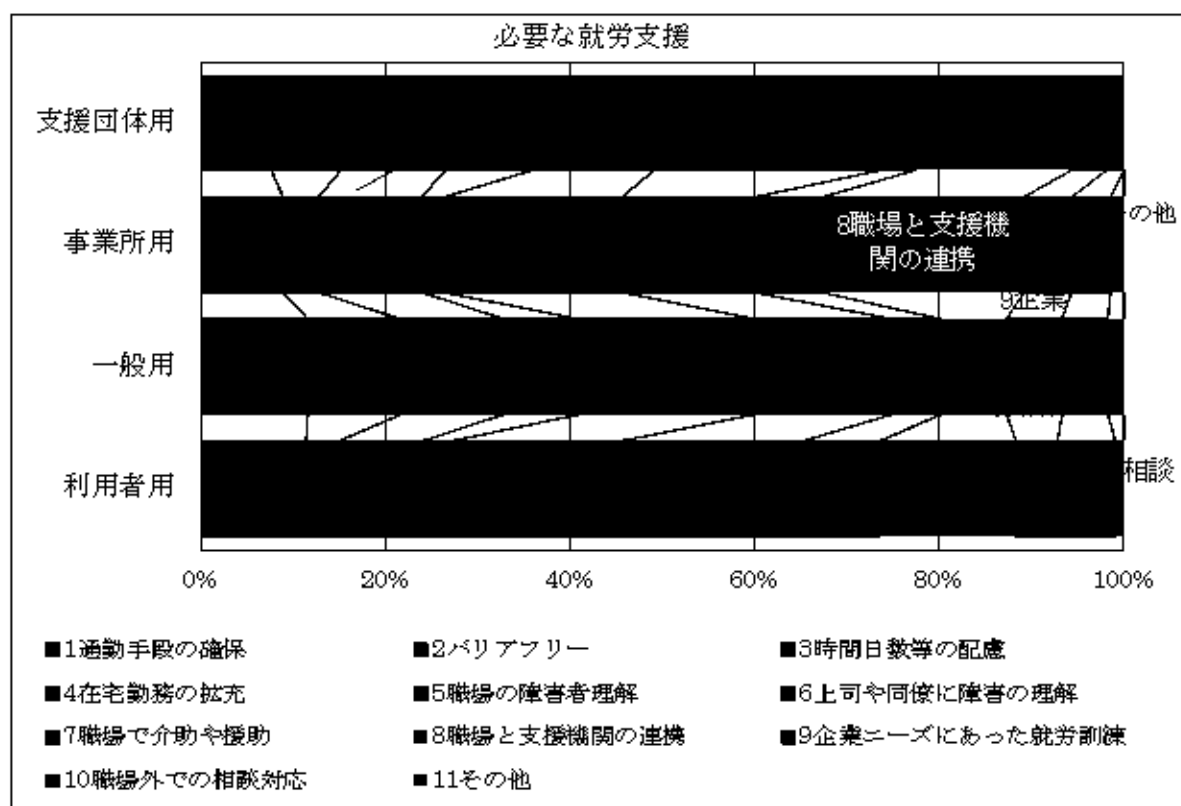


5割の人が職業訓練等を「受けたい」と回答しています。

問 30（一般用問 20/事業所用問 5/支援団体用問 7） あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

（利用者用・一般用・事業所用・支援団体用アンケート結果をあわせて表記します）

多重回答障害者の就労支援	アンケート類型				合計
	利用者用	一般用	事業所用	支援団体用	
1通勤手段の確保	60	221	48	4	333
2バリアフリー	19	193	21	4	237
3時間日数等の配慮	48	215	61	6	330
4在宅勤務の拡充	17	157	13	5	192
5職場の障害者理解	97	367	105	7	576
6上司や同僚に障害の理解	105	283	78	13	479
7職場で介助や援助	44	102	40	2	188
8職場と支援機関の連携	78	136	119	9	342
9企業ニーズにあった就労訓練	24	115	28	2	169
10職場外での相談対応	33	96	23	1	153
11その他	5	33	8	0	46
合計	191	722	192	18	1123

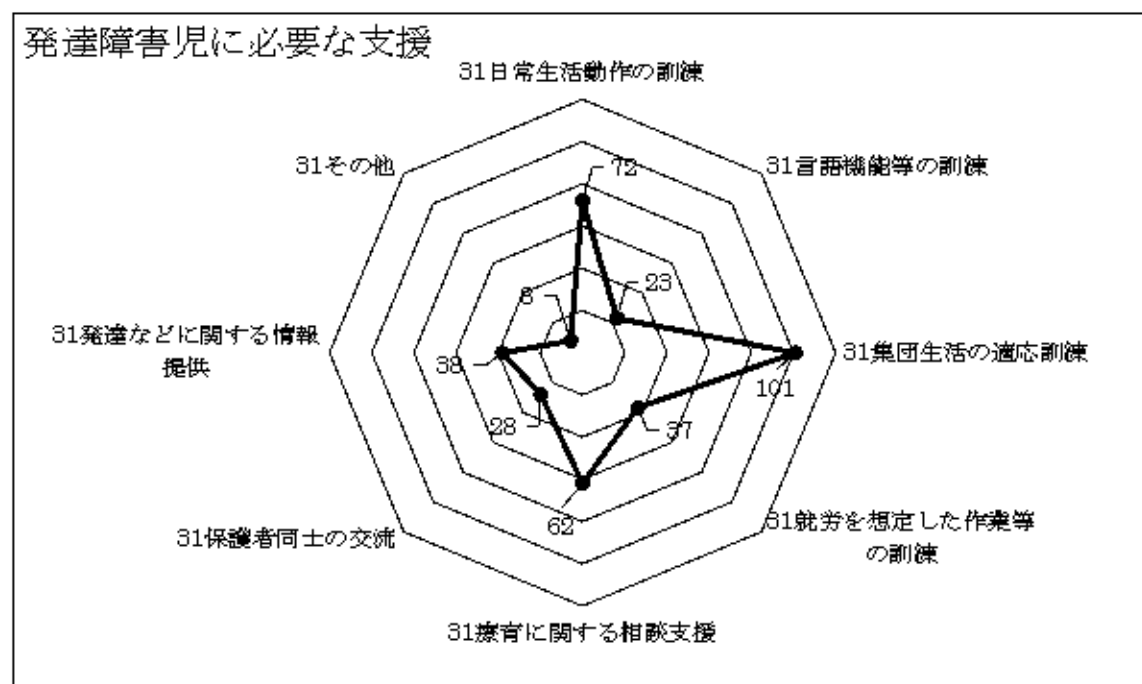


利用者用・一般用・事業所用・支援団体用アンケート結果をあわせてみると、アンケートの対象別によって就労のための必要な支援の回答に違いのある事が伺えます。

問 31 発達が気になる子どもや障害のある子どもの支援として、幼稚園、保育所、学校などにおいて、どのような支援が必要だと思いますか。（○は2つまで）

問31多重回答幼稚園保育園学校発達障害児に必要な支援 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント	
	N	パーセント		
問31多重回答幼稚園保育園学校発達障害児に必要な支援 ^a	31日常生活動作の訓練	72	19.5%	37.5%
	31言語機能等の訓練	23	6.2%	12.0%
	31集団生活の適応訓練	101	27.4%	52.6%
	31就労を想定した作業等の訓練	37	10.0%	19.3%
	31療育に関する相談支援	62	16.8%	32.3%
	31保護者同士の交流	28	7.6%	14.6%
	31発達などに関する情報提供	38	10.3%	19.8%
	31その他	8	2.2%	4.2%
合計	369	100.0%	192.2%	



「集団生活の適応訓練」の回答が52%と最も高く、ついで「日常生活動作の訓練」「療育に関する相談」となっています。

報告 4 福祉サービス等の利用について

ここからは、福祉サービス等の利用について各サービス利用状況と今後の利用希望等の回答から見込み量へ反映する際の利用意向率と2種類の利用必要率の報告をします。算出するための考え方は以下のとおりとしました。

アンケート調査の項目をクロス集計することにより、潜在的なニーズを抽出し、計画の見込み量に反映するため、「サービスの利用意向の高い人」を算出する割合を利用意向率、「サービスの利用の必要性が高い人」を算出する割合を利用必要率と定義しました。

1) 各サービス利用意向の高い人を抽出するための利用意向率

障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人の割合。利用意向率を支給決定者数にかけることで潜在的な利用者数を推計することが可能となります。

2) 各サービスの利用の必要性が高い人を抽出するための利用必要率。

障害支援区分の認定を受けていない人で、各サービスの利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、各サービスの状況で「在宅・一人暮らし」、かつ、年齢で「40歳以上～64歳」と回答している人の割合。

また、各サービスの状況で「在宅・介助者と同居」かつ、介助者の健康状態で「介助者の健康状態がすぐれない」と回答している人の割合。

前者をA利用必要率、後者をB利用必要率としました、各利用必要率を支給未決定者数にかけることで潜在的な利用者数を推計することが可能となります。

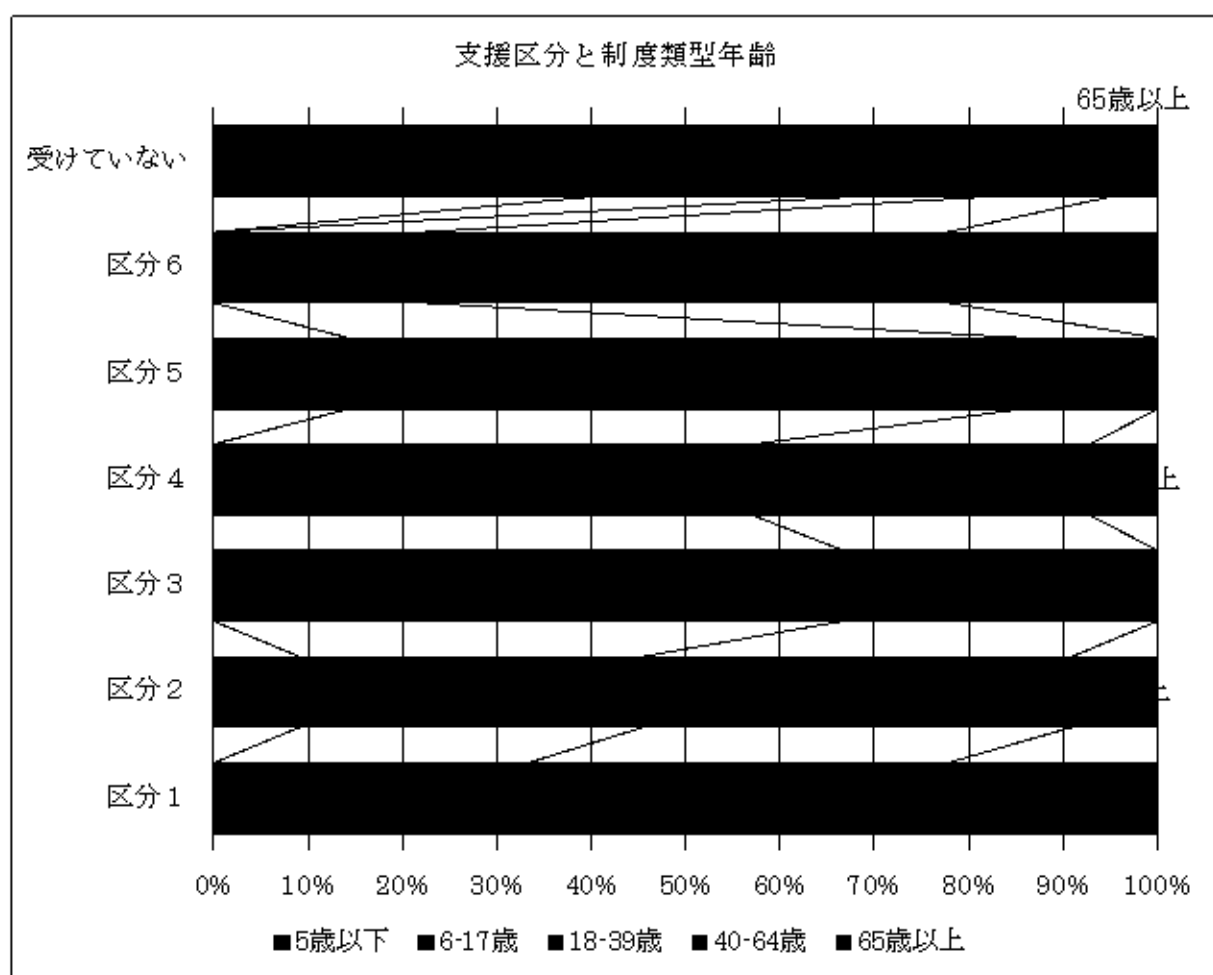
3) 例外もあります。問40からの児童系サービスに関しては必要性が高い人を抽出するための利用必要率は、各児童系サービスで「利用していない」と回答した人のうち、各児童系サービスを「今後利用したい」と回答した人の割合としました。これは児童系サービスの利用に障害支援区分認定が用いられていないためです。そのため児童系サービスでの利用意向率は、算出していません

また、自立訓練と就労継続支援と相談支援では、給付の性質上から利用意向率は利用状況を「利用していない」と回答し、利用意向で「今後利用したい」と回答している人とし、「A 利用必要率」は「現在利用していない」「今後利用したい」と回答している人のうち、「一人暮らし」で「年齢 18 歳～64 歳」の人の割合、「B 利用必要率」は「現在利用していない」「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介助者と同居していて、介助者の健康がすぐれないと回答した人となりました。

さらに就労移行支援サービスの「サービスを今後利用したい」という回答の中には、一般就労を希望する程度において様々な段階が考えられることから、近く顕在化が想定されるサービス量を見込むために利用必要率は算出せず、利用意向率を利用者用アンケートで、就労移行支援サービスの利用状況を「利用していない」と回答している人のうち、就労移行支援サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人の中でさらに、「一般就労を希望する」、かつ「就労訓練を受けたい」、かつ「就労移行支援サービスを利用していない」、かつ「今後就労移行支援サービスを利用したい」と回答した人の割合にしました。

問 32 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

32障害支援区分の認定 と 制度類型区分年齢 のクロス表								
度数								
		制度類型区分年齢					合計	有効パーセント
		5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上		
32障害支援区分の認定	区分1	0	0	3	4	2	9	4.8
	区分2	0	1	4	5	1	11	5.9
	区分3	0	0	8	4	0	12	6.6
	区分4	0	0	8	5	1	14	7.5
	区分5	0	1	5	1	0	7	4.3
	区分6	0	0	2	5	2	9	4.8
	受けていない	49	34	17	16	6	122	63.1
合計		49	36	47	40	12	184	100.0



5歳以下で障害支援区分認定を受けている人が0となっています。また「6-17歳」でもほぼ認定を受けていません。これは児童系サービスの利用に障害支援区分認定が条件となっていないためです。

問 33 あなたは次の訪問系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑤のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

【居宅介護】

33今後居宅介護と32障害支援区分の認定のクロス表

度数

	32障害支援区分の認定							合計
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
33今後居宅介護 利用したい	5	4	3	4	1	5	18	40
利用しない	1	2	8	7	5	1	24	108
合計	6	6	11	11	6	6	102	148

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

33今後居宅介護と33現在居宅介護と32障害支援区分の認定のクロス表

度数

32障害支援区分の認定			33現在居宅介護		合計
			利用している	利用していない	
区分1	33今後居宅介護	利用したい	2	3	5
		利用しない	0	1	1
	合計	2	4	6	
区分2	33今後居宅介護	利用したい		3	3
		利用しない		2	2
	合計		5	5	
区分3	33今後居宅介護	利用したい		3	3
		利用しない		8	8
	合計		11	11	
区分4	33今後居宅介護	利用したい	2	2	4
		利用しない	0	7	7
	合計	2	9	11	
区分5	33今後居宅介護	利用したい		1	1
		利用しない		5	5
	合計		6	6	
区分6	33今後居宅介護	利用したい	3	2	5
		利用しない	0	1	1
	合計	3	3	6	
受けていない	33今後居宅介護	利用したい		18	18
		利用しない		82	82
	合計		100	100	
合計	33今後居宅介護	利用したい	7	32	39
		利用しない	0	106	106
	合計	7	138	145	

居宅介護の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.30となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて居宅介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 33今後居宅介護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				問5-5一人 暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
		合計		1
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
40-64歳			2	
合計			4	
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
	合計		5	

居宅介護の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.06となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて居宅介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 33今後居宅介護 と 32 障害支援区分の認定 のクロス表				問5-1父母親祖父母 兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けてい ない	利用した い	問8介助者健康状態	よい	3
			ふつう	4
			よくない	5
	合計		12	
	利用しな い	問8介助者健康状態	よい	33
			ふつう	27
よくない			2	
合計		62		
合計	問8介助者健康状態	よい	36	
		ふつう	31	
		よくない	7	
	合計		74	

居宅介護の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.28となります。

【重度訪問介護】

33今後重度訪問介護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

人数

	32障害支援区分の認定							合計
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
33今後重度訪問介護 利用したい	2	3	1	1	1	3	11	22
利用しない	4	4	9	8	5	2	92	125
合計	6	7	10	9	6	5	103	147

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

33今後重度訪問介護 と 33現在重度訪問介護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

人数					
32障害支援区分の認定			33現在重度訪問介護		合計
			利用している	利用していない	
区分1	33今後重度訪問介護	利用したい		2	2
		利用しない		3	3
	合計			5	5
区分2	33今後重度訪問介護	利用したい		2	2
		利用しない		4	4
	合計			6	6
区分3	33今後重度訪問介護	利用したい		1	1
		利用しない		9	9
	合計			10	10
区分4	33今後重度訪問介護	利用したい	1	0	1
		利用しない	0	8	8
	合計		1	8	9
区分5	33今後重度訪問介護	利用したい		1	1
		利用しない		5	5
	合計			6	6
区分6	33今後重度訪問介護	利用したい	1	2	3
		利用しない	0	3	3
	合計		1	5	6
受けていない	33今後重度訪問介護	利用したい		11	11
		利用しない		89	89
	合計			100	100
合計	33今後重度訪問介護	利用したい	2	19	21
		利用しない	0	121	121
	合計		2	140	142

重度訪問介護の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.18となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて重度訪問介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 33今後重度訪問介護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				問5-5一人暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
			65歳以上	1
		合計		2
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
		合計		4
	合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	3
			65歳以上	1
合計			6	

重度訪問介護の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.09となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて重度訪問介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問3介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 33今後重度訪問介護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	問3介助者健康状態	よい	1
			ふつう	2
			よくない	3
		合計		6
	利用しない	問3介助者健康状態	よい	35
			ふつう	29
			よくない	4
		合計		68
	合計	問3介助者健康状態	よい	36
			ふつう	31
よくない			7	
合計			74	

重度訪問介護の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.27となります。

【同行援護】

33今後同行援護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

度数

	32障害支援区分の認定						合計
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
33今後同行援護 利用したい	1	1	2	1	1	0	7
33今後同行援護 利用しない	4	4	8	9	4	6	96
合計	5	5	10	10	5	6	103

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

33今後同行援護 と 33現在同行援護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

度数

			33現在同行援護		合計
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	
区分1	33今後同行援護	利用したい	1	0	1
		利用しない	0	4	4
	合計		1	4	5
区分2	33今後同行援護	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分3	33今後同行援護	利用したい		2	2
		利用しない		8	8
	合計			10	10
区分4	33今後同行援護	利用しない		9	9
	合計			9	9
区分5	33今後同行援護	利用したい		1	1
		利用しない		4	4
	合計			5	5
区分6	33今後同行援護	利用しない		6	6
	合計			6	6
受けていない	33今後同行援護	利用したい		7	7
		利用しない		94	94
	合計			101	101
合計	33今後同行援護	利用したい	1	10	11
		利用しない	0	129	129
	合計		1	139	140

同行援護の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.07となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて同行援護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢と問5-5一人暮らしと33今後同行援護と32障害支援区分の認定のクロス表				
				問5-5一人暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
			65歳以上	1
		合計		2
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
		合計		4
	合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	3
			65歳以上	1
合計			6	

同行援護の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.14となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて同行援護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態と問5-1父母親祖父母兄弟と33今後同行援護と32障害支援区分の認定のクロス表				
				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	1
			よくない	1
		合計		2
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	35
			ふつう	31
			よくない	6
		合計		72
	合計	問8介助者健康状態	よい	36
			ふつう	31
		よくない	7	
合計			74	

同行援護の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.14となります。

【行動援護】

33今後行動援護と32障害支援区分の認定のクロス表

人数

		32障害支援区分の認定						合計	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		受けていない
33今後行動援護	利用したい	7	3	6	5	4	7	38	59
	利用しない	5	2	4	4	3	5	70	93
合計		9	5	10	12	7	6	106	152

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

33今後行動援護と33現在行動援護と32障害支援区分の認定のクロス表

人数			33現在行動援護		合計
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	
区分1	33今後行動援護	利用したい		1	1
		利用しない		4	4
	合計			5	5
区分2	33今後行動援護	利用したい		2	2
		利用しない		2	2
	合計			4	4
区分3	33今後行動援護	利用したい		5	5
		利用しない		4	4
	合計			9	9
区分4	33今後行動援護	利用したい	4	4	8
		利用しない	0	3	3
	合計		4	7	11
区分5	33今後行動援護	利用したい	1	3	4
		利用しない	0	3	3
	合計		1	6	7
区分6	33今後行動援護	利用しない		5	5
	合計			5	5
受けていない	33今後行動援護	利用したい	1	35	36
		利用しない	0	68	68
	合計		1	103	104
合計	33今後行動援護	利用したい	6	50	56
		利用しない	0	89	89
	合計		6	139	145

行動援護の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は 0.33となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて行動援護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らしと 33今後行動援護 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
			問5-5一人 暮らし	
			該当	
32障害支援区分の認定				
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
			65歳以上	1
		合計		2
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
		合計		4
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
		65歳以上	1	
	合計		6	

行動援護の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.03となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて行動援護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟と 33今後行動援護 と 32障 害支援区分の認定 のクロス表				
			問5-1父母親祖父母兄弟	
			該当	
32障害支援区分の認定				
受けてい ない	利用した い	問8介助者健康状態	よい	10
			ふつう	9
			よくない	6
		合計		25
	利用しな い	問8介助者健康状態	よい	28
			ふつう	23
			よくない	1
		合計		52
	合計	問8介助者健康状態	よい	38
		ふつう	32	
		よくない	7	
合計			77	

行動援護の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.17となります。

【重度障害者等包括支援】

33今後重度障害者等包括支援と32障害支援区分の認定のクロス表

人数

		32障害支援区分の認定						合計	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		受けていない
33今後重度障害者等包括支援	利用したい	5	1	1	7	3	3	3	17
	利用しない	6	7	8	6	3	2	43	117
合計		6	5	9	7	6	5	46	134

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

33今後重度障害者等包括支援と33現在重度障害者等包括支援と32障害支援区分の認定のクロス表					
人数			33現在重度障害者等包括支援		
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	合計
区分1	33今後重度障害者等包括支援	利用しない		5	5
	合計			5	5
区分2	33今後重度障害者等包括支援	利用したい		1	1
		利用しない		4	4
合計				5	5
区分3	33今後重度障害者等包括支援	利用したい		1	1
		利用しない		8	8
合計				9	9
区分4	33今後重度障害者等包括支援	利用したい		1	1
		利用しない		6	6
合計				7	7
区分5	33今後重度障害者等包括支援	利用したい	1	2	3
		利用しない	0	3	3
合計			1	5	6
区分6	33今後重度障害者等包括支援	利用したい	1	2	3
		利用しない	0	2	2
合計			1	4	5
受けていない	33今後重度障害者等包括支援	利用したい		8	8
		利用しない		85	85
合計				93	93
合計	33今後重度障害者等包括支援	利用したい	2	15	17
		利用しない	0	113	113
合計			2	128	130

重度障害者等包括支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.18となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて重度障害者等包括支援の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 33今後重度障害者等包括支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
				問5-5一人暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
			65歳以上	1
		合計		2
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
		合計		4
	合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	3
			65歳以上	1
合計		6		

重度障害者等包括支援の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.13となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて重度障害者等包括支援の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 33今後重度障害者等包括支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	1
			ふつう	1
			よくない	3
		合計	5	
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	34
			ふつう	30
			よくない	4
		合計	68	
	合計	問8介助者健康状態	よい	35
ふつう			31	
よくない			7	
合計		73		

重度障害者等包括支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.38と

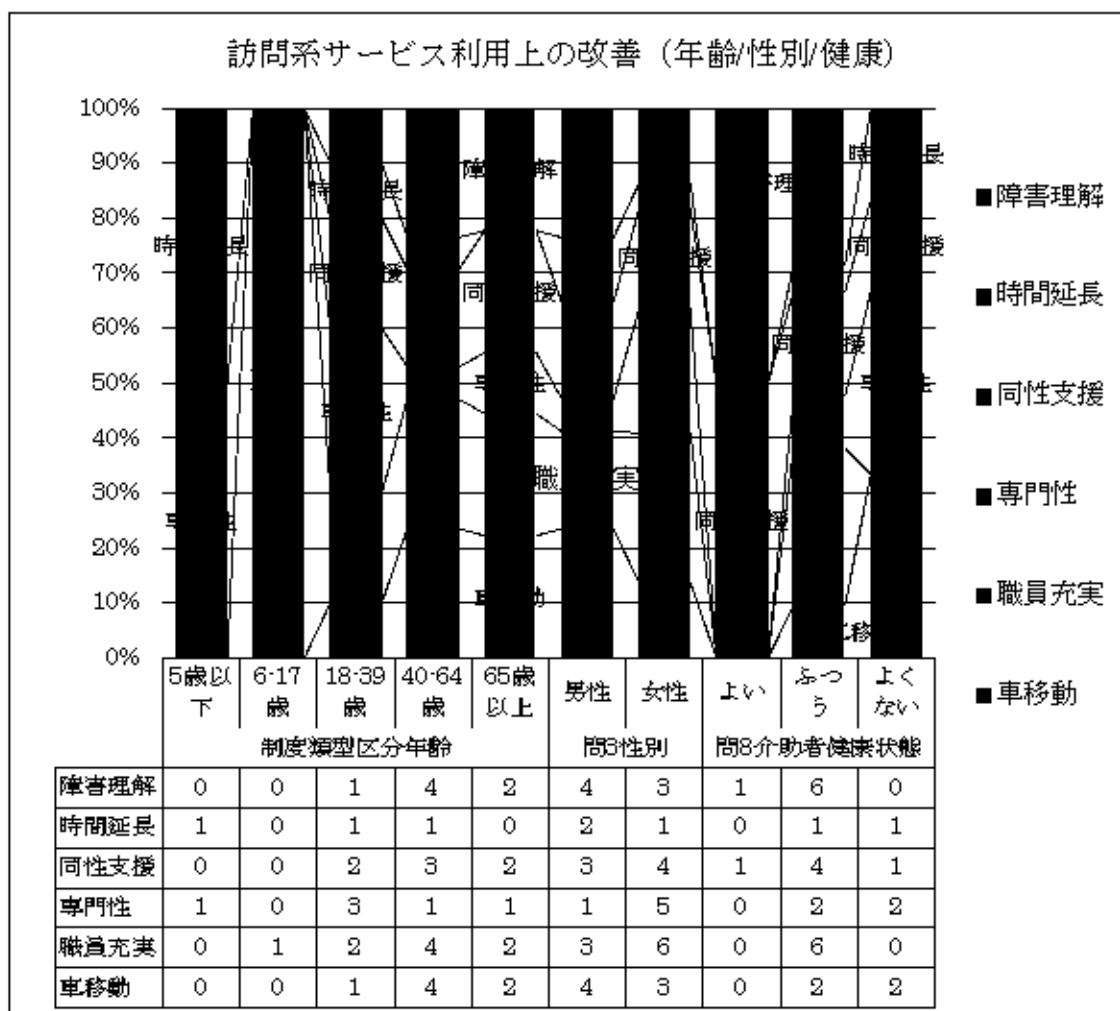
なりません。

【問 33 で、「利用している」を選択された方にお聞きします。】

問 34 あなたは、訪問系サービスを利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)

訪問系サービス改善希望 度数分布表

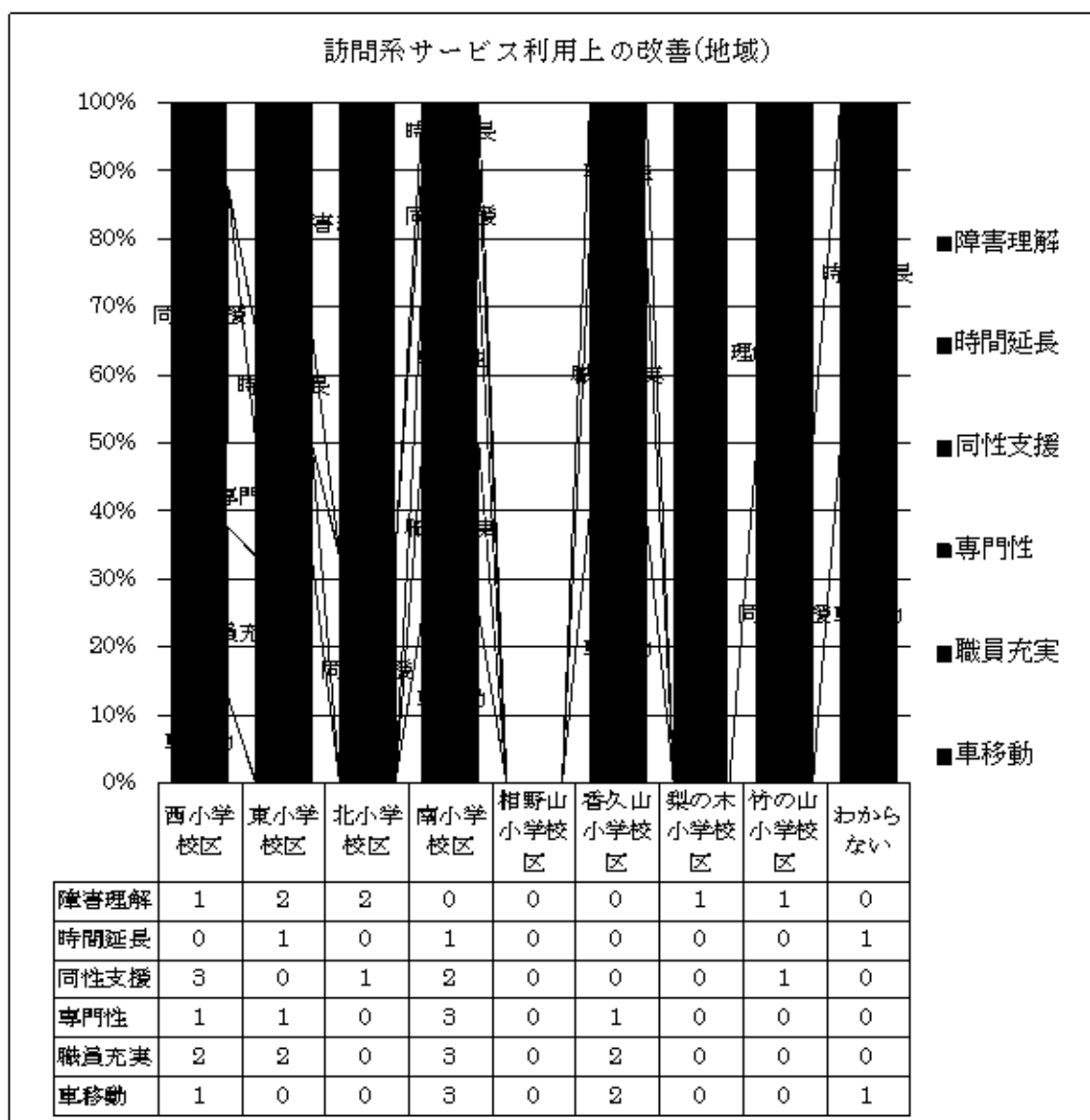
	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
34-1車での移動	7	15.2%	24.1%
34-2職員体制の充実	9	19.6%	31.0%
34-3専門性（知識・技術）の向上	6	13.0%	20.7%
訪問系サービス改善希望 ^a 34-4同性による支援	7	15.2%	24.1%
34-5開所時間の延長	3	6.5%	10.3%
34-6障害への理解	7	15.2%	24.1%
34-7その他	3	6.5%	10.3%
34-8特になし	4	8.7%	13.8%
合計	46	100.0%	158.6%



訪問系サービスを利用する上での改善項目を制度類型別区分年齢と性別と介助者の健康状態であらわしました。制度類型別区分年齢の17歳以下では母数が少ないため明らかなことはいえませんが、18-39歳と40-65歳の区分では「専門性」と「障害理解」の項目で違いが見られました。

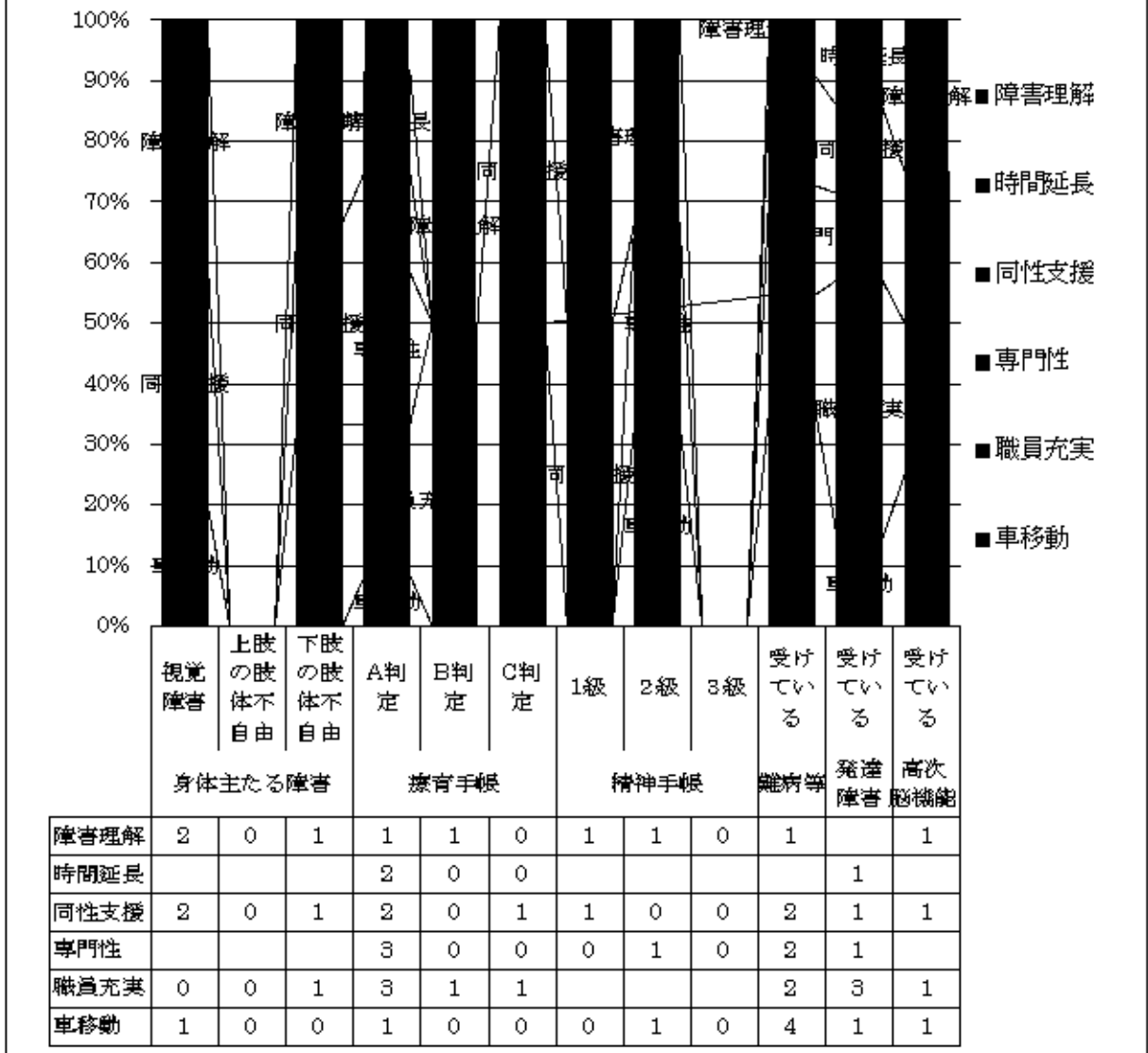
また性別では女性の方が男性より専門性の改善を求めている割合が高いようです。

介助者の健康状態「よくない」では、「ふつう」での改善希望「職員充実」より「専門性」や具体的「移動手段」に改善希望が集まる結果となりました。

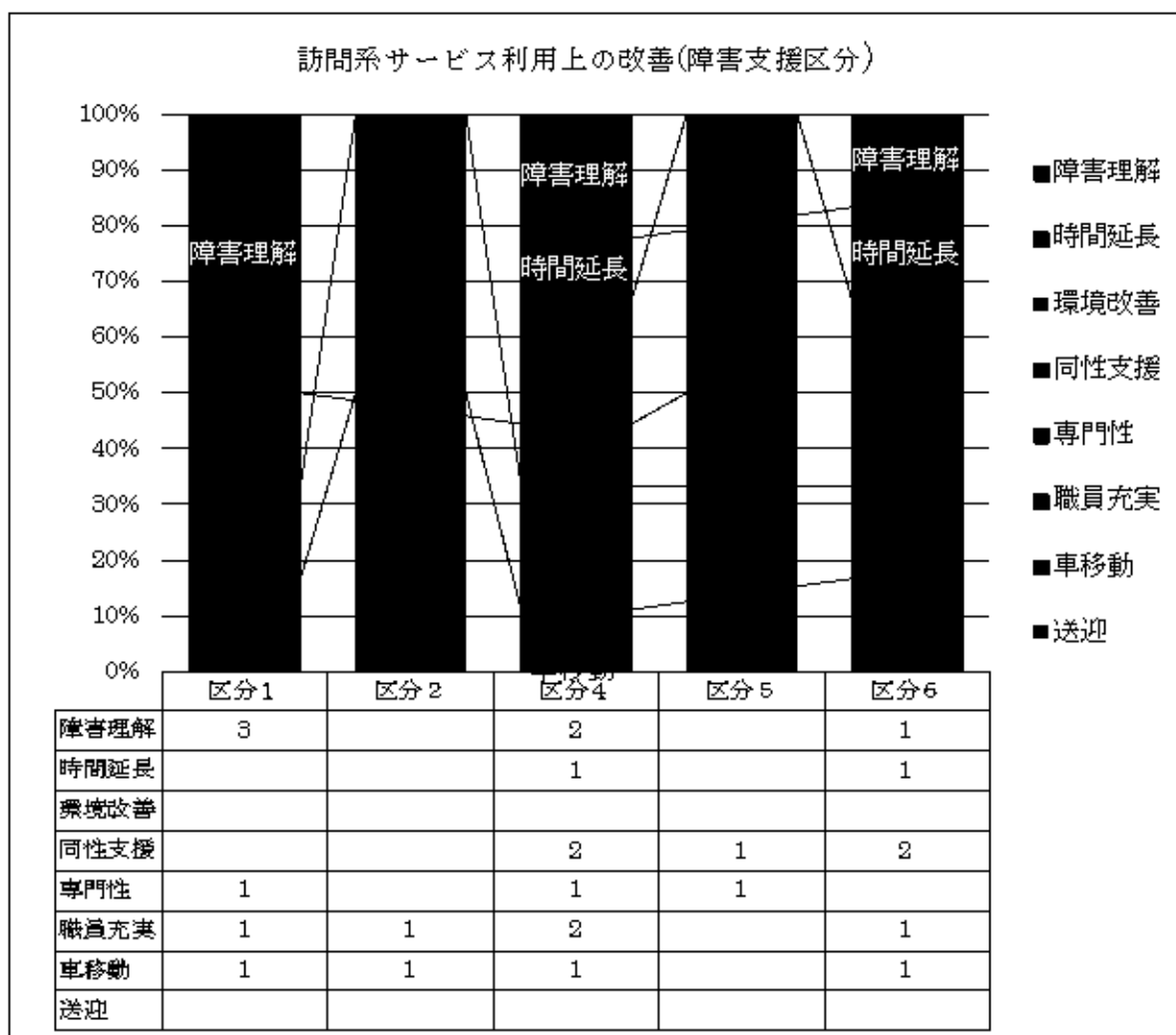


つぎに、訪問系サービスを利用する上での改善項目を地域別であらわしました。ここでも回答母数が少ないため明らかなことはいえませんが、香久山小学校区では「車の移動」と「職員充実」が比較的集中しているようです。

訪問系サービス利用上の改善(障害)



つぎに、訪問系サービスを利用する上での改善項目を障害等別であらわしました。障害種別によっても障害程度によっても多様な結果となりました。



さいごに、訪問系サービスを利用する上での改善項目を障害支援区分別であらわしました。支援度が少ないとされる区分1で「障害理解」が最も高くなっているのに対して、支援区分4以上からは「同性支援」の改善が増えてくるのが特徴の一つになっているといえます。

問 35 あなたは、次の日中活動系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑤のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

日中活動系

【生活介護】

35今後生活介護と32障害支援区分の認定のクロス表

度数

	32障害支援区分の認定						合計	
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		
35今後生活介護 利用したい	3	1	5	5	3	5	17	43
利用しない	5	0	2	3	0	5	8	138
合計	8	7	11	11	3	5	105	151

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

35今後生活介護と35現在生活介護と32障害支援区分の認定のクロス表

35今後生活介護と35現在生活介護と32障害支援区分の認定			35現在生活介護		合計
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	
区分1	35今後生活介護	利用したい	1	2	3
		利用しない	0	5	5
	合計		1	7	8
区分2	35今後生活介護	利用しない		6	6
	合計			6	6
	35今後生活介護	利用したい	3	2	5
区分3		利用しない	0	6	6
	合計		3	8	11
	35今後生活介護	利用したい	6	1	7
区分4		利用しない	0	3	3
	合計		6	4	10
	35今後生活介護	利用したい	3		3
区分5	合計		3		3
	35今後生活介護	利用したい	5		5
	合計		5		5
区分6	35今後生活介護	利用したい	2	14	16
		利用しない	0	86	86
	合計		2	100	102
合計	35今後生活介護	利用したい	20	19	39
		利用しない	0	106	106
	合計		20	125	145

生活介護の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.11となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて生活介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 35今後生活介護 と 32障害支援区分の認定のクロス表				問5-5一人暮らし 該当
32障害支援区分の認定				
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
			65歳以上	1
		合計		2
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
		合計		4
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
		65歳以上	1	
	合計		6	

生活介護の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.06となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて生活介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 35今後生活介護 と 32障害支援区分の認定のクロス表				問5-1父母親祖父母兄弟 該当
32障害支援区分の認定				
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	3
			ふつう	3
			よくない	4
	合計		10	
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	33
			ふつう	28
よくない			3	
合計		64		
合計	問8介助者健康状態	よい	36	
		ふつう	31	
		よくない	7	
	合計		74	

生活介護の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.24となります。

【自立訓練】

【利用意向率：訓練等給付事業等の性質上から、自立訓練の利用状況を「利用していない」と回答し、サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

35今後自立訓練 と 35現在自立訓練 のクロス表				
度数				
		35現在自立訓練		合計
		利用している	利用していない	
35今後自立訓練	利用したい	14	61	75
	利用しない	0	101	101
合計		14	162	176

自立訓練の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.38となります。

【A利用必要率：訓練等給付事業等の性質上から、自立訓練の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢18歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 35今後自立訓練 のクロス表				
度数				
			問5-5一人暮らし	合計
			該当	
35今後自立訓練 利用したい	制度類型区分年齢	18-39歳	2	2
		40-64歳	2	2
		65歳以上	1	1
	合計		5	5
利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2	2
		40-64歳	4	4
		65歳以上	2	2
	合計		8	8
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	4	4
		40-64歳	6	6
		65歳以上	3	3
	合計		13	13

自立訓練の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.07となります。

【B利用必要率：訓練等給付事業等の性質上から、自立訓練の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 35今後自立訓練 のクロス表				
度数				
			問5-1父母親祖父母兄弟	
			該当	合計
35今後自立訓練 利用したい	問8介助者健康状態	よい	19	19
		ふつう	31	31
		よくない	9	9
	合計			59
利用しない	問8介助者健康状態	よい	24	24
		ふつう	36	36
		よくない	9	9
	合計			69
合計	問8介助者健康状態	よい	43	43
		ふつう	67	67
		よくない	18	18
	合計			128

自立訓練の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.15となります。

【就労移行】

【就労移行利用意向率：就労移行支援サービスの「サービスを今後利用したい」という回答の中には、一般就労を希望する程度において様々な段階が考えられることから、近く顕在化が想定されるサービス量を見込むために利用必要率は算出せず、利用意向率を利用者用アンケートで、就労移行支援サービスの利用状況を「利用していない」と回答している人のうち、就労移行支援サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人の中でさらに、「一般就労を希望する」、かつ「就労訓練を受けたい」、かつ「就労移行支援サービスを利用していない」かつ「今後就労移行支援サービスを利用したい」と回答した人】

35現在就労移行と35今後就労移行のクロス表

度数		35今後就労移行		合計
		利用したい	利用しない	
35現在就労移行	利用している	9	0	9
	利用していない	72	92	164
合計		81	92	173

35現在就労移行と35今後就労移行と29今後の就労訓練希望と28今後の一般就労希望のクロス表

度数				35今後就労移行		合計	
				利用したい	利用しない		
28今後の一般就労希望	仕事をしたい	すでに職業訓練を受けている	35現在就労移行	利用している	3	0	3
			利用していない	0	2	2	
			合計	3	2	5	
	職業訓練を受けたい	35現在就労移行	利用している	1	0	1	
			利用していない	14	7	21	
			合計	15	7	22	
	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	35現在就労移行	利用している	1	0	1	
			利用していない	0	3	3	
			合計	1	3	4	
	合計		35現在就労移行	利用している	5	0	5
		利用していない		14	12	26	
		合計	19	12	31		
仕事はしたくない	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	35現在就労移行	利用していない		1	1	
			合計		1	1	
	合計		35現在就労移行	利用していない		1	1
				合計		1	1
なんともいえない	すでに職業訓練を受けている	35現在就労移行	利用している	1		1	
			合計	1		1	
	職業訓練を受けたい	35現在就労移行	利用していない	4		4	
			合計	4		4	
	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	35現在就労移行	利用していない	4	20	24	
			合計	4	20	24	
	合計		35現在就労移行	利用している	1	0	1
				利用していない	8	20	28
		合計	9	20	29		
できない	すでに職業訓練を受けている	35現在就労移行	利用していない		1	1	
			合計		1	1	
	職業訓練を受けたい	35現在就労移行	利用していない		1	1	
			合計		1	1	
	職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	35現在就労移行	利用していない	2	5	7	
			合計	2	5	7	
	合計		35現在就労移行	利用していない	2	7	9
				合計	2	7	9

就労移行支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.09となります。

【就労継続】

【就労継続利用意向率：訓練等給付事業等の性質上から、就労継続支援サービスの利用意向で「利用していない」と回答している人で、就労継続支援サービスの利用状況を「今後利用したい」と回答した人】

35今後就労継続 と 35現在就労継続 のクロス表				
度数				
		35現在就労継続		合計
		利用している	利用していない	
35今後就労継続	利用したい	14	66	80
	利用しない	1	91	92
合計		15	157	172

就労継続支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.42となります。

【A利用必要率：訓練等給付事業等の性質上から、就労継続支援サービスの利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢18歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 35今後就労継続 のクロス表				
度数				
			問5-5一人暮らし	合計
			該当	
35今後就労継続 利用したい	制度類型区分年齢	18-39歳	3	3
		40-64歳	2	2
		65歳以上	1	1
	合計	6	6	
利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2	2
		40-64歳	4	4
		65歳以上	3	3
	合計	9	9	
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	5	5
		40-64歳	6	6
		65歳以上	4	4
	合計	15	15	

就労継続支援の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.09となります。

【B利用必要率：訓練等給付事業等の性質上から就労継続支援サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人）】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 35今後就労継続 のクロス表				
度数				
			問5-1父母親祖父母兄弟	
			該当	合計
35今後就労継続 利用したい	問8介助者健康状態	よい	18	18
		ふつう	32	32
		よくない	9	9
	合計			59
利用しない	問8介助者健康状態	よい	24	24
		ふつう	31	31
		よくない	8	8
	合計			63
合計	問8介助者健康状態	よい	42	42
		ふつう	63	63
		よくない	17	17
	合計			122

就労継続支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.14となります。

【療養介護】

35今後療養介護と32障害支援区分の認定のクロス表

人数

		32障害支援区分の認定						合計	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		受けていない
35今後療養介護	利用したい	2	1	0	3	1	7	10	18
	利用しない	5	6	10	8	3	6	30	129
合計		5	7	10	11	4	7	100	147

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

35今後療養介護と35現在療養介護と32障害支援区分の認定のクロス表

32障害支援区分の認定		35現在療養介護		合計	
		利用している	利用していない		
区分1	35今後療養介護	利用したい		2	2
		利用しない		6	6
	合計			8	8
区分2	35今後療養介護	利用したい		1	1
		利用しない		6	6
	合計			7	7
区分3	35今後療養介護	利用しない		10	10
	合計			10	10
区分4	35今後療養介護	利用したい		2	2
		利用しない		8	8
	合計			10	10
区分5	35今後療養介護	利用したい	1	0	1
		利用しない	0	3	3
	合計		1	3	4
区分6	35今後療養介護	利用しない		6	6
	合計			6	6
受けていない	35今後療養介護	利用したい		9	9
		利用しない		87	87
	合計			96	96
合計	35今後療養介護	利用したい	1	14	15
		利用しない	0	126	126
	合計		1	140	141

療養介護の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.11となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて療養介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 35今後療養介護 と 32障害支援区分の認定のクロス表				問5-5一人暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
		合計		1
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
			65歳以上	1
	合計		5	
	合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	3
			65歳以上	1
		合計		6

療養介護の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.10となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて療養介護の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 35今後療養介護 と 32障害支援区分の認定のクロス表				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	1
			ふつう	3
			よくない	3
		合計		7
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	32
			ふつう	28
			よくない	4
	合計		64	
	合計	問8介助者健康状態	よい	33
			ふつう	31
よくない			7	
合計		71		

療養介護の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.30となります。

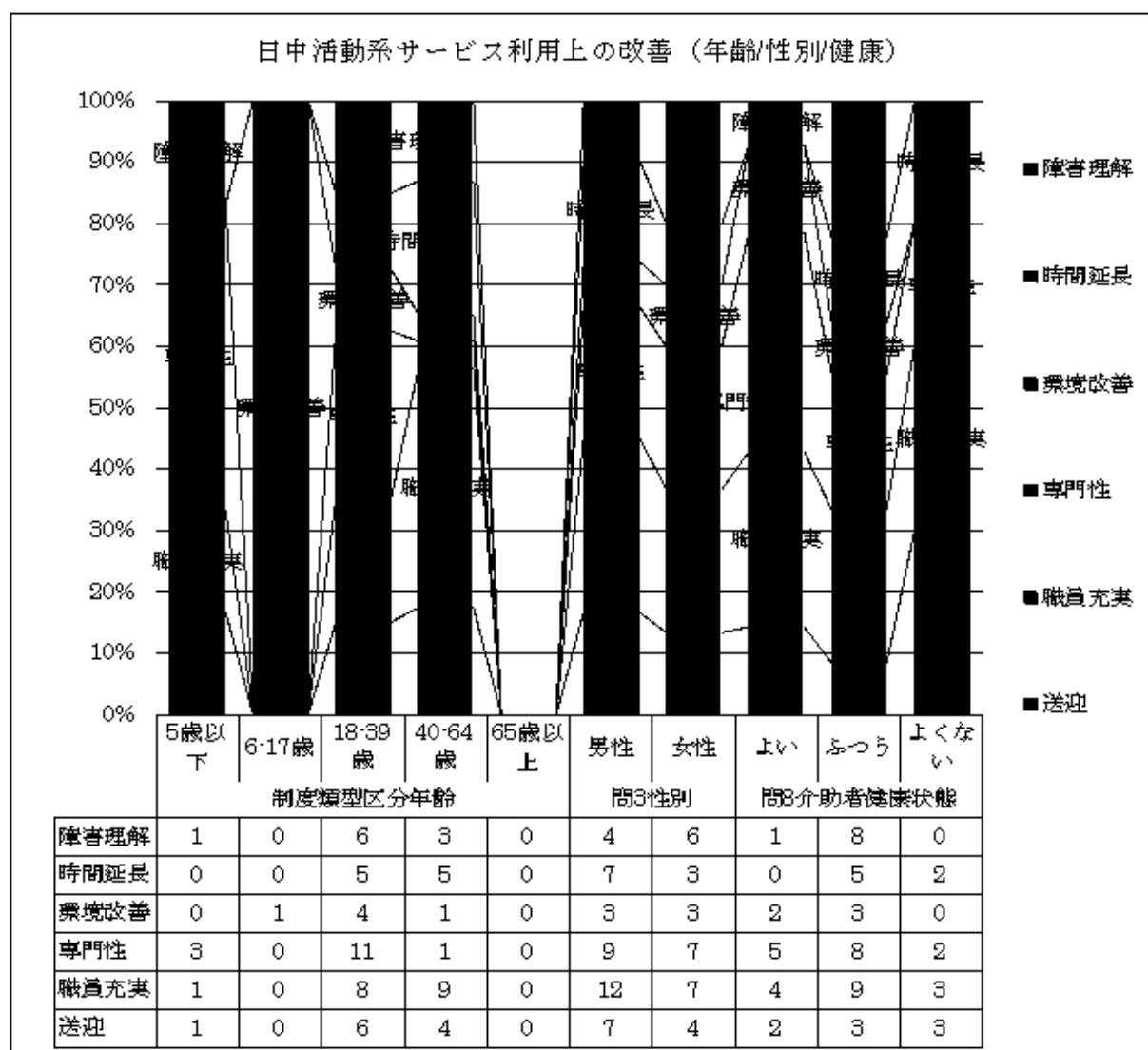
【問 35 で、「利用している」を選択された方にお聞きします。】

問 36 あなたは、日中活動系サービスを利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(〇は2つまで)

図36 多重回答日中活動系サービス利用での改善希望度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセント	
問36 多重回答日中活動系サービス利用での改善希望	36-1 事業所への送迎	11	12.1%	19.6%
	36-2 職員体制の充実	19	20.9%	33.9%
	36-3 専門性の向上	16	17.6%	28.6%
	36-4 設備環境の改善	6	6.6%	10.7%
	36-5 開所時間の延長	10	11.0%	17.9%
	36-6 障害への理解	10	11.0%	17.9%
	36-7 その他	1	1.1%	1.8%
	36-8 特になし	18	19.8%	32.1%
合計		91	100.0%	162.5%

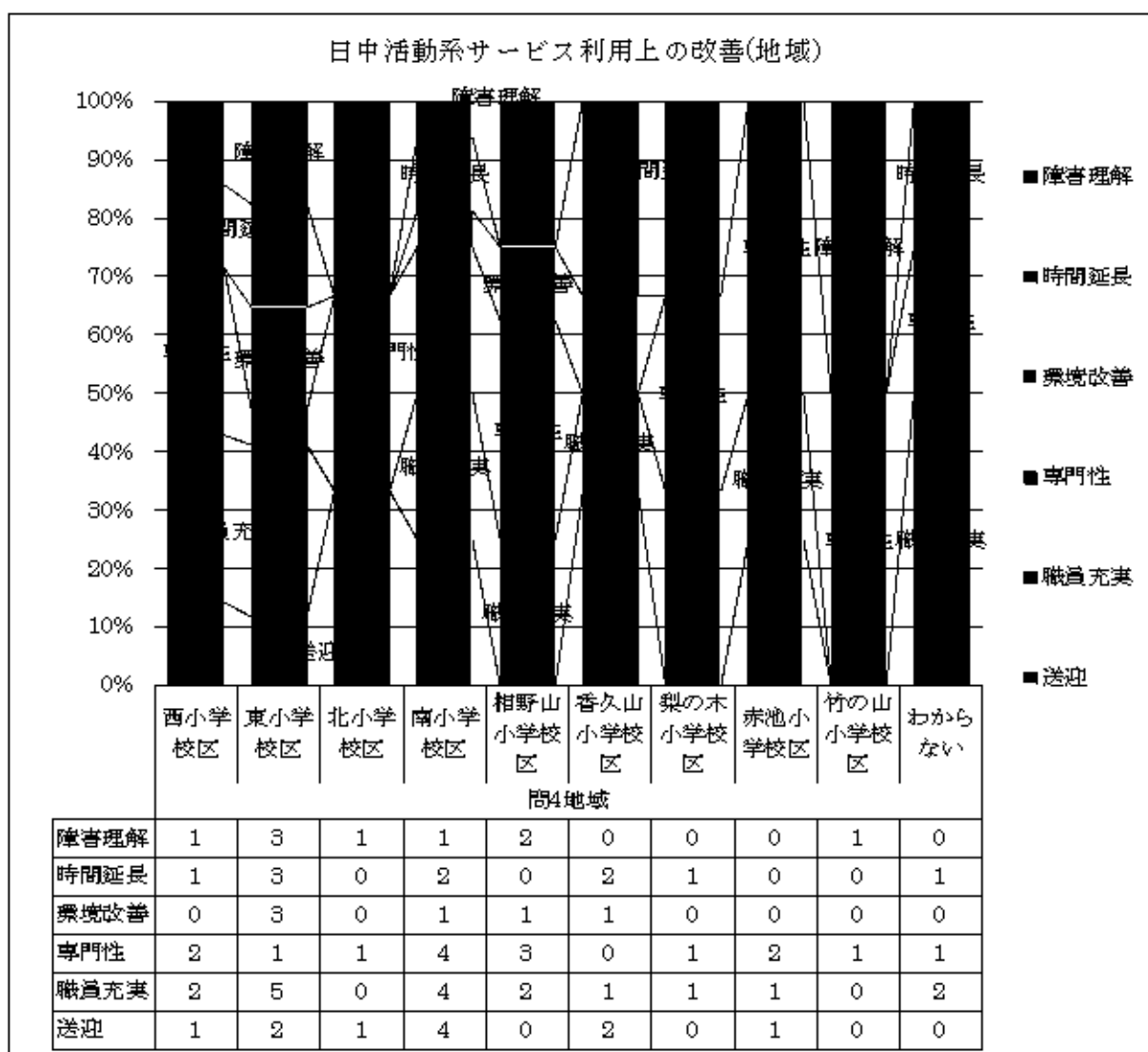
日中活動系サービス利用上の改善（年齢/性別/健康）



日中活動系サービスを利用する上での改善項目を制度類型別区分年齢と性別と介助者の健康状態であらわしました。制度類型別区分年齢の17歳以下では母数が少ないため明らかなことはいえませんが、18-39歳と40-65歳の区分では「職員充実」と「専門性」と「時間延長」の項目で違いが見られました。

また、性別では女性に「障害理解」が若干高くなっています。

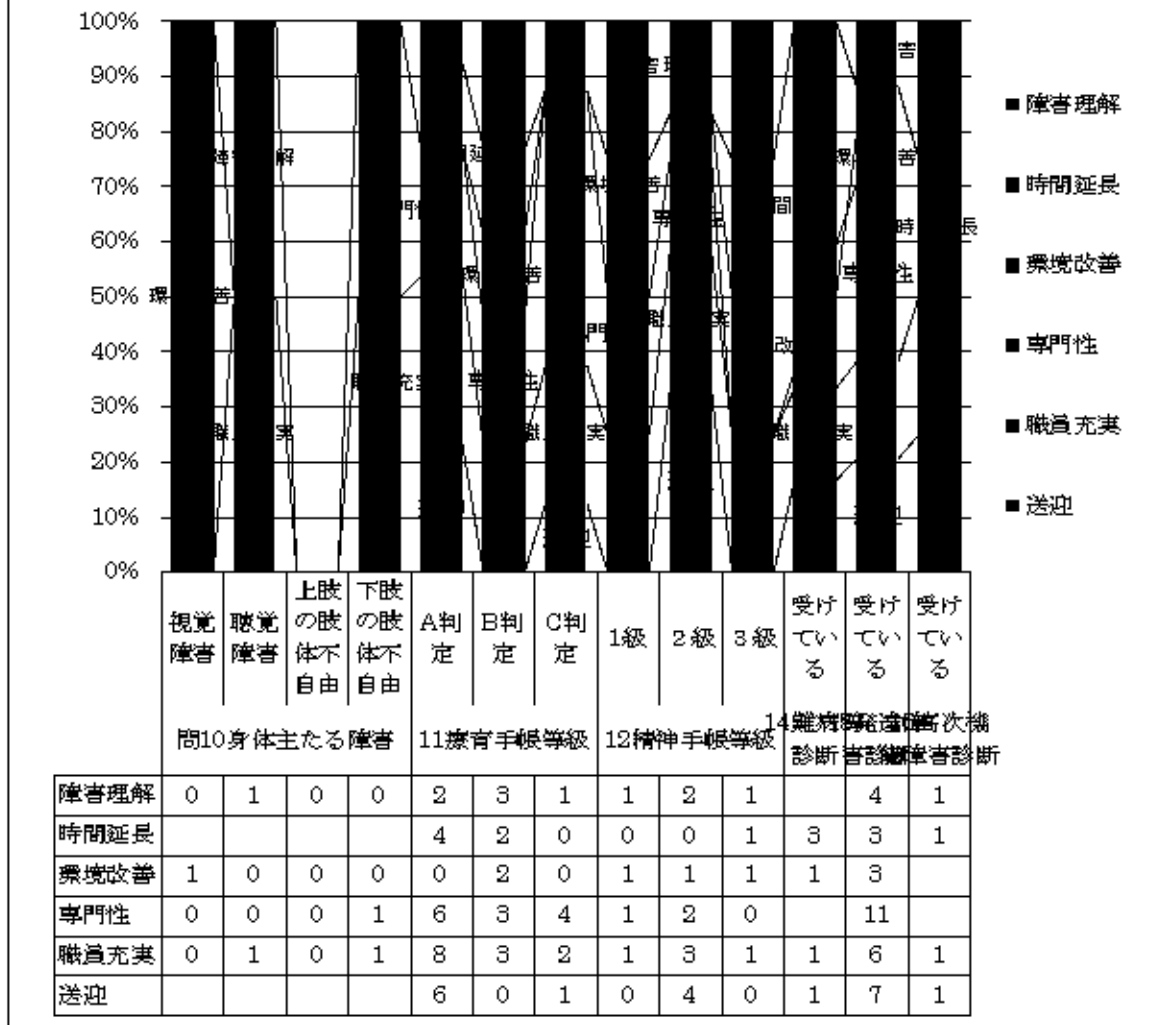
介助者の健康状態「よくない」では、「ふつう」での改善希望「障害理解」より「送迎」に改善希望が集まる結果となりました。



つぎに、日中活動系サービスを利用する上での改善項目を地域別であらわしました。

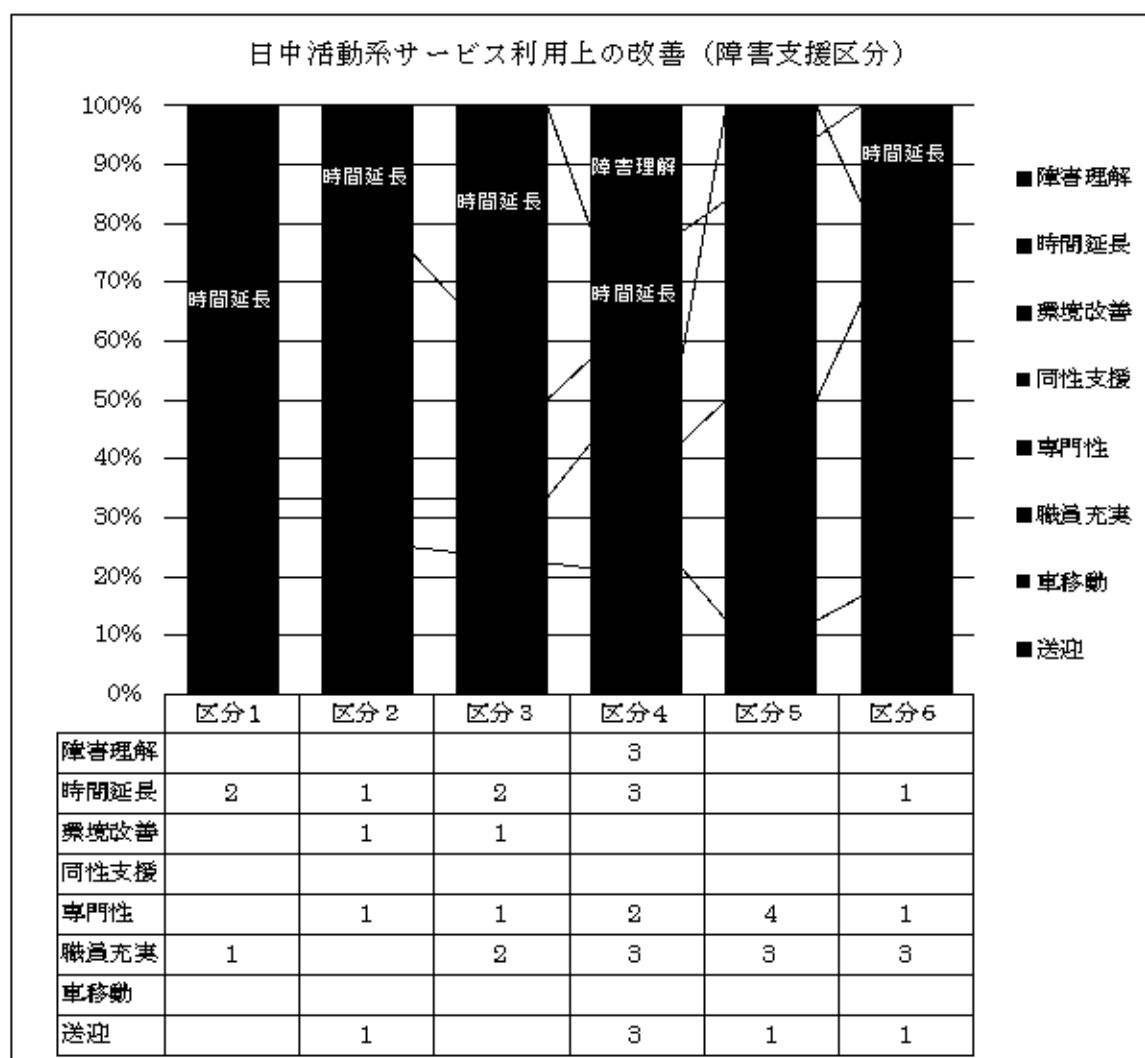
ここでも回答母数が少ないため明らかなことはいえませんが、回答数の多い西小学校区、東小学校区、南小学校区、相野山小学校区、香久山小学校区では改善項目に地域差が見られます。

日中活動系サービス利用上の改善(障害)



つぎに、日中活動系サービスを利用する上での改善項目を障害等別であらわしました。障害種別によっても障害程度によっても多様な結果となりました。ただし、身体障害者手帳取得の人の回答が少ないのが気になります。

日中活動系サービス利用上の改善（障害支援区分）



最後に、日中活動系サービスを利用する上での改善項目を障害支援区分別であらわしました。区分4で「障害の理解」「時間延長」が最も高くなっているのに対して、支援区分5以上からは「専門性」や「職員充実」の改善が増えてくるのが特徴の一つになっているといえます。

問 37 あなたは、次の居住（宿泊）系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。（①から③のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答（番号に○）してください）

【短期入所】

37今後短期入所と32障害支援区分の認定のクロス表

表数

	32障害支援区分の認定							合計
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
37今後短期入所 利用したい	2	3	10	19	2	7	27	67
利用しない	5	6	2	2	2	1	79	97
合計	7	9	12	12	4	8	106	158

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

37今後短期入所と37現在短期入所と32障害支援区分の認定のクロス表

		37現在短期入所		合計
32障害支援区分の認定		利用している	利用していない	
区分1	37今後短期入所	利用したい	2	2
		利用しない	5	5
	合計		7	7
区分2	37今後短期入所	利用したい	3	3
		利用しない	6	6
	合計		9	9
区分3	37今後短期入所	利用したい	3	10
		利用しない	0	2
	合計		3	12
区分4	37今後短期入所	利用したい	6	10
		利用しない	0	2
	合計		6	12
区分5	37今後短期入所	利用したい	1	2
		利用しない	0	1
	合計		1	3
区分6	37今後短期入所	利用したい	5	7
		利用しない	0	1
	合計		5	8
受けていない	37今後短期入所	利用したい	1	28
		利用しない	0	76
	合計		1	102
合計	37今後短期入所	利用したい	18	60
		利用しない	0	93
	合計		18	153

短期入所支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.37となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて短期入所の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らしと 37今後短期入所 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				問5-5一人 暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
		合計		1
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
			65歳以上	1
	合計		5	
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
		65歳以上	1	
		合計		6

短期入所支援の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.04となります

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて短期入所の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 37今後短期入所 と 32障害支 援区分の認定 のクロス表				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けてい ない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	5
			ふつう	8
			よくない	6
	合計		19	
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	32
			ふつう	24
よくない			1	
合計		57		
合計	問8介助者健康状態	よい	37	
		ふつう	32	
		よくない	7	
		合計		76

短期入所支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.22となります。

【共同生活援助（グループホーム）】

37今後グループホームと32障害支援区分の認定のクロス表

広数

	32障害支援区分の認定							合計
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
37今後グループホーム 利用したい	7	9	9	9	7	7	28	55
利用しない	5	9	3	2	4	4	75	98
合計	7	9	12	11	4	6	104	153

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

37今後グループホームと37現在グループホームと32障害支援区分の認定のクロス表					
32障害支援区分の認定			37現在グループホーム		合計
			利用している	利用していない	
区分1	37今後グループホーム	利用したい	1	1	2
		利用しない	0	5	5
	合計	1	6	7	
区分2	37今後グループホーム	利用したい		3	3
		利用しない		6	6
	合計		9	9	
区分3	37今後グループホーム	利用したい		9	9
		利用しない		3	3
	合計		12	12	
区分4	37今後グループホーム	利用したい		9	9
		利用しない		2	2
	合計		11	11	
区分5	37今後グループホーム	利用したい	1	1	2
		利用しない	0	1	1
	合計	1	2	3	
区分6	37今後グループホーム	利用したい		2	2
		利用しない		4	4
	合計		6	6	
受けていない	37今後グループホーム	利用したい	3	25	28
		利用しない	0	73	73
	合計	3	98	101	
合計	37今後グループホーム	利用したい	5	50	55
		利用しない	0	94	94
	合計	5	144	149	

共同生活援助の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.51となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて共同生活援助の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢と問5-5一人暮らしと37今後グループホームと32障害支援区分の認定のクロス表				問5-5一人暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	18-39歳	1
			40-64歳	2
			65歳以上	1
		合計	4	
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	1
			40-64歳	1
		合計	2	
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
		65歳以上	1	
	合計	6		

共同生活援助の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.07となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて共同生活援助の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態と問5-1父母親祖父母兄弟と37今後グループホームと32障害支援区分の認定のクロス表				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	7
			ふつう	8
			よくない	4
		合計	19	
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	30
			ふつう	23
		よくない	3	
合計	56			
合計	問8介助者健康状態	よい	37	
		ふつう	31	
		よくない	7	
	合計	75		

共同生活援助の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.14となります。

【施設入所支援】

37今後施設入所支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

度数

	32障害支援区分の認定							合計
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
37今後施設入所支援								
利用したい	0	2	6	0	3	2	15	37
利用しない	7	7	5	3	0	4	36	114
合計	7	9	11	12	3	6	103	151

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

37今後施設入所支援 と 37現在施設入所支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
度数				
		37現在施設入所支援		合計
		利用している	利用していない	
32障害支援区分の認定				
区分1	37今後施設入所支援	利用しない		7
	合計			7
区分2	37今後施設入所支援	利用したい		1
		利用しない		7
	合計			8
区分3	37今後施設入所支援	利用したい		6
		利用しない		5
	合計			11
区分4	37今後施設入所支援	利用したい	3	6
		利用しない	0	3
	合計		3	9
区分5	37今後施設入所支援	利用したい	2	1
	合計		2	3
区分6	37今後施設入所支援	利用したい		2
		利用しない		4
	合計			6
受けていない	37今後施設入所支援	利用したい	1	14
		利用しない	0	85
	合計		1	99
合計	37今後施設入所支援	利用したい	6	30
		利用しない	0	111
	合計		6	147

施設入所支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.33となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて施設入所の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 37今後施設入所支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				問5-5一人暮らし
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
			65歳以上	1
		合計		2
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
		合計		4
	合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	3
			65歳以上	1
合計			6	

施設入所支援の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.07となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて施設入所の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 37今後施設入所支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				問5-1父母親祖父母兄弟
32障害支援区分の認定				該当
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	3
			ふつう	4
			よくない	2
		合計	9	
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	34
			ふつう	27
			よくない	5
		合計	66	
	合計	問8介助者健康状態	よい	37
ふつう			31	
よくない			7	
合計		75		

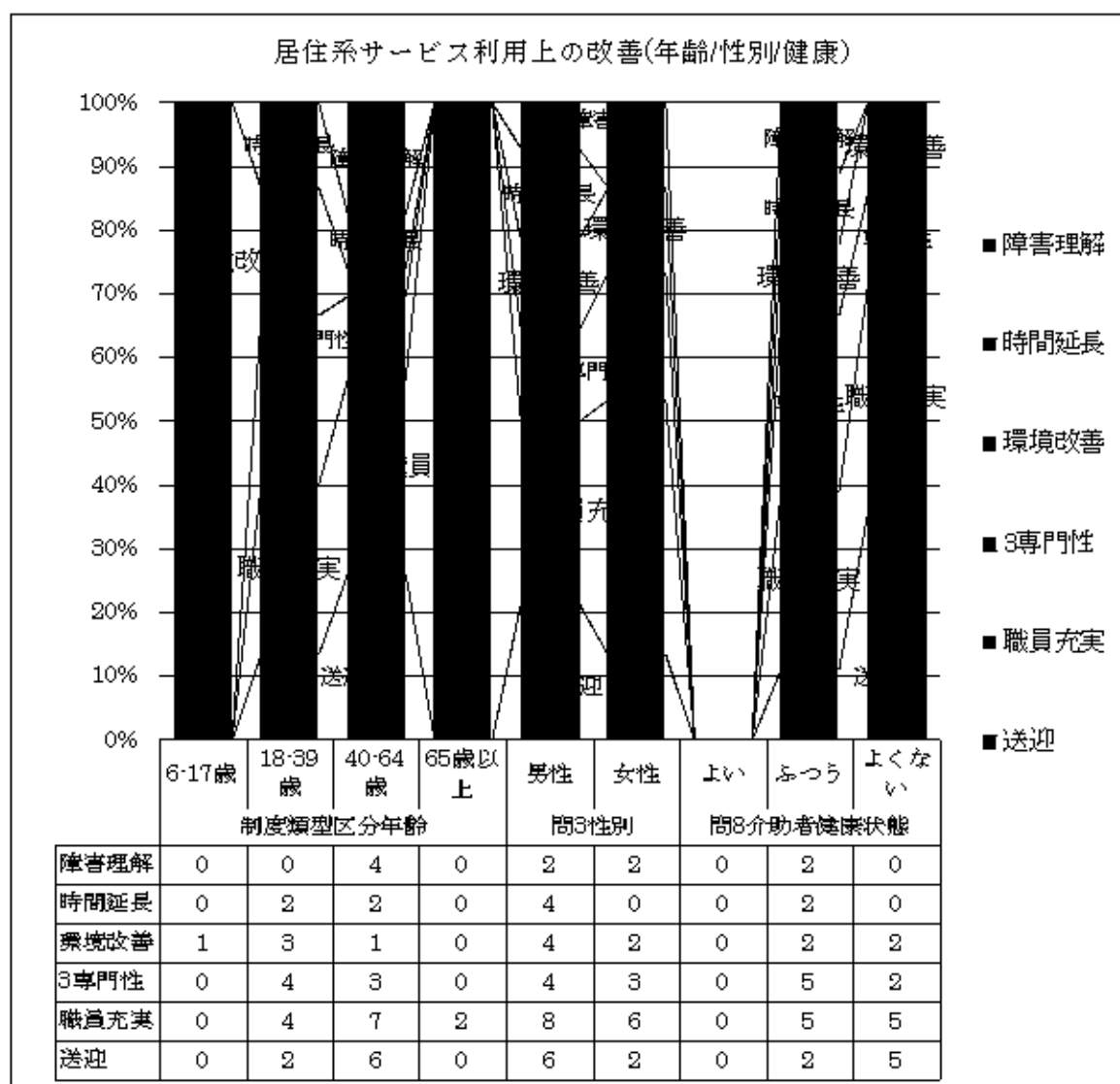
施設入所支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.13となります。

【問 87 で、「利用している」を選択された方にお聞きします。】

問 38 あなたは、居住（宿泊）系サービス利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。（○は 2 つまで）

問38多重回答居住系サービス利用での改善希望 度数分布表

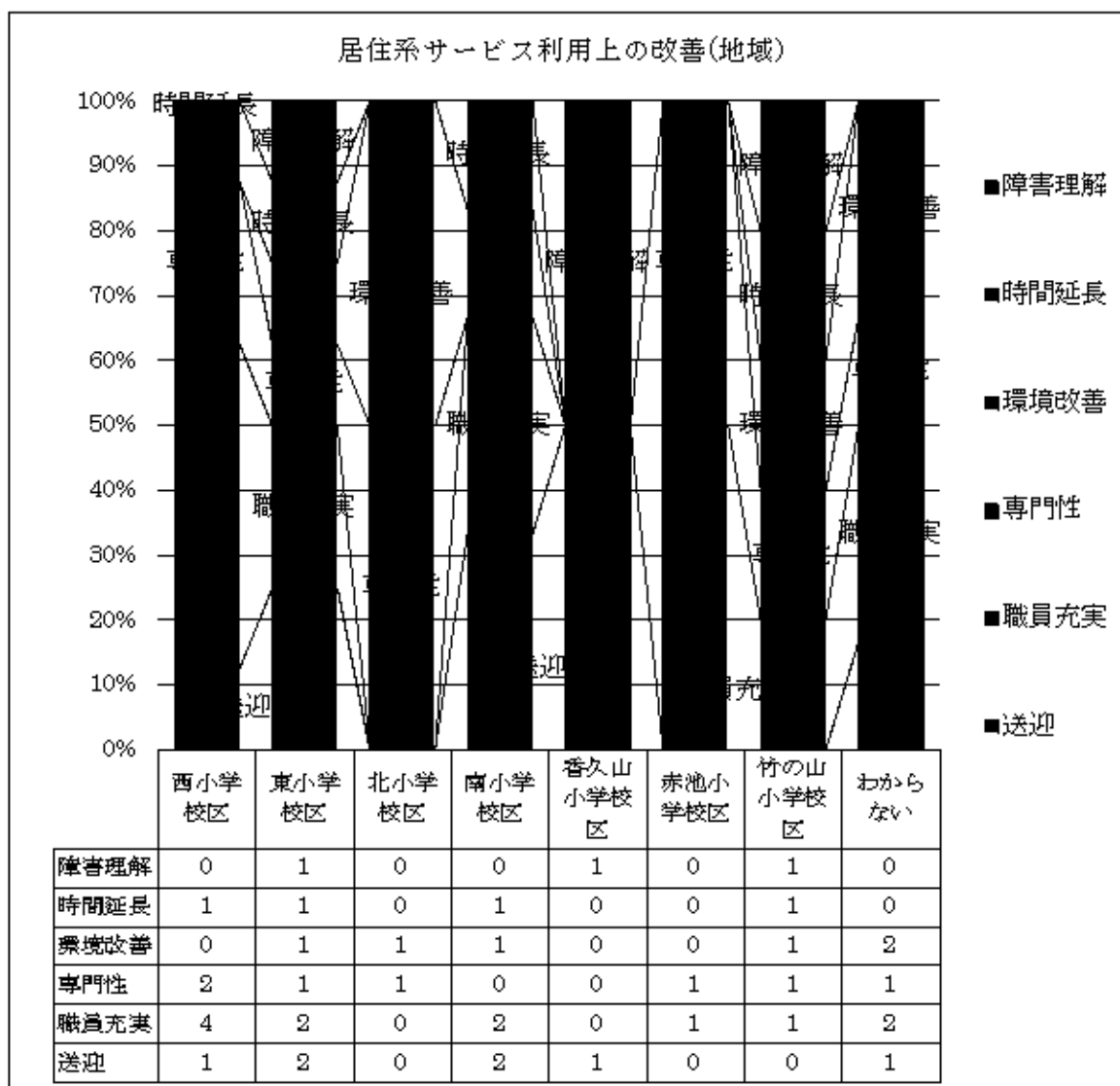
	応答数		ケースのパーセント	
	N	パーセント		
38-1事業所への送迎	8	15.4%	25.0%	
38-2職員体制の充実	15	28.8%	46.9%	
38-3専門性の向上	8	15.4%	25.0%	
問38多重回答居住系サービス利用での改善希望	38-4設備環境の改善	6	11.5%	18.8%
	38-5開所時間の延長	4	7.7%	12.5%
	38-6障害への理解	4	7.7%	12.5%
	38-7その他	1	1.9%	3.1%
	38-8特になし	6	11.5%	18.8%
合計	52	100.0%	162.5%	



居住系サービスを利用する上での改善項目を制度類型別区分年齢と性別と介助者の健康状態であらわしました。制度類型別区分年齢の17歳以下では母数が少ないため明らかなことはいえませんが、18-39歳と40-65歳の区分では「障害理解」の項目で違いが見られました。

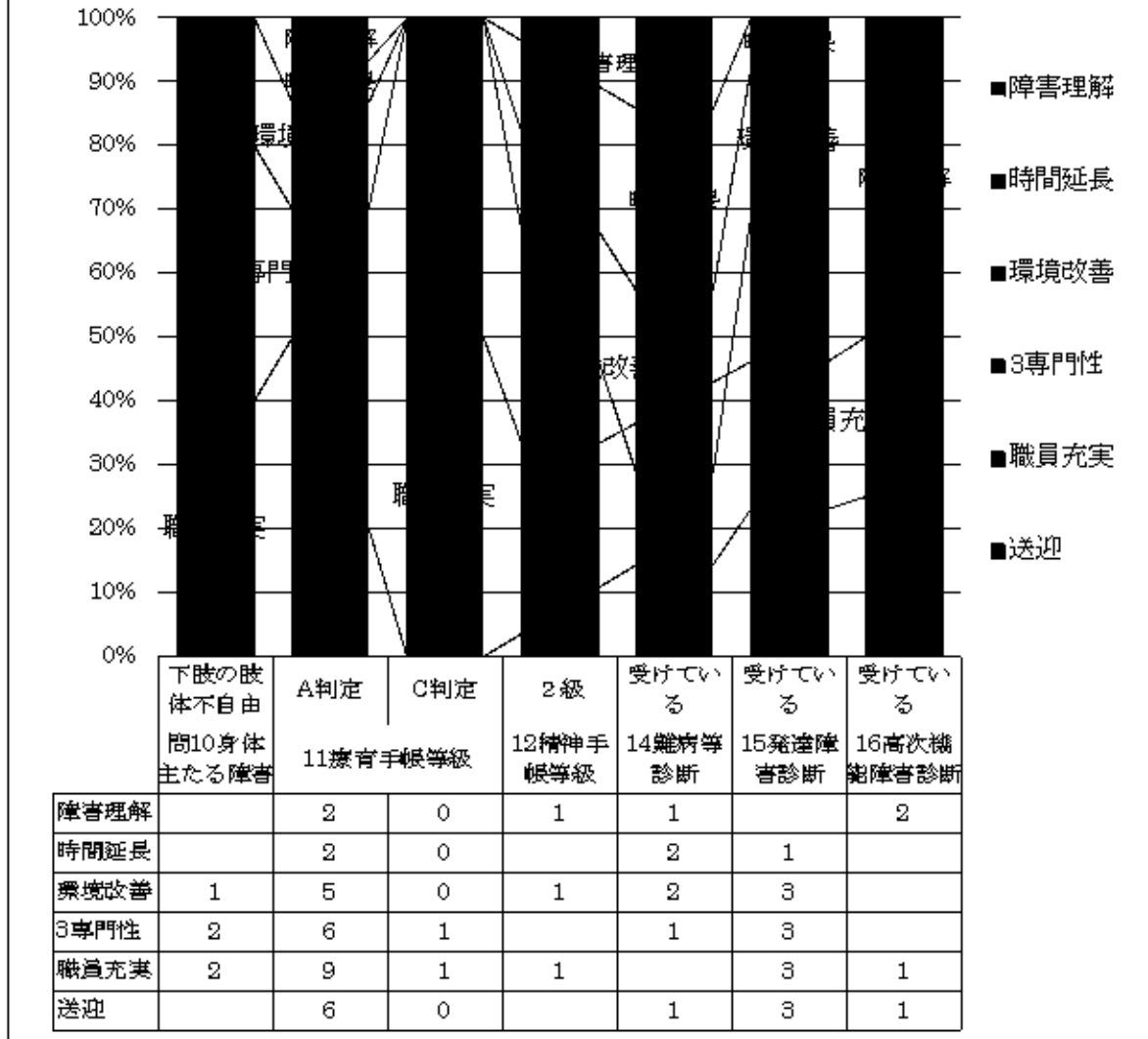
また性別では男性の方が女性より「時間延長」の改善を求めている割合が高いようです。

介助者の健康状態「よくない」では、「ふつう」での改善希望「時間延長」「障害理解」より「送迎」に改善希望が集まる結果となりました。

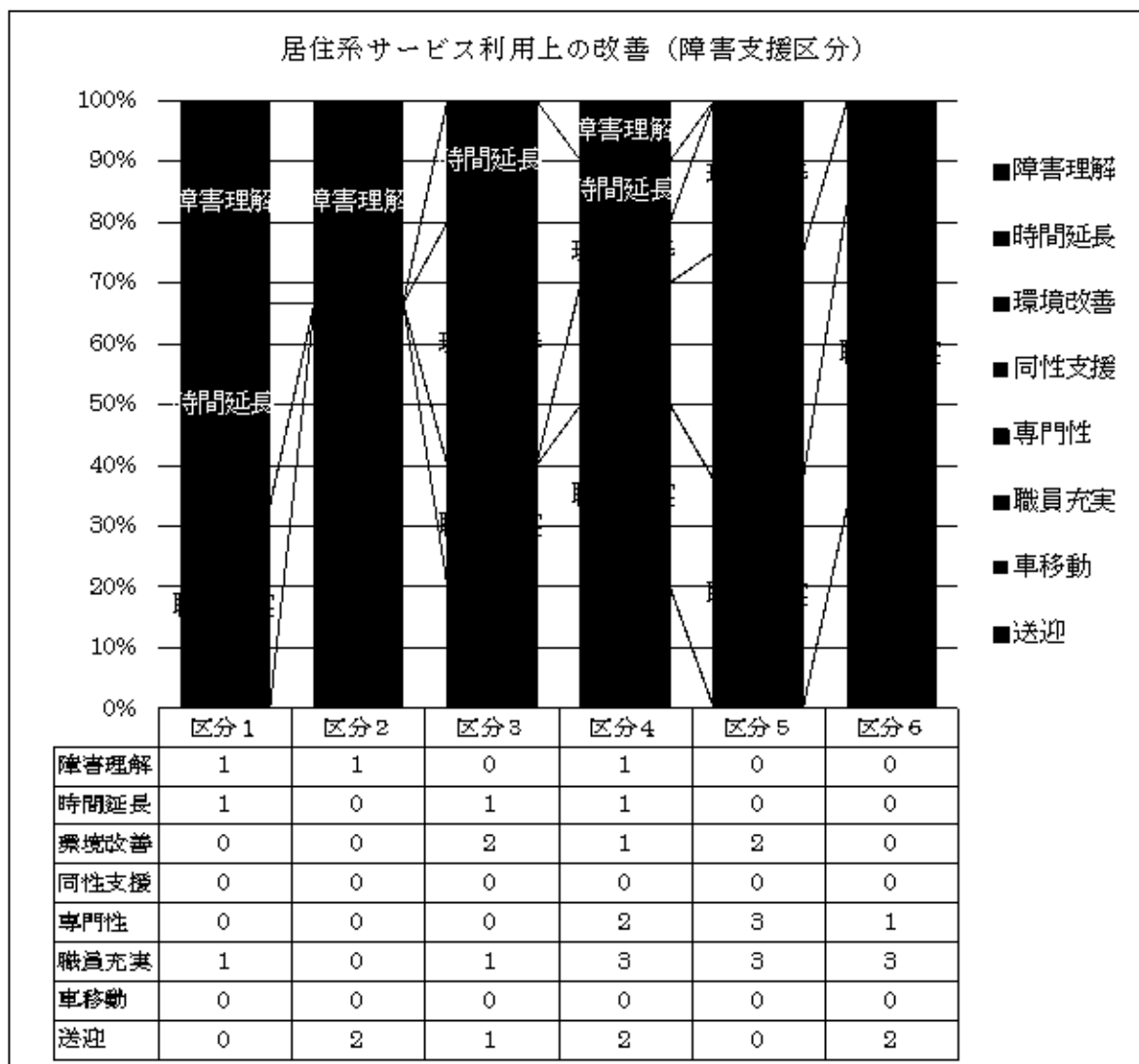


つぎに居住系サービスを利用する上での改善項目を地域別であらわしました。ここでも回答母数が少ないため明らかなことはいえませんが、「職員充実」は多くの地域で高い回答割合となっています。

居住系サービス利用上の改善(障害)



つぎに、居住系サービスを利用する上での改善項目を障害等別であらわしました。療育手帳A判定の方と発達障害の方の回答が高くなっています。身体障害者手帳取得の人の回答の少ないのが気になります。



さいごに、居住系サービスを利用する上での改善項目を障害支援区分別であらわしました。回答母数が少ないため明らかなことはいえませんがショートステイを利用するニーズがある人は「送迎」の改善を求めていると考えられます。

問 39 あなたは、次の相談系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。（「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答（番号に○）してください）

【利用意向率：相談支援事業等の性質上から、相談支援サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、相談支援サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

39今後相談支援 と 39現在相談支援 のクロス表				
度数				
		39現在相談支援		合計
		利用している	利用していない	
39今後相談支援	利用したい	78	59	137
	利用しない	2	44	46
合計		80	103	183

相談支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.57となります。

【A利用必要率：相談支援事業等の性質上から、相談支援事業の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢18歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 39今後相談支援 のクロス表				
度数				
			問5-5一人暮らし	合計
			該当	
39今後相談支援 利用したい	制度類型区分年齢	18-39歳	4	4
		40-64歳	5	5
		65歳以上	2	2
	合計	11	11	
利用しない	制度類型区分年齢	6-17歳	1	1
		18-39歳	1	1
		40-64歳	2	2
	65歳以上	2	2	
合計	6	6		
合計	制度類型区分年齢	6-17歳	1	1
		18-39歳	5	5
		40-64歳	7	7
	65歳以上	4	4	
合計	17	17		

相談支援の潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.15となります。

【B利用必要率：相談支援事業等の性質上から、相談支援事業の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 39今後相談支援 のクロス表				
度数				
			問5-1父母親祖父母兄弟	
			該当	合計
39今後相談支援 利用したい	問8介助者健康状態	よい	28	28
		ふつう	57	57
		よくない	15	15
	合計			100
利用しない	問8介助者健康状態	よい	15	15
		ふつう	12	12
		よくない	5	5
	合計			32
合計	問8介助者健康状態	よい	43	43
		ふつう	69	69
		よくない	20	20
	合計			132

相談支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は 0.25 となります。

問 40 あなたは、次の児童系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと
考えますか。(①から⑥のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用し
たいか」の両方を回答(番号に○)してください)

【児童発達支援】

【児童利用必要率：各サービスで「利用していない」と回答した人のうち、「今後
利用したい」と回答した人】

40今後児童発達支援 と 40現在児童発達支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表					
度数					
32障害支援区分の認定			40現在児童発達支援		合計
			利用している	利用していない	
区分1	40今後児童発達支援	利用しない		3	3
	合計			3	3
区分2	40今後児童発達支援	利用しない		8	8
	合計			8	8
区分3	40今後児童発達支援	利用しない		8	8
	合計			8	8
区分4	40今後児童発達支援	利用したい		1	1
		利用しない		4	4
	合計			5	5
区分5	40今後児童発達支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分6	40今後児童発達支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
受けていない	40今後児童発達支援	利用したい	41	13	54
		利用しない	1	38	39
	合計		42	51	93
合計	40今後児童発達支援	利用したい	41	14	55
		利用しない	1	69	70
	合計		42	83	125

児童発達支援の潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.17となります。

【放課後等デイサービス】

【児童利用必要率：各サービスで「利用していない」と回答した人のうち、「今後利用したい」と回答した人】

40今後放課後等デイサービス と 40現在放課後等デイサービス と 32障害支援区分の認定 のクロス表					
度数			40現在放課後等デイサービス		合計
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	
区分1	40今後放課後等デイサービス	利用しない		3	3
	合計			3	3
区分2	40今後放課後等デイサービス	利用したい	1	0	1
		利用しない	0	7	7
	合計		1	7	8
区分3	40今後放課後等デイサービス	利用しない		8	8
	合計			8	8
区分4	40今後放課後等デイサービス	利用したい		1	1
		利用しない		4	4
	合計			5	5
区分5	40今後放課後等デイサービス	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分6	40今後放課後等デイサービス	利用しない		4	4
	合計			4	4
受けていない	40今後放課後等デイサービス	利用したい	32	36	68
		利用しない	0	30	30
	合計		32	66	98
合計	40今後放課後等デイサービス	利用したい	33	37	70
		利用しない	0	60	60
	合計		33	97	130

放課後等デイサービスの潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.38となります。

【保育所等訪問支援】

【児童利用必要率：各サービスで「利用していない」と回答した人のうち、「今後利用したい」と回答した人】

40今後保育所等訪問支援 と 40現在保育所等訪問支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表					
度数					
32障害支援区分の認定			40現在保育所等訪問支援		合計
			利用している	利用していない	
区分1	40今後保育所等訪問支援	利用しない		2	2
	合計			2	2
区分2	40今後保育所等訪問支援	利用しない		7	7
	合計			7	7
区分3	40今後保育所等訪問支援	利用しない		8	8
	合計			8	8
区分4	40今後保育所等訪問支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分5	40今後保育所等訪問支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分6	40今後保育所等訪問支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
受けていない	40今後保育所等訪問支援	利用したい	9	26	35
		利用しない	0	58	58
	合計			9	84
合計	40今後保育所等訪問支援	利用したい	9	26	35
		利用しない	0	87	87
	合計			9	113

保育所等訪問支援の潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.23となります。

【医療型児童発達支援】

【児童利用必要率：各サービスで「利用していない」と回答した人のうち、「今後利用したい」と回答した人】

40今後医療型児童発達支援 と 40現在医療型児童発達支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表					
人数			40現在医療型児童発達支援		
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	合計
区分1	40今後医療型児童発達支援	利用しない		2	2
	合計			2	2
区分2	40今後医療型児童発達支援	利用しない		7	7
	合計			7	7
区分3	40今後医療型児童発達支援	利用しない		8	8
	合計			8	8
区分4	40今後医療型児童発達支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分5	40今後医療型児童発達支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分6	40今後医療型児童発達支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
受けていない	40今後医療型児童発達支援	利用したい	10	28	38
		利用しない	0	56	56
	合計		10	84	94
合計	40今後医療型児童発達支援	利用したい	10	28	38
		利用しない	0	85	85
	合計		10	113	123

医療型児童発達支援の潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.25となります。

【福祉型児童入所支援】

【児童利用必要率：各サービスで「利用していない」と回答した人のうち、「今後利用したい」と回答した人】

40今後福祉型児童入所支援 と 40現在福祉型児童入所支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表					
度数			40現在福祉型児童入所支援		合計
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	
区分1	40今後福祉型児童入所支援	利用しない		2	2
	合計			2	2
区分2	40今後福祉型児童入所支援	利用しない		7	7
	合計			7	7
区分3	40今後福祉型児童入所支援	利用しない		8	8
	合計			8	8
区分4	40今後福祉型児童入所支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分5	40今後福祉型児童入所支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
区分6	40今後福祉型児童入所支援	利用しない		4	4
	合計			4	4
受けていない	40今後福祉型児童入所支援	利用したい	3	15	18
		利用しない	0	73	73
	合計		3	88	91
合計	40今後福祉型児童入所支援	利用したい	3	15	18
		利用しない	0	102	102
	合計		3	117	120

福祉型児童入所支援の潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.13となります。

【医療型児童入所支援】

【児童利用必要率：各サービスで「利用していない」と回答した人のうち、「今後利用したい」と回答した人】

40今後医療型児童入所支援 と 40現在医療型児童入所支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
廣敷				
			40現在医療型児童入所支援	
32障害支援区分の認定			利用していない	合計
区分 1	40今後医療型児童入所支援	利用しない	2	2
	合計		2	2
区分 2	40今後医療型児童入所支援	利用しない	7	7
	合計		7	7
区分 3	40今後医療型児童入所支援	利用しない	8	8
	合計		8	8
区分 4	40今後医療型児童入所支援	利用しない	4	4
	合計		4	4
区分 5	40今後医療型児童入所支援	利用しない	4	4
	合計		4	4
区分 6	40今後医療型児童入所支援	利用しない	4	4
	合計		4	4
受けていない	40今後医療型児童入所支援	利用したい	12	12
		利用しない	79	79
	合計		91	91
合計	40今後医療型児童入所支援	利用したい	12	12
		利用しない	108	108
	合計		120	120

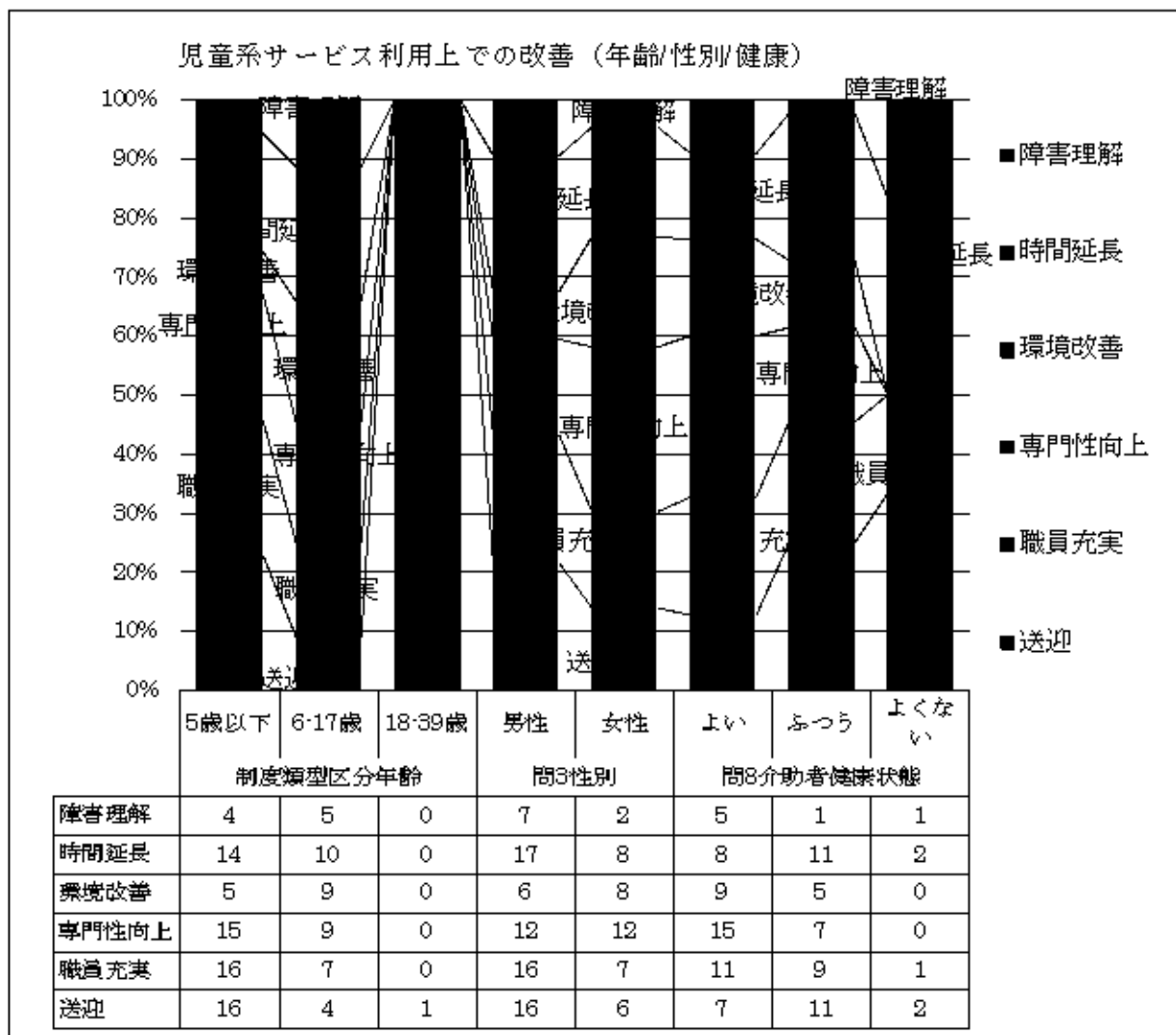
医療型児童入所支援の潜在的な利用者数を推計するための利用必要率は0.10となります。

【問 40 で、「利用している」を選択された方にお聞きします。】

問 41 あなたは、児童系サービスを利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(〇は2つまで)

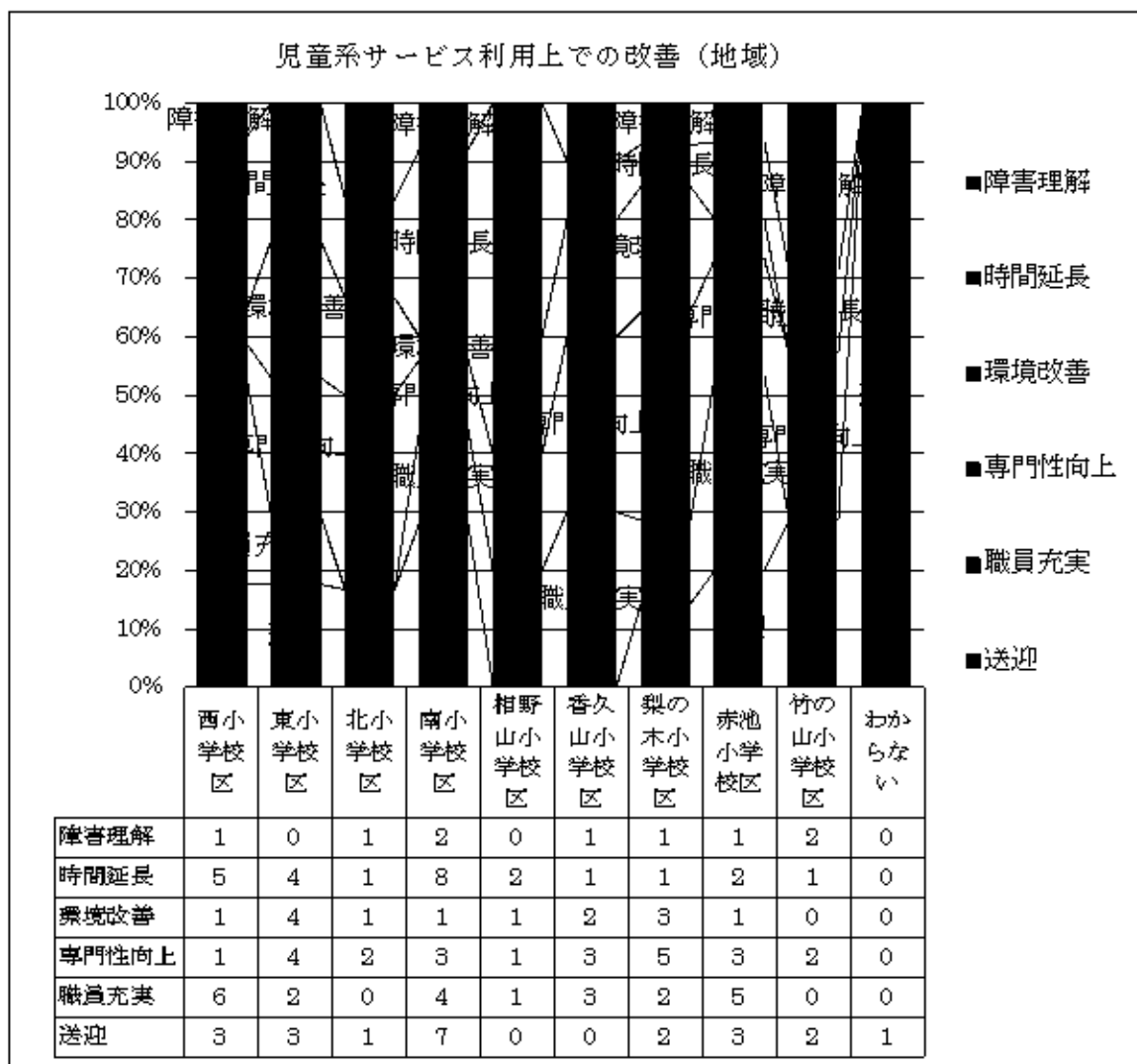
問41多重回答児童系サービス利用での改善希望 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント	
	N	パーセント		
41-1事業所への送迎	22	16.4%	27.8%	
41-2職員体制の充実	24	17.9%	30.4%	
41-3専門性の向上	25	18.7%	31.6%	
問41多重回答児童系サービス利用での改善希望	41-4設備環境の改善	14	10.4%	17.7%
	41-5開所時間の延長	25	18.7%	31.6%
	41-6障害への理解	9	6.7%	11.4%
	41-7その他	8	6.0%	10.1%
	41-8特になし	7	5.2%	8.9%
合計	134	100.0%	169.6%	

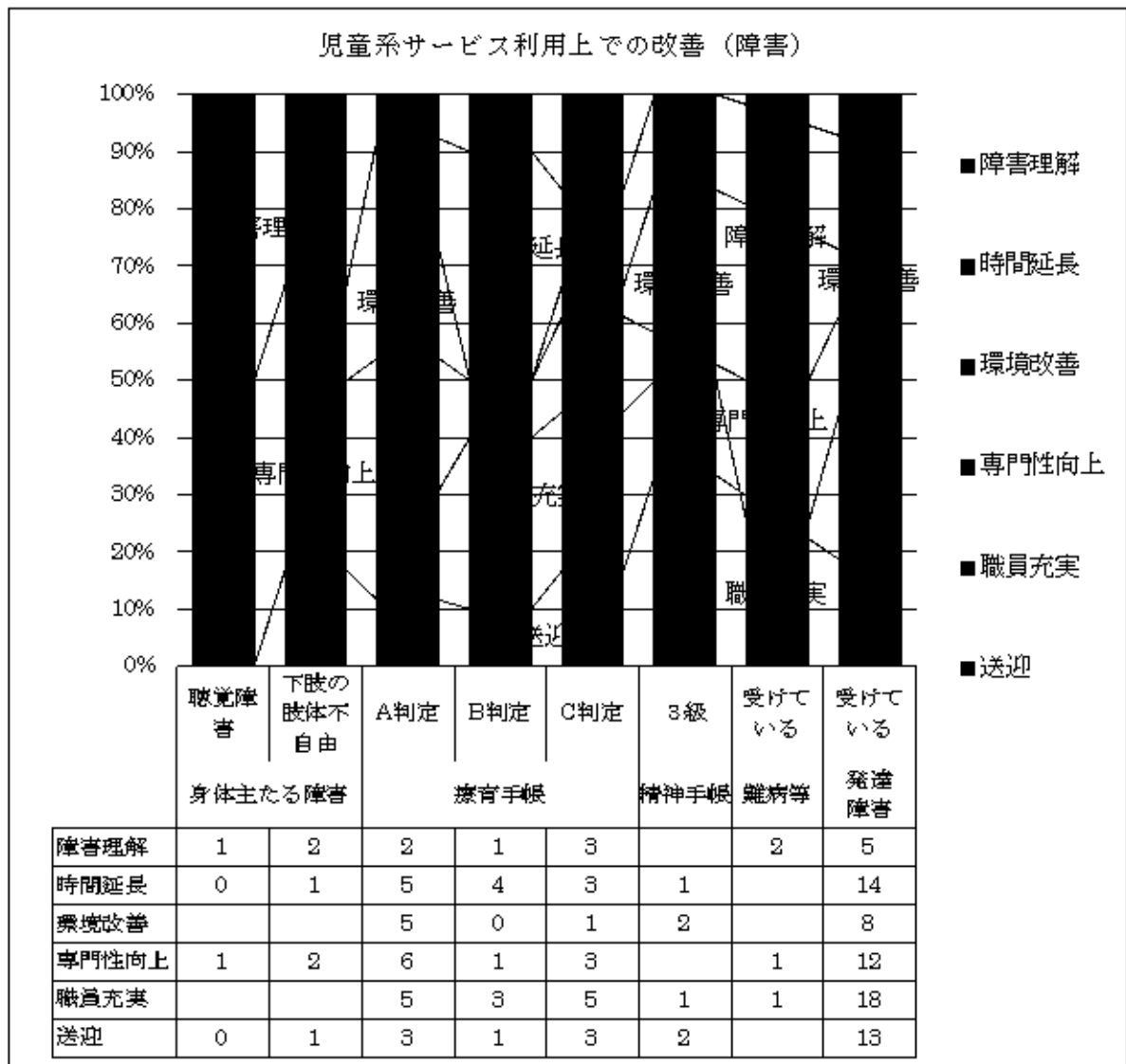


児童系サービスを利用する上での改善項目を制度類型別区分年齢と性別と介助者の健康状態であらわしました。制度類型別区分年齢の18-39歳では母数が少ないため明らかなことはいえませんが、5歳以下と6-17歳の区分では「送迎」の項目で違いが見られました。

介助者の健康状態「よくない」では「時間延長」に改善希望が集まる結果となりました。



つぎに、児童系サービスを利用する上での改善項目を地域別であらわしました。
相野山小学校区、香久山小学校区では「送迎」にかかる改善回答に特徴が見られます。



つぎに、児童系サービスを利用する上での改善項目を障害等別であらわしました。療育手帳取得の方と発達障害の方の回答が多く寄せられています。

問 42 あなたは次の地域生活支援事業を利用していますか。また、今後利用したいと
考えますか。(①から③のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用し
たいか」の両方を回答(番号に○)してください)

【移動支援事業】

42今後移動支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

人数

		32障害支援区分の認定						合計	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		受けていない
42今後移動支援	利用したい	5	3	7	8	1	4	3	59
	利用しない	4	5	5	3	3	1	74	95
合計		9	8	12	11	4	5	105	154

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利
用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答してい
る人】

42今後移動支援 と 42現在移動支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表

42今後移動支援 と 42現在移動支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表					
人数			42現在移動支援		合計
			利用している	利用していない	
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	合計
区分1	42今後移動支援	利用したい	2	2	4
		利用しない	0	4	4
	合計	2	6	8	
区分2	42今後移動支援	利用したい	2	1	3
		利用しない	0	5	5
	合計	2	6	8	
区分3	42今後移動支援	利用したい	3	4	7
		利用しない	0	5	5
	合計	3	9	12	
区分4	42今後移動支援	利用したい	4	4	8
		利用しない	0	3	3
	合計	4	7	11	
区分5	42今後移動支援	利用したい	1	0	1
		利用しない	0	3	3
	合計	1	3	4	
区分6	42今後移動支援	利用したい	3	1	4
		利用しない	0	1	1
	合計	3	2	5	
受けていない	42今後移動支援	利用したい	4	27	31
		利用しない	0	71	71
	合計	4	98	102	
合計	42今後移動支援	利用したい	19	39	58
		利用しない	0	92	92
	合計	19	131	150	

移動支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.36となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて移動支援の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 42今後移動支援 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
32障害支援区分の認定			問5-5一人 暮らし	
			該当	
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
		合計		1
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
			65歳以上	1
	合計		5	
	合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	3
			65歳以上	1
		合計		6

移動支援の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.03となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて移動支援の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 42今後移動支援 と 32障害支援区分の 認定 のクロス表				
32障害支援区分の認定			問5-1父母親祖父母兄弟	
			該当	
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	12
			ふつう	9
			よくない	4
		合計	25	
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	26
			ふつう	23
			よくない	2
		合計	51	
	合計	問8介助者健康状態	よい	38
			ふつう	32
よくない			6	
合計		76		

移動支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.13となります。

【日中一時支援事業】

42今後日中一時支援事業と32障害支援区分の認定のクロス表

度数

		32障害支援区分の認定						受けていない	合計
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		
42今後日中一時支援事業	利用したい	4	4	9	10	1	8	73	77
	利用しない	5	5	3	2	3	6	60	76
合計		9	9	12	12	4	6	103	153

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

42今後日中一時支援事業と42現在日中一時支援事業と32障害支援区分の認定のクロス表					
度数					
32障害支援区分の認定			42現在日中一時支援事業		合計
			利用している	利用していない	
区分1	42今後日中一時支援事業	利用したい	1	2	3
		利用しない	0	5	5
	合計	1	7	8	
区分2	42今後日中一時支援事業	利用したい	1	3	4
		利用しない	0	5	5
	合計	1	8	9	
区分3	42今後日中一時支援事業	利用したい	2	7	9
		利用しない	0	3	3
	合計	2	10	12	
区分4	42今後日中一時支援事業	利用したい	6	4	10
		利用しない	0	2	2
	合計	6	6	12	
区分5	42今後日中一時支援事業	利用したい	1	0	1
		利用しない	0	3	3
	合計	1	3	4	
区分6	42今後日中一時支援事業	利用したい	2	4	6
		合計	2	4	6
	受けていない	42今後日中一時支援事業	利用したい	17	26
利用しない			0	57	57
合計		17	83	100	
合計	42今後日中一時支援事業	利用したい	30	46	76
		利用しない	0	75	75
	合計	30	121	151	

日中一時支援の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.53となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて日中一時支援の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 42今後日中一時支援事業 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
32障害支援区分の認定			問5-5一人暮らし	
受けていない			該当	
利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1	
		合計	1	
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
65歳以上			1	
合計		5		
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
		65歳以上	1	
	合計		6	

日中一時支援の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.02となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて日中一時支援の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 42今後日中一時支援事業 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
32障害支援区分の認定				問5-1父母親祖父母兄弟
受けていない				該当
利用したい	問8介助者健康状態	よい		16
		ふつう		16
		よくない		4
	合計		36	
利用しない	問8介助者健康状態	よい		23
		ふつう		15
		よくない		2
	合計		40	
合計	問8介助者健康状態	よい		39
		ふつう		31
		よくない		6
	合計		76	

日中一時支援の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.09となります。

【訪問入浴】

42今後訪問入浴サービス事業と32障害支援区分の認定のクロス表

単位

		32障害支援区分の認定						合計	
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		受けていない
42今後訪問入浴サービス事業	利用したい	4	2	2	3	2	3	8	21
	利用しない	7	6	10	7	3	2	95	130
合計		9	8	12	10	5	5	103	151

【利用意向率：障害支援区分の認定を受けている人で、各サービスの利用状況を「利用していない」と回答し、各サービスの利用意向で「今後利用したい」と回答している人】

42今後訪問入浴サービス事業と42現在訪問入浴サービス事業と32障害支援区分の認定のクロス表					
度数					
			42現在訪問入浴サービス事業		合計
32障害支援区分の認定			利用している	利用していない	
区分1	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい		1	1
		利用しない		7	7
	合計			8	8
区分2	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい		2	2
		利用しない		6	6
	合計			8	8
区分3	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい		2	2
		利用しない		10	10
	合計			12	12
区分4	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい		3	3
		利用しない		7	7
	合計			10	10
区分5	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい		2	2
		利用しない		3	3
	合計			5	5
区分6	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい	1	2	3
		利用しない	0	2	2
	合計		1	4	5
受けていない	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい		8	8
		利用しない		92	92
	合計			100	100
合計	42今後訪問入浴サービス事業	利用したい	1	20	21
		利用しない	0	127	127
	合計		1	147	148

訪問入浴の潜在的な利用者数を推計するための利用意向率は0.26となります。

【A利用必要率：障害支援区分を受けていなくて訪問入浴の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち、在宅・一人暮らしで年齢40歳～64歳の人】

制度類型区分年齢 と 問5-5一人暮らし と 42今後訪問入浴サービス事業 と 32障害支援区分の認定 のクロス表				
度数				
				問5-5一人暮らし
				該当
32障害支援区分の認定				
受けていない	利用したい	制度類型区分年齢	40-64歳	1
		合計		1
	利用しない	制度類型区分年齢	18-39歳	2
			40-64歳	2
			65歳以上	1
合計		5		
合計	制度類型区分年齢	18-39歳	2	
		40-64歳	3	
		65歳以上	1	
		合計	6	

訪問入浴の潜在的な利用者数を推計するためのA利用必要率は0.13となります。

【B利用必要率：障害支援区分を受けていなくて訪問入浴の利用意向を「今後利用したい」と回答している人のうち在宅・介護者と同居で介護者の健康がすぐれないと回答した人】

問8介助者健康状態 と 問5-1父母親祖父母兄弟 と 42今後訪問入浴サービス事業 と 32障害支援区分の認定 のクロス				
				問5-1父母親祖父母兄弟
				該当
32障害支援区分の認定				
受けていない	利用したい	問8介助者健康状態	よい	2
			ふつう	2
		合計		4
	利用しない	問8介助者健康状態	よい	35
			ふつう	30
			よくない	6
		合計	71	
合計	問8介助者健康状態	よい	37	
		ふつう	32	
		よくない	6	
	合計	75		

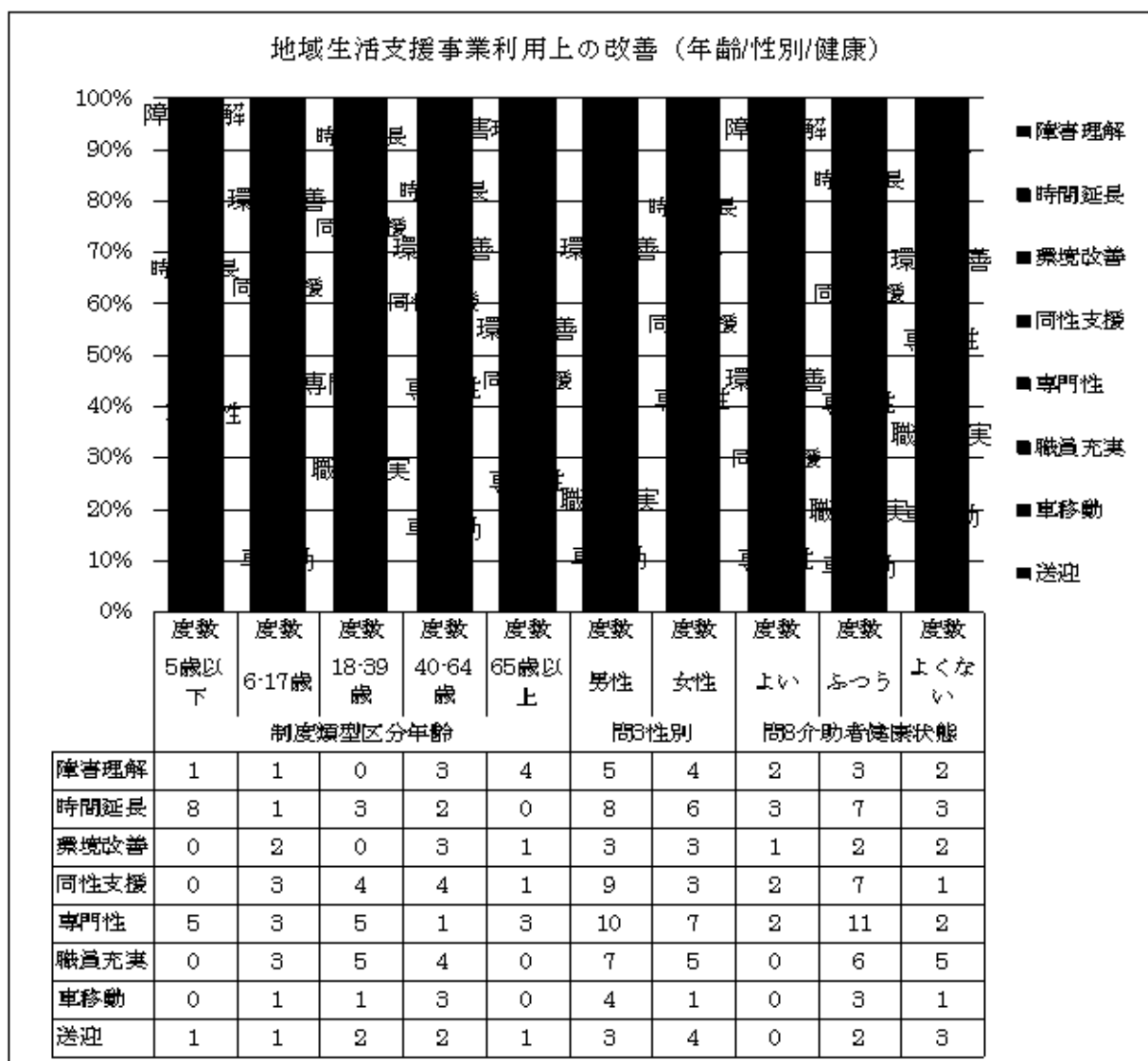
訪問入浴の潜在的な利用者数を推計するためのB利用必要率は0.00となります。

【問 42 で、「利用している」を選択された方にお聞きします。】

問 43 あなたは、地域生活支援事業を利用する上で改善してほしいと思うことは何ですか。(○は2つまで)

問43多重回答地域生活支援事業利用での改善希望 度数分布表

	応答数		ケースのパーセント
	N	パーセント	
43-1事業所への送迎	7	7.1%	11.5%
43-2車での移動	5	5.1%	8.2%
43-3職員体制の充実	13	13.1%	21.3%
43-4専門性の向上	18	18.2%	29.5%
問43多重回答地域生活支援事業利用での改善希望 ^a 43-5同性による支援	12	12.1%	19.7%
43-6設備環境の改善	6	6.1%	9.8%
43-7開所時間の延長	14	14.1%	23.0%
43-8障害への理解	9	9.1%	14.8%
43-9その他	4	4.0%	6.6%
43-10特になし	11	11.1%	18.0%
合計	99	100.0%	162.3%

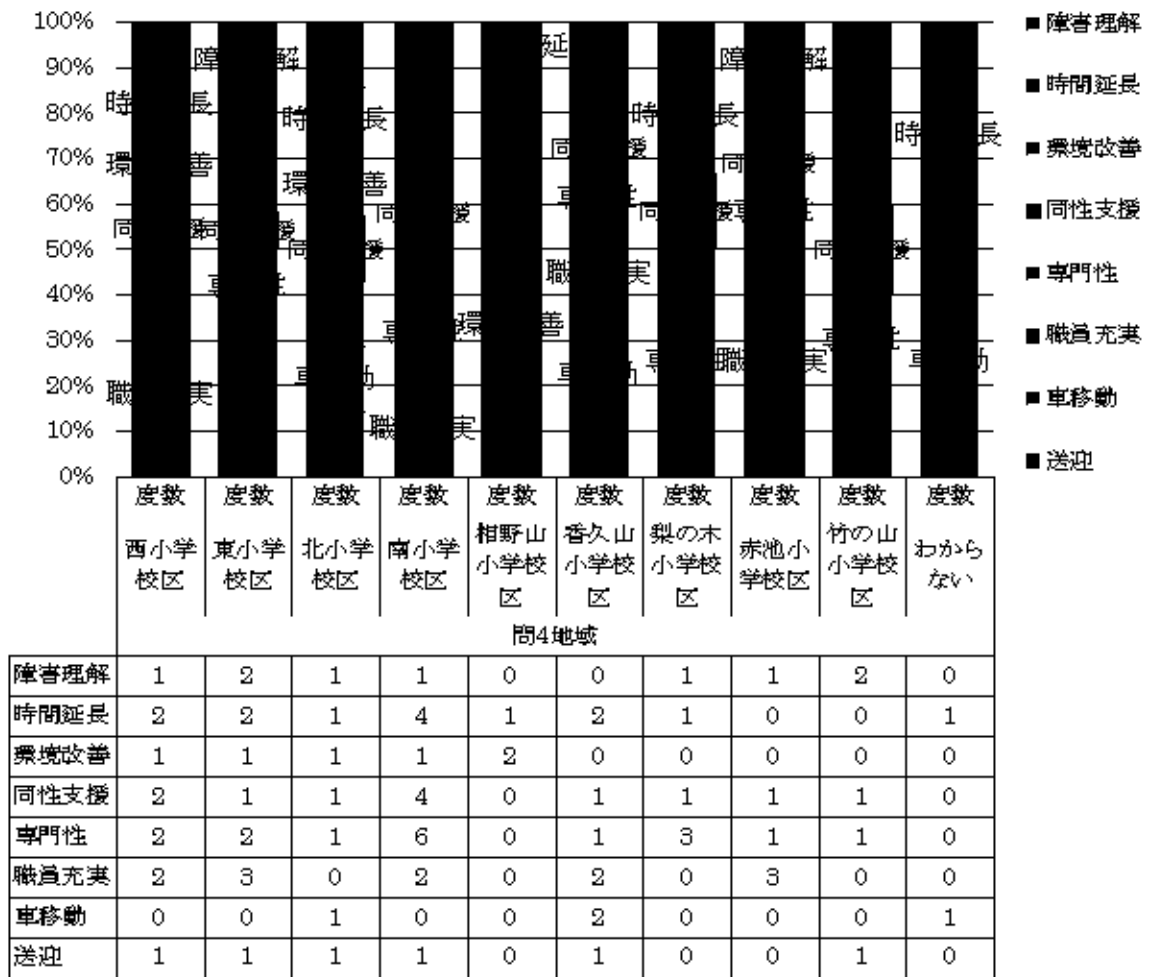


地域生活支援事業を利用する上での改善項目を制度類型別区分年齢と性別と介助者の健康状態であらわしました。制度類型別区分年齢の5歳以下では「専門性」と「時間延長」に多くの回答が寄せられています。また65歳以上では「障害理解」が回答の4割を占めています。

また性別では女性の方が男性より専門性の改善を求めている割合が高いようです。

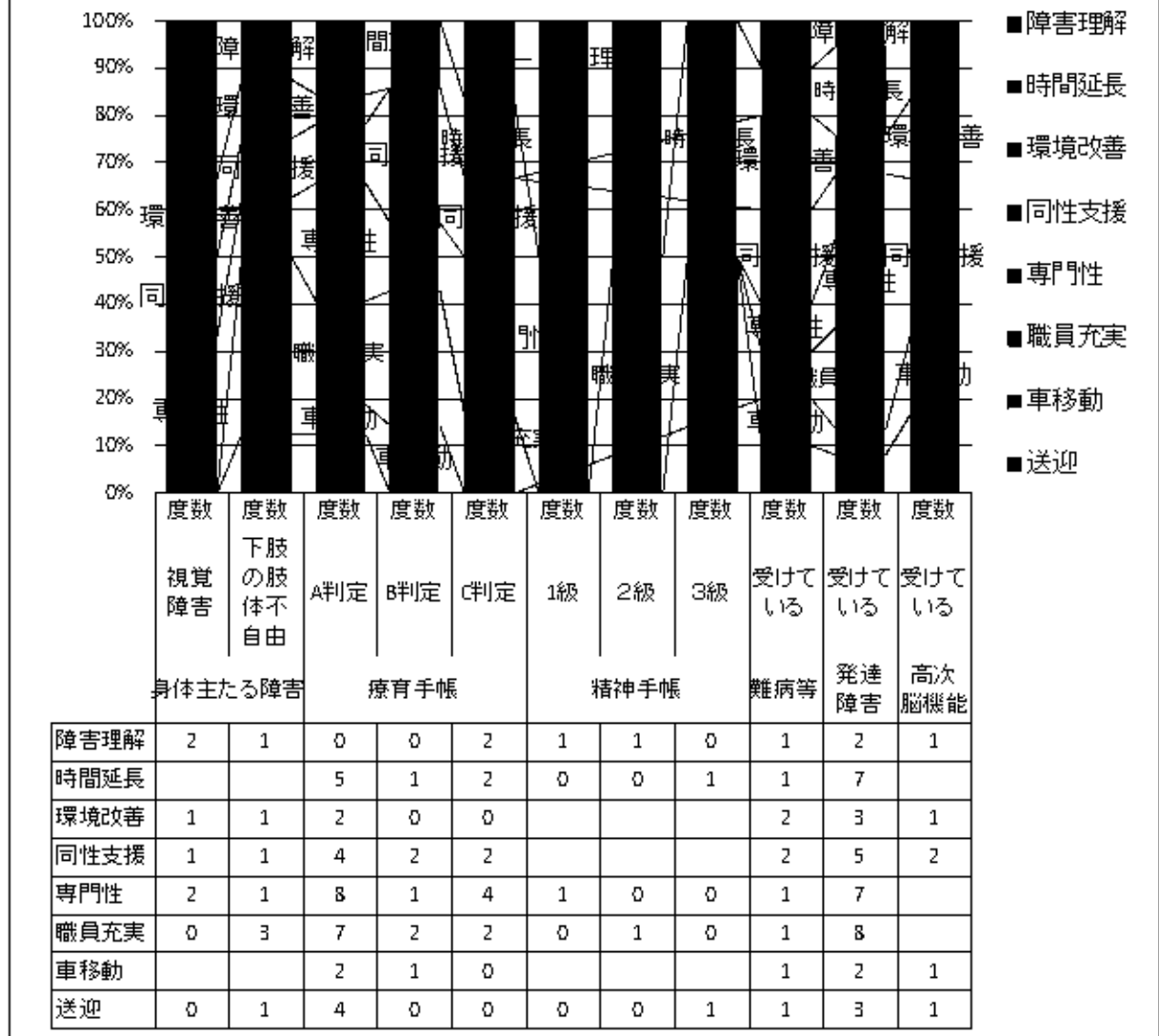
介助者の健康状態「よくない」と「ふつう」では「専門性」に若干の差は見られますが、それ以外では改善希望の大きな差はみられませんでした。

地域生活支援事業利用上の改善（地域）



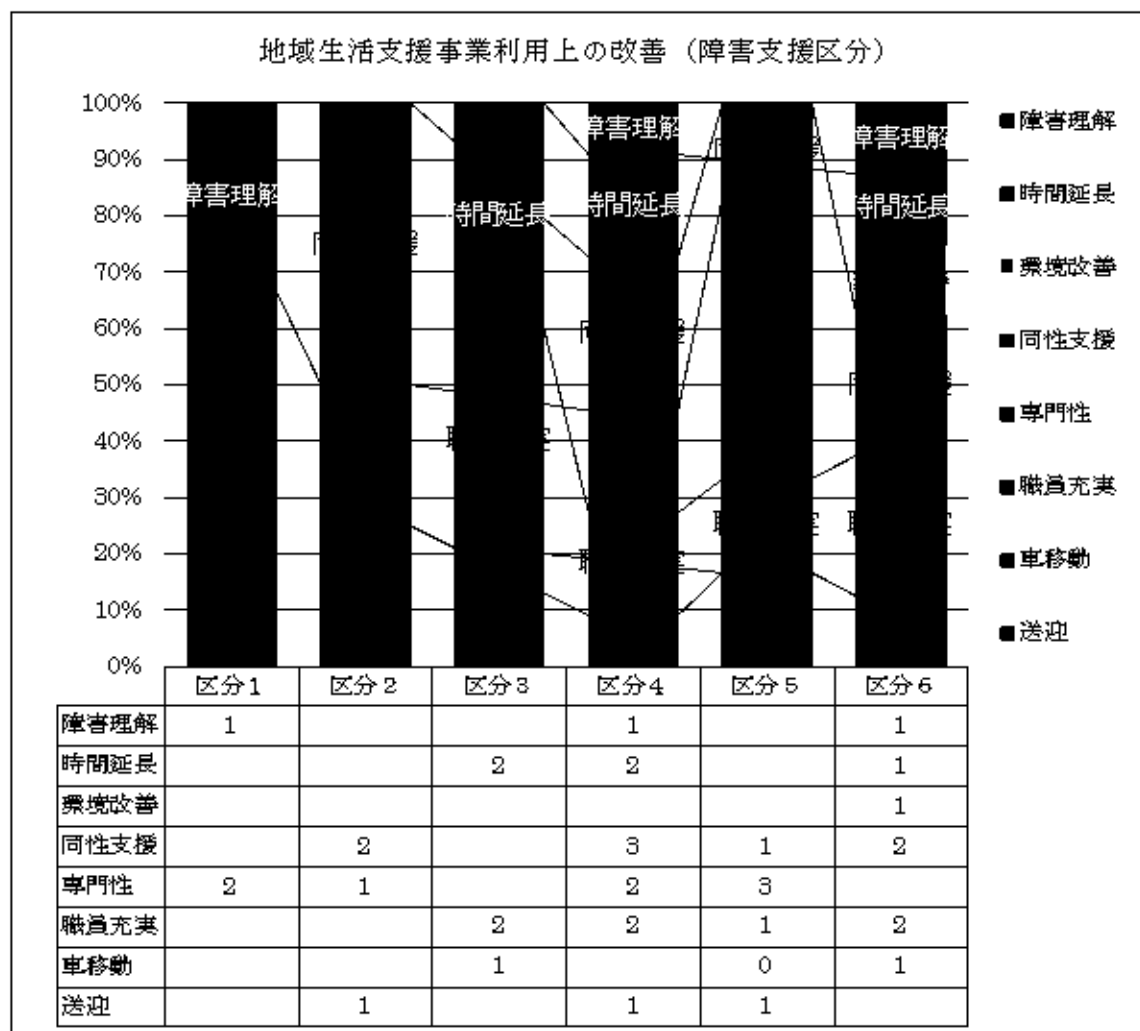
つぎに、地域生活支援事業を利用する上での改善項目を地域別であらわしました。
 ここでも回答母数が少ないため明らかなことはいえない校区もありますが、南小学校区で「専門性」「同性支援」の改善割合が比較的高い傾向にあるようです。

地域生活支援事業利用上の改善(障害)



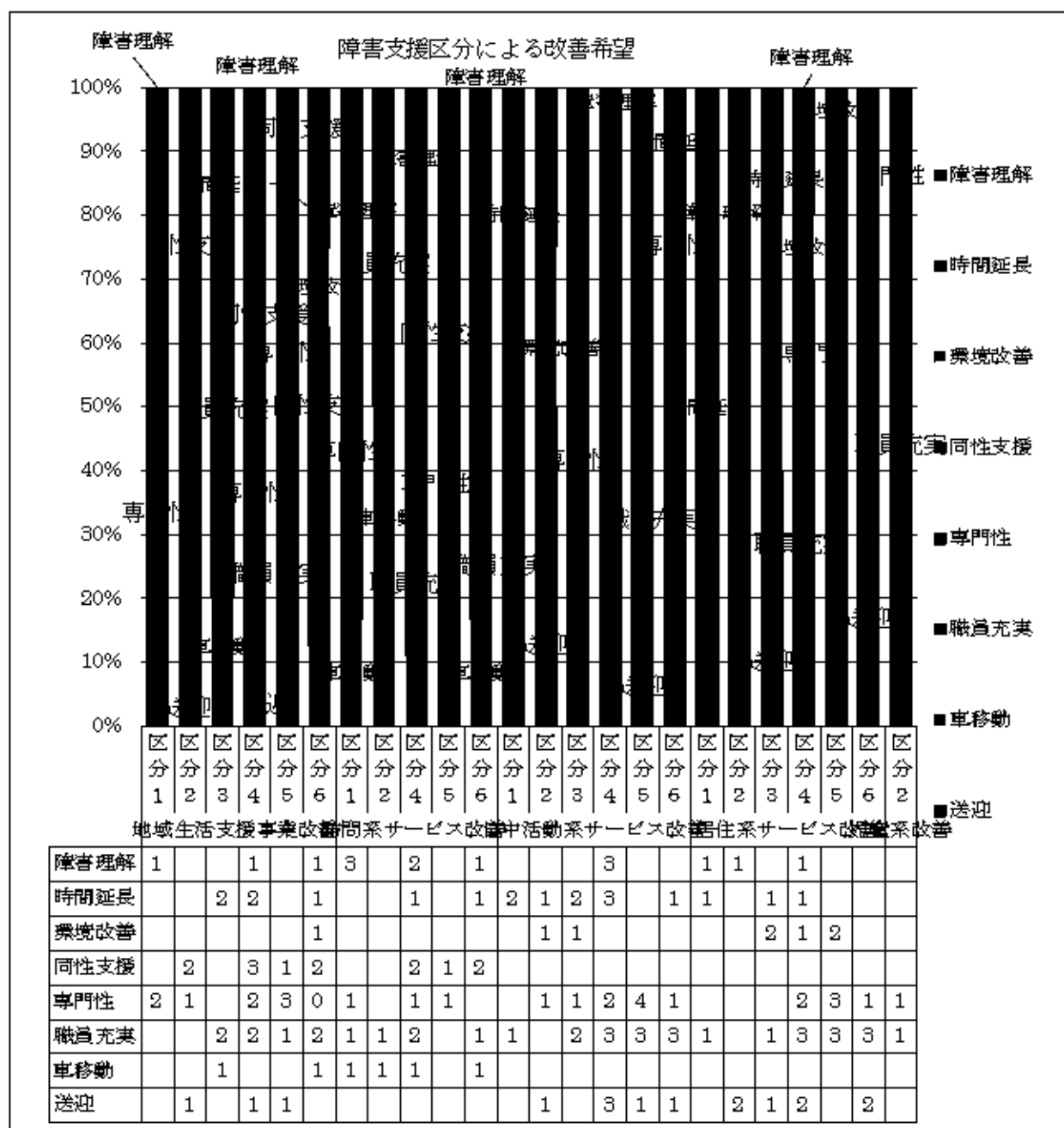
つぎに、居住系サービスを利用する上での改善項目を障害等別であらわしました。
身体障害者手帳取得の人の回答の少ないのが気になります。

地域生活支援事業利用上の改善（障害支援区分）



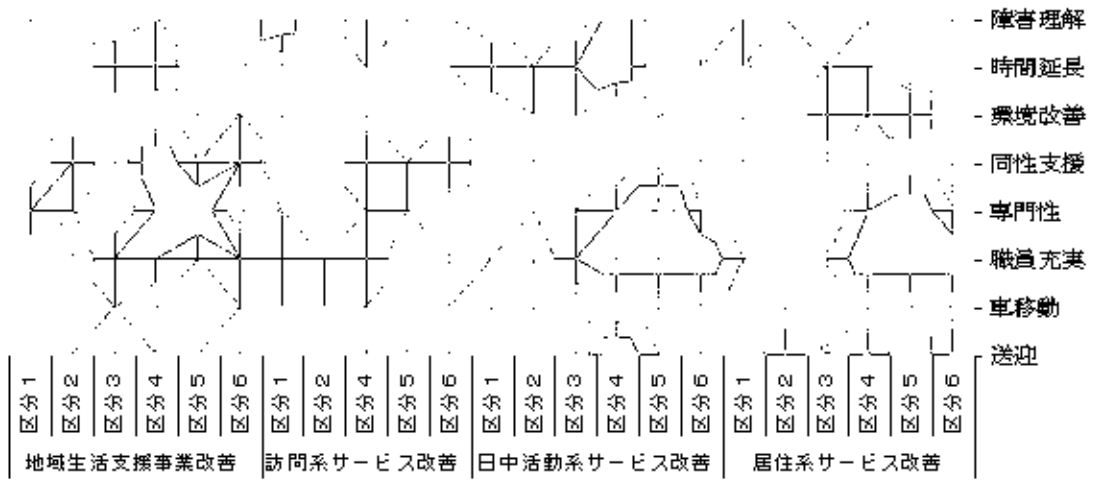
さいごに、地域生活支援事業を利用する上での改善項目を障害支援区分別であらわしました。回答母数が少ないため明らかなことはいえませんが区分4以上から多様な改善希望が寄せられています。

これまでの障害支援区分による各サービスの改善をまとめました。



このグラフをさらに「ワイヤーフレーム図」に加工していきます。地図に示される等高線を見る要領で概観すると回答が比較的集中している改善領域が見て取ることが出来ます。

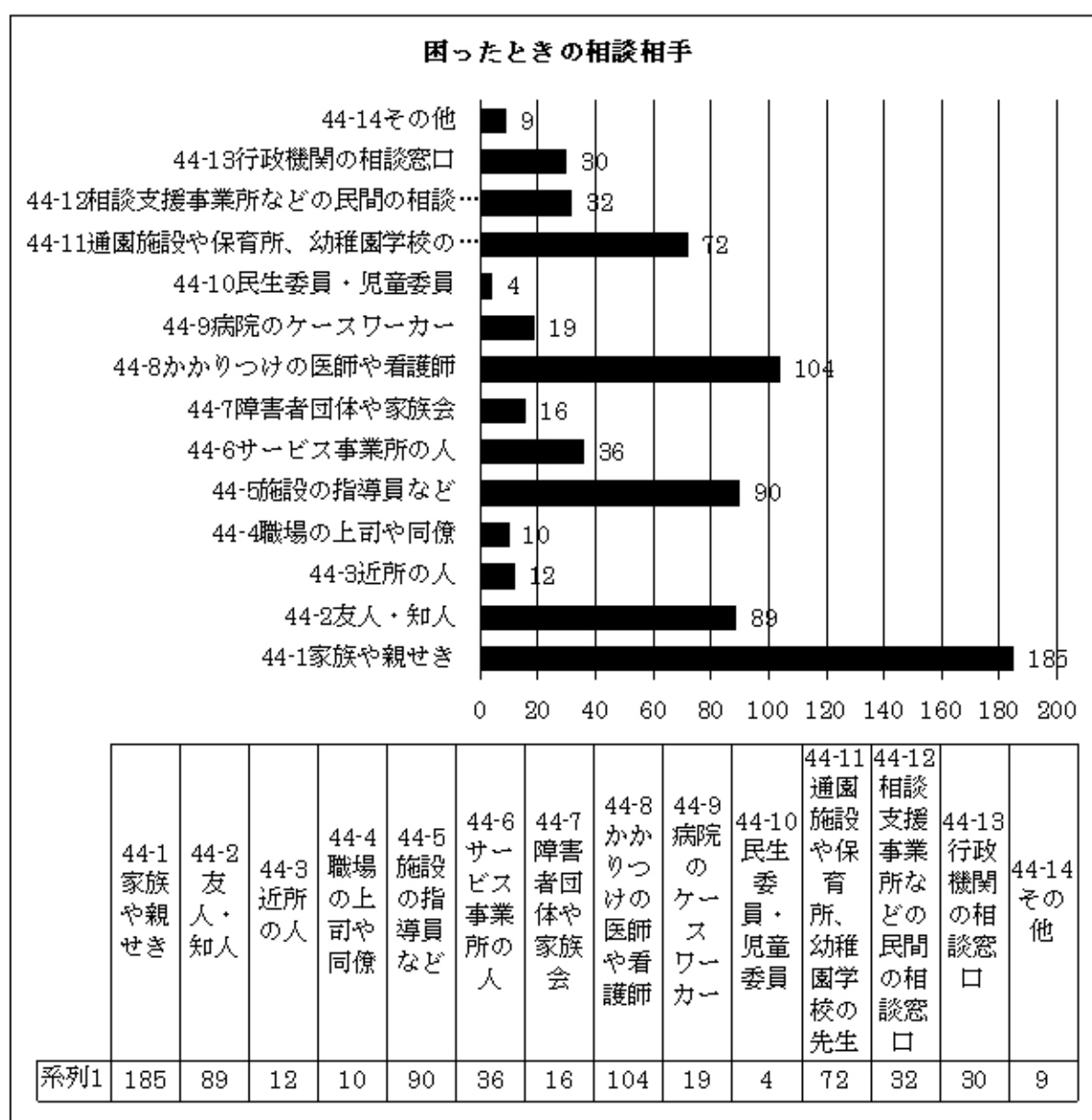
障害支援区分サービス改善ワイヤフレーム図



□0-1 □1-2 □2-3 □3-4

報告5 相談相手について

問44 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)



「家族や親せき」が最も多く、ついで「医師・看護師」、「施設職員」や「通園施設等の職員」などとなっています。

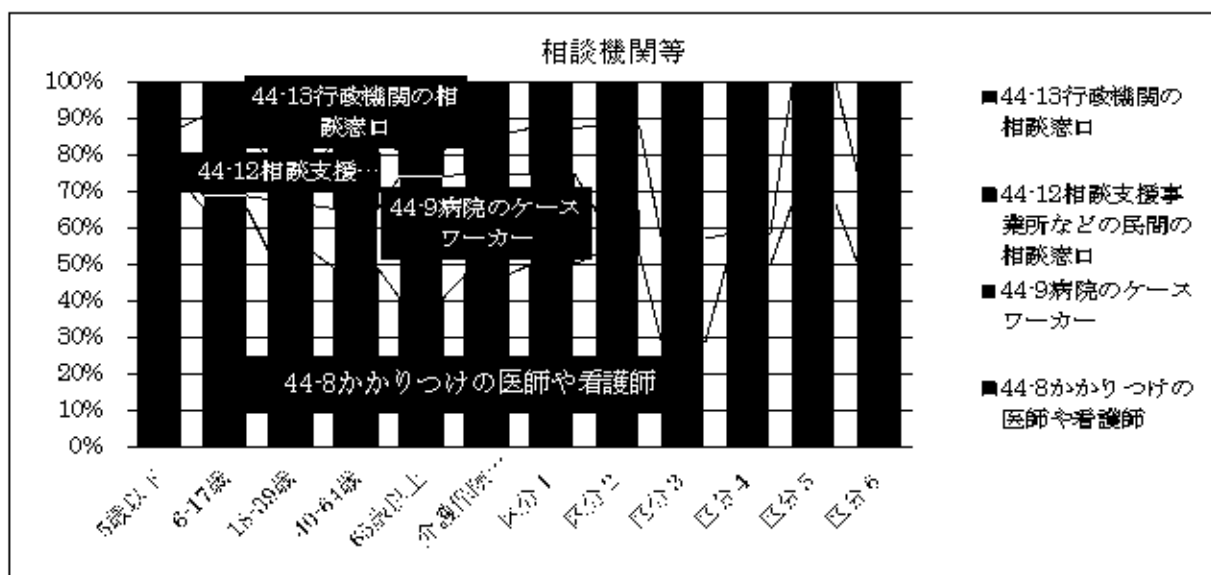
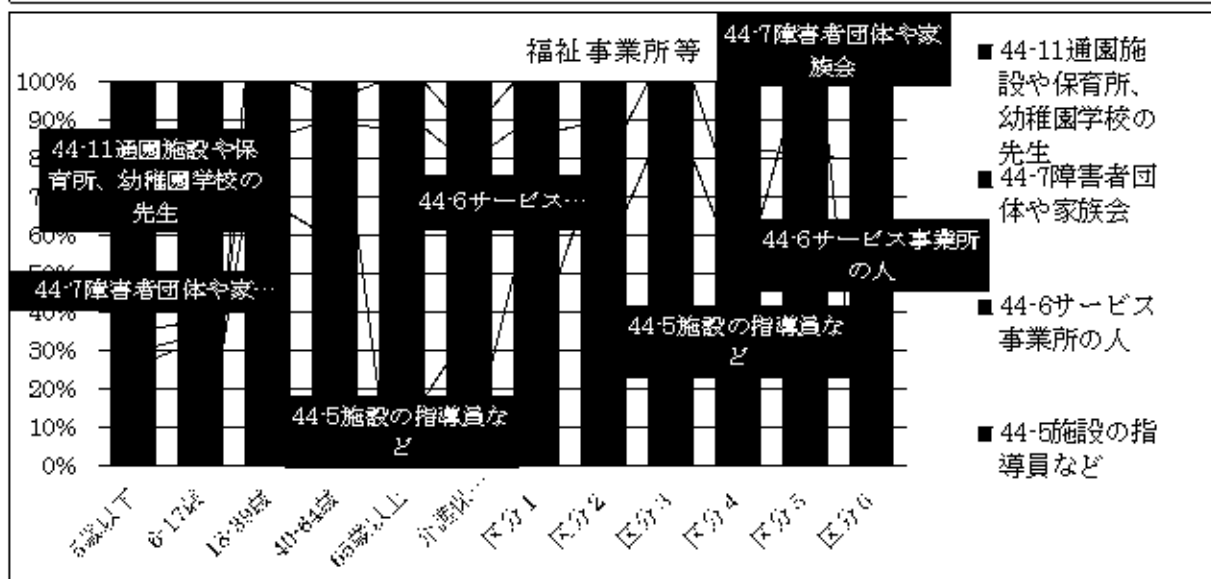
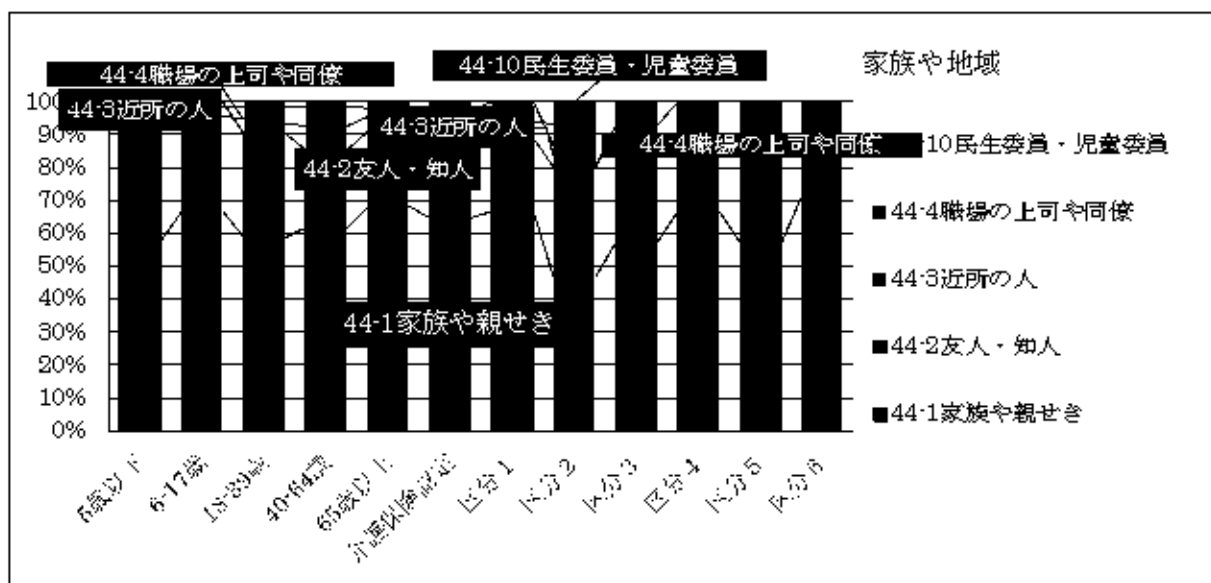
図44相談相手*制度類型区分年齢 クロス表

			制度類型区分年齢					合計
			5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上	
問44相談相手	44-1家族や親せき	度数	49	40	37	42	15	183
	44-2友人・知人	度数	28	20	20	18	5	89
	44-3近所の人	度数	6	0	0	5	1	12
	44-4職場の上司や同僚	度数	1	0	5	4	0	10
	44-5施設の指導員など	度数	18	14	25	28	3	88
	44-6サービス事業所の人	度数	2	1	8	12	12	35
	44-7障害者団体や家族会	度数	3	2	5	4	2	16
	44-8かかりつけの医師や看護師	度数	24	21	23	24	11	103
	44-9病院のケースワーカー	度数	1	1	0	8	9	19
	44-10民生委員・児童委員	度数	1	0	1	1	1	4
	44-11通園施設や保育所、幼稚園学校の先生	度数	4	29	0	1	0	71
	44-12相談支援事業所などの民間の相談窓口	度数	4	7	10	9	2	32
	44-13行政機関の相談窓口	度数	4	3	10	8	5	30
	44-14その他	度数	2	1	2	3	0	8
合計	度数	54	45	49	55	20	223	

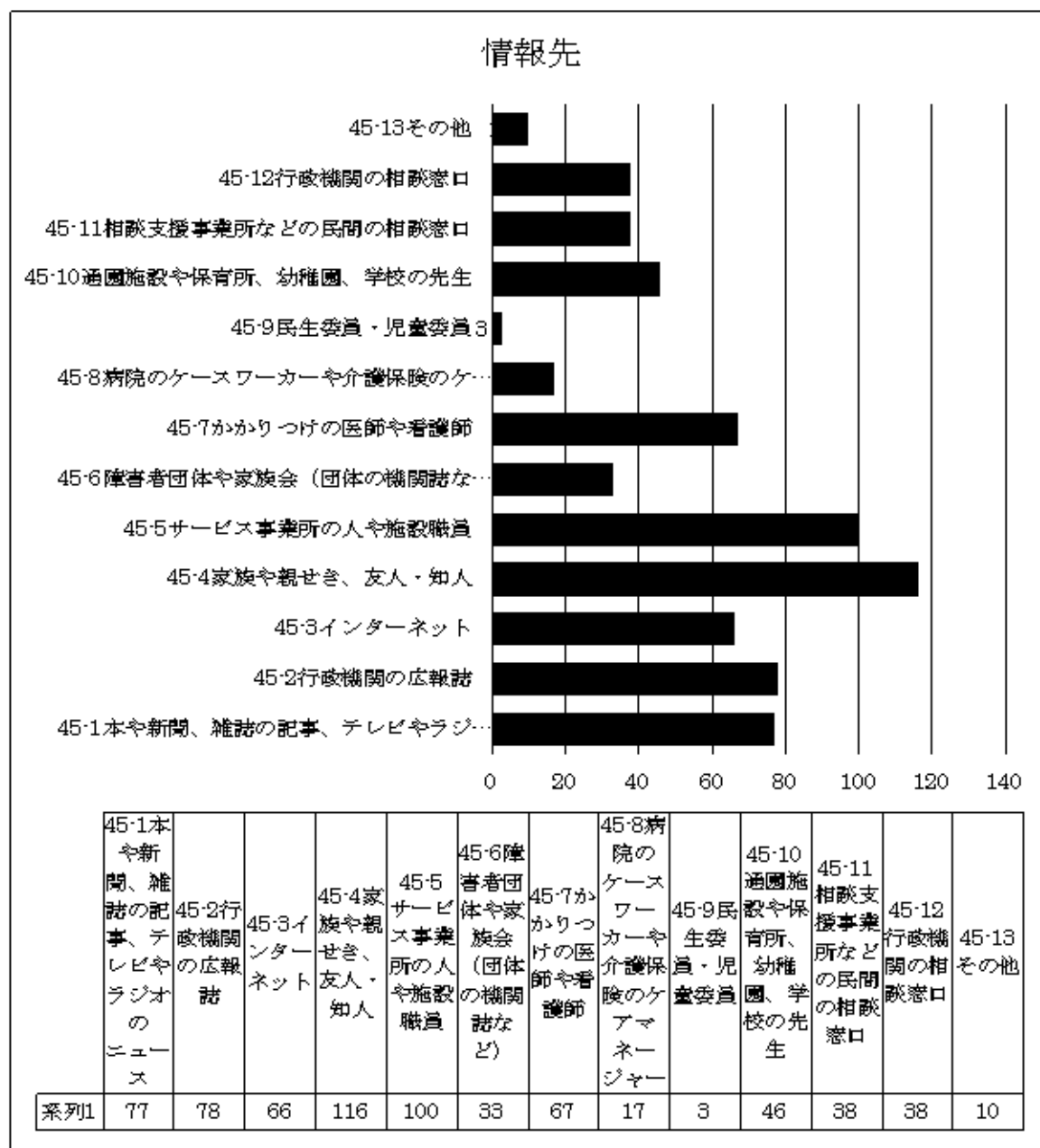
図44相談相手*図32障害支援区分の認定 クロス表

			図32障害支援区分の認定							合計
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
問44相談相手	44-1家族や親せき	度数	6	7	8	8	4	5	105	148
	44-2友人・知人	度数	2	5	5	4	3	2	50	71
	44-3近所の人	度数	1	1	0	0	0	0	7	9
	44-4職場の上司や同僚	度数	0	1	0	0	0	0	7	8
	44-5施設の指導員など	度数	4	6	8	11	6	3	38	77
	44-6サービス事業所の人	度数	3	2	2	3	0	5	11	26
	44-7障害者団体や家族会	度数	1	1	0	3	1	2	4	12
	44-8かかりつけの医師や看護師	度数	4	9	2	6	2	4	58	83
	44-9病院のケースワーカー	度数	2	2	0	0	0	0	7	11
	44-10民生委員・児童委員	度数	0	1	1	0	0	0	1	3
	44-11通園施設や保育所、幼稚園学校の先生	度数	0	0	0	0	0	0	58	58
	44-12相談支援事業所などの民間の相談窓口	度数	1	4	2	1	1	2	15	29
	44-13行政機関の相談窓口	度数	1	2	3	5	0	2	12	25
	44-14その他	度数	0	0	0	0	1	1	3	5
合計	度数	7	11	12	13	8	8	121	160	

次に、相談相手を「家族や地域」「福祉事業所等」「相談機関等」に類型化し制度類型別区分年齢、支援区分、介護認定有無でクロス集計した結果をグラフにしました。「家族や地域」では「家族親戚」が多くを占め、「福祉事業所等」ではサービスを受けている先で高くなり、「相談機関等」では医師や看護師が高い回答となりました。



問 45 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

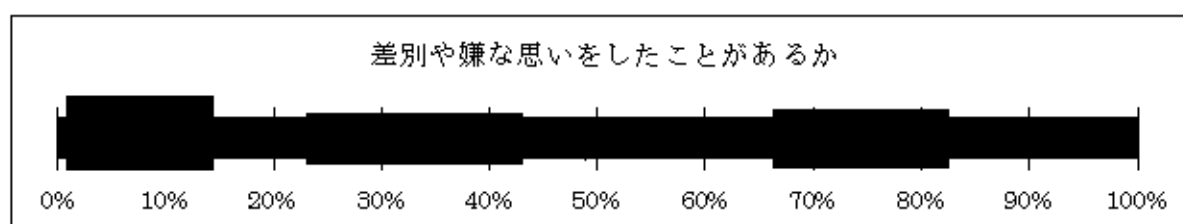


「家族や親せき、知人・友人」からの情報をもっとも高く、ついで「サービス事業所や施設職員」の順となりました。

報告6 権利擁護について

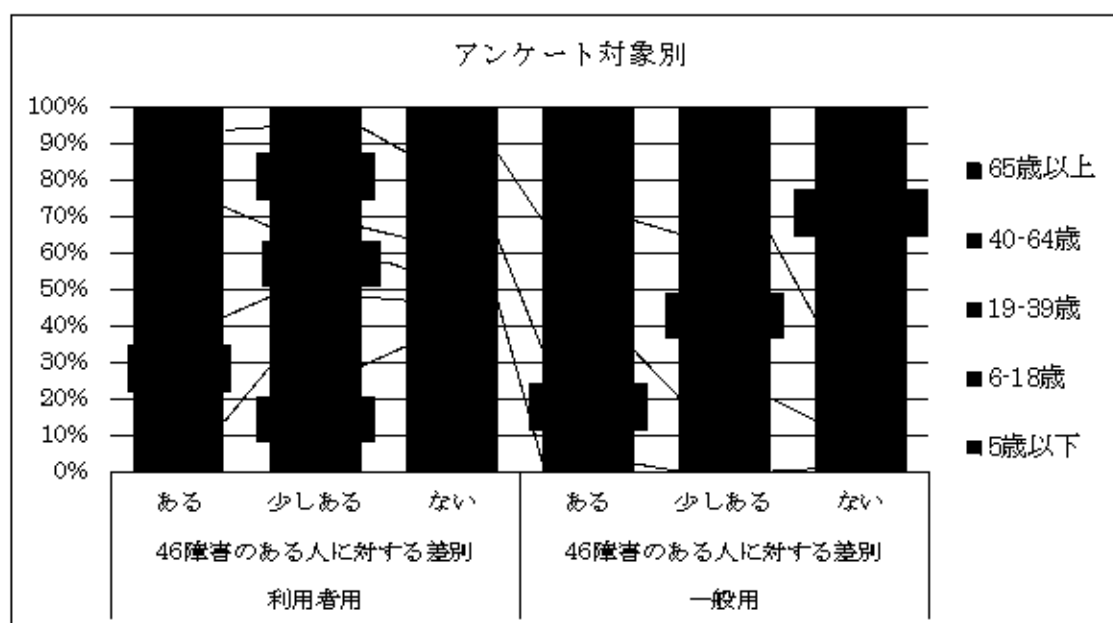
問 46 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

		46障害のある人に対する差別			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ある	175	13.2	17.3	17.3
	少しある	319	24.1	31.6	48.9
	ない	517	39.0	51.1	100.0
	合計	1011	76.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	315	23.8		
合計		1326	100.0		



46障害のある人に対する差別と制度類型区分年齢のクロス表

度数		制度類型区分年齢					合計
		5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上	
46障害のある人に対する差別	ある	11	22	98	150	34	173
	少しある	21	14	33	129	66	315
	ない	22	9	70	140	209	509
合計		54	44	102	310	388	997



46障害のある人に対する差別と 1010身体不自由障害のクロス表

度数

		1010身体不自由障害							合計
		視覚障害	聴覚障害	音声・言語、 もしくは視覚 障害	上肢の身体不 自由	下肢の身体不 自由	体の他の身体不 自由	内臓障害	
46障害のある人に対する 差別	ある	5	5	1	5	13	11	13	51
	少しある	6	10	5	4	23	18	35	89
	ない	9	9	1	8	36	22	84	189
合計		22	22	5	17	52	51	130	319

46障害のある人に対する差別と 11療育手帳等級のクロス表

度数

		11療育手帳等級				合計
		A判定	B判定	C判定	持っていない	
46障害のある人に対する 差別	ある	30	10	18	107	183
	少しある	15	12	8	267	302
	ない	18	5	4	447	472
合計		61	27	28	821	937

46障害のある人に対する差別と 12精神手帳等級のクロス表

度数

		12精神手帳等級				合計
		1級	2級	3級	持っていない	
46障害のある人に対する 差別	ある	5	11	6	127	149
	少しある	6	13	4	245	268
	ない	6	18	13	388	425
合計		17	42	23	760	842

46障害のある人に対する差別と 14難病等診断のクロス表

度数

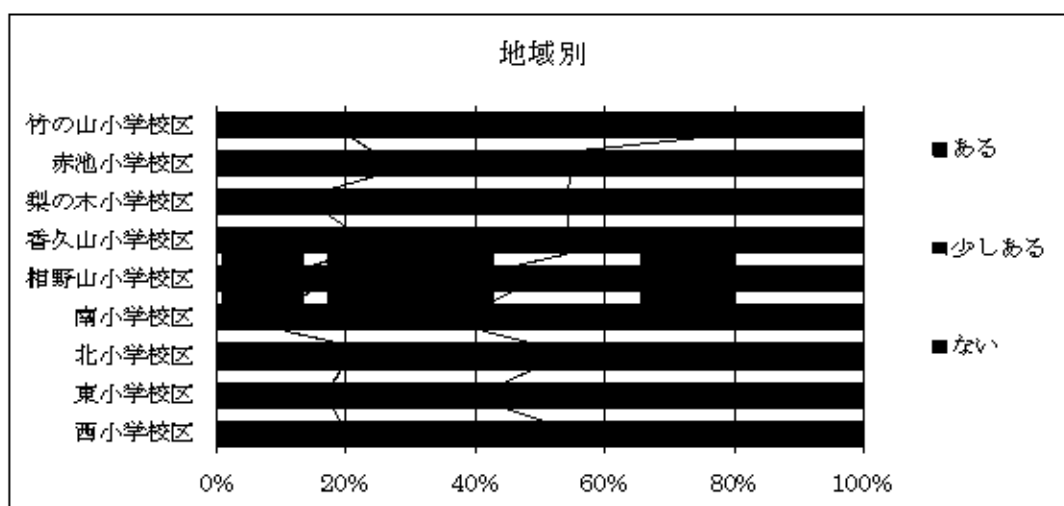
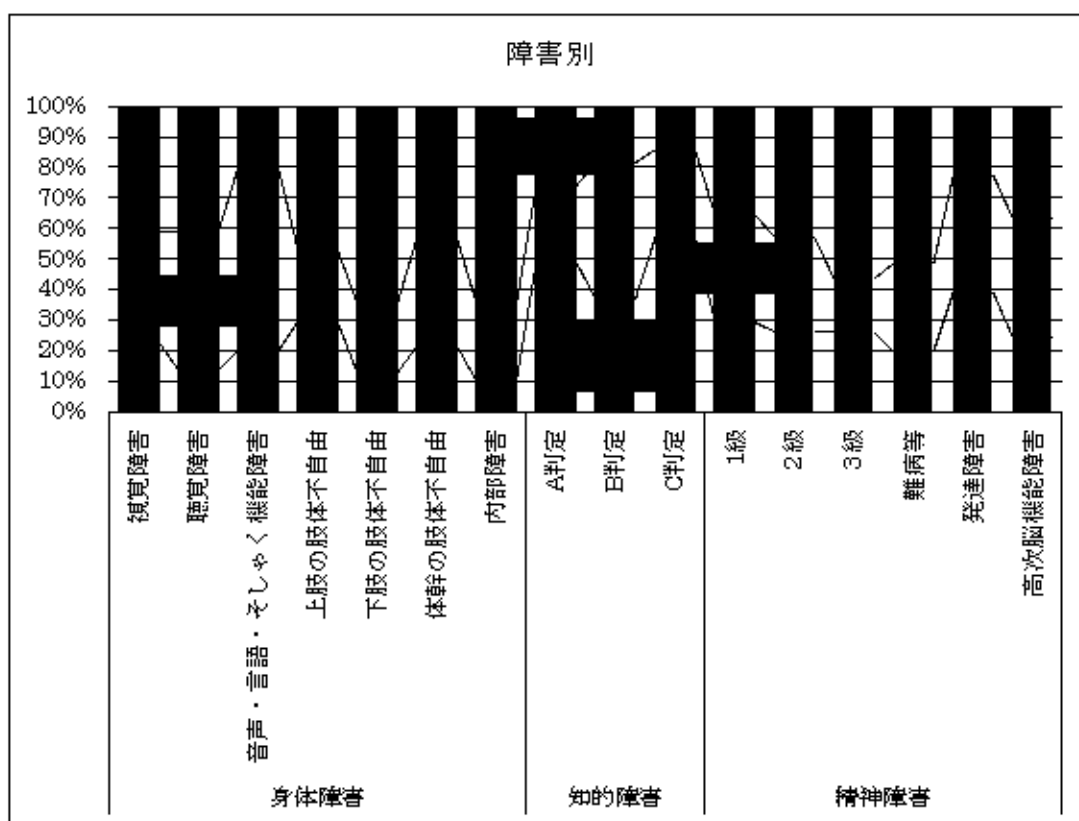
		14難病等診断		合計
		受けている	受けていない	
46障害のある人に対する 差別	ある	15	157	172
	少しある	22	291	313
	ない	39	464	503
合計		76	912	988

46障害のある人に対する差別と 15発達障害診断のクロス表

度数

		15発達障害診断		合計
		受けている	受けていない	
46障害のある人に対する 差別	ある	40	130	170
	少しある	39	271	310
	ない	23	481	504
合計		102	882	984

46障害のある人に対する差別 と 16高次脳機能障害診断 のクロス表				
度数		16高次脳機能障害診断		合計
		受けている	受けていない	
46障害のある人に対する差別	ある	10	159	169
	少しある	16	297	313
	ない	15	487	502
合計		41	943	984

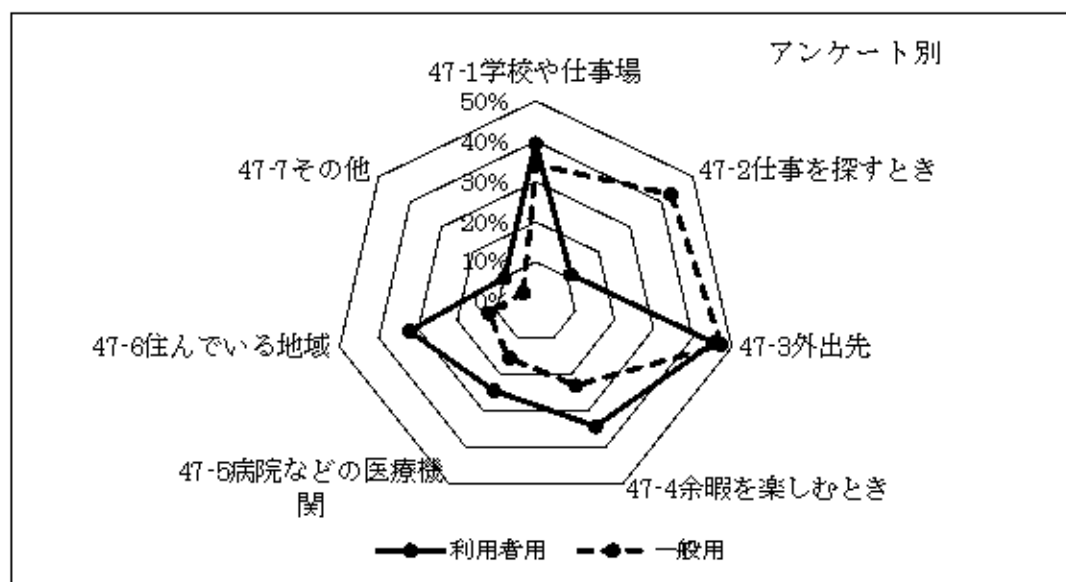


【問46で、「1.又は2.」を選択された方にお聞きします。】

問47 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

問47差別を感じた場所*アンケート対象類型 クロス表

			アンケート類型		合計
			利用者用	一般用	
問47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	60	114	174
	47-2仕事を探するとき	度数	17	143	160
	47-3外出先	度数	69	157	226
	47-4余暇を楽しむとき	度数	52	76	128
	47-5病院などの医療機関	度数	37	51	88
	47-6住んでいる地域	度数	49	40	89
	47-7その他	度数	15	13	28
合計		度数	152	332	484



問47差別を感じた場所*制度類型区分年齢 クロス表

			制度類型区分年齢					合計
			5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上	
問47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	10	23	56	63	19	171
	47-2仕事を探するとき	度数	1	1	46	78	32	157
	47-3外出先	度数	10	10	54	86	62	224
	47-4余暇を楽しむとき	度数	10	11	37	38	30	126
	47-5病院などの医療機関	度数	2	6	24	27	29	68
	47-6住んでいる地域	度数	9	9	26	19	27	89
	47-7その他	度数	1	3	2	6	6	28
合計	度数	32	34	116	177	118	477	

図47差別を感じた場所・間32障害支援区分の認定クロス表

			32障害支援区分の認定							合計
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	受けていない	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	3	1	4	4	5	1	33	49
	47-2仕事を探すとき	度数	1	2	0	5	5	2	11	15
	47-3外出先	度数	3	4	5	5	3	4	27	54
	47-4余暇を楽しむとき	度数	1	4	2	2	2	4	23	43
	47-5病院などの医療機関	度数	2	1	2	5	2	2	14	31
	47-6住んでいる地域	度数	3	4	4	3	4	1	22	41
	47-7その他	度数	0	0	0	0	5	2	13	13
合計	度数	8	9	7	11	5	5	73	121	

図47差別を感じた場所・間3性別クロス表

			間3性別		合計
			男性	女性	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	68	65	133
	47-2仕事を探すとき	度数	68	92	160
	47-3外出先	度数	105	121	226
	47-4余暇を楽しむとき	度数	61	66	127
	47-5病院などの医療機関	度数	16	12	28
	47-6住んでいる地域	度数	40	49	89
	47-7その他	度数	14	13	27
合計	度数	230	251	481	

図47差別を感じた場所・間3住み分けの地域クロス表

			間3住み分け									合計	
			月小中級区	対等区	中級区	南小中級区	短小中級区	香小中級区	東小中級区	北小中級区	特別区		
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	16	18	11	25	10	21	17	12	1	7	120
	47-2仕事を探すとき	度数	15	15	22	19	12	26	18	15	1	5	134
	47-3外出先	度数	26	27	25	25	22	26	21	22	1	4	228
	47-4余暇を楽しむとき	度数	15	16	12	19	7	17	10	15	1	7	117
	47-5病院などの医療機関	度数	6	10	11	16	6	5	5	4	1	5	66
	47-6住んでいる地域	度数	12	11	12	12	5	10	6	3	1	3	57
	47-7その他	度数	6	2	1	5	4	1	2	2	2	3	38
合計	度数	74	58	52	75	32	56	43	41	27	21	478	

図47差別を感じた場所・間10身体主たる障害クロス表

			間10身体主たる障害							合計
			感覚障害	聴覚障害	音声・言語・もしくは視覚障害	上肢の肢体不自由	下肢の肢体不自由	体の肢体不自由	内臓障害	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	2	6	1	3	9	4	13	38
	47-2仕事を探すとき	度数	2	3	0	5	11	2	12	35
	47-3外出先	度数	5	7	0	6	21	17	13	75
	47-4余暇を楽しむとき	度数	4	5	2	1	10	8	15	46
	47-5病院などの医療機関	度数	1	6	1	1	6	10	3	33
	47-6住んでいる地域	度数	5	3	0	1	9	2	5	26
	47-7その他	度数	1	0	0	0	0	0	1	2
合計	度数	13	22	4	9	37	27	44	146	

図47差別を感じた場所*図11保育手帳の種別クロス表

			11保育手帳等級			合計
			A判定	B判定	C判定	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	9	13	14	36
	47-2仕事を探るとき	度数	1	3	6	10
	47-3外出先	度数	31	6	5	44
	47-4余暇を楽しむとき	度数	18	6	8	32
	47-5病院などの医療機関	度数	19	1	3	23
	47-6住んでいる地域	度数	15	6	6	27
	47-7その他	度数	0	3	2	5
合計		度数	45	22	23	90

図47差別を感じた場所*図12精神手帳の種別クロス表

			12精神手帳等級			合計
			1級	2級	3級	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	4	7	7	18
	47-2仕事を探るとき	度数	4	13	5	22
	47-3外出先	度数	6	9	5	22
	47-4余暇を楽しむとき	度数	3	6	6	15
	47-5病院などの医療機関	度数	3	6	3	12
	47-6住んでいる地域	度数	4	7	4	15
	47-7その他	度数	1	1	0	2
合計		度数	11	23	10	44

図47差別を感じた場所*図15発達障害診断クロス表

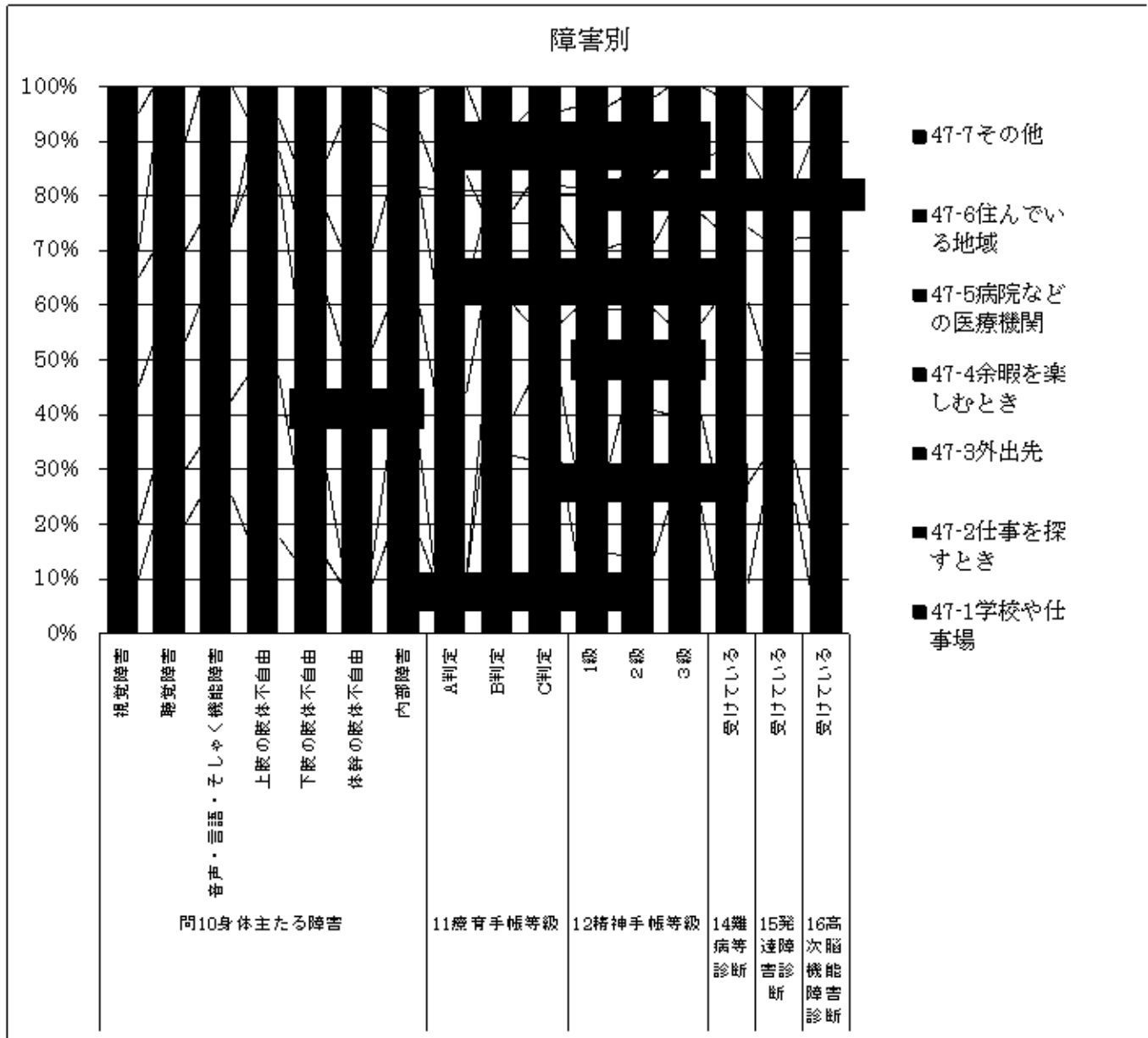
			15発達障害診断	合計
			受けている	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	38	38
	47-2仕事を探るとき	度数	12	12
	47-3外出先	度数	31	31
	47-4余暇を楽しむとき	度数	33	33
	47-5病院などの医療機関	度数	16	16
	47-6住んでいる地域	度数	21	21
	47-7その他	度数	7	7
合計		度数	76	76

図47差別を感じた場所*図14難病等診断クロス表

			14難病等診断	合計
			受けている	
図47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	6	6
	47-2仕事を探るとき	度数	12	12
	47-3外出先	度数	22	22
	47-4余暇を楽しむとき	度数	9	9
	47-5病院などの医療機関	度数	9	9
	47-6住んでいる地域	度数	7	7
	47-7その他	度数	1	1
合計		度数	37	37

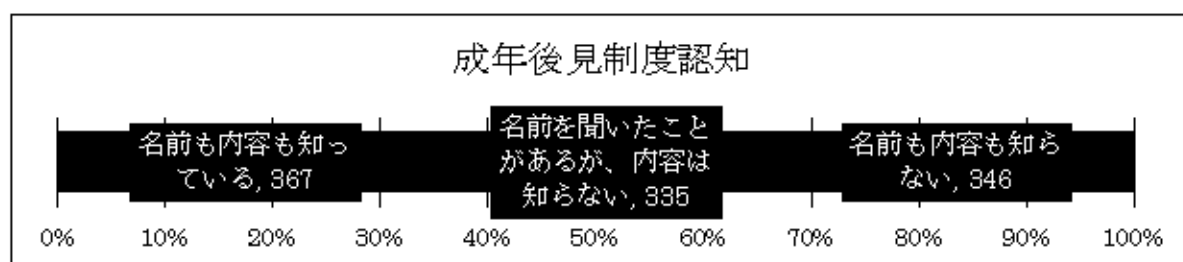
問47差別を感じた場所*問16高次脳機能障害診断クロス表

			16高次脳機能障害診断	
			受けている	合計
問47差別を感じた場所	47-1学校や仕事場	度数	4	4
	47-2仕事を探するとき	度数	5	5
	47-3外出先	度数	15	15
	47-4余暇を楽しむとき	度数	10	10
	47-5病院などの医療機関	度数	8	8
	47-6住んでいる地域	度数	5	5
合計		度数	24	24



問 48 あなたは、成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

48成年後見制度認知					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	名前も内容も知っている	367	27.7	35.0	35.0
	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	335	25.3	32.0	67.0
	名前も内容も知らない	346	26.1	33.0	100.0
	合計	1048	79.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	278	21.0		
合計		1326	100.0		



11療育手帳等級と48成年後見制度認知とアンケート類型のクロス表

度数

アンケート類型	48成年後見制度認知			合計	
	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない		
利用者用 11療育手帳等級	A判定	25	17	13	55
	B判定	9	8	6	23
	C判定	9	5	8	22
	持っていない	39	41	24	108
	合計	82	71	55	208
一般用 11療育手帳等級	A判定	3	1	4	8
	B判定	0	2	3	5
	C判定	0	4	4	8
	持っていない	254	235	245	734
合計	257	242	256	755	
合計 11療育手帳等級	A判定	28	18	17	63
	B判定	9	10	9	28
	C判定	9	9	12	30
	持っていない	293	276	273	842
	合計	339	313	311	963

12精神手帳等級と48成年後見制度認知とアンケート類型のクロス表

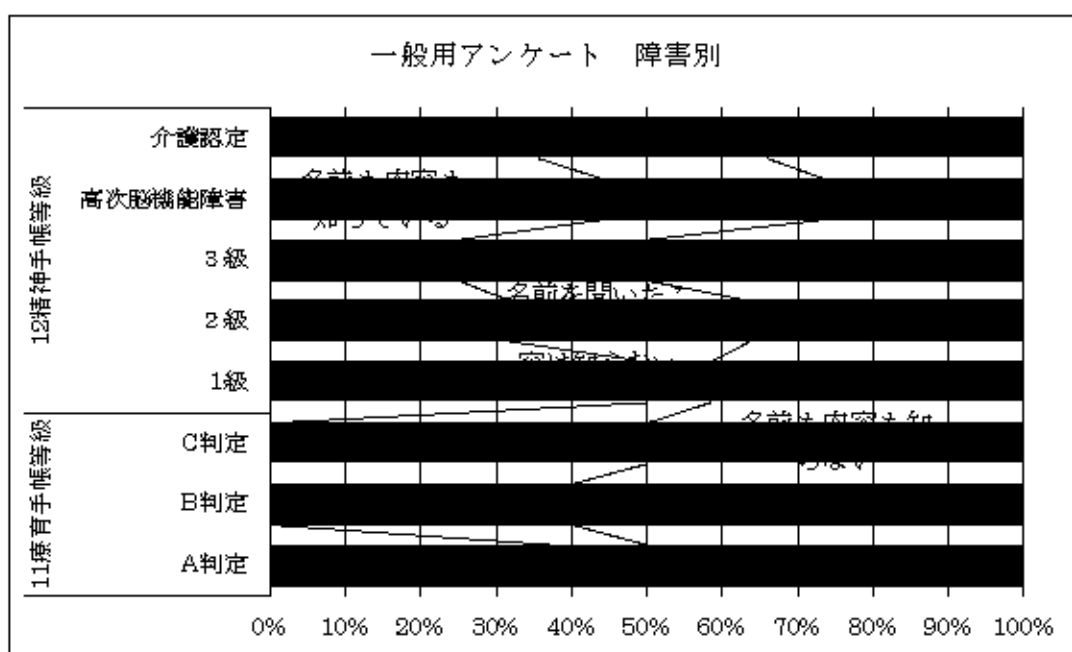
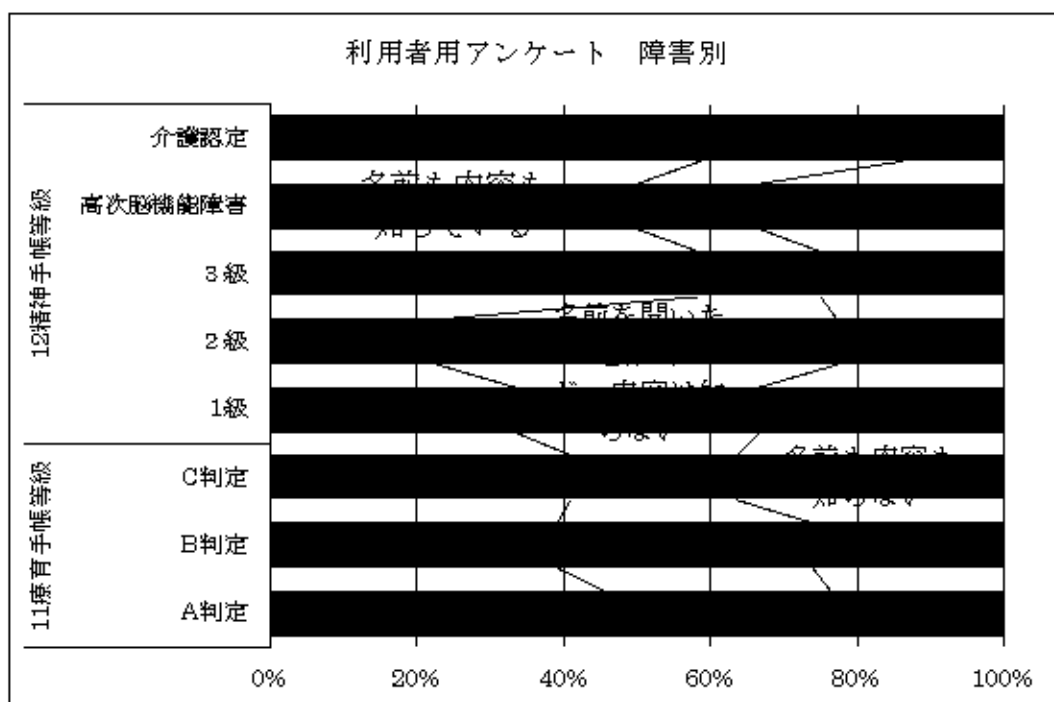
度数			48成年後見制度認知			合計
アンケート類型			名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	
利用者用	12精神手帳等級	1級	2	2	2	6
		2級	5	12	5	22
		3級	7	2	3	12
		持っていない	63	48	41	152
		合計	77	64	51	192
一般用	12精神手帳等級	1級	0	1	0	1
		2級	7	7	4	22
		3級	3	3	6	12
		持っていない	210	205	215	630
		合計	226	218	234	678
合計	12精神手帳等級	1級	8	3	7	18
		2級	12	18	13	44
		3級	10	5	9	24
		持っていない	273	253	256	782
		合計	303	280	286	869

16高次脳機能障害診断と48成年後見制度認知とアンケート類型のクロス表

度数				48成年後見制度認知			合計
アンケート類型				名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	
利用者用	16高次脳機能障害診断	受けている		3	1	2	6
		受けていない		85	73	56	214
		合計		88	74	58	220
一般用	16高次脳機能障害診断	受けている		15	10	9	34
		受けていない		253	242	267	762
		合計		268	252	276	796
合計	16高次脳機能障害診断	受けている		18	11	11	40
		受けていない		338	315	323	976
		合計		356	326	334	1016

18介護保険認定と48成年後見制度認知とアンケート類型のクロス表

度数			48成年後見制度認知			合計
アンケート類型			名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	
利用者用	18介護保険認定	受けている	17	8	4	29
		受けていない	72	65	52	189
		合計	89	73	56	218
一般用	18介護保険認定	受けている	49	42	47	138
		受けていない	221	212	233	666
		合計	270	254	280	804
合計	18介護保険認定	受けている	66	50	51	167
		受けていない	293	277	285	855
		合計	359	327	336	1022

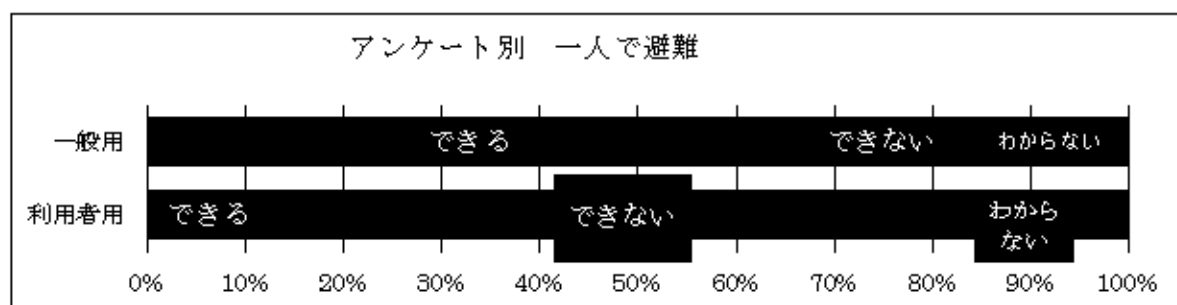


成年後見制度を内容まで知っていると回答した人が全体の3割にも満たないことが明らかとなりました。必要とされる人に広く周知することが求められます。

報告 7 災害時の避難等について

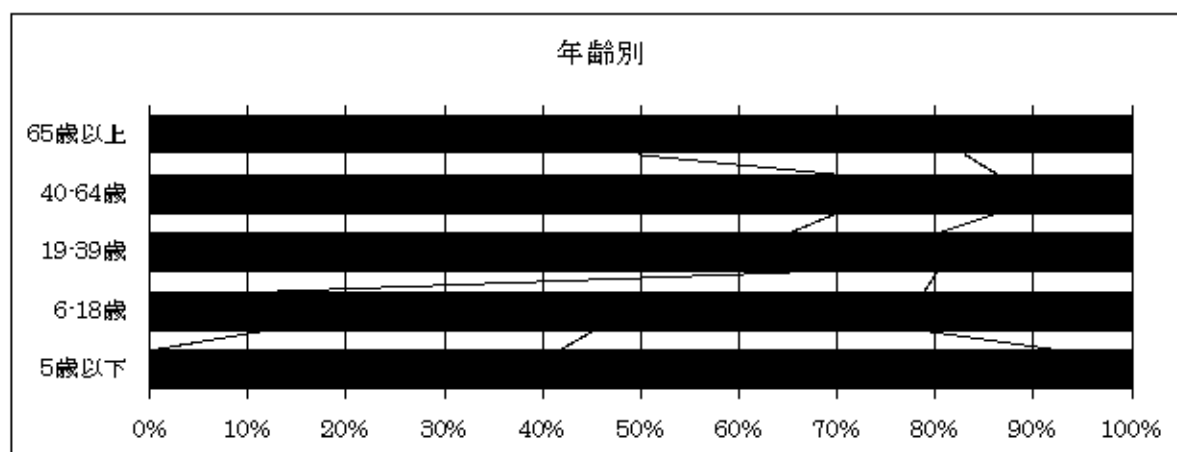
問 49 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

49災害時に一人で避難					
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	できる	580	43.7	54.3	54.3
	できない	316	23.8	29.6	83.8
	わからない	173	13.0	16.2	100.0
	合計	1069	80.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	257	19.4		
合計		1326	100.0		



32時帯支援区分の認定と49災害時に一人で避難とアンケート類型のクロス表

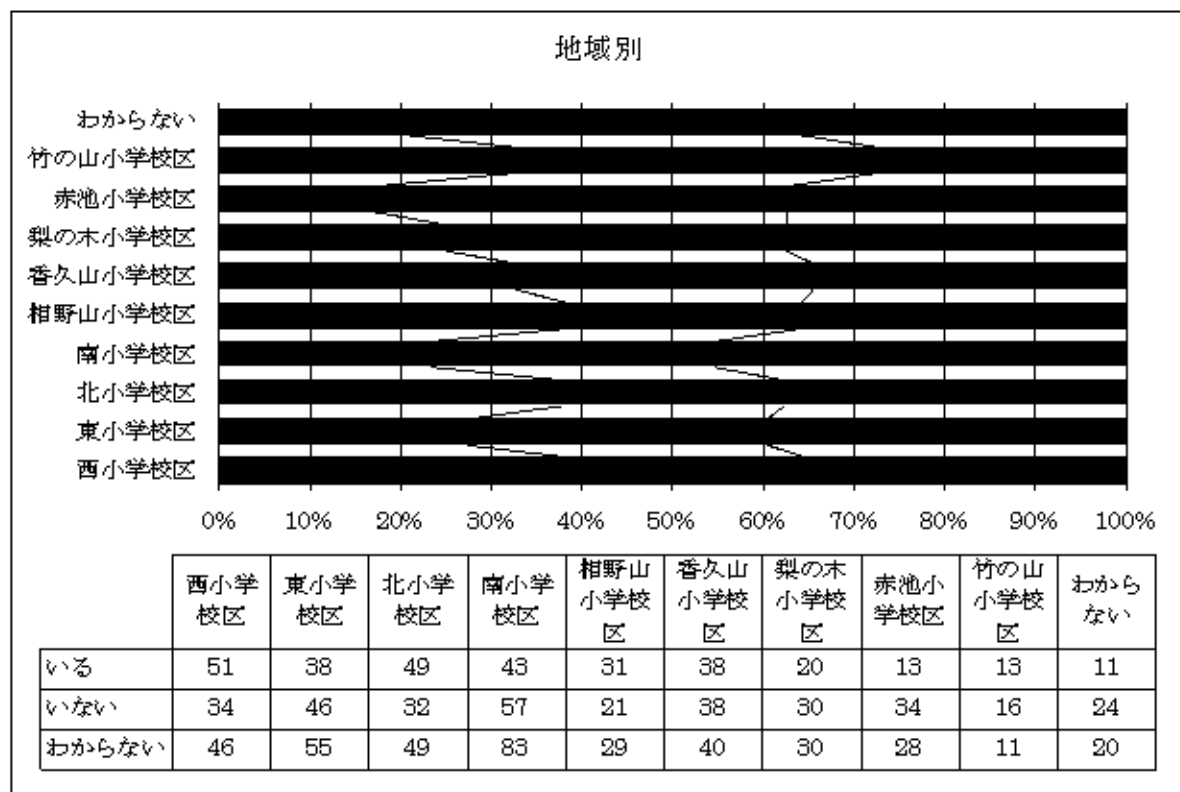
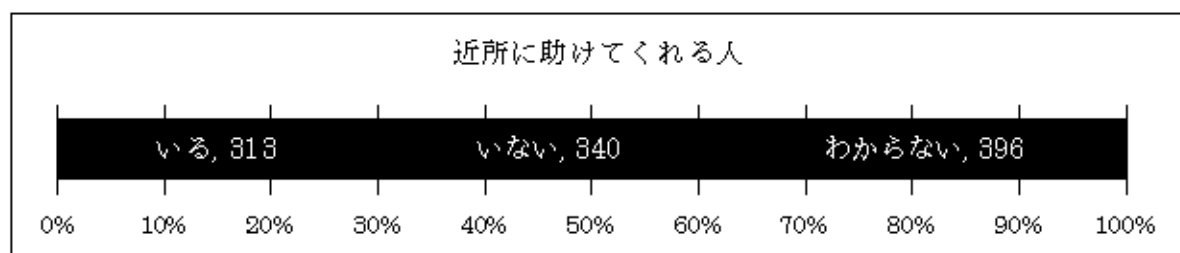
度数		49災害時に一人で避難			合計	
アンケート類型		できる	できない	わからない		
利用者用	32時帯支援区分の認定	区分1	3	1	1	5
		区分2	4	0	1	5
		区分3	1	5	5	11
		区分4	0	13	1	14
		区分5	0	7	1	8
		区分6	0	0	0	0
		区分7	17	85	21	123
合計		25	130	30	185	



特にアンケート別で利用者回答者の7割が一人では避難できないと回答しています。

問 50 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

50近所で助けてくれる人					
		人数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いる	313	23.6	29.8	29.8
	いない	340	25.6	32.4	62.2
	わからない	396	29.9	37.8	100.0
	合計	1049	79.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	277	20.9		
合計		1326	100.0		

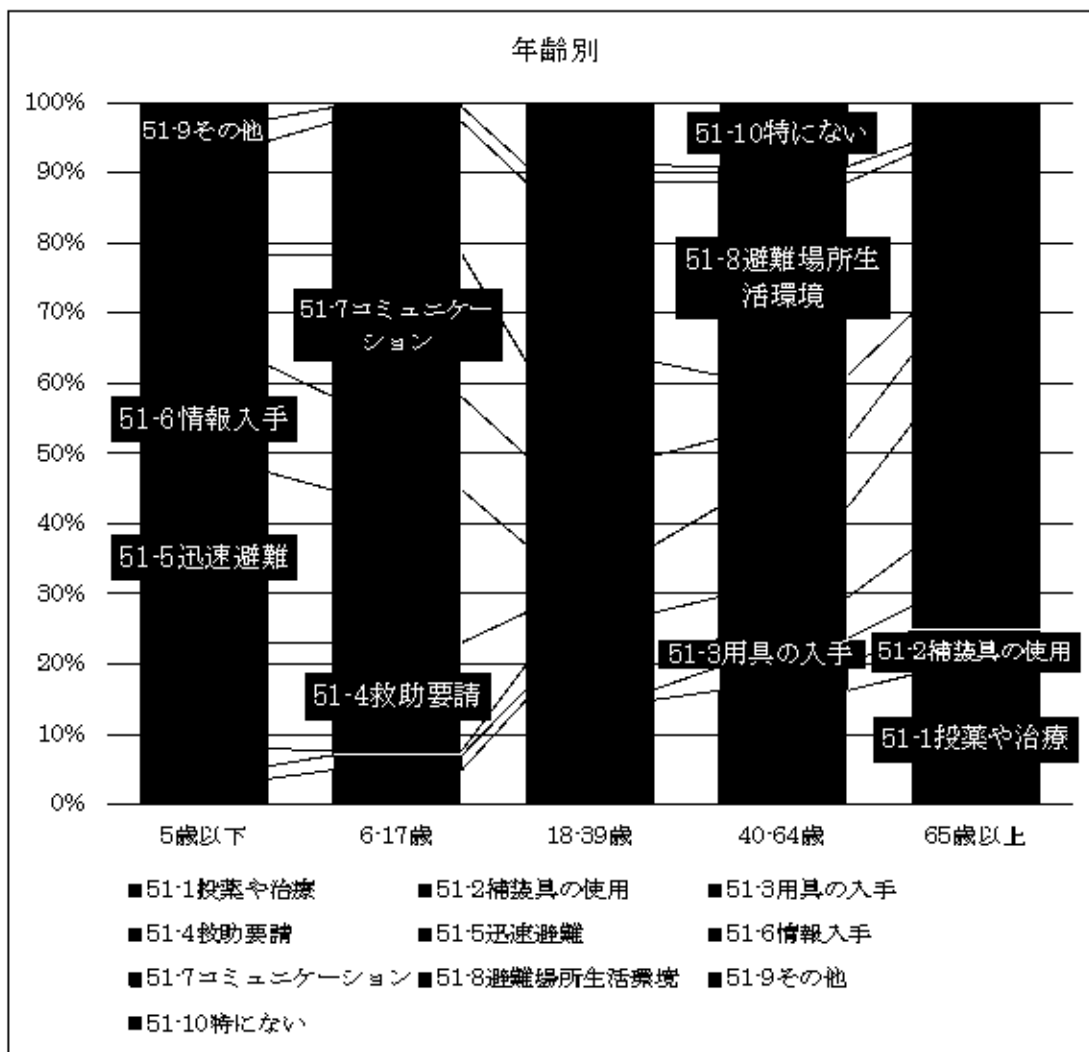


回答いただけなかった欠損値を加えても約5%の人が「いない」「わからない」と回答しています。

問 51 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

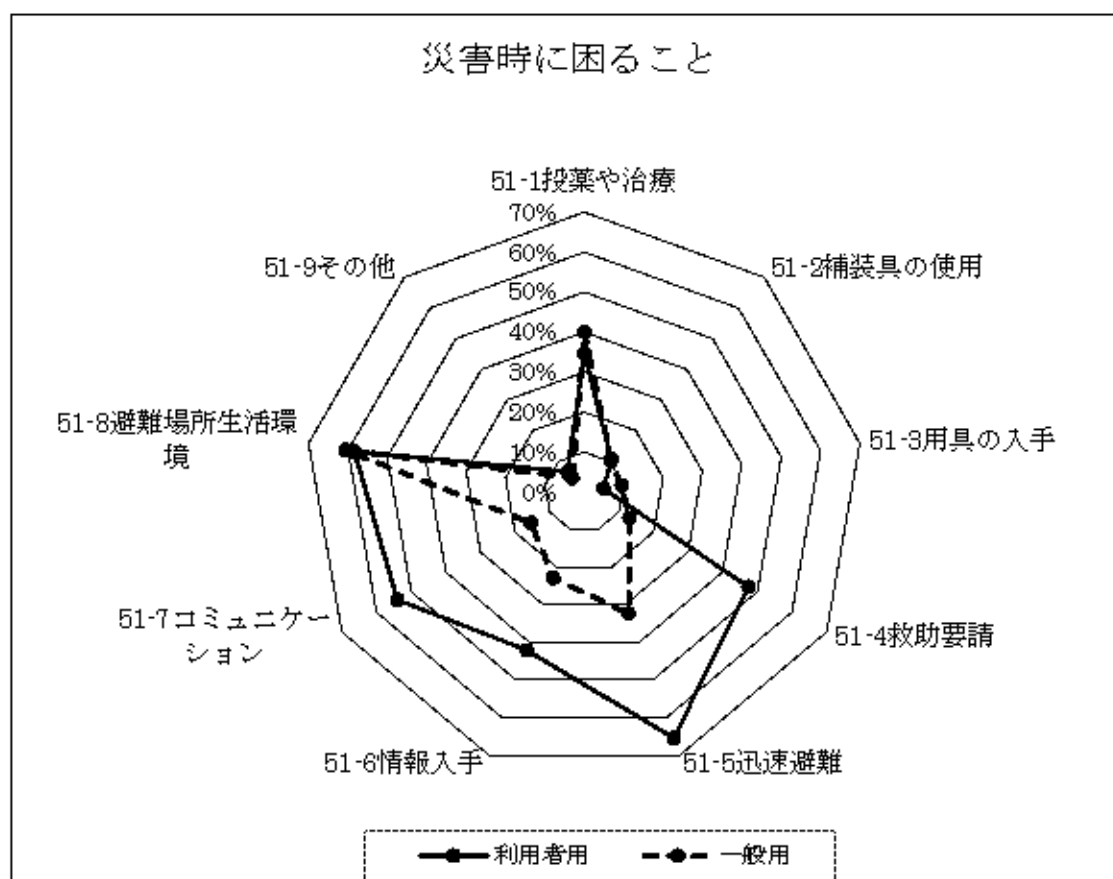
問51災害時に困ること*制度類型区分年齢クロス表

			制度類型区分年齢					合計
			5歳以下	6-17歳	18-39歳	40-64歳	65歳以上	
問51災害時に困ること	51-1投薬や治療	度数	6	7	58	116	202	399
	51-2補装具の使用	度数	3	3	7	24	70	107
	51-3用具の入手	度数	4	1	16	29	37	67
	51-4救助要請	度数	25	22	34	22	88	211
	51-5迅速避難	度数	40	31	41	92	187	401
	51-6情報入手	度数	25	19	58	60	167	278
	51-7コミュニケーション	度数	26	29	57	65	64	245
	51-8避難場所生活環境	度数	27	27	117	197	250	618
	51-9その他	度数	5	3	17	16	16	57
	51-10特にない	度数	4	1	47	65	64	175
合計	度数	54	74	196	328	462	1024	



問51震災時に困ること*アンケート対象類型 クロス表

			アンケート類型		合計
			利用者用	一般用	
問51震災時に困ること	51-1投薬や治療	度数	78	325	403
	51-2補装具の使用	度数	24	84	108
	51-3用具の入手	度数	11	77	88
	51-4救助要請	度数	107	106	213
	51-5迅速避難	度数	148	262	410
	51-6情報入手	度数	95	185	280
	51-7コミュニケーション	度数	122	125	247
	51-8避難場所生活環境	度数	132	492	624
	51-9その他	度数	15	38	53
	51-10特にない	度数	8	172	180
合計	度数	226	811	1037	



利用者用アンケートと一般用アンケートでは「迅速な避難」「救助要請」「情報入手」「コミュニケーション」の項目で大きな差が見て取れます。

報告 8 【一般用アンケート単独設問】 ボランティア活動について

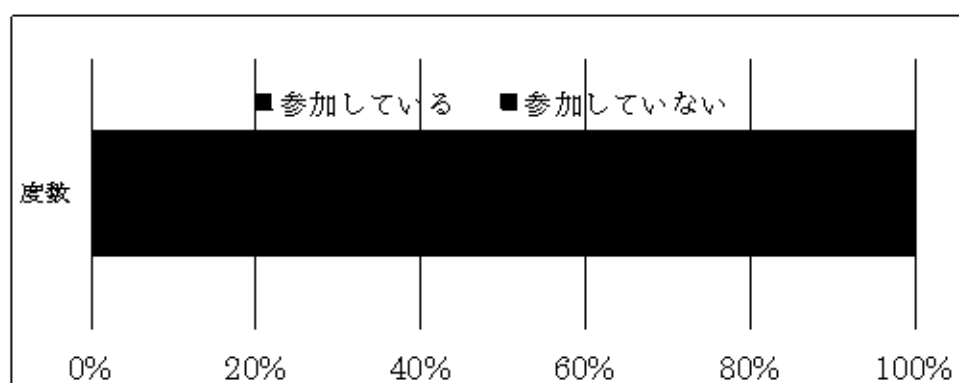
問 29 あなたは、ボランティア活動やNPO活動に参加していますか。(○は1つだけ)

活動の参加

		度数	パーセント	有効パーセン ト	累積パーセン ト
有効	参加している	57	4.3	7.0	7.0
	参加していない	752	56.7	93.0	100.0
	合計	809	61.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	517	39.0		
	合計	1326	100.0		

93%の人が参加していないという結果でした。

しかし、この後の問 31 でも扱いますが、障害のある人を支援するボランティア活動に興味を寄せている人は3割を超えています。

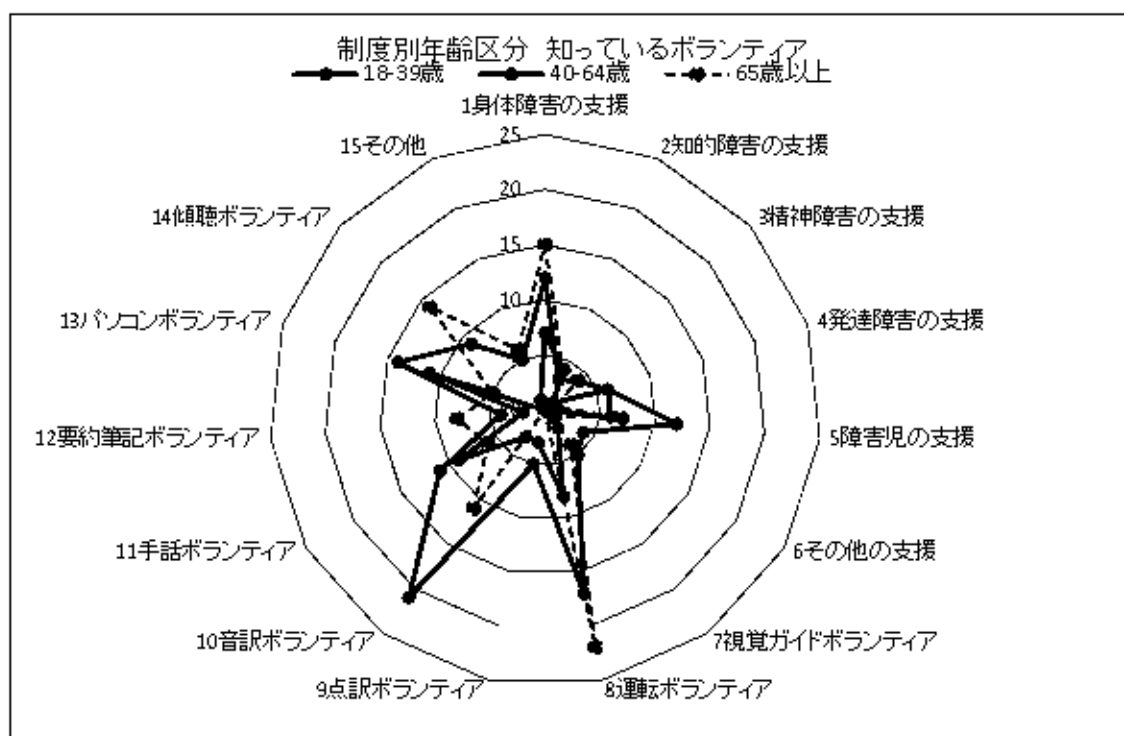


問 30 あなたは、障害のある人を支援するボランティア活動等について、知っている活動はありますか。(あてはまるものすべてに○)

§一般用問30知っているボランティア活動が制度類型区分年齢クロス表

			制度類型区分年齢			合計
			18-39歳	40-64歳	65歳以上	
一般用問30知っているボランティア活動	1身体障害の支援	度数	7	12	15	34
	2知的障害の支援	度数	4	3	4	11
	3精神障害の支援	度数	1	4	4	9
	4発達障害の支援	度数	6	6	1	13
	5障害児の支援	度数	6	12	7	25
	6その他の支援	度数	0	4	1	5
	7視覚ガイドボランティア	度数	2	5	4	11
	8運転ボランティア	度数	4	17	22	47
	9点訳ボランティア	度数	3	5	0	8
	10音訳ボランティア	度数	3	2	11	35
	11手話ボランティア	度数	9	1	6	26
	12要約筆記ボランティア	度数	2	4	8	14
	13パソコンボランティア	度数	1	14	5	30
	14傾聴ボランティア	度数	0	9	14	23
	15その他	度数	1	5	6	12
合計	度数	39	86	71	196	

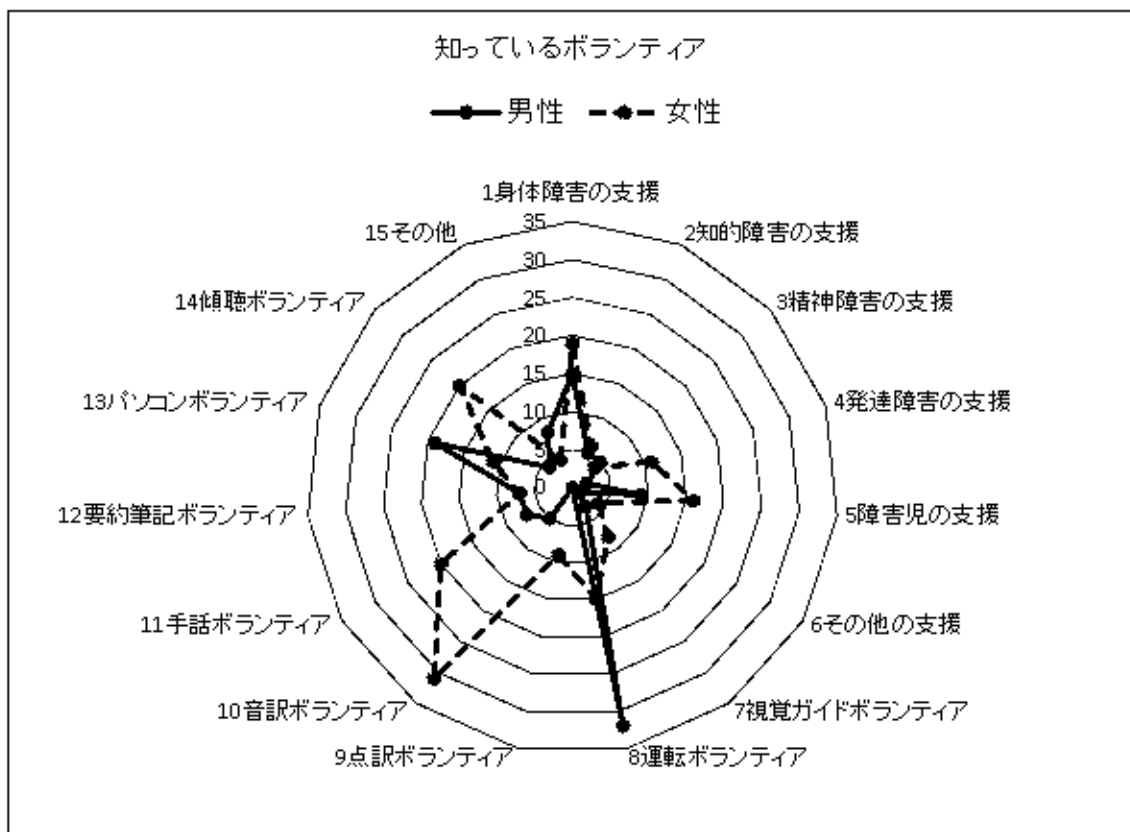
パーセンテージと合計は応答者数を元に計算されます。



§一般用問30知っているボランティア活動*問3性別 クロス表

			問3性別		合計
			男性	女性	
一般用問30知っているボランティア活動	1身体障害の支援	度数	15	19	34
	2知的障害の支援	度数	5	6	11
	3精神障害の支援	度数	5	4	9
	4発達障害の支援	度数	2	11	13
	5障害児の支援	度数	9	16	25
	6その他の支援	度数	1	4	5
	7視覚ガイドボランティア	度数	3	8	11
	8運転ボランティア	度数	32	15	47
	9点訳ボランティア	度数	0	9	9
	10音訳ボランティア	度数	5	31	36
	11手話ボランティア	度数	7	20	27
	12要約筆記ボランティア	度数	7	7	14
	13パソコンボランティア	度数	19	11	30
	14傾聴ボランティア	度数	4	20	24
	15その他	度数	8	4	12
合計	度数	85	113	198	

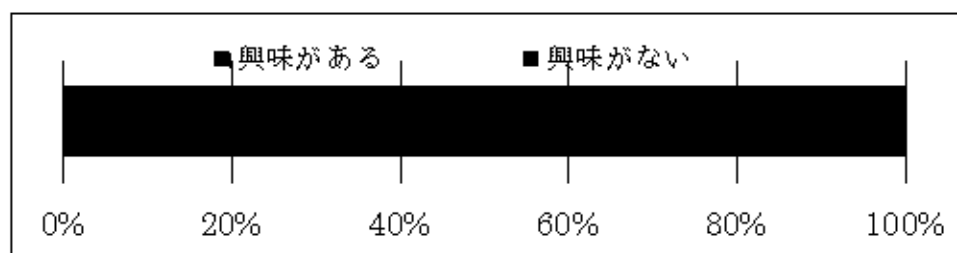
パーセンテージと合計は応答者数を基に計算されます。



問 31 あなたは、障害のある人を支援するボランティア活動に興味がありますか。
(○は1つだけ)

ボランティア活動への興味

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	興味がある	237	17.9	31.3	31.3
	興味がない	519	39.1	68.7	100.0
	合計	756	57.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	570	43.0		
	合計	1326	100.0		



【問 31 で「1 興味がある」を選択された方にお聞きします。】

問 32 あなたは、仮にボランティア活動に参加を希望する場合、どの様な活動に興味がありますか。(○は2つまで)

設問32多重回答どのようなボランティア活動に興味があるか 度数分布表

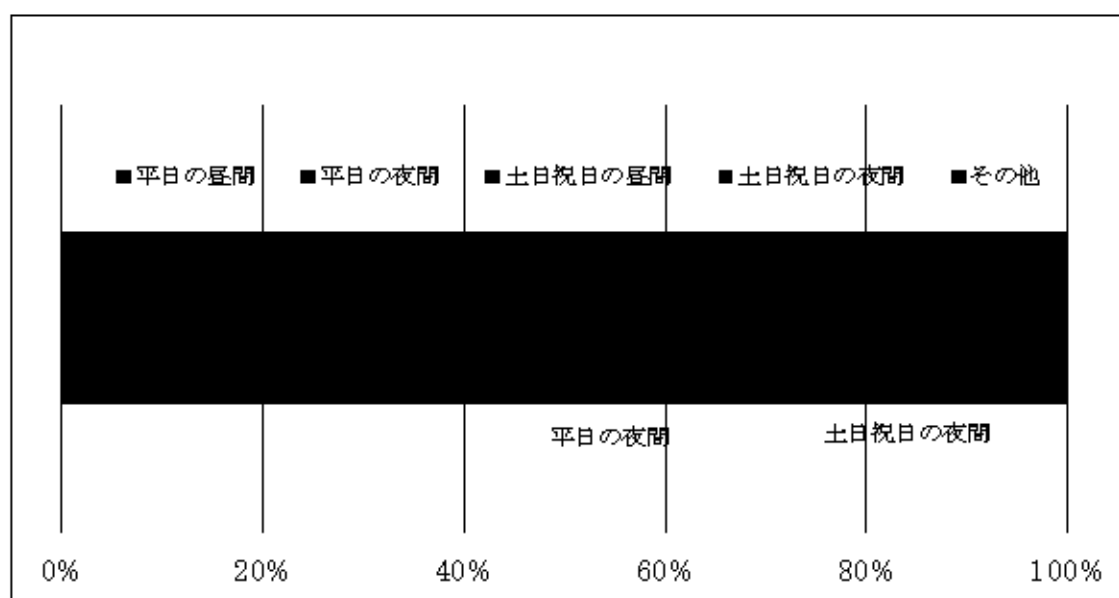
		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセント	
一般問32多重回答どのようなボランティア活動に興味があるか	1身体障害の支援	34	11.1%	17.2%
	2知的障害の支援	11	3.6%	5.6%
	3精神障害の支援	9	2.9%	4.5%
	4発達障害の支援	13	4.2%	6.6%
	5障害児の支援	25	8.1%	12.6%
	6その他の支援	5	1.6%	2.5%
	7視覚ガイドボランティア	11	3.6%	5.6%
	8運転ボランティア	47	15.3%	23.7%
	9点訳ボランティア	9	2.9%	4.5%
	10音訳ボランティア	36	11.7%	18.2%
	11手話ボランティア	27	8.8%	13.6%
	12要約筆記ボランティア	14	4.6%	7.1%
	13パソコンボランティア	30	9.8%	15.2%
	14傾聴ボランティア	24	7.8%	12.1%
	15その他	12	3.9%	6.1%
合計		307	100.0%	155.1%

最も多かった回答は運転ボランティア、ついで音訳ボランティアという結果です。

問 33 仮にあなたがボランティア活動に参加する場合、どの時間帯が参加しやすいですか。(○は1つだけ)

ボランティア活動参加しやすい時間帯

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	平日の昼間	127	9.6	56.7	56.7
	平日の夜間	7	.5	3.1	59.8
	土日祝日の昼間	51	3.8	22.8	82.6
	土日祝日の夜間	8	.6	3.6	86.2
	その他	31	2.3	13.8	100.0
	合計	224	16.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	1102	83.1		
合計		1326	100.0		



夜間は少ない回答となりましたが、昼間の時間帯であれば参加しやすいという結果でした。

報告9 その他障害者福祉センターなどについて

問 52 (一般問 34) あなたは、障害者福祉センター(地域生活支援センターだけのやま、子ども発達支援センターすくすく園)をご存知ですか。(○は1つだけ)

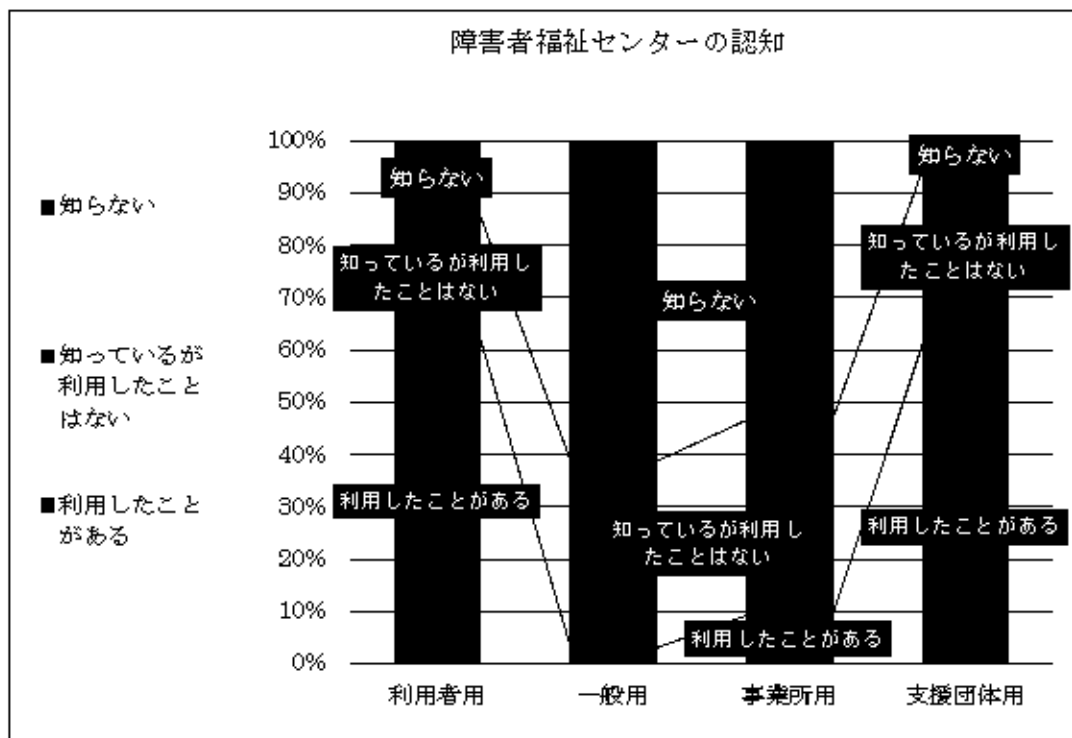
52障害者福祉センターの認知とアンケート類型と制度類型区分年齢のクロス表

制度類型区分年齢			アンケート類型		合計
			利用者用	一般用	
5歳以下	52障害者福祉センターの認知	利用したことがある	55		55
		知っているが利用したことはない	2		2
		合計	57		57
6-17歳	52障害者福祉センターの認知	利用したことがある	37		37
		知っているが利用したことはない	7		7
		知らない	2		2
合計	46		46		
18-39歳	52障害者福祉センターの認知	利用したことがある	25	8	33
		知っているが利用したことはない	15	46	61
		知らない	10	91	101
合計	50	145	195		
40-64歳	52障害者福祉センターの認知	利用したことがある	19	10	29
		知っているが利用したことはない	21	111	132
		知らない	13	156	169
合計	53	277	330		
65歳以上	52障害者福祉センターの認知	利用したことがある	4	7	11
		知っているが利用したことはない	9	129	138
		知らない	7	245	252
合計	20	381	401		
合計	52障害者福祉センターの認知	利用したことがある	140	25	165
		知っているが利用したことはない	54	286	340
		知らない	32	492	524
合計	226	803	1029		

アンケート類型と52障害者福祉センターの認知のクロス表

度数

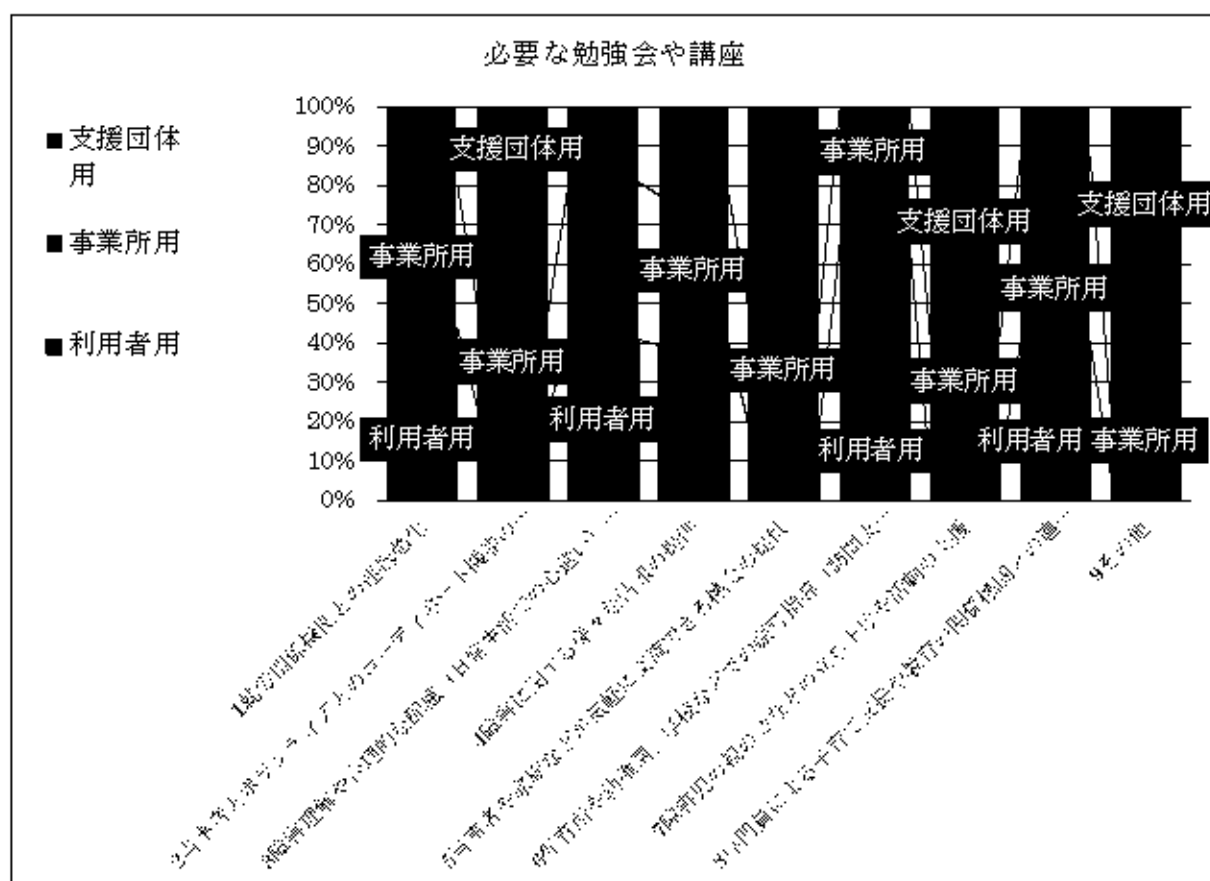
		52障害者福祉センターの認知			合計
		利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	
アンケート類型	利用者用	142	54	33	229
	一般用	25	290	498	813
	事業所用	18	73	104	195
	支援団体用	11	6	1	18
合計		196	423	636	1255



障害者福祉センターの認知は利用者の回答で約 86%の人が知っているという結果です。

問 53 (一般問 35 ○は3つまで) あなたは、障害者福祉センターでどの様な取り組みをするとよいと思いますか。(○は2つまで)

必要な研修会・アンケート対象類型 クロス表				
	アンケート類型			合計
	利用者用	事業所用	支援団体用	
1就労関係機関との連携強化	76	56	3	135
2当事者とボランティアとのコーディネート機能の強化	30	30	6	66
3障害理解や合理的な配慮(日常生活での心遣い)などの啓発	50	43	2	95
4障害に関する様々な情報の提供	82	70	4	156
5当事者や家族などが気軽に交流できる機会の提供	45	63	11	119
6保育所や幼稚園、学校などでの療育指導(訪問支援)の充実	52	24	0	76
7障害児の親の会などの立ち上げや活動の支援	3	12	2	17
8専門員による子育て支援や教育の関係機関との連携強化	38	39	1	78
9その他	3	7	3	13
合計	210	185	18	413



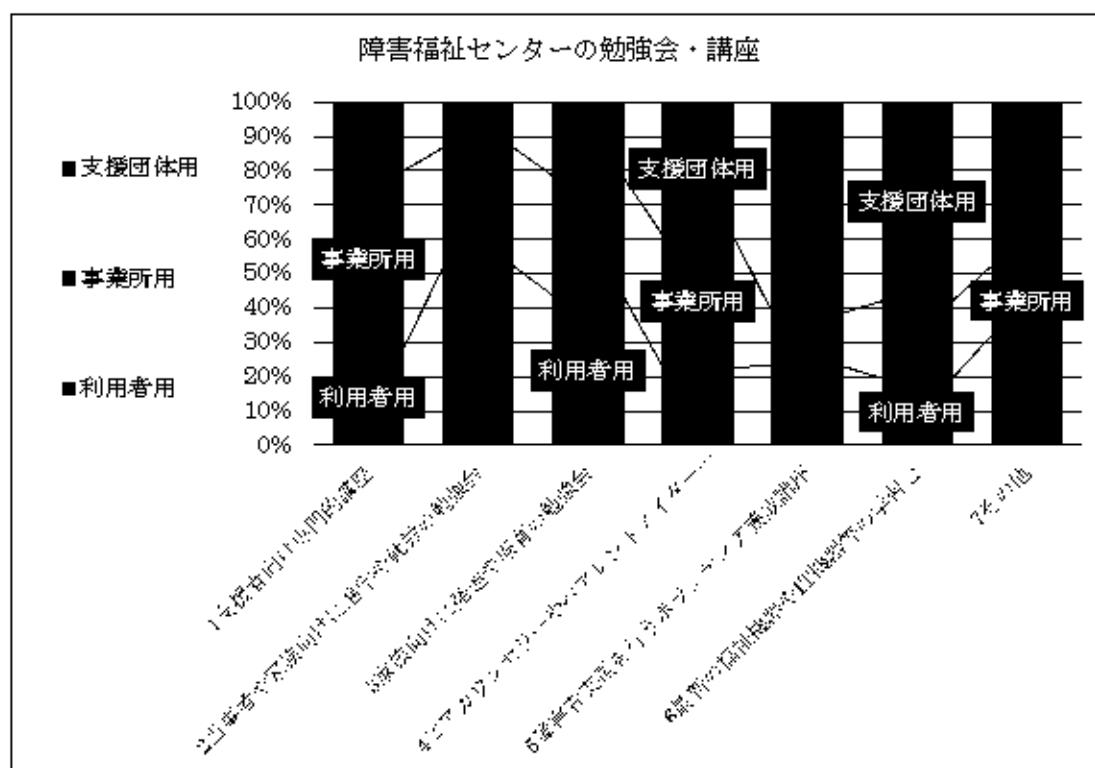
支援団体と事業所と利用者とは希望する内容に差がある事が伺えます。

問 54 あなたは、障害者福祉センターの勉強会や講座などにおいて、どの様な内容を開催するとよいと思いますか。(○は2つまで)

障害福祉センターの講座等全般*アンケート対象類型 クロス表

			アンケート類型			合計
			利用者用	事業所用	支援団体用	
障害福祉センターの講座等(全般)	54-1 支援者向け専門的講座	回数	67	122	4	193
	54-2 当事者や家族向けに進学や就労の勉強会	回数	94	62	2	158
	54-3 家族向けに発達や療育の勉強会	回数	72	57	3	132
	54-4 ヒアカウンセラーやペアレントメイター養成講座	回数	21	35	3	59
	54-5 障害者支援を行うボランティア養成講座	回数	49	33	11	93
	54-6 最新の福祉機器やIT機器等の学習会	回数	20	23	5	48
	54-7 その他	回数	8	5	1	14
合計	回数	190	188	16	395	

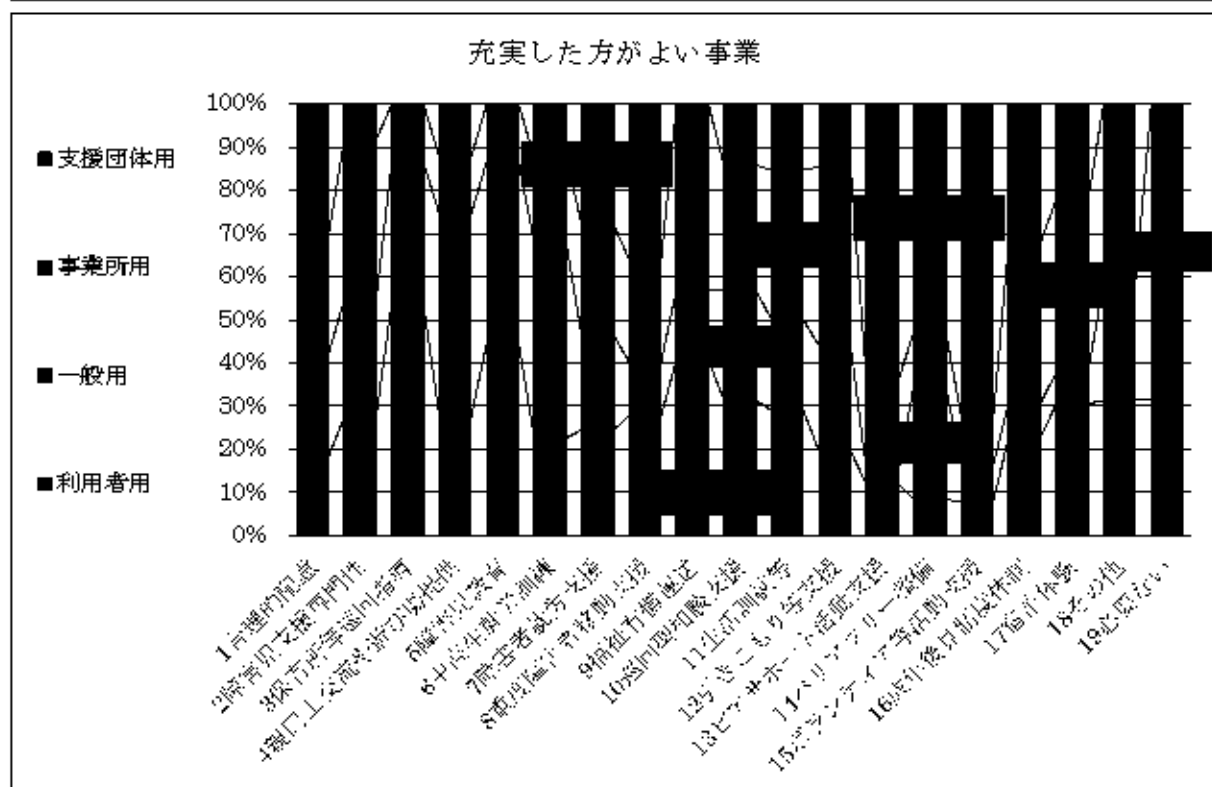
*パーセンテージと合計は回答者数を基に計算されます。



ここでも支援団体と事業所と利用者とは希望する内容に差がある事が伺えます。

問55 あなたは、今後、既存事業を見直しする場合、障害のある人に対して、次に掲げる中でどの様な支援を充実した方がよいと思いますか。(○は3つまで)

問55類型と事業見直しアンケート対象類型 クロス表						
問55類型×事業見直し		アンケート類型				合計
		利用者用	一般用	事業所用	支援団体用	
	1合理的配慮	53	225	71	7	356
	2障害児支援専門性	42	133	50	1	226
	3保育所等巡回指導	27	53	6	0	86
	4親同士交流や遊び場提供	28	155	12	1	196
	5障害児教育	68	208	18	0	294
	6中高生就労訓練	46	297	36	2	381
	7障害者就労支援	78	227	73	7	385
	8重度障害者移動支援	29	42	22	3	96
	9福祉有償運送	17	22	16	0	55
	10巡回型相談支援	28	74	23	1	126
	11生活訓練等	48	112	51	2	213
	12引きこもり等支援	17	69	32	1	119
	13ピアサポート活動支援	7	6	11	3	27
	14バリアフリー整備	6	61	8	3	78
	15ボランティア等活動支援	11	38	14	8	71
	16成年後見制度体制	18	20	26	2	66
	17宿泊体験	35	27	41	2	105
	18その他	6	17	7	0	30
	19必要ない	1	7	0	0	8
合計	度数	214	694	191	17	1116



支援団体用と事業所用と一般用と利用者用を比較すると充実を希望する事業内容に差がある事が伺えます。

報告 10 自由記述

利用者用アンケート（回答者：本人）

年齢	障害者手帳			その他				自由記述内容
	身体	知的	精神	難病	発達	高次脳機能	介護保険	
18		C判定	2級		○			○○の車に乗っているときに人が変な目で見るのでやめてほしい。差別はやめてほしい。むずかしい書類が多いので自分でできるようにしてほしい。高校に求人票を出しているのに障害のある生徒の応募を断る企業があるのでそういうことはやめるように言ってほしい。
31	3級		3級					日進市の障害の方に対するサービスは低い。嫌な思いを何度かしたことある。人をいじめてた人間が福祉にかかわってほしくない。
34			2級					外出にくるりんバスを毎日利用するので、手帳で無料になる制度を続けてほしい。
34			3級		○			障害があっても事理が弁識できる自分にとっては、成年後見制度まで必要ないと思いますが、日常生活全般のことを気軽に相談できる相談員や法律家（特に司法書士、社労士、行政書士、税理士 etc）に無料で財産管理や法的トラブルに対する相談をいつでもできる体制を整えてほしいです。
35			1級		○			問 32 の区分の認定とは？
36	6級		1級					○○に移転し、社協時代より利用が困難になりました。・各障害に関しての情報を頂けるとありがたいです。・バリアフリーとは何か。聴覚障害の私にとってのバリアは、情報が音声のみのことです。110番をメールでできるようになったのは、すばらしいことだと思います。使用しないからといって止めるということはないで下さい。存在することが「ストレスの軽減」になり、安心につながります。
40	2級		2級					障害福祉サービスをもっとわかりやすくしてほしいし、どんなサービスがあるか情報をください。
48			2級		○			現在私は、障害者のための就労移行支援施設に通っています。半年になりますが、まだまだ就労への意欲というのが今一つないのが現状です。過去に、パワーハラスメントを受けたのが原因で、「もう絶対に就職しないぞ！仕事なんかしないぞ！」という気持ちになってしまったのです。その原因をつくったのは会社です。約○年間引きこもりになってしまい、会社をすど

							く憎みましたが、徐々にその雪解けというのでもできてきました。最初は、ハローワークに行っても求人検索もしませんでした。最近では情報収集をするまで成長しました。
50		3級					勤務時間を自由にのばしたり縮めたり、職場の上司の障害の理解が今はあまりない。正社員で働いたはいいがその会社の上司等のおめつけやくが必ずいると思う。仕事が多すぎる時多々あり。仕事場が汚い。道具の不足を言ってもそろえてくれない。ゴミが増えるいっぽう自まえのしょうきゃくるあるのに。人によって時間の延長話をしたりBへ移行しろと言ったり、他に事業所立ち上げたが人が思ったより集まらないのか、今の所で人がやめていく人が多いのか全般的にむだなことが多く、受給目的と思うような気がする。他市で（みよし？）高齢者向けに何かあったときにボタン1つ等ですぐかけつけることができるシステムがあると親からききましたが、日進にも高齢者他ハンディのある方々すべてそのようなシステムを無料でつけて下さい。実家が〇〇ですが今にはじまったことではないですが〇〇PAあたりからまがりくねった道路が抜け道となりカーブが多いのにスピードを出す車があとをたちません。30キロ制限となっていますがダメです。ぬけ道として走行できないような方法何かないですか。（時間制限道路にしてもらうとか、〇〇内の人にはめんどくさいですが警察の登録をしてもらう方法）
57		2級				○	障がいサービスについて最後まで相談に乗ってほしいと思います
61			○		○	○	〇〇デイサービスは良かった。
62	5級						〇〇では現在「〇〇サービス」がありますが、もっといろいろな世代の人が楽しく参加できる場になれば良いと思います。以前は重度の人でもみんなが楽しみにしていた遠足が今はなくなり失望しました。他にもそういう障害者デイが複数必要でかつ、身体の障害とそれ以外の障害は別々に考える必要があると思います。
62	3級					○	私は何度か障害福祉の方々に相談にのってもらっています。一人暮らしで障害者になって〇年になります。1人でお風呂も入れず、日進に来て〇年生きているよりも辛い日もあります。家賃と生活費に追われて何とか暮らしています。唯一楽しみなのが、1週間に一度行く、〇〇のサービスを利用してきました。ところが、今年の1月に急に今まで150円でサービスを受けていたのが、4月から430円に値上がりになりました。障害者で相談する事がない私は、福祉事務所を訪ねて話を聞いていただきましたが、詳しい説明もそこそこに一方的に値上げされてしまいました。18年

							間値上げも一言の相談もなく、赤字だからという理由だけで決定しました。来年からは 617 円になります。相談してやっと 617 円が来年からです。年金は下げられ、生活は苦しいのに、消費税は消費者にかかってくる上に、光熱費は上がり、これ以上はあなたは死ぬしかありませんよとされている様です。この事は、市長さんにも連絡が届いていると思います。返事も頂きましたが、納得は行ってません。こういったアンケートをとるなら、一人一人の声をもっと大事にしてください。どうぞよろしく願い申し上げます。
69	2 級					○	障害児に対する回答（質問）が細かく多い気がするが、高齢者に対する項目は少ない気がする。できれば今後、児童向けと高齢者向けに分けてアンケートをして頂けるとありがたいと思います。
71	5 級						お知らせがいつもおそい！！係りの人がたるんどる。

利用者用アンケート（回答者：家族）

年齢	障害者手帳			その他				自由記述内容
	身体	知的	精神	難病	発達	高次脳機能	介護保険	
1					○			療育がずっと待機待ちなので、早く入れるようにしてほしいです。
1								早期療育の大切さを御存じなのに、手続きを1歳などと決めずに早く実行してほしいです。
2	3級							どのようなサービスがあるかもわからない。担当相談員はみえますが、今使用している以外のサービスにどのようなものがあるかなども教えてほしい。・障害があっても入れる通学施設なども教えて欲しい。・相談員の方が普段何をされているかもわかりません。わかりやすい説明書などがあると良いと思います。・先のこと（例えば小学校、中学校などに特別学級があるかなど）もわからないし、心配なので、市でホームページなど明らかにしてほしい。情報が欲しいです。
2								障害児が安心して入園できる、日進市立の幼稚園を設立してほしい。日進市は子どもが多いため、私立の幼稚園は、園側が子どもを選んでいるため、障害児を受け入れてくれる園が少ない。よって、他市へ通園する子どもが多い！私立の幼稚園に、もっと広い心で障害児の受け入れ体制をして頂くか日進市立の幼稚園をつくってほしい。
3		B判定			○			現在、子供はすくすく園の〇〇クラスに通っています。この4月で〇年目です。普通の保育園や幼稚園などで、他の子どもと一緒に活動するのはとても難しく思います。昨年度末に、急にクラス平日5日間通う所を、4日間に減らされた事に対して市にすごく不満があります。年度末に言われても、こちらは何も子供にしてあげることができなく、不満です。今後、すくすく園以外にも並行して保育園の入園を希望（保育園のほうが障害の理解があり、すくすく園との連携もできているので）。ですが、保育園入園には、働いていないといけないという条件があるのが不満です。名古屋市には障害枠というのがあるので、日進市にも保育園入園のための障害枠とか、もしくは、保護者が障害児が入園してから労働できるなどの特例を作るべきだと思います。障害児を他人に預けての入園前の労働は、とても困難なので。日進市は若い年齢の方が増えています。障害児をかかえる家族の苦労を少しでもわかってください。

3						子どもの受け入れ先が不足していて、進路がとても不安です。障害や発達の違いがある子どもたちの通える場所を増やしてほしいです。
3						すくすく園に入っただいぶ育てやすくなりました。出来れば日進にも子どもの作業療法が受けられる場所があるといいなと思います。
3		A判定			○	子供がすくすく園に通っています。4月から週5日、単独通園を予定していましたが、2月ごろに一方的に何の説明もなく週4日に変更させられました。直前の変更のため、保育園への通園など他の手段を検討する時間がありませんでした。すくすく園はとても良い行政サービスであり、職員の皆様も大変親切で感謝しておりますが、現場の私達の状況に無配慮な行為はつっしんでください。
3		C判定				現在、すくすく園を利用しています。新しく竹の山にできてから入園していますが、良くなる所が悪くなっているように思えます。親からの要望はまったく聞き入れてもらえず、今年からは年少クラスの年齢の子達は週4日しか通えない。定員がいっぱいになるのはわかりきってたことなのに、なにも対応せずに、「通えませんが子供達がかわいそうです。その他にもたくさんありますが、作って満足しては、本人たちのことを何も考えてくれないと思います。福祉の町をめざしているのなら、もう少し障害者(児)にやさしい町になって欲しいです。より住みやすい町づくりをお願いします。
3						もっとしっかりとサービスを受ける人のための施設にしてください。市やお金の都合にふりまわされ、きちんとした療育ができてません。
3		B判定			○	現在、すくすく園を利用させて頂いております。おかげ様で、集団生活にも少しずつ慣れ、我慢する事、理解力、様々な面での成長が見られます。一方で、すくすく園に通いたくても定員に空きがなく入れない方がおられる話も聞きました。療育は小さいうちからしていた方が効果があると聞き、定員が空くのを待っておられる方たちはどんどん大きくなってしまいますので、少しでも早く入れる様に願っています。その為には、職員や教室の増加が絶対必要だと感じます。今年度から、最高4日間しか通えない子がいます。定員との兼ね合いから判断されたと思われませんが、すくすくの職員が5日間通う必要と感じた子には必要なのです。そこは是非、減らさないで頂きたいです。よろしく願います。
3						福祉課の方々も現場へ足を運び、直接ご覧になられた方が良いのかなと思います。

3		C判定		○	<p>日曜日に利用できる（日中一時等）サービスがなく困っています。日曜にはいる用事は、同伴または断っています。同伴できないことが多いのに…。行政（市役所福祉課・児童課）の方に手帳取得の話聞いたなら、「栄まで行くななんて大変ですよ」「そんなに必要ですか？」という風に言われました。必要だから言ってるのに！すくすく園を卒園後、小学生のきちんとした療育がないと聞いています（NPOのものしか）。きちんと専門の施設を作って欲しい。情報、サービスに小学生以上の子達は差がでてしまうのでは？日進で安心してこの子を育てていける町に、大人になっても笑って暮らせる町にして下さい。よろしく願います。</p>
4		C判定		○	<p>子供が小学校に上がった時、奇異な目で見られるのは辛い。小さい頃から地元の保育園・幼稚園に行かせるべき。それが親も子も障害理解につながると思います。すくすく園での単独通園はそこが保育園・幼稚園代わりにはいけないと思います。まずは市の保育園や幼稚園に行かせ臨機応変にすくすくと連携をとるのがベストだと考えます。そして2つの並行通園は金銭的に大変です。親の送迎も負担です。スクールバスなど検討してもらいたい。</p>
4					<p>行政の取り組みについて意見です。生後3ヶ月～の保健センター健診から市の健診が始まりますが、その後の10ヶ月、1才等続きますが、子供の成長に対して皆と同じペース、育ち方でないと、少しでも遅いとか、その場で出来ないと言育に問題ありの様に对应されます。早期発見の為と言いますが、もう少し個人個人、養育のペースが違うという事を保健センター、市の行政の方に理解と勉強を求めます。すくすく園にも通っておりますが、犬を「わんちゃん」と4才で答えたところ、×(バツ)がつけました。我が家では犬と呼ばせず、「わんちゃん、ネコちゃん」と呼ばせています。この様に、子供の育て方により、話し方、対応、出来る事はその家庭によってそれぞれ違います。そして、すくすく園でも先生方がコロコロ1年単位で変わって、まったく違う先生方を見ると、その子の成長がどれ程かわからず、その家庭の育て方もわからず紙だけで判断される事に強く疑問を持ちました。幼稚園にも通っていますが、幼稚園とすくすく園での担任の先生方同士で全く話しがされないのもとっても疑問を感じます。すべてがバラバラのサービスなのは変です。そして何より、少しだけ皆よりマイペースや、のんびり育てている子供に対して、障害枠とひとくぐりに成長を並べせるのはやめていただきたい。子育ては一人一人違います。成長のペースも違います。そこをきちんと見て、本当</p>

							に必要な子供を福祉サービスに提供するべきです。今のやり方、ベビー健診等もう一度見直して頂きたいです。初めての育児はどのお母さんも不安です。それを安心させてあげるべき役割なのに、今のやり方では不安をもっと不安にさせるだけです。もっと安心させてあげられる言葉、場所が必要かと思います。もっとお母さんたちの意見を聞くべきです。
4							親の立場で書けばよいのか子の立場で書けばよいのかよくわからず、回答がぶれています
4					○		すくすく園を利用しています。すくすくでの療育を始めて、子どもの変化を感じています。とても助かっています。通っている人の中で、通園できる日が減ってしまって困っているという話を聞きました。これは何故なのでしょう？また、通ったほうが良いと言われ、申し込んでから利用できるまでかなり待ちました。何故なのでしょう？必要な人が十分なサービスを受けることができるよう、体制を整えていただけるとうれしいです。よろしくお願いします。
4	3級	C判定			○		子ども（4才・肢体不自由児）が、今後就学するにあたって〇〇小学校ではなく、〇〇小学校に行かなければならなくなったら送迎ができない。有償スクールバスがあったら・・・と思います。
5		B判定					療育手帳の取得・更新に三の丸まで行かないといけないうので市役所で受けれる枠が減っているとのことですが、増やすようにしてほしい。減りましたじゃなくて、増やすようお願いしてほしい。そこまで行くのが遠く大変です。障害者手当などどんどん減額されていくけど、これ以上減らされても困ります。減らした分ちゃんと福祉サービスが充実しているのかわかるようにしてほしい
5	2級	A判定					すくすく園の給食はいつになったら自園調理されるようになるのでしょうか？いつまで特区の適用を受けるのですか？
5		B判定					受給者証の作成に、福祉センターへ相談に行きました。利用日数の上限が決められているので、これ以上増やせないということわれました。利用者が希望しているのに、上限が決められているからの一言で増やしてもらえないのはおかしいと思います。何のためのヒヤリングと相談なのでしょう？はじめから決まっているのであれば、相談ではないと思います。
5		A判定			○		子どもが障害をもっているとわかって数年経ちますが、いまだに他者さまの理解が少ないように感じます。特に成人した大人の方々。障害を持っていない子どもの方が理解(すんなりと受け入れてくれる)してくれるような気がします。子どもは、大人の態度をマネ

						<p>します。大人は「障害者」という言葉が出た途端、過度に甘やかすように接したり、やる事なすことすべて「障害者だから…」という言葉でそえて、はれものを触るような対応をします。それを子供たちがまねるようになってきたら、ますます壁は厚くなるでしょう。障害者ではなく、特定のことをするのが苦手な人間ととらえて接してほしいものです。最初に申したように、障害者と言われている人間が「どのような人間であるか」を理解する人が、そういう場が、少しでも増えたらと思います。</p>
5				○		<p>保育園に障がい児枠や入所条件を通常のお子さんより配慮をしてほしいと思います。発達障がいの子供を保育園に通わせながら、すすすく園にも通っていますが、仕事をしながらの両立は大変です。すすすく園のスケジュールに合わせ、仕事を早退したり休んだりしています。市役所に相談しても、「am9:00～pm2:00だと仕事はできるはず」と判断され、一般の方達と同じように仕事を掛け持ちしてでも入所条件を満たすように言われました。でも実際、am9:00～pm2:00の通園で働くことは不可能です。送迎を他の福祉団体の方にお願ひして仕事をしている方もいますが、子供の場合、変化に弱く、特性上それも難しいです。今、我が家は、入所条件に合わせ就労していますが、正直大変です。障害のある子どもを育てるのは、色々な面で親の負担は大きいです。発達障がいをもつ子供には、大人数の幼稚園で「教育」を受けるよりも、保育園で「生活」面での自律を目指すことのほうが重要だと思ひます。保育園は、課程で保育できない子供のための場所だとは判っていますが、障害福祉サービスの一環としてももう少し間口を広げてほしいと思ひます。</p>
6		A判定		○		<p>すすすく園のような市の療育施設を増やして欲しいです。すすすく園と北部保育園がせかく近くにあるのもっと交流・園庭開放などの場を設けて欲しいです。すすすく園移設説明の際、一年後に出来上がる竹ノ山小学校の校庭を利用できるという話でしたが、どうなったのでしょうか？</p>
6	2級					<p>いつもありがとうございます。毎年制度がいろいろ変わってしまい窓口を何回かたらい回しになることがあります。手続きなどがシンプルに行えるとありがたいと思ひています。よろしくお願ひします。</p>
6		B判定				<p>デイサービスの利用日数の制限なしにしてほしい。人気のある所？などは、受け入れ人数がすぐいっぱいになってしまう。放課後デイ</p>
7		A判定		○		<p>障害福祉センターの相談を受けたい方が増えているのに、相談員の人数は2～3名だと思ひのですが、申し</p>

						訳なくて電話もしにくい状態です。アポをとりやすいようにしていただけるとありがたいです。
7		C判定			○	色々なサービスを提供していただいているのですが、なかなかこちらにはどのようなサービスが受けれるのかが分かりづらいです。今、放課後デイサービスを受けさせて頂いていて本当に助かっています。でも、そのサービスがある事を教えてもらったのはたまたま知り合った人からです（障害福祉サービスに関わっておられない人です）。本当に良いサービスがあるにも関わらず、本当に必要としている人が知らないのでは残念です。
7		A判定			○	現在7歳の自閉症児の母です。かなり障害が重度なのですが、支援学級でお世話になり、大変感謝致しております。私が支援学級を希望した理由のひとつに、養護学校が遠すぎて、登校が困難に感じたことがございます。「○○養護学校」へ昨年入学前に説明を聞きに行きましたが、車の運転ができない私にはかなり難しかったです。子供の障害の重さから言いますと、今後、養護学校の方が・・・となるかもしれません。1年ごとにサービス内容や、学校の詳細が判るようですと大変助かります。
8					○	せっかく障害者福祉センターができていのに、内容は充実していない。もっと勉強して行って、良いサービスを提供できるよう、市民サービスを充実させていていただきたい。ベテランをおいて頂かないと、相談に行っても何も情報が得られない。
9			3級		○	日中一時支援事業を利用した際、発達障害のある子供に対して不適切な言葉や態度を取った職員がいました。他の職員は、障害に理解のある態度で接してくれましたが、専門的な知識が人によってムラがあるのではと思いました。福祉施設で働く職員の方にはその施設に見合った教育が必要だと思います。ささいなことでも、子供やその親は傷つきます。普段の生活でただでさえそのような言葉に苦しんでいるのに、福祉施設でさえも、と裏切られた気分になりました。このようなことが起こらないように、教育や人選を見直していただきたいと思います。
9		B判定		○	○	障がい者福祉センター（たけのやま）が、子どもが帰宅した後の放課後、自由に遊んだりくつろいだりできる場であるといいのと思います。立派な建物なのに、障がい、病気をもつわが子は、一度もその建物にかかわったことがなく、何のための福祉センターなのだろうと思っています。・市内に言語機能訓練ができる場があるといいのと思います。○○○クリニックで訓練ができないか相談（受診）しましたが、もうす

							でにすごい人で、そこそこ話せる（かたこと）わが子は、全く相手にされずすごく嫌な思いをしました。言語聴覚士など専門の知識のある方とかかわれる場が、近くにあれば親も子もうれしいと思います。
10				○			個別指導のできる施設環境と人材の配置
11				○			福祉サービス受給者証をもらうのに、市役所でとても嫌な思いをしました。手帳を取れない、いわゆるグレーゾーンの子供たちへの支援もとても大切だと思います。親も子供も困っているから支援を受けたい訳です。困っているのに「本当に必要ですか？」との問いは間違っていないですか？必要だから行政に頼っているんです！福祉課？児童課？の担当の方なら、もっと親身になって聞いて下さい。
15		A判定					介護者や親の負担をへらし自立への手助けをしてほしい
17		A判定					小・中学校の特別支援学級の支援内容・障害理解に、バラつきがあるように感じます。どの学校の先生方も、一生懸命やっただけなので、各学校が個々でやっていくだけでなく、学校間で交流したり、先生方が事例研究をしたり情報交換をしたりできればいいのにと、ずっと思っています。小→中へ進学するときの申し送りや、学校が変わっても担当の先生同士で情報交換をしたりしていただけるとありがたいです。小は小、中は中という壁が感じられました。小の先生から中の先生には伝えにくいとか・・・
19		A判定		○			福祉サービスを紹介されても、実際使用できる事業所が日進は無いので意味が無いです。受給量も他市町村に比べると少ないです。ハード(箱物)にお金を使いすぎて回ってないのかなと感じます。
21		C判定	3級	○			現在、就労はしていますが、最低賃金のパートタイムで、当然賞与もなく自立できるとは思えません。障害者というだけで短時間勤務が当り前のようで、フルタイムの求人はほとんどありません。別にバイトをしようにも通勤時間がネックで出来ません。障害者ということでパートしか望めないなら、せめて日進市内で就労できれば、自立した生活に向けて何らかの工夫をできるかと思います。障害があるといっても、個々の体力や能力に差があるので、幅広い選択ができるようになると良いのです。また、最低賃金が物価や消費税に連動してあがっているのに、扶養控除の限度額は変わっていません。このようなアンバランスも是正されないのでしょうか。
23	4級	B判		○	○		児童についてのサービスは以前に比べたらとても充実してきていると思いますが、学校卒業後の長い本人の

		定				生活部分にはまだまだそれぞれの生活の仕方に合った福祉サービスが得られていない様な気がします。成人になってからの本人の精神面のフォローも、人によってはとても大切な時期となります。親も子も孤立していくのを防ぐためにも、相談機関が必要かもしれません。
25			1級		○	子供の思いを尊重したかった為、「わからない所は聞いてね」と伝え、一人で記入させました。25歳のわが子は、高次脳機能障害があります。結果から、手帳、自分が受けているサービス等の理解が充分でない様です。しかし、このアンケート見た父親も「わからない。子供がわからないのも当然。質問数も多く、障害者を対象にしたアンケートとは思えない。目的をしぼり、アンケート内容もしぼれないものか」との意見でした。子供が障害者となり、事務的な処理が多く、病院通い、在宅療養の中で、精神的にも身体的にも負担が大きいです。もう少し簡単にならないものではないでしょうか。サービスを受けるためには仕方がないのかもしれませんが…。障害者手帳（精神）、障害者通院医療費受給者証、自立支援医療費受給者証、障害福祉サービス受給者証の為、書類記入、診断書準備等、やってきた自分も混乱することが多々あり、説明を受けただけの夫も本人もわからないのも当然かなと思いました。介護保険サービスも含め、もう少し簡単に柔軟に必要な人が必要なサービスを受けることができないものではないでしょうか…
25		B判定			○	日進市内での就労先を、福祉課を通して探せるようになれば嬉しいです。
25		C判定				子供の成長とともに、問題点が変わっていく事は、その時になってみないとわからない。普段からよほど意識をして、アンテナをはっていないと、情報が素通りしてしまっていたことに気づきました。後になってわかってもおそいですが、できるだけその時点からできる最良の行動が取れるように、フォローして頂けるとありがたいです。
26	1級	A判定	1級			送迎の交通費の復活
28	身体1級	C判定				男性のヘルパーさんが日進市にはいなくて依頼できない。この先どうなりますか？・グループホームで生活できるようにしてほしい・車イスで介護タクシーを使うのに料金が高く負担が大きいためタクシーチケットを複数枚利用できるようにしてほしい・福祉の方に興味をもってくださる方を増やして欲しいです（障がいのある人との関わりができるイベントの開催、市の行事に参加する障がいのある人への支援（ボラ）者の確

							保、日々事業所などとの関わりが出来るようなボランティアさんへのサポート）・地域の人（学生・一般）と障がいのある人をつなげてほしい・福祉課の方々にはお世話になります。いつもいろいろと力を注いでくださってありがとうございます。今後も本人が地域で生活できるよう親亡きあとも安心して生活できるよう取り組んでいってくださいます様によろしく願っています。
29	3級	A判定					障害をもつ本人も親も年をとってきました。しかし、現状、グループホームが少なく、保護者同士は一生懸命取り組んでいます。市からの支援が何かあればたすかります。よろしく願います。
29		A判定			○		親なき後も本人が安心して地域で生活できるよう、本当に必要なサービス、使いやすい方法で利用できるようにしてほしいです。
30	1級	A判定					月4・5日、ショートステイを利用していましたが、事故や怪我が絶え間なく続き、今は利用していません。病気のとき等は友人にお願いしています。将来がとても不安です。事故があっても嘘の報告をする様な所へは預けられません。この怒りをどこへぶつければいいのか…。市役所の皆様にはとても感謝しております。これからも色々と手助けをお願い致します。
33		A判定					アンケートが本人宛にきても理解ができないので、親もしくは介護の人宛にしてほしい。それぞれの施設へ出向き、直接障害者の実態を見て判断し、理解して下さい。
33	1級	A判定			○	○	宮城での災害の時、障害の方たちはどのように過ごされたのか？テレビでは写らなかった様に思います。本当に何かあったときにあってみないとわからないのか行動に出来ません。そのための予備練習のようなことをと思っていますがなかなか動けませんね。
34			2級				①障害者という表記は、何か暗くて悪いイメージがつかまとう。直に私拭する事は難しいが、少なくとも「害」という字を「がい」に改めて、障がい者という表記にした方が優しさが感じられないか。②作業所に通所する場合、スタッフの人の送り迎え、又はボランティアの方、及び本人の父母等により送り迎えに頼っているが、「くるりんバス」がもっと有効に経路変更して通える様にならないか？
35		B判定					問1の回答は1つだけとありますが、本人に説明しながら出来るものにとっては1つだけでは不十分だと思いますが…？
36		C判定					障害が軽い為、就労に関していくつか差別を受けている。障害に対する理解をしてもらえるような事業サービスをしてほしいと思う。障害年金を受給できない障

							害者もいるので、そういう障害者に手厚くできるようなサービスを考えて欲しい（例えば、障害者扶助料を軽い人に多くするなど）。
37		A判定		○			グループホームに親亡き後入ることばかりではなく、自宅でヘルパー、日中一時などで地域で住んで自由に暮らしていく為に、ヘルパーなど支援者が必要だと思う。
40		A判定			○		自分の子育ての頃を思うと今は様々な制度サービスが充実し嬉しい限りです。若いお母さん方は上手にその制度を利用し、自分達の心のゆとり等を持っておられますが…。自分はもう年ですし、インターネット等の利用も出来ませんし…新しい制度にも取り残されて相変わらず…自分で抱え込んでしまっておりま。制度の意味がわからなかったり、手続きが面倒だったり…説明会に出ても言葉の意味さえ理解できないこともあり年をとることの辛さを感じます。問題を抱えこんだ時も、社協？福祉課？支援センター？どこへ行ったらいいのか悩みます。体調が悪く、動く事も負担になり始めました。ショートステイ等の施設の充実も早めにお願ひしたいと思います。親が高齢化になった今、入所施設が本当に必要ではないでしょうか。「絶対にできない」のでしょうか…グループホーム等はできても入所できる人数は少数ですし…親の負担（金銭的なもの）が多すぎます。
42	2級	A判定				○	いつもご支援ありがとうございます。入所の施設に入っておりますが、家にはよく帰ってきています。それによってストレスが発散されているようです。施設では、職員の数が少ないのか、手のかかる人が多いのか、なかなかゆきとどかない点があります。
44		A判定					重度障害者の親亡き後の入所施設の建設（日進市独自）要望
44	5級		1級	○	○	○	難知性てんかんで精神障害1級です。先日、転倒して頭部を強く打ち、救急車で病院に運ばれ、大事には至りませんでした。ヘルメットが必要と言われました。その際、費用は1万6千円くらいで、大抵の市町村で申請すれば1割負担で済むとのことでした。早速日進市へ手続きに行った所、わが子の場合、給付金は規定により出せないとのことでした。日進市の頭部保護帽給付の規定によれば、「…重度又は最重度の知的障害を有する者であって、てんかんの発作等により頻繁に転倒する障害者等」とあります。要するに、手かせ足かせして障害者への補助金を出来る限り少なくしようとしているとしか思えません。これはほんの一例にすぎません。金額の問題ではありません。「…更な

							る障害福祉の推進を図る…」ためと云いながら、「障害福祉に関する支出」を抑えようとしていることは明らかです。今の市長は、障害者に理解があるのにどこでどうなっているのか。「てんかん」にも色々あって、薬である程度抑えて年に数回しか発作を起こさない人から、わが子のように難治性てんかんの場合、いくら新薬を投与しても毎日のように発作のあることを申し上げておきたい。
45	1級	A判定				○	今のところは感謝の毎日です。私達両親が、何とか元気で世話が出来る間はいいのですが、今後2・3年後にはどうなるか心配です。障害者が入所できるような施設ができることを願っています。
45	1級					○	障害者向けの施設が日進にはありません（と思います）。市外の施設へ通っております。どうか日進にも、障害者に合った施設をお願いします。
45		B判定				○	現在私共（主人、私）がついてて指導していますが、例えば一人で入浴しても難しいことかもしれませんが何回教えても入浴剤であわだらけで、あっといふ間になくなってしまいます。（ぬり薬も同じです）衣服ですが、自分の判断でその時々に着るものは常時こちらが上から取るようにしてるものですので、「出来る」に入るのでしょうか。もしも私共に突然の訃報の場合は、現在家の中で一人では生活できず、月2時間程度の補助では、自分からは人に助けを呼ぶこともできない子ですので、孤独死に至ることは必然だと思います。何かあったら市役所か竹の山の方に行くように、常時伝えてはいるのですが、どうなることかこの先不安でいっぱいです。
47		A判定				○	現在、体験的宿泊に対して助成をいただき感謝しておりますが、グループホームの建設や運営が必要になってきますので、ご支援をお願い致します。
53	3級	A判定				○	日進市において今回のような福祉に関するアンケート調査を実施して下さることは、障害者に幸せな生活を約束される資料になるようで心強く感じました。老に向かう毎日のくらしを思うと健康で過ごすことが一番大切と思います。理解ある皆様の力を頂いて、現在の生活が続くように願っています。でも障害者が一人になったとき、なる前にすることを教えてもらうのはどこへ行けばよいかわかるべきかを教えてください。そのことが一番心配で悩みです。
54		A判定				○	だいたい本人が記入は無理です。親がかきますが、選択できない場合の記入するところがあってもいいのでは
54	2級					○	50代の姉です。今一人で70代後半と50代（重度障害者）の家族を介護しています。現在健康なので週2回

							のデイサービス以外利用していませんが、10年後20年後自分が動けなくなったときの日常生活が不安です
60			1級		○		本人の症状を客観的に見て、本人に良いアドバイスを受けてみたいと思っています。家族も仕事をもっていて、新しい試みに時間をとれないことが残念です。家の中では、問題ありながらもつつがなく暮らしているので、アンケートの問いに答えられないものもありました。本人自体に問題意識がないので、どういう方向に生活をもっていって良いのか、私では判断ができない状態です。市の方の対応は、丁寧で親切で有難く思っております。
72		A判定					最近の福祉はきめ細かいが、必要悪もあり制度がありすぎるうちは、通所施設、夜はケアホームと利用させてもらっていますが、職員の態度の悪さにほとんど困っています。お世話させてもらっている、面倒を見てやっている態度が目立つ。もっと職員研修を力入れて欲しい。本人達の権利擁護を自覚してほしい。この人たちは障害者故、小さいときから叱られる場面が多く気の毒です。障害そのものの理解ができていない職員のいかに多いかを親として胸が痛む思いを毎日感じている今日この頃です。これは親として切実な重いです。遺産相続の問題だけが権利擁護ではありません。日常生活の中こそ心そのもの（設備でも無い）もっと擁護しなければなりません。
	3級						本人の年齢、親の年齢、学区、手帳の事などを書いたら、無記名でも個人が特定できてしまいます。本アンケート調査を確実に個人が特定できないものにしてほしいです。また、専門用語が多すぎてよくわかりませんでした。障害はあるけれど手帳は交付してもらえない障害者への福祉サービスも手帳のある方と同等にして下さい。健常者にも入れてもらえず、障害者としても扱っていただけないと居場所がありません。

利用者用アンケート（回答者：家族以外の介護者）

年齢	障害者手帳			その他				自由記述内容
	身体	知的	精神	難病	発達	高次脳機能	介護保険	
3		A判定						全て完璧にということは無理でもこれは自信がある、というものが欲しいです。箱物が立派でも中身が・・・ということがあります。上辺だけの立派さはいりません（指導する人にも）。個人の一番の専門家は家族ですが、その隙間に全体の専門家が浸透していくことを望みます。抽象的な言い方ですが・・・。支援している側が満足することのないように、また、されている側も欲を出し過ぎないように努めたいですね。
4					○		○	すくすく園に通園しています。・受けられるサービスが明示されておらず分かりにくい（保護者同士のクチコミでしか分からない）・車がないと通園しづらいのを何とかして欲しい。くるりんバスは園の開始・終了時間にあっていない、乗車時間が長く子供がたえられない（市内なのに通園に片道90分以上かかる）・療育というのなら言語の専門家を常駐させてほしい。
9			3級		○			教育機関と福祉サービスの連携、学校の先生がもっとよく理解支援できるように。就労後のサポート強化。・障害者スポーツ振興、体力作り。市内小中の支援級イベント内容見直し、そり・水族館・運動会・のびゆく子作品展表彰式など。形ばかりで交流もなく、移動等子どもの負担ばかり。みんなが楽しんでいるとも思えない。とくに中学生。学年（小・中）や障害別など
10		C判定			○			小学校で支援級に在籍する子しか必要な支援が受けられないのはおかしいと思います。知的障害はないが、発達障害のある子が普通級に在籍しても、支援が受けられるようにすべきです。そのために市は、支援ときちんとできる人材を確保すべきです。親が気付いていなくても、発達障害の特性のある子は、普通学級でも支援が受けられるようにすべきです。子どものためです。普通級の中でも、適切な支援が受けられれば、支援を受けた子の成長につながるだけでなく、クラスの子どもたちに対し、啓発とか障害理解という面でも大きな効力があると思います。

一般用アンケート

年齢	障害者手帳			その他				自由記述内容
	身体	知的	精神	難病	発達	高次脳機能	介護保険	
18								障害者に対する理解が一番必要だと考えます。
19								あまり身近には普段感じる事が、若い年層の人たちには特にないと思うので、活動をもう少し広げたり、様々な工夫をするとまた変わってくることも色々あると思います。
22			2級		○			地域の企業・公共施設で障害者の就労ができるようになると、自立する事がもっとできるようになると思う。
23								障がい者教育にたずさわるボランティアや支援員の職場環境や待遇の向上。勉強会の充実。
26								できないことを数えるのではなく、できることを増やすための支援をしていくことが、全体にとって良くなると思います。
27								障害者に対する支援を充実したものにしていくことももちろん大事だと思いますが、支援する側も人間であり、その人たちが支援される必要もあると思います。 (ex:訓練や指導、ボランティアに頼らず事業として行うなど)
30								実際当事者にならないと、こういった事を知らないという方が多いのではないかなと思います。私自身、まわりにいない為、全く気にした事ありませんでした…。ボランティアがどういった活動をして、何が足りないのか、私自身も気づかせてもらえると動きやすいなと思います。
31								くるりんバスは、障がい者手帳を持っているので無料で利用できるのですが、手帳を運転手さんに見せるのが恥かしかったり、申し訳ない気持ちになり、ためらってしまう自分がいます。自分から進んで利用しなければいけないのに…と思うのですが、まずは自分の意識を変えないといけませんね。
32				○				難病に対する支援を強化してください。
32	3級	A判定						障害者の受け入れ先（職場、A型など）をもっと増やして欲しい。相談に行っても受け入れ先自体がない。
32								行政や自治体が動けば動くだけ費用がかさむから、最低限の場の確保とサポートをして、余計な経費をかん

						げん(各家庭)した方がより良いのでは。
33						今後も行政が中心となってサービスを提供していくことを望みます。
34		2級			○	行政の取り組みについて…今年度より子供が小学校入学となり、放課後の保育に困り児童クラブでの保育を希望したが、待機児童となってしまった。自分自身障害をカバーしながら働いているが、前記により今まで以上に生活しづらくなった。市政 20 周年で花火に消える税金を今やらなければならない事に回して欲しい。
35						引越したばかりで心療内科への受診で大変な思いをしました。日進市にある大学内にカウンセリングや心療内科がありますが、専門なのか院生なのかよくわからず、自立支援医療の申請をお願いしましたが断られ、今は日進市以外の病院に変えました。市のほうで病院など教えてくれるとありがたいです。
36						障害福祉だけでなく、高齢者福祉、さらに外国籍の人たちが共に“障害”なく暮らせる地域づくりが大切。施設中心型福祉の限界を感じている。日進市は市民参加型の行政を目指していて、公募で市民が〇〇委員会とかに参加できるが、その中に(女性や、外国籍の人) 障害をもった人の枠を確保すべき。それが CBR の第一歩。
36						私の身近なところには障害のある人はいませんので、障害のある人についてどう接したらよいか、がわかりません。もっと、学校や職場で障害のある人ない人がふつうに一緒にすごせるようになって自然に助けあえるようなのが理想じゃないかな、と思います。まずは、学校や地域などでいろんな場で、障害のある人がいろんな事に参加できるようになると良いかなと思います。
37						広報でボランティアの冊子を見ました。興味はあるのですが、勇気と自信がなくてあきらめました。事務職で働いているので、「パソコンボランティア」の名称で出来そうな気がしました。内容は分からないので、話を聞いてみないと分かりませんが。学校で課外授業として取り入れてみたら、興味をもってボランティアに参加する人が増えるのではないかと思います。
37						子供がアスペルガーです。発達支援センターで何度も相談しましたが、手厚くやっていただいていた女性担当者は、2ヶ月で産休に入ってしまう、上の者に引きつくと上の人と話をしましたが、何だかんだ言われて学校に様子を見に行ってくれろといった日にちには行ってもらえず、あげくのはてには連絡さえもらえず、こちらから tel してもそんな感じになり散々でした!!忙しいならもっと人を増やしてほしい!!こちらは真剣なのに、他の人と比べて軽いのか、ほんと放置するとかはやめてもらいたい!!そして、3~4月に転勤って…お役

							所仕事ってこんな無責任ですか？アンケートばかり郵送してないで（今回2回目です）、生の声を聞きなさい！！市民は不満が多いと思いますよ。臨機応変にしないもって！！
37							アンケートを取る場合に、障害者（とくに知的など）がこの文章を読んで理解できるとは思えません。ろうの方も読み書きが苦手な方が多いです。もう少し簡単な文章にする必要があると感じました。障害者の家族の方が回答される事がほとんどなのかもしれませんが、文章をもう少し容易にすることで、自分自身で理解し、回答できる人も増えると思います。まず行政としても、そのような配慮をしていただけるとありがたいです。
38							知り合いが何人かすすく園に通っています。これからも充実な内容で続けてください。ボランティアは何かお役に立てるなと思います。手話が習えるスクールなどあれば広報などにのせてほしいです。
38							最近、発達障害の診断を受ける子供が増えているように思います。その前段階として、どこで相談したらいいのか等で悩まれるお母さんが多いと思います。竹の山に素敵なセンターができましたが、まだまだ知らずに1人で悩まれてるお母さんもいるのではないかと思います。また、相談者が多くて、相談できる日が何ヶ月も先になったりすることもあると思います。支援して下さる専門的知識を持った方の増員や、相談できるセンターのアピールも今後していってもらえたらと思います。
41							あくまでも理想ですが、名古屋市よりも障害福祉サービスを充実させベッドタウンとしての配置を高められると良いですね。赤池駅近くにある総合ショッピングモールが障害福祉サービスが充実していることが、まず第一歩であると思います。期待しています。
42							障害のある人やそのお世話をされている方に対する支援ももちろん大切だと思いますが、障害のない人たちが、障害のある方々のことをもっと知ることの方が大切に思います。どういう障害のある方がいらして、どう手助けできるのか、どう接して欲しいと思われているのか、といった基本的な知識？情報？がまだまだ不足しているように思います。子供が小さいうちから、自然に受け入れられるようにできたら、行政サービスだけに頼らなくても、職場・学校・近所で助け合えるんじゃないかな～と思うことが多いです。理想かもしれませんが。
42							すべての人が、よりよく生活できる対策を求めます。
42	3 級						各公共施設の車いす用駐車場に雨でも使いやすいように、屋根をつけてほしいです。

42						<p>名古屋市で特定相談事業所に勤務しております。日進市に住むようになりもうすぐ〇年が経とうとしています。市内の障がい福祉に関しては、広報を見る程度であまり理解ができていません。しかし、日進市内においても様々な障がいのある方々が、イキイキと生活できるような環境がつくられるようになることを願っています。相談支援の立場にある私から、いくつか意見をさせていただきたいと思います。①重度の知的障がい・重症心身障がい児者の入院時支援について。病院は「完全看護」をうたいながら、知的障がいのある方達の家族に付き添いを求めるケースがあります。家族が24時間付き添える状況があるのであればよいですが、全ての家族がそうではありません。家政婦などを付き添いにつけるよう手配をしてくれる病院もあるようですが、本人のことを理解していない方が付き添いについたところで、本人の入院中の生活が保障されるのでしょうか？入院中でも本人の発達保障がされるべきではないでしょうか。本人たちもただ寝ている生活を望んでいるとは思えません。②相談支援専門員の養成・育成。名古屋市では、27年度までに全ての障がい福祉サービス利用者に計画相談をつけることをすすめています。相談員が1人100ケース以上を受け持ち、作るだけの相談になりかけています。何のための計画相談なのか？本人のニーズを中心に、関係事務所・本人・家族をコーディネートすることまで力をそそげない状況にあります。質の高い相談支援専門員の養成に力を入れ、本人たちが生きやすい生活環境・地域がつくられるようお願いしたいと思います。</p>
43	3級					<p>仕事をしている者にとって、平日に市役所の福祉課を訪問することが困難な為、月1回でも土日を訪れるように窓口を作ってほしいです。</p>
43						<p>障害者はもちろん、高齢者も増えていくので、多くの方が健康な体の状態で長生きできるよう、車イスや手押し車、つえでも歩いたり外出したりしやすいように、新しい地域だけでなく、古くからの既存の道路でも安心して通れる歩道を整備していく必要があると思います。日進市の場合、サービスも含め、地域によっての格差をなくしていくことが大事だと思います。</p>
43						<p>日進市がどの程度まで支援しているのかまったくわかりません。何が必要か答えられませんでした。</p>
44	3級					<p>他市からの転居で新たな福祉サービスの拡充を知りました。拡充について知る機会(WEBでのまとめページ公開など)を設け、広報していただけることを期待します。</p>
44	6級					<p>いつもありがとうございます。がんばって頂いて感謝しております。</p>

45						発達障害児～高校までに関してはケアがたくさんあるのに対し、高校を卒業し、退学へ進学等した人は、公のケアを受けられていないのではないのでしょうか？実際、発達障害の大学生は、学校でも問題を起こしたり、就職にもつながらなくて未来が見えなくて困っています。大学本位では対応できなく、どこでだれをたよりにすれば良いのか困っている学生はたくさんいます。大学には特別支援学級なんてないです!!障害は一生ついてくるものですよね？助けてあげてください。
45	2級				○	市のサービスを受けるのに、障害者自らが市役所へ行かなくてはならない。(例)タクシーチケット、年度が替わったら新しいのをとりにいく！など。社会保険の支払いを優遇してくれる処遇も、障害者側から市役所へ行き、申請しなければならない。・その年の障害の状態、年収など、市の方でわかるはずなので、市の方で処理していただきたい。市の方で課がわかれているからなのもわかりますが、私達からみれば市であるべきなので、市の方でやっていただきたい。
45			2級			障害のある人やその家族にとって、何かあったときの心強い「最後のとりで」であっていただきたいと願っております。
46						支援が必要な方に十分なサービスが提供される事を望みます。予算を減らす時、何が基準になったのか？本当に困っている方たちの生の声を厳密に汲み取ることに時間は費やされたのか？自立を促す支援とできないことへのサービスのバランス人的な温かい支援を切望致します。
46						人は誰でも、病気や年をとり障害と隣り合わせです。そして確率的にも、先天的に何かしら障害をもって生まれてくる子は必ずいます。一番不幸なのは、家庭的に恵まれず、後天的に心身に障害をおうケースです。発達障害の中には、乳幼児期に適切に育てられず、愛情不足などで精神面・知性面でグレーゾーン、または、障害が発生する場合があります。思春期、大人になってから、うつや引きこもりなど社会に適応できないケースでも、母親との関係が大きく作用している例が多いです(父親や祖父母がカバーできればよいですが・・・)。これから財政上、社会福祉への予算はきびしくなると思いますが、少しでも障害を軽くしたり、未然に防げるものとして、乳幼児期からの母親支援、すくすくの療育などの向上に期待します。
46	3級					アンケートの意図がわかりにくい
47			2級			食事をすませるのも忙しくて短時間で、食事をしたあと、食後の薬をくばるのが早すぎます。両方とも看護師

							にあわせていて、薬と食事との体に対しての作用がとても活発に悪く生じて、体にくすりやせっかくの食事が悪く作用して困っています。体がくすりによって悪くなっていることが、自分でもわかります。食べたあとの食事とくすりとの作用が、体の中で悪いということをし、どうか〇〇学校で研究して調べてください。
47							障害のある人と一般の人が、自然に接することができる場所(ショップとかバザーとかイベント等)がもっと増えてほしい。☆こういったアンケートは、インターネットでも回答できる様にしてほしい。
48							本来なら障害への支援は、問35の17項目すべて必要。どれから充実させるかが問題。
49			○		○		通院で服薬医療は命に関わる大切な行動になる私です。慢性疾患の指導料を払うのに少し抵抗を感じます。本当に動けないときに車の免許もなく、手帳を受ければ最低ラインのもので職業についたり、地域での生活の幅が却って狭くなります。遊びや余暇で公共機関を安く乗る元気な年配者、お金を払って通院費・指導料など病院へ行く私。なんだか矛盾を感じます。
49							友人の子供がアスペルガーです。友人はいつも学校の先生と話し合い闘っていました。教育者の障害に対する教育がまず必要と思います。
49	3級						平日の昼間、災害・地震がきたら、助けが必ず必要です。とても北小まで行けません。助けてもらう人がいません。
49							障害者の就労時間の底上げ、障害者の就労しているお店のお知らせの拡充
50							・外見でわからない障害の人(ペースメーカーをつけている等)にも住みやすい場所を作って欲しい(住居以外で)。 ・支援の場所まで行ってみたいくとも、車のない家では苦勞されるのではないかと(地域生活支援など)。
52			2級				市役所の福祉課の対応が悪いので良くして欲しい。健常者ではなく、こちらはあくまでも障害者なので。
52	3級		2級				数年前から障害手当が減額されたが、ただでさえ身体・精神的に不自由しているのに、補装具等に必要な手当を減額されるなど、行政は何を考えているのかわからない！と言うよりも障害者のことを「考えていない」ということがわかる。お金が全てというわけではないが、経済的援助が十分にされていると救われる部分があるということを知ってほしい。市長、議員の方に、たった一日でもいいから車イス生活や、お腹に便の入ったストマ生活を体験して欲しい！
52	4級						自分が障害をもちば何が必要か分かります。あまり数字(金)のつじつま合わせだけに走らない様にして頂きたいものです。

52	1 級					○ 私は52歳です。最近、ものわすれが多くなり、毎年の障害者の手続き等に年1回市役所に手続きをしに行きます。障害の程度により、更新手続きの種類に違いがありますが、かなり多くてわすれがちなどころがある為、事前に案内してもらおうと助かります。
53						日進市在住の障害者の数、障害の程度に対して、どのくらいの予算をかけて取り組もうとしているか、事前に十分広報してから活動していただきたい。どんな項目が日進市にとって優先度が高い課題なのかよくわからない。その状態の中で、福祉だけが突出して推進されていくなればあまり賛成できない。
54						障害のある子供・大人も少しずつではありますがサービスを利用できるようになってきて、親が大変な時は本当に助かると思います。障害のある子供を育てるのは大変だと思いますがどんな子供でも育てるのは大変です。小さいうちは特に親子関係をきちんと作り、社会に適應できる人になるように、子供と親の心と体のサポートを関係機関でやってあげられるとよいのではないかと思います。小さい子供がサービスばかりを使う考えも、やはり親子関係が薄れてしまうのではと心配しています。困った時、親の休息などよい形で利用できると思います。地域の方々も少しずつですが障害への理解も進んでいると思います。障害のある人も地域の人と少しでも関わって知ってもらい、お互い助けあい、地域で暮らしていけるといいなと思います。そういったはしわたしを行政の方でやっていただけるとよりよい日進市になると思います。
54	3 級					昨年、手帳を交付して頂きました。以前は、聞こえなくても聞こえるふりをしたり、聞こえないことを恥ずかしく思ったりしていましたが、今は手帳のおかげで聞こえないと自ら言えるようになり気分も明るくなりました。これまでは、福祉についてあまり関心はなかったのですが、今は介護の勉強をしてボランティア活動も参加していきたいと思うのですが、参加の仕方がわからない。自分から進んで出来ないの、気軽に取り組みえるような場があったらいいと思います。
54	1 級					税金面等での軽減ができる政策をお願いしたい。
55						うつ病やひきこもり等、外部から見えにくい障害者とその家族に対しての支援の充実を望みます。・要介護となり、障害者となった高齢者を、自立の高齢者が支えるしくみを作らないと、支えきれないと思います。
55	3 級					総社市を学んでください。
55						障害のある人の就労支援をもっと強化してほしい。

56	4級						私は人工股関節が入っています。一見、障害者には見えませんが、市役所等に置いてある腰掛けは低すぎて、また柔らかすぎてお尻が沈み、一旦座ると立ち上がりにも苦労します。固いもっと丈のある椅子を置いて欲しいです。
56							〇〇から日進市に転勤になり〇ヶ月が過ぎましたが、福祉に関する事はまだわかりません。大阪では色々なボランティアに関わりました。日進市でも参加できれば良いと思います。
56	1級						日進市はがんばっていると思います。
56	3級						現在の障害福祉サービスの質・量ともに落とさない努力をしてもらいたい。
57							日進は交通の便が悪く、車がないと…と思うことがよくあります。市のバスを小型するなど予算的には増加を防ぎつつ細かい路線にして、利用しやすくできる様、希望致します。
58	3級						いろいろな障害のある人に対して、たくさんの支援など、いろいろな分野でたくさんの人たちがささえて下さり、たいへんありがたい事だと思います。感謝です。福祉保障費増大、消費税増税で社会保障が充実・拡充してもらえる様、国に期待する。
58							地域ぐるみで障害者ケアを進める施策をお願いします。そのための市民の意識改革、技術研修を市として取り組んでいただきたい。
58				○			道のほそ道を早くアスファルトにしてほしい。大雨が降るとドブの水があふれ、道はドロドロで歩けません。少人数の地域でも、同じ区費を支払っているので不満です。
60							日進に来て〇年になります。市とはいえ、道路事情がなかなかだなと思いました。市役所の所の道路なのに、簡単な歩道があるのは片側だけ、その簡単な歩道さえ、右側に行ったり左側に行ったり、そのたび道路を横断しなければ、すぐそばを大きなトラックやバスが通り、こわいです。車いすだったらもっとこわいはず。安心して通れる道路事情がほしいです。
60	4級						日進市は特別支援教育など、小さい人に対しての福祉はずいぶんと充実していると思いますが、障害者の親が高齢になった時、自立できていることが大切だと思います。そちらの支援を強化すべきでは…？私自身は仕事もあり、恵まれています、ボランティアをやるほどの体力はありません。
60	6級						経済的支援が一番必要だと思います。

60	4級						生活用具給付券で経済的に大変助かっております。今後ともご支援頂きますようお願い致します。ありがとうございます。
61							現在は健康に恵まれて生活していますが、何時なにかあるかわからない年齢になりました。どういう事で支援を必要とするかわかりませんが、そういう状態になった時、行政の方がとりあえずあたたかく接して下さることを希望します。
61	3級						○年に障害者手帳3級をいただき、更生医療費を使い、心臓の手術を受け、その後の医療費も市から(?)援助していただいていますので、本当に助かっています。月2,000円の援助も有難い事だと思っています。手術のお陰で、この頃では無理をしなければ普通のような生活ができるようになりました。それにつれて、障害者である私にも、何か他の人のためにボランティアができないかと考えるようになりました。ボランティアなどが気軽に申し出られるところがあると良いと思います。
61							障害を持っている人と、身近に接する機会がないのでよくわかりませんので申し訳なく思います。ただ、自分が障害を持った時、まわりの人から親切にされる喜び感謝。些細な事でも人の役に立てる喜び等両面存在すると思います。色々な面から、総合的なサポートをお願いします。
61	5級		2級			○	駐車場許可証について発行先は公安委員会であるが、肢体障害者手帳全てを対象に発行していただけるとたすかります。肢体障害の場合は、等級が低いから発行できないのは理由にならない。障害者は全ての方が不自由しています。(障害者の方は全ての方が障害者です)
62							福祉支援といっても難しい問題は数多いと思います。障害者の皆がこの地域に生きていて良かったと充実感のある日常が送れたらと思う。
62							アンケートに答える者として、今自分は普通の生活が出来、健康であります。どの質問も一般的に考えて○つけするだけです。障害の方の意見を大いに聞き、今後の福祉に役立てて頂きたいです。(障害者の立場にならないと何もわからないからです)一度の人生、皆が楽しく過ごせるよう祈ります。
62	4級						名古屋市市内まで通勤していますが、地下鉄については障害者割引があるのに日進駅から赤池まで1区間割引がない為、定期券が通しで買えません。何十年と言ってきましたが進展なし。一度ぜひ真剣に考えて欲しいです。
62	4級						いつもお世話になっています。
62							アンケートを記入していて、障害をもった方を対象に

							して大々的に市をあげて避難場所までの誘導やら、宿泊体験やら、本番に対して心構えができるように練習できたらいいと思いました。手伝えるのは近所でだけか、葉や避難袋等など一人に数人の支援ができるよう、当番ではないけれど気にかける人がわかっているといと思います。障害をもった方からの意見もあるでしょうが、大規模な地震が想定された中でまわりの人の支援をたしかめておくのもよいかと思います。
62	1級						日進市は福祉に対してあまり力不足を感じます。昨年、障害の認定を受けるまでとても大変でした。豊田市・名古屋と同じように、手厚い福祉を希望します。どのような福祉があるのか、よくわからないのは問題では？
64							近所の体の不自由な方が大変な思いでゴミ出しをしています。出会うと助けますが、不自由な方の家にシールとかでわかるようにしてその方達は自分の玄関先にゴミをおけば運んでいってくれるように（名古屋市のゴミは自宅前に出すように）してほしいです。
64	1級						問 23 について、「名古屋市交通局」に対し、人権侵害の面から、改札口のランプ点灯をやめてほしい。住所氏名は公開していないとのことだが、顔があれば誰かということとは判る。知らない人にプライバシーを詮索されたくない。
64	1級			○			散歩をしている時、庭木がかなり道路側にはみ出ている。下をむいて杖をついて歩いていると顔にあたりぶつかったりする。敷地内に納まる様に指導してほしいです。
64			1級	○		○	福祉のことで相談にいった時、その人にあったサービスや、今後もっと重症になった時はどんなサービスがうけられるか、もっと細かく時間をかけて説明してくれればいと思う。私も聞きにいった時は、聞いた質問だけに答えてくれただけ。お宅の場合は、こんなこともあんなサービスもうけられるので手続きをしたほうがいいですよ、とか教えてほしかった。新聞でみたり他の方にきいたりして、1つずつ手続きをしに何度も足を運ばせられました。行政の方は、専門の人がやっているのだからわかっているのが当然ですが、一般の人は知識がありません。どれをどういう風に聞けばいいのかもわからないのです。市議員の方と聞きに行った時は、すごく丁寧に説明してくれたのですが、なぜでしょう？
64	4級						60歳で退職（会社都合）になった後、適当な就労先をみつけることはできなかった。また会社でも補助金があるので障害後も就労できたと思う。私は、腰と股関節が悪く、4級だが、そのため長時間立つこと、長時間の歩行、全力疾走、マラソンはできないため、就労中も障害後は色々苦勞した（精神的・肉体的）。が、そのよう

							な相談支援については普及していなかったように思う。現在はリハビリと体力増進をかね、夫婦ともども近くのジムにかよっている。そのような支援があってもよいのでは。私のように積極的にリハビリをしている人は少ないようだ。リハビリをかねた運動をしないと、手術した所も弱くなり、本当に高齢になれば動けなくなると思う。
64							格差が広がる時代に、障害者はとても生活しにくい状況だと思います。これからもっともっと支援活動、指導強化は大切な事になると思います。
65	4級						日進は税金が高い、市の病院・市の住宅・市のプール何もない。福祉にお金が回りきっていないと思います。障害者に対していただいたお金がカットされ半分になった。一般の方より収入を保つのに大変なのになぜカットするのかわかりません。・日進に市民病院、市民プール（年中）使用できるものを作ってほしい。障害者が使用できるプールを作ってほしい。市民プール、市民病院を早く作ってください。市になってもいままでと何も変わらない。市営住宅もない。
65							もう少し若ければボランティアも良い事だと思う。会社の事と家のことお役に立てなく申し訳なく思います。65歳にして皆様のお世話にならず幸せだと思います。
65	1級						タクシーチケットの枚数を少なくして、一回の利用金額を増やしてほしい。820円では、赤池駅から市役所までもいけません。
66							障がいの方と普通の方、同じ質問は如何と思います。色々考えて、法が作られていると思いますが、障がいを持っている方を中心に検討していただきたいと思います。
67							障害者がみじめな思いや、引け目を感じることなく、ふつうに生活できる環境を、近隣や行政の支援で整えていくことが大切かと思います。明日はわが身です。ちなみに夫は障害3級です。（うっかりメ切を過ぎてしまいました。すみません。）
67	3級						障害福祉関係更新手続きに関して、更新時期の連絡をして頂きたい。出来れば更新手続きを自宅で行えるように係員を派遣して頂きたい。
68							普通に生活できるのは幸福なことです。障害のある方、その世話をしている家族の方々にできるだけの手をさしのべてください。楽しみや（外へ出ること、囲み集まって話すこと）、何か作る幸福等必要だと思います。認知症の義父を〇年世話しましたが、後は施設にお世話になりました。大変でしたが、皆さんの力をかりて大助かりでした。施設はたすかりました。ありがとう。

68	6級						手帳を交付された時、簡単な説明があっただけで、自分がどんなサービスを受けられるのか具体的にわからない。
68							私の子供も発達障害です。自閉症。仕事をしなくなってから○年になります。現在は家事をやっています。今年は運転免許に挑戦させます。私は自営業ですが。満70歳で廃業します。年金生活者になれば子供までは面倒を見れません。専門員による巡回指導があればありがたいです。どこに相談したら良いかわかりません。
68							障害福祉サービス、行政の取り組み。いずれも障害者の方達からすれば心から満足できる現状ではないと思います。健常者との差があまり感じないですむような、優しさの満ちた街づくりが出来るとよいですね。
69							障害者福祉も大事ですが、高齢者に対する福祉、例えば医療等、支払いに関する事、今のままでは通院はもちろん入院等といったことは出来なくなるのでは・・・それでは生命保険に入れば良いと思うかもしれませんが、今の年金額では保険に入れない人々が多いのではないのでしょうか。市長さんも大変だと思いますがその所よろしくお願い致します。
69			1級				○ ケアマネージャーの方の質によって、大いに対象者はよいサービス、迅速な対応が得られるか否かがかわります。また、ケアマネの方の責任ある行動力が対象者や家族の支えとなります。ぜひ、ケアマネの統一した仕事・対応のご指導を行政でもお考え下さり、実施していただきたく思います。
70	3級						○ 運動不足になるのでプール等があると良い
70							問 11「療育手帳」については、全く分かりませんでした。たぶん基本的な常識なのでしょうが、不明でした。今回の質問を機に勉強します。
70	1級						支援を必要とする人に対し適切な対応ができるよう願っています。
70							障害のある人が日進市内の一般企業にどんな割合で就労しているのか、毎月発行の広報に毎年一回程度表記してはどうでしょうか？（例）企業名・・・、全従業員○○名、障害者○○名、全体の○○%、出来ることならば、障害の内訳別に明記してはどうでしょうか？
71	4級						階段が多い家なので申し込みに行くにも難しい。なんかケアマネージャーとか調べに来ると色々難しい。でも困っている人がいるという事をわすれないでほしい。梓にはまらない人が多いという事を知ってほしい。せっかく日進に住んでいるのだから？事務的なことばかりでいやです。

71	3級						障害者本人が他人にあまえるのではなく、自分で進んで生活していける様に努力していきたい。
71	3級						身障者駐車場が心ない人の為に占拠されていることが多い。また偽の証明ステッカーも多いと思う。米国 NY では、そういう違法行為は罰則規定のある犯罪とみなされ罰金の対象になる、故に、一般道徳教育が重要である。
71	3級						①法律は「総合支援法」なる名称となっているが、生活する上では切り貼りだらけ的な施策ばかりとなっている。②障害者は一部を除き、障害年金のみが収入源の人が大半なのに、本人の応能負担のみならず、家族の収入も利用料負担に組み込まれる仕組みを、抜本的に正さなければならない。③アンケートでは、市独自の障害者施策に関する項目もなく、国や県の施策に関する意向調査で代替できる事項ばかりで、今回のアンケートの意味が第4期障害者計画に反映するとは思えない(ムダなアンケートはやめましょう)。④第4次計画づくりをすすめているとのことですが、第3次までの反省や第4次計画の重点方針(特に市の施策のあり方)をあらかじめ示した上でアンケートを取ってください。4月から消費税が引き上げられ、医療・福祉予算が大幅増大されるとの取組は広報していますが、年金も障害者予算(医療・年金)も引き下げの施策のオンパレードです。市の障害者福祉計画で、いったい何ができるかと思えます。今回の策定が義務されているから作るなんてやめたらいい。国や県に意見書を上げましょう。第4次計画は策定委員会は誰ですか。こんなアンケートは何か役に立つと思う人なんでしょうね。ありきたりの役人が作成したアンケートの実施そのものが目的化していると思っている人なのではないですか。そのような人は必要ではありません。障害当事者に任せるべきです。なお、今回のアンケート結果のすべてを公表し、委員長なる人のコメントをホームページで明らかにしてください。
72	5級						日進市に子供の障害者リハビリとか、言語の有る病院があるといいなということを知ります。
72							身近に障害者がいなくて、接することがなく、実際に考えたことがなかったです。自分の老後の介護等の件で心配はもっています。
72	2級			○		○	日頃の手厚い支援を大変ありがたく思っております。町づくり活動等で、ボランティアに対する関心が人々に深まって行っている事を感じています。お役の方は大変だと思いますが、素晴らしいことと思います。話がそれるかもしれませんが、年々老人世帯が増え、民生委員さんの負担が限りなく重くなるようで、むしろその

							方の家庭の平和・健康をお世話を受ける側が心配してしまいます。対象者と直接向き合う場合、(年若い人の場合ほど) 限りなく些細な事でも時間のかかる問題が出るように思いますので・・・。
73							問 31 で2の興味が無い方に○をつけましたが、年を重ねているものは自分の「こと」でいっぱいであるべく行政の世話にならぬよう気をつけています。まずは自分を大切にしたいと思います。それが世の中のためになると思います。
73	1級						今の段階では子供夫婦は仕事を持っているので、自分の事又は、農業で日々を過ごしているので、ボランティア等で協力したいが透析を受診しているので無理かな。
74	身体4級					○	私は人工関節での障害者になり、足を曲げる事が出来なくなり、また反対の膝に負担がかかり、痛みが出ており、という状態ですが、もっともっと酷い病状の人が大勢います。不幸に、交通事故、出産時・・・などの人もいます。弱者です。私自身も健常者の時には知らなかった、分からなかった日常生活での危険などが、至る所にある。そういう視線でアンケートを活用して頂き、福祉の充実に生かしてください。
74							市の福祉への御配慮、取り組みなどに評価、感謝いたします。現行の活動、施設の見学など出来ると参考になります。
75		A判定					○ 行政の取組として、障害者の看取りまで生涯を通じた支援をしてほしい。親が障害のある子の将来に絶望しないよう、安心して託せる市営の施設を作る。
75	2級						○ おむつの援助金・タクシーの補助金・くるりんバスの無料、とてもありがたいです。
75							サンソ朝3時～2時間、夕方4時～2時間が必要です
76	4級						○ 障害者の気持ちになって物事を一つ一つ心して考えてください。お願いします。
76							本当に困っている人への支援です。福祉に上限はありませんので、一定のところで止める決断も必要と思われます。
76	1級						一般的にみると障害者の家族や本人は、私から見ると横着に見える。例えば乗り物の中、乗車時の態度、自分が一番という態度で事を行う。また、付添い人の態度も障害者と同じ様にみえる事が多い。人間は一人では生きることが出来ません。皆が助け合わなければいけないと思います。乱文にてごめんなさい。
76							高齢者で、身体・知的・精神障害者のうち、生活保護該当者は震災発生時の避難・人命救助等に配慮して、共同生活援助制度に一元化すべきと考える。

76							戦後の我が国は権利意識が強くなり、公に対する義務の気持ちが薄れていると思う。戦前の教育を良く云うつもりはないが、人として身につけるべき徳目－仁義礼智信－を身に着けてこと一人前の大人になると思う。先ず、弱者に対する思いやりの心こそ、仁です。期待しています。
77							身近に障害のある方が居ないので（近所、身内）、障害について本当に気がついていない事に反省しています。外出時に時々目の不自由な方をおみかけするくらいで、何のお手伝いもしていない自分が恥ずかしいと思ってこのアンケートに記入しました。元気な今のうちに何かお手伝いしたいと強く思いました。
77							障害者の方が苦勞しておられる事はよくわかりますが、市や国も大分お金をその方面に使っていると思いますので、感謝の気持ちも持つように。まだ不足、不足、の気の持ち方は、かえってしてあげたいという気持ちをなくします。お互いにありがとうという感謝の気持ちが大切です。
78	1級						介護が必要となった本人や家族が、安心してまかせられる公的施設の拡充を強く望んでいます。
78	3級					○	障害者を気楽にいつでも旅に出かけられる策を練って下さい。温泉に入る場合、付き添いのつくホテルは皆無である。温泉行ボランティアを望む。
78						○ ○	何も出来ない人が多くなっていくと思いますので、妻は考えに困っています。
79	4級						障害者のスポーツについて考えてほしい。名古屋市の名東区にある障害者スポーツセンターが行っているものを参考にして。
79	1級					○	障害年金を頂くタイミングをはずしたので、老齢（国民）年金だけで主人と二人生活しています。その様な方たちがいらしゃれば、その制度を（タイミング）改正されれば良いと思います。
80	4級						障害者でも4級5級は残念です。余りありませんので、3級以上の方はすごく元気で体育も充実して見える方が有りますので、3級までの人を年に1回は検査してほしいと思います。
80							高齢社会になり、障害は他人ごとではありません。明日の身はわかりません。お互いに気持ちよく助け合って生きたいものです。日進に住んでよかったと思う日々でありたい。
80	1級					○ ○	思いがけなく脳梗塞の発症から、わずかに左手をのぞいて全く動けなくなりました。おかげ様で、福祉関係のサービスはすべて利用させていただき、何とかこれまで来ましたが、この先老老介護のことで不安はつづきます。老健のお世話になり、家と老健を半々に乗り切っ

							てきましたが、この先どうなることか心配は尽きません。
81							日頃、福祉行政に御配慮頂き感謝いたしております。私共高齢者・障害者にとって、外出の機会少なく折角の計画も知らずに通り過ぎることも多いと思います。少し目線を下げてください、分かりやすい皆が手の届く範囲の行政を心よりお願い申し上げます。
81	4級					○	私は81歳で高齢者ですが会社勤務をしておらず、自営業でありましたので小額の年金生活で息子夫婦に援助してもらっているしだいです。耳が聞こえず、家族に手をかけている事が心苦しく思っています。長い間、まじめに働いてきているのに金銭的に苦しいのが悲しく思っています。 代筆・嫁
82							我が日進町が他の市町村よりすぐれていると思われる事が少しでも多く誇れることがある様になることを大いに期待しています。施設にお世話になる事が目前に迫っておりますので切にそう思います。ひとつでも多くの施設（内容の充実した）の完備を願うばかりです。
82	4級						支援のお手伝いをしたいと思いますが、年齢的に無理。アンケートの答も記入できない場所がありました。
82	2級					○ ○	今後ますます高齢化し、支援が必要となります。穏やかに送れるよう願います。
83							現在は元気ですが、時々不安になる時があります。深夜家事とか地震があった場合、
83	3級			○		○	病院へ行くための乗り物がタクシーだけでは大変。バスに乗に乗れるようになったらと思います。酸素ポンペを歩行車につけてバスに乗り降りは、自分だけでは辛い。
83	3級					○	自分のことで精一杯なので気持ちはあるができない
83							老後一人暮らしの相談や話し相手になってあげたいです。
84	2級			○			感謝しています。わからない事は記入してありません。
84	4級						日頃よりゆきとどいた支援を賜り感謝致して居ります。
85	3級					○	すでに障害福祉や支援についてご配慮をいただいておりますが、今後さらなる支援を賜りたく願います。
85							質問が理解し難い
86	1級						①現在妻が要介護で居宅サービスとリハビリを週1回ずつ受けていてとてもありがたく思っています。②時々この様なアンケートが来ますが、どんな意見が多くあったかどの様な処置をしたか周知してほしい。③高齢者夫婦で心臓とリウマチの障害者です。アンケートはしっかりするつもりですが、郵便ポストの数

							が少なくなり出しにゆくのが大変です。何か良い方法を考えて回収できませんか。
87	3級						日頃大変お世話になり、今後もよろしくお願い致します。
87	3級						高齢者の障害は理屈を並べればいくらでも出てきますが、元気に動けるうちはこれ以上の支援は必要ないと思ひ、私は100歳を目標です。
87						○	精神障害者による事件が最近多発しています。被害者は泣き寝入りを余儀なくされ、怒りも悲しみからまた第二の精神障害者が生まれる可能性もあります。ほとんどのケースが「野放し」と思えてなりません。差別は問題ですが、場合によっては監視・拘束も必要と思ひます。行政としてもっと真剣に取り組んで欲しい。今は被害者の人権が無視されているように思えてなりません。
87	1級	A判定	1級				このアンケートは内容的に不相当と思ひます。
89						○	生きていて良かったと思われる行政をお願いします。
92	2級					○	高齢者に一層の厚偶を願ひます。
92	1級					○	経管栄養で寝たきりの人に対して、このようなアンケートを出して記入してもらい、何か意味があるのでしょうか？病気の症状で、アンケート書ける人にだけ郵送すれば良いのではないのでしょうか。はっきり言ってムダです。
93	3級					○	親が特養の施設に入所でき感謝しています。でもまだまだたくさんの人たちが入居を待っておられます。一日も早くと切実におもっておられることが手に取るようにわかります。入居できて嬉しいのですが、入れたことによる心のむなしさがあります。親は親でどうしてここにいるのかという不安でいっぱいでした。慣れていくしか仕方がないというのが大方の考えだということも理解しています。自分も老いがせまっています、この現実を考えると心寂しくなります。理想の施設、介護とはどんなかたちなのかなと思ひます。
94	5級					○	94歳の親を○歳の子が養育して○年。年金生活になり、親の世話が不可になり、数年前から介護センターで全面的（痴呆と両足の骨接手術）等に介護を受けていますが、経済的に苦しい（福祉援助受けても）。今日現在まで大変お世話になりありがたく思っています。
95	1級					○	医療費・入院費等支払い金額の合計が国民年金等収入額と同額で済むようになるとよいと思ひます。
							アンケートに関して、「無記名で、回答した方が特定されたりしない」とあるのに、封筒に番号があるのが疑問

								である。年齢も正確な年齢を書く必要はないのでは？～年代にすべきである。行政の取組について、障害理解や合理的配慮のあらゆる場での啓発のため、インクルーシヴ教育は必要と考えます。特に教育現場で、世の中には様々な障害を持った人がおり、そういう人でもとても頑張っている人がいる事、また、人は誰でもある日障害者になる可能性がある事を教え、多様性に寛容な社会にしていくべきだと思います。
	4 級							食品スーパー内で、車イス利用者のかたが上段を見上げておられたが、声をかける事ができなかった。とても残念でした。いろんなことが健常者用。

以上



第4期日進市障害福祉計画アンケート調査報告書

平成26年7月

【制作】 椋山女学園大学 人間関係学部人間関係学科 手嶋雅史